

平成 23 年度

歳入歳出決算にかかる
主要な施策の成果説明書

宇 治 市

目 次

はじめに	1
平成 23 年度の決算概要	1
(1) 各会計決算額	2
(2) 普通会計決算状況	3
(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について	5
(4) 都市計画税の使途	7
(5) 全会計市債等現在高	7
(6) 平成 23 年度 普通会計決算状況調書	8
(7) 普通会計における財務書類 4 表	10

部門別決算成果概要

1 市長公室	15
2 政策経営部.....	27
3 総務部	32
4 市民環境部.....	39
5 健康福祉部.....	76
6 建設部	160
7 都市整備部.....	173
8 上下水道部.....	190
9 消防本部	195
10 教育部	200
11 その他	241
議会事務局	241
選挙管理委員会事務局	242
監査委員事務局	244
公平委員会事務局	244
固定資産評価審査委員会事務局	245
農業委員会事務局	246
12 用品調達基金運用状況表	247

はじめに

本説明書（歳入歳出決算にかかる主要な施策の成果説明書）は、地方自治法第233条第3項の規定に基づき、市長が決算を議会の認定に付すにあたり、同法同条第5項の規定により施策の成果を説明するものである。各会計の決算規模並びに総務省地方財政状況調査基準に基づく普通会計（一般会計と墓地公園事業、飲料水供給施設事業の各特別会計の合計額から各会計相互間の重複額等を控除したもの）の決算概要と、平成23年度の主要な施策の成果について部門毎に取りまとめたものである。

平成23年度の決算概要

平成23年度各会計歳入歳出決算の状況は、(1)各会計決算額のとおりとなっている。

また、平成23年度普通会計決算状況は、歳入の主な状況を分析すると、基幹歳入である地方税が、前年度に比べて1億5,804万8千円(0.6%)の増額となった。また、普通交付税が、前年度の法人市民税減額の影響等により、今年度は18億9,893万円(47.9%)の増額となった。

歳出を性質別に分析すると、義務的経費のうち、人件費は、退職手当等の影響により、前年度より9億8,528万5千円(△7.7%)の減額となり、公債費は、前年度より5,694万4千円(△1.1%)の減額となっている。また、扶助費は、子ども手当や保育所定員拡充などにより、前年度より7億1,334万3千円(4.8%)の増額となり、156億5,536万3千円となった。

また、歳出を目的別に分析すると、民生費が、前年度より1億4,582万4千円(△0.6%)の減額となり、11年ぶりに減少した。また、退職手当の大幅な減少の影響もあり、総務費が、前年度より7億5,637万1千円(△12.5%)の減額となった。

(1) 各会計決算額

(単位：千円)

会計名	年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	平成23年度	60,915,143	60,341,376	573,767	209,207	364,560	△21,479
	平成22年度	61,816,518	60,963,327	853,191	467,152	386,039	△90,822
	差引	△901,375	△621,951	△279,424	△257,945	△21,479	69,343
国民健康保険 事業特別会計	平成23年度	19,048,650	18,617,056	431,594	0	431,594	△41,357
	平成22年度	18,167,760	17,694,809	472,951	0	472,951	△81,196
	差引	880,890	922,247	△41,357	0	△41,357	39,839
老人保健事業 特別会計	平成23年度	0	0	0	0	0	0
	平成22年度	24,107	24,107	0	0	0	0
	差引	△24,107	△24,107	0	0	0	0
後期高齢者医療 事業特別会計	平成23年度	1,916,622	1,849,276	67,346	0	67,346	58,923
	平成22年度	1,833,094	1,824,671	8,423	0	8,423	1,208
	差引	83,528	24,605	58,923	0	58,923	57,715
介護保険事業 特別会計	平成23年度	10,669,055	10,528,163	140,892	0	140,892	121,741
	平成22年度	10,052,460	10,033,309	19,151	0	19,151	△30,517
	差引	616,595	494,854	121,741	0	121,741	152,258
墓地公園事業 特別会計	平成23年度	83,579	83,579	0	0	0	0
	平成22年度	106,098	106,098	0	0	0	0
	差引	△22,519	△22,519	0	0	0	0
簡易水道事業 特別会計	平成23年度	161,227	159,787	1,440	1,440	0	0
	平成22年度	82,038	82,038	0	0	0	0
	差引	79,189	77,749	1,440	1,440	0	0
飲料水供給施設 事業特別会計	平成23年度	6,974	6,974	0	0	0	0
	平成22年度	6,981	6,981	0	0	0	0
	差引	△7	△7	0	0	0	0
公共下水道 事業特別会計	平成23年度	7,497,461	7,401,411	96,050	96,050	0	0
	平成22年度	7,571,548	7,529,848	41,700	41,700	0	0
	差引	△74,087	△128,437	54,350	54,350	0	0
水道事業会計 (収益的収支)	平成23年度	3,346,702	3,333,442	13,260	/		
	平成22年度	3,403,484	3,373,806	29,678			
	差引	△56,782	△40,364	△16,418			
水道事業会計 (資本的収支)	平成23年度	198,288	742,538	△544,250			
	平成22年度	257,533	1,025,739	△768,206			
	差引	△59,245	△283,201	223,956			

(2) 普通会計決算状況

総務省地方財政状況調査における普通会計の決算状況については、次のとおりである。

ア 歳入決算状況

	23年度決算額 (千円)	構成比 (%)	22年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
地方税	24,549,663	40.3	24,391,615	39.6	158,048	0.6
うち個人市民税	9,517,536	15.6	9,672,907	15.7	△155,371	△1.6
うち法人市民税	2,573,874	4.2	2,464,352	4.0	109,522	4.4
うち固定資産税	9,502,640	15.6	9,363,909	15.2	138,731	1.5
地方譲与税	390,985	0.6	400,777	0.6	△9,792	△2.4
利子割交付金	101,525	0.2	141,100	0.2	△39,575	△28.0
配当割交付金	68,515	0.1	62,830	0.1	5,685	9.0
株式等譲渡所得割交付金	15,738	0.0	22,386	0.0	△6,648	△29.7
地方消費税交付金	1,647,700	2.7	1,675,483	2.7	△27,783	△1.7
ゴルフ場利用税交付金	49,325	0.1	47,695	0.1	1,630	3.4
自動車取得税交付金	128,529	0.2	135,742	0.2	△7,213	△5.3
地方特例交付金等	333,245	0.6	362,767	0.6	△29,522	△8.1
地方交付税	6,255,540	10.3	4,354,647	7.1	1,900,893	43.7
普通交付税	5,863,302	9.6	3,964,372	6.5	1,898,930	47.9
特別交付税	392,238	0.7	390,275	0.6	1,963	0.5
交通安全対策特別交付金	35,806	0.1	36,261	0.1	△455	△1.3
分担金及び負担金	808,723	1.3	720,280	1.2	88,443	12.3
使用料	1,390,452	2.3	1,373,131	2.2	17,321	1.3
手数料	132,710	0.2	143,064	0.2	△10,354	△7.2
国庫支出金	10,646,904	17.5	9,545,817	15.5	1,101,087	11.5
国有提供施設等所在市町村 助成交付金	69,339	0.1	68,824	0.1	515	0.7
府支出金	4,106,400	6.8	4,933,575	8.0	△827,175	△16.8
財産収入	68,420	0.1	71,181	0.1	△2,761	△3.9
寄付金	91,421	0.2	160,660	0.3	△69,239	△43.1
繰入金	135,040	0.2	2,008,991	3.3	△1,873,951	△93.3
繰越金	853,191	1.4	1,100,872	1.8	△247,681	△22.5
諸収入	2,762,125	4.5	2,904,162	4.7	△142,037	△4.9
地方債	6,215,700	10.2	6,996,500	11.3	△780,800	△11.2
うち臨時財政対策債	3,566,700	5.9	3,264,100	5.3	302,600	9.3
歳入合計	60,856,996	100.0	61,658,360	100.0	△801,364	△1.3
うち一般財源等	38,657,770	63.5	38,621,929	62.6	35,841	0.1
うち経常一般財源	31,912,408	52.4	29,990,431	48.6	1,921,977	6.4

イ 歳出決算状況

目的別決算状況

	23年度決算額 (千円)	構成比 (%)	22年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
議会費	508,360	0.8	390,885	0.6	117,475	30.1
総務費	5,273,222	8.8	6,029,593	9.9	△756,371	△12.5
民生費	24,476,586	40.6	24,622,410	40.5	△145,824	△0.6
衛生費	4,300,363	7.1	4,364,273	7.2	△63,910	△1.5
労働費	180,685	0.3	153,490	0.3	27,195	17.7
農林水産業費	298,420	0.5	313,721	0.5	△15,301	△4.9
商工費	1,791,560	3.0	1,831,092	3.0	△39,532	△2.2
土木費	7,556,558	12.5	7,703,156	12.7	△146,598	△1.9
消防費	2,094,597	3.5	2,129,626	3.5	△35,029	△1.6
教育費	8,742,242	14.5	8,150,583	13.4	591,659	7.3
災害復旧費	3,540	0.0	2,300	0.0	1,240	53.9
公債費	5,057,096	8.4	5,114,040	8.4	△56,944	△1.1
歳出合計	60,283,229	100.0	60,805,169	100.0	△521,940	△0.9

性質別決算状況

	23年度決算額 (千円)	構成比 (%)	22年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
人件費	11,757,664	19.5	12,742,949	20.9	△985,285	△7.7
物件費	5,450,159	9.0	5,250,368	8.6	199,791	3.8
維持補修費	782,866	1.3	718,118	1.2	64,748	9.0
扶助費	15,655,363	26.0	14,942,020	24.6	713,343	4.8
補助費等	4,361,175	7.2	4,552,954	7.5	△191,779	△4.2
公債費	5,057,096	8.4	5,114,040	8.4	△56,944	△1.1
積立金	669,789	1.1	207,758	0.3	462,031	222.4
投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
貸付金	2,410,547	4.0	2,531,818	4.2	△121,271	△4.8
繰出金	6,452,604	10.7	6,434,514	10.6	18,090	0.3
普通建設事業費	7,682,426	12.8	8,308,330	13.7	△625,904	△7.5
災害復旧事業費	3,540	0.0	2,300	0.0	1,240	53.9
歳出合計	60,283,229	100.0	60,805,169	100.0	△521,940	△0.9
うち義務的経費	32,470,123	53.9	32,799,009	53.9	△328,886	△1.0
経常的経費	45,997,946	76.3	45,895,675	75.5	102,271	0.2

ウ 財政構造

平成 23 年度普通会計決算における各種財政指標は次のとおりである。

- ・財政の豊かさを計る財政力指数（過去 3 カ年平均）は 0.824（22 年度 0.860）
- ・財政の堅実度を見る実質収支比率は 1.1%（22 年度 1.1%）
- ・財政の弾力性を判断する経常収支比率は 90.1%（22 年度 97.7%）
- ・一般財源の財政上のゆとりを見る経常一般財源比率は 94.7%（22 年度 86.5%）

エ 地方債現在高

平成 23 年度末における地方債の現在高は 428 億 4,168 万 3 千円となり、前年度対比 18 億 1,876 万 1 千円の増加となった。発行額は、一般債が 26 億 4,800 万円、特例債である臨時財政対策債が 35 億 6,670 万円で、総額 62 億 1,570 万円となり、前年度より 7 億 8,080 万円の減額となった。

オ 基金現在高

各種基金全体の平成 23 年度末現在高（普通会計）は、87 億 1,567 万円で、前年度対比 5 億 6,418 万 4 千円の増加となった。繰入については、退職者の増加に対応するため職員退職手当基金を 1 億 350 万円繰り入れた。一方、積立については、収支均衡と健全財政堅持のための財源として財政調整基金に 5 億 2,050 万 5 千円、公債費対策として減債基金に 6,333 万 9 千円、将来のまちづくりのために宅地開発等協力寄付金等を原資とする公共施設等整備基金に 5,271 万 2 千円を積み立てた。なお、定額運用基金である土地開発基金の現在高は 14 億 837 万 2 千円となった。

(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について

平成 19 年 6 月に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（以下、「財政健全化法」という。）に基づき、平成 19 年度決算より、一般会計等の赤字額の標準財政規模に対する比率である「実質赤字比率」と、一般会計等だけでなく、水道事業や下水道事業など全会計を連結した実質赤字額（資金不足額）の標準財政規模に対する比率である「連結実質赤字比率」、さらに、一般会計等が負担する地方債の元利償還金やそれに準ずる元利償還金の標準財政規模に対する比率である「実質公債費比率」、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率である「将来負担比率」の 4 つの健全化判断比率と、水道事業や下水道事業、簡易水道事業の公営企業の経営健全化を判断する指標として、公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する比率である「資金不足比率」を算定している。

4 つの健全化判断比率の数値が、早期健全化基準を超えた場合は、自主的な改善努力による財政健全化に取り組む「財政健全化団体」となり、さらに比率が悪化し、財政再生基準を超えた場合は、国などの関与により確実な財政再生を図る「財政再生団体」となる。

「財政健全化団体」は、議会の議決を経て「財政健全化計画」を定め、市民への公表と、総務大臣、知事への報告が必要となり、毎年度、その実施状況を議会に報告し、公表することが必要となる。

「財政再生団体」は、議会の議決を経て「財政再生計画」を定め、市民への公表を行わなければならない。また、災害復旧事業等を除いた起債が必要な場合は、「財政再生計画」を総務大臣に協議し、その同意を求める必要がある。「財政再生計画」に総務大臣の同意を得た「財政再生団体」は、収支不足額を振り替えるため、地方財政法第 5 条の特例として、総務大臣の許可を受けて、再生振替特例債を起すことができることとなった。

公営企業については、その資金不足比率が、経営健全化比率以上になった場合は、経営健全化計画を定める必要がある。

※ 標準財政規模：地方公共団体の一般財源の標準規模、標準的な財政規模

ア 健全化判断比率

健全化判断比率	23年度 決算	22年度 決算	早期健全 化基準	財政再生 基準	説明
実質赤字比率	—	—	11.65%	20.00%	一般会計等が黒字か赤字を判断する指標（一般会計等の赤字の標準財政規模に対する比率）
連結実質赤字 比率	—	—	16.65%	30.00%	一般会計だけでなく、国民健康保険や下水道、水道事業などすべての特別会計を対象として、赤字を判断する指標（全会計の赤字の標準財政規模に対する比率）
実質公債費比率	4.5%	4.6%	25.0%	35.0%	市債の元利償還金等の一般会計等に対する負担を判断する指標（一般会計等が、負担しなければならない元利償還金等の標準財政規模に対する比率）
将来負担比率	—	—	350.0%		一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の一般会計等に対する負担を判断する指標（一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率）

※ 実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字のため「—」で表示している。

※ 将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回り、算定されなかったため「—」で表示している。

※ 連結実質赤字比率の財政再生基準については、3年間は経過的な基準となっている。

(20年度40%、21年度40%、22年度35%、23年度以降30%)

イ 資金不足比率

特別会計の名称	23年度決算	22年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	20.0%
簡易水道事業特別会計	—	—	20.0%
公共下水道事業特別会計	—	—	20.0%

※ 資金不足比率は、各会計で不足額が生じていないため「—」で表示している。

(4) 都市計画税の用途

平成23年度に実施した都市計画税充当対象事業費38億5,234万円（下水道事業含む）に対して、都市計画税17億1,837万円を次のとおり充当した。

対象事業		都市計画税充当額(千円)
街路事業	近鉄大久保駅前交通広場	230,605
	府営事業負担金	3,121
公園事業	植物公園整備	45
	黄檗公園再整備	248
下水道事業	下水道事業	210,866
その他事業	名木川改修 他	16,541
公債費（下水道事業分含む）		1,256,944
合 計		1,718,370

(5) 全会計市債等現在高

	23年度末 (千円)	22年度末 (千円)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
全会計市債等現在高	89,990,369	88,567,568	1,422,801	1.6
一般会計	43,650,325	41,868,442	1,781,883	4.3
墓地公園事業特別会計	85,413	92,090	△6,677	△7.3
簡易水道事業特別会計	432,071	363,472	68,599	18.9
飲料水供給施設事業特別会計	46,994	49,174	△2,180	△4.4
公共下水道事業特別会計	40,725,825	40,889,259	△163,434	△0.4
水道事業会計	5,049,741	5,305,131	△255,390	△4.8

(6) 平成23年度 普通会計決算状況調書

										262048		宇治市					
										(単位:千円)		市町村類型		IV - 3			
人口	国調	22年	189,609人	0.0%	面積		67.55km ²		交付税種地		I - 5						
		17年	189,591人	0.3%	人口密度	22国調	2,807人/km ²		産業構造	区分	第1次	第2次	第3次				
		12年	189,112人	2.3%		17国調	2,807人/km ²				22国調	496人	20,332人	55,538人			
	住基	H24.3.31	190,158人	△0.2%	人口集中地区人口	22国調	185,499人			17国調	0.6%	24.0%	65.6%				
		H23.3.31	190,539人	0.2%		17国調	185,370人				533人	24,219人	59,560人				
		H22.3.31	190,091人	0.2%	世帯数	H24.3.31	79,316世帯			0.6%	27.9%	68.6%					
区分		平成23年度	平成22年度	増減率	区分		平成23年度	平成22年度									
歳入総額	A	60,856,996	61,658,360	△1.3%	財政力指数(単年/3力年)		0.769	0.824	0.842	0.860							
歳出総額	B	60,283,229	60,805,169	△0.9%	歳出決算倍率		1.788		1.753								
歳入歳出差引(A-B)	C	573,767	853,191	△32.8%	実質収支比率		1.1%		1.1%								
翌年度に繰り越すべき財源	D	209,207	467,152	△55.2%	経常一財等比率		94.7%		86.5%								
実質収支(C-D)	E	364,560	386,039	△5.6%	公債費負担比率		12.8%		13.1%								
単年度収支	F	△ 21,479	△ 90,822	76.4%	公債費比率(単年/3力年)		7.4%	8.4%	8.5%	9.1%							
積立金	G	509,041	8,633	5796.5%	起債制限比率(単年/3力年)		5.3%	6.1%	6.2%	6.3%							
繰上償還金	H	0	0	-	地方債残高比率		127.1%		118.3%								
積立金取崩し額	I	0	880,000	皆減	実質債務残高比率		142.0%		141.2%								
実質単年度収支(F+G+H-I)	J	487,562	△ 962,189	150.7%	経常収支比率		90.1%		97.7%								
基準財政収入額		18,851,318	21,180,245	△11.0%	経常収支比率(臨財・減税除)		100.2%		108.3%								
基準財政需要額		24,514,887	25,144,617	△2.5%	健全化判断比率		平成23年度		平成22年度								
標準税収入額等		24,280,121	27,455,918	△11.6%	実質赤字比率		-		-								
標準財政規模 ※1		33,710,203	34,684,514	△2.8%	連結実質赤字比率		-		-								
地方債現在高		42,841,683	41,022,922	4.4%	実質公債費比率(単年/3力年)		4.1%	4.5%	3.6%	4.6%							
債務負担行為翌年度以降支出予定額		5,030,192	7,963,283	△36.8%	将来負担比率		-		-								
一般職の状況(H24.4.1)				特別職等の給料月額				収益事業収入:なし									
区分	平均年齢	職員数	平均給料月額	区分	1人あたり平均給料(報酬)	改定実施年月日	一部事務組合加入状況 城南衛生管理組合 淀川木津川水防事務組合 京都府自治会館管理組合 京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合 京都府後期高齢者医療広域連合 京都府地方税機構										
一般職員	38.53歳	812人	314,298円	市長	1,065,000円	H21.12.1より											
教育公務員	42.32歳	34人	345,588円	副市長	885,000円	"											
消防関係職員	38.58歳	209人	331,522円	教育長	775,000円	"											
技能労務職員	41.26歳	192人	330,452円	議長	635,000円	H15.12.1より											
臨時職員	-	-	-	副議長	585,000円	"											
合計	39.07歳	1,247人	320,525円	議員	535,000円	"											
ラスパイレ指数(H23.4.1)			100.9														
地方債現在高			基金現在高		会計別決算状況(決算統計数値)												
政府資金(旧郵政公社)	機構(旧公庫)	市中銀行	財政調整	2,949,327	会計名	歳入総額	歳出総額	他会計繰入金									
19,925,899	6,377,303	10,778,180	減債	1,939,197	国保特会	19,048,650	18,617,056	1,320,184									
保険会社等	その他	合計	土地開発	1,408,372	後期高齢特会	1,916,622	1,849,276	327,762									
148,700	5,611,601	42,841,683	退職手当	11,220	介護特会	10,669,055	10,528,163	1,516,022									
減収補てん債		臨時財政対策債	その他	3,815,926	簡水特会	161,227	159,787	51,183									
発行額	0	発行額	3,566,700	合計	10,124,042	下水特会	7,561,722	7,465,672	1,995,332								
		発行可能額	3,566,780														

※1 標準財政規模については、平成20年度より臨時財政対策債発行可能額を含んでいる

(単位:千円・%)

歳入							歳出(性質別)					
区分	決算額	構成比	経常一財等	構成比	区分	決算額	構成比	充当一財等	経常一財等	経常収支比率		
地方税	24,549,663	40.3	22,831,293	71.5	人件費	11,757,664	19.5	10,741,438	10,385,768	29.3		
地方譲与税	390,985	0.6	390,985	1.2	うち職員給	7,757,431	12.9	6,931,216	6,852,742	19.3		
利子割交付金	101,525	0.2	101,525	0.3	扶助費	15,655,363	26.0	4,592,972	4,549,860	12.8		
配当割交付金	68,515	0.1	68,515	0.2	公債費	5,057,096	8.4	4,953,202	4,953,202	14.0		
株式等譲渡所得割交付金	15,738	0.0	15,738	0.1	元利償還金	5,023,818	8.3	4,919,924	4,919,924	13.9		
地方消費税交付金	1,647,700	2.7	1,647,700	5.2	一借利子	33,278	0.1	33,278	33,278	0.1		
ゴルフ場利用税交付金	49,325	0.1	49,325	0.2	(義務的経費計)	32,470,123	53.9	20,287,612	19,888,830	56.1		
特別地方消費税交付金	0	0.0	0	0.0	物件費	5,450,159	9.0	4,106,775	3,464,991	9.8		
自動車取得税交付金	128,529	0.2	128,529	0.4	維持補修費	782,866	1.3	760,508	760,508	2.1		
地方特例交付金等	333,245	0.6	333,245	1.0	補助費等	4,361,175	7.2	3,988,510	3,355,506	9.5		
地方交付税	6,255,540	10.3	5,863,302	18.4	うち一組負担金	1,819,496	3.0	1,819,496	1,482,511	4.2		
普通交付税	5,863,302	9.6	5,863,302	18.4	積立金	669,789	1.1	597,194	-	-		
特別交付税	392,238	0.7	-	-	投・出・貸付金	2,410,547	4.0	5,439	5,439	0.0		
小計	33,540,765	55.1	31,430,157	98.5	繰入金	6,452,604	10.7	5,678,250	4,495,894	12.6		
交通安全対策特別交付金	35,806	0.1	35,806	0.1	前年度繰上充用金	0	0.0	0	歳入一財等総額			
分担金及び負担金	808,723	1.3	0	0.0	投資的経費	7,685,966	12.8	2,659,715	38,657,770			
使用料	1,390,452	2.3	346,862	1.1	うち人件費	64,029	0.1	61,629	経常一般財源等			
手数料	132,710	0.2	0	0.0	普通建設	7,682,426	12.8	2,659,715	31,912,408			
国庫支出金	10,646,904	17.5	-	-	補助	4,493,331	7.5	684,607	臨時一般財源等			
国有提供施設等交付金	69,339	0.1	69,339	0.2	単独	3,093,653	5.1	1,965,466	6,745,362			
府支出金	4,106,400	6.8	-	-	府営事業負担金	95,442	0.2	9,642	経常経費充当一財等			
財産収入	68,420	0.1	29,871	0.1	災害復旧	3,540	0.0	0	31,971,168			
寄付金	91,421	0.2	-	-	歳出合計	60,283,229	100.0	38,084,003				
繰入金	135,040	0.2	-	-	歳出(目的別)							
繰越金	853,191	1.4	-	-	区分	決算額 A	構成比	うち普通建設	Aの充当一財等			
諸収入	2,762,125	4.5	373	0.0	議会費	508,360	0.8	0	508,360			
地方債	6,215,700	10.2	-	-	総務費	5,273,222	8.8	145,350	4,712,326			
歳入合計	60,856,996	100.0	31,912,408	100.0	民生費	24,476,586	40.6	449,320	11,643,866			
市町村税の状況							衛生費	4,300,363	7.1	119,818	3,788,122	
							労働費	180,685	0.3	0	16,284	
法定普通税	区分	徴収済額	構成比	前年比	基準税額/0.75	超過課税分	農林水産業費	298,420	0.5	49,086	215,619	
	市民税	個人均等割	252,856	1.0	0.5	251,635	-	商工費	1,791,560	3.0	10,836	390,587
		所得割	9,264,680	37.7	△ 1.7	10,142,728	-	土木費	7,556,558	12.5	2,070,047	5,006,649
		法人均等割	384,293	1.6	0.9	344,981	63,099	消防費	2,094,597	3.5	264,419	1,894,663
		法人税割	2,189,581	8.9	5.1	1,109,221	356,755	教育費	8,742,242	14.5	4,573,550	4,954,325
	固定資産税	9,502,640	38.7	1.5	9,215,437	-	災害復旧費	3,540	0.0	-	0	
	うち純固定資産税	9,400,449	38.3	1.5	-	-	公債費	5,057,096	8.4	-	4,953,202	
	軽自動車税	208,340	0.9	2.4	211,689	-	諸支出金	0	0.0	0	0	
	市町村たばこ税	1,028,802	4.2	13.1	824,239	-	前年度繰上充用金	0	0.0	-	0	
	特別土地保有税	101	0.0	△ 99.9	-	-	合計	60,283,229	100.0	7,682,426	38,084,003	
計	22,831,293	93.0	0.6	22,099,930	419,854	市税徴収率						
目的税	都市計画税	1,718,370	7.0	1.4	-	-	うち市民税	うち資産税		合計		
	計	1,718,370	7.0	1.4	-	-	現年	98.48	97.60	98.13		
合計	24,549,663	100.0	0.6	22,099,930	419,854	合計	93.89	91.42	92.89			

(7) 普通会計における財務書類4表

財務書類4表は、「貸借対照表」「行政コスト計算書」「純資産変動計算書」「資金収支計算書」の4つの書類により構成されている。本市では、平成20年度決算から「総務省方式改訂モデル」により財務書類の作成を行っている。

ア 貸借対照表

会計年度末における、本市の財政状態を表す。「資産の部」に計上している財産をどのような財源で調達したかについて、将来世代の負担部分を「負債の部」に、過去・現役世代の負担部分を「純資産の部」に計上している。

イ 行政コスト計算書

一会計期間における、資産形成を伴わない経常的な行政活動に伴う費用の状況を表す。「経常行政コスト」には、経常的な行政サービスを提供するために発生したコストを計上し、「経常収益」には、行政サービスの対価としての収入、すなわち受益者負担相当分を計上している。

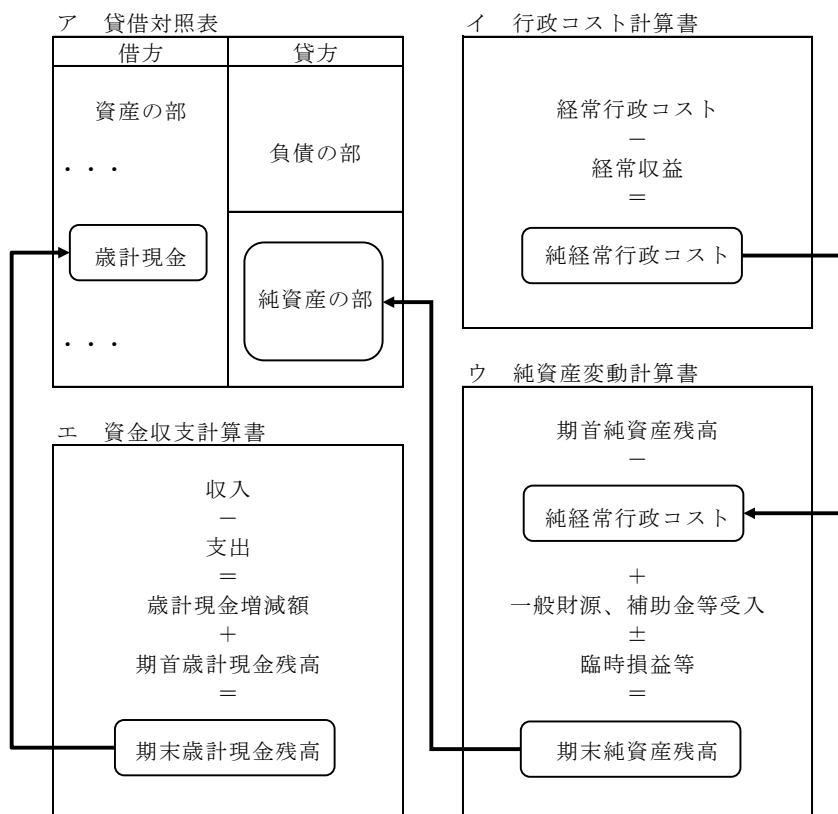
ウ 純資産変動計算書

一会計期間において、「貸借対照表」の「純資産の部」に計上されている各項目がどのように変動したかを表す。主な純資産の減少要因としては、「行政コスト計算書」で算出した「純経常行政コスト」、増加要因としては、市税・地方交付税等の「一般財源」、国・京都府からの「補助金受入」等が挙げられる。

エ 資金収支計算書

一会計期間における、本市の行政活動に伴う現金等の資金の流れを、性質の異なる3つの活動に分けて表す。「期首歳計現金残高」は前年度普通会計の形式収支であり、「期末歳計現金残高」は当該年度普通会計の形式収支と一致する。

<財務書類4表の相関図>



貸借対照表
(平成24年 3月31日現在)

(単位：千円)

借 方		貸 方	
[資産の部]		[負債の部]	
1 公共資産		1 固定負債	
(1) 有形固定資産		(1) 地方債	38,305,661
生活インフラ・国土保全	101,117,682	(2) 長期未払金	
教育	59,495,253	物件の購入等	0
福祉	6,599,798	債務保証又は損失補償	0
環境衛生	3,488,663	その他	0
産業振興	3,352,766	長期未払金計	0
消防	2,753,424	(3) 退職手当引当金	8,376,835
総務	12,573,853	(4) 損失補償等引当金	577,921
有形固定資産合計	189,381,439	固定負債合計	47,260,417
(2) 売却可能資産	76,778	2 流動負債	
公共資産合計	189,458,217	(1) 翌年度償還予定地方債	4,536,022
2 投資等		(2) 短期借入金(翌年度繰上充用金)	
(1) 投資及び出資金		(3) 未払金	
投資及び出資金	499,030	(4) 翌年度支払予定退職手当	1,127,839
投資損失引当金		(5) 賞与引当金	624,577
投資及び出資金計	499,030	流動負債合計	6,288,438
(2) 貸付金	107,583	負債合計	53,548,855
(3) 基金等			
退職手当目的基金	11,220	[純資産の部]	
その他特定目的基金	3,815,926	1 公共資産等整備国庫補助金等	30,018,093
土地開発基金	1,408,372	2 公共資産等整備一般財源等	144,162,791
その他定額運用基金	6,000	3 その他一般財源等	25,532,541
退職手当組合積立金		4 資産評価差額	3,921
基金等計	5,241,518	純資産合計	148,652,264
(4) 長期延滞債権	1,499,278		
(5) 回収不能見込額	443,337		
投資等合計	6,904,072		
3 流動資産			
(1) 現金預金			
財政調整基金	2,949,327		
減債基金	1,939,197		
歳計現金	573,767		
現金預金計	5,462,291		
(2) 未収金			
地方税	458,059		
その他	81,488		
回収不能見込額	163,008		
未収金計	376,539		
流動資産合計	5,838,830		
資 産 合 計	202,201,119	負債・純資産合計	202,201,119

1 他団体及び民間への支出金により形成された資産

生活インフラ・国土保全	2,195,495 千円
教育	12,789 千円
福祉	3,220,029 千円
環境衛生	343,177 千円
産業振興	1,160,816 千円
消防	3,924 千円
総務	2,070,091 千円
計	9,006,321 千円

2 債務負担行為に関する情報

物件の購入等	3,614,034 千円
債務保証又は損失補償	7,535,000 千円
(うち共同発行地方債に係るもの)	0 千円
その他	1,416,158 千円

3 地方債残高(翌年度償還予定額を含む)のうち 34,110,134千円については、償還時に地方交付税の算定の基礎に含まれることが見込まれているものです。

4 普通会計の将来負担に関する情報

[内訳]

項目	金額	[内訳]	
		負債計上 【(翌年度償還予定) 地方債・(長期) 未払金・引当金】	注記 【契約債務・偶発債 務】
普通会計の将来負担額	80,244,483 千円		
[内訳] 普通会計地方債残高	42,841,683 千円	42,841,683 千円	
債務負担行為支出予定額	2,174,562 千円	0 千円	2,174,562 千円
公営事業地方債負担見込額	23,225,093 千円		23,225,093 千円
一部事務組合等地方債負担見込額	1,920,550 千円		千円
退職手当負担見込額	9,504,674 千円	9,504,674 千円	
第三セクター等債務負担見込額	577,921 千円	577,921 千円	千円
連結実質赤字額	0 千円		千円
一部事務組合等実質赤字負担額	0 千円		千円
基金等将来負担軽減資産	82,118,277 千円		
[内訳] 地方債償還額等充当基金残高	10,123,274 千円		
地方債償還額等充当歳入見込額	16,195,462 千円		
地方債償還額等充当交付税見込額	55,799,541 千円		
(差引)普通会計が将来負担すべき実質的な負債	1,873,794 千円		

5 有形固定資産のうち、土地は78,006,961千円です。また、有形固定資産の減価償却累計額は 76,437,735千円です。

行政コスト計算書
〔自平成23年4月1日
至平成24年3月31日〕

(単位：千円)

【経常行政コスト】

	総額	(構成比率)	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	議会	支払利息	回収不能 見込計上額	その他
(1) 人件費	9,890,107	20.0%	1,204,367	1,470,524	2,061,599	944,670	219,715	1,600,874	1,947,257	441,101			0
(2) 退職手当引当金繰入等	1,149,853	2.3%	116,229	240,108	197,994	90,725	21,101	153,747	287,586	42,363			0
(3) 賞与引当金繰入額	624,577	1.3%	63,941	97,342	115,599	52,970	12,320	89,765	167,907	24,733			0
小計	11,664,537	23.6%	1,384,537	1,807,974	2,375,192	1,088,365	253,136	1,844,386	2,402,750	508,197			0
(1) 物件費	5,450,159	11.0%	491,579	1,561,208	658,370	1,350,633	264,199	104,184	991,116	28,870			0
(2) 維持補修費	782,866	1.6%	693,596	65,023	6,006	203	400	850	16,788	0			
(3) 減価償却費	4,146,708	8.4%	1,793,151	1,111,912	207,539	230,482	166,574	202,382	434,668	0			
小計	10,379,733	21.0%	2,978,326	2,738,143	871,915	1,581,318	431,173	307,416	1,442,572	28,870	0		0
(1) 社会保障給付	15,655,363	31.7%		157,941	15,497,422	0							
(2) 補助金等	4,356,293	8.8%	99,478	543,504	1,228,070	1,781,194	317,713	27,773	344,679	13,882			0
(3) 他会計等への支出額	6,455,714	13.1%	1,995,332	0	4,404,317	56,065	0	0	0	0			0
(4) 他団体への 公共資産整備補助金等	220,930	0.4%	98,162	0	52,497	3,816	45,404	0	21,051	0			0
小計	26,688,300	54.0%	2,192,972	701,445	21,182,306	1,841,075	363,117	27,773	365,730	13,882			0
(1) 支払利息	660,157	1.3%							660,157				
(2) 回収不能見込計上額	56,501	0.1%									56,501		
(3) その他行政コスト	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0			0
小計	716,658	1.4%	0	0	0	0	0	0	660,157	0	56,501		0
経常行政コスト a	49,449,228		6,555,835	5,247,562	24,429,413	4,510,758	1,047,426	2,179,575	4,211,052	550,949	660,157	56,501	0
(構成比率)			13.3%	10.6%	49.4%	9.1%	2.1%	4.4%	8.5%	1.1%	1.4%	0.1%	0.0%

【経常収益】

1 使用料・手数料	b	1,523,378	268,288	226,717	208,513	266,880	29,047	842	84,863	0	91,366		0	346,862
2 分担金・負担金・寄附金	c	910,528	0	0	774,457	6,057	0	2,616	87,221	0	0		0	40,177
経常収益合計	d	2,433,906	268,288	226,717	982,970	272,937	29,047	3,458	172,084	0	91,366		0	387,039
(d/a)		4.9%	4.1%	4.3%	4.0%	6.1%	2.8%	0.2%	4.1%	0.0%	13.8%		0.0%	
(差引) 純経常行政コスト	d	47,015,322	6,287,547	5,020,845	23,446,443	4,237,821	1,018,379	2,176,117	4,038,968	550,949	568,791	56,501	0	387,039
(一般財源 振替額)														

純資産変動計算書

〔 自 平成23年 4月 1日
至 平成24年 3月31日 〕

(単位：千円)

	純資産合計	公共資産等整備 国県補助金等	公共資産等整備 一般財源等	その他 一般財源等	資産評価差額
期首純資産残高	146,832,621	28,843,419	141,733,989	23,749,713	4,926
純経常行政コスト	47,015,322			47,015,322	
一般財源					
地方税	24,502,596			24,502,596	
地方交付税	6,255,540			6,255,540	
その他行政コスト充当財源	3,330,728			3,330,728	
補助金等受入	14,753,304	1,868,385		12,884,919	
臨時損益	6,198			6,198	
災害復旧事業費	3,540			3,540	
公共資産除売却損益	0			0	
投資損失	0			0	
損失補償等引当金繰入等	2,658			2,658	
科目振替					
公共資産整備への財源投入			2,966,882	2,966,882	
公共資産処分による財源増		0	15,183	15,183	0
貸付金・出資金等への財源投入			3,082,108	3,082,108	
貸付金・出資金等の回収等による財源増		0	2,540,875	2,540,875	0
減価償却による財源増		693,711	3,452,997	4,146,708	0
地方債償還に伴う財源振替			2,751,684	2,751,684	
資産評価替えによる変動額	1,005				1,005
無償受贈資産受入	0				0
その他	0		362,817	362,817	
期末純資産残高	148,652,264	30,018,093	144,162,791	25,532,541	3,921

資金収支計算書

〔自 平成23年 4月 1日
至 平成24年 3月31日〕

(単位：千円)

1 経常的収支の部	
人件費	11,821,693
物件費	5,450,159
社会保障給付	15,655,363
補助金等	4,352,821
支払利息	660,157
他会計等への事務費等充当財源繰出支出	4,497,225
その他支出	786,406
支出合計	43,223,824
地方税	24,549,663
地方交付税	6,255,540
国県補助金等	12,835,406
使用料・手数料	1,523,162
分担金・負担金・寄附金	900,144
諸収入	2,755,985
地方債発行額	3,567,700
基金取崩額	135,040
その他収入	487,647
収入合計	53,010,287
経常的収支額	9,786,463

2 公共資産整備収支の部	
公共資産整備支出	7,397,467
公共資産整備補助金等支出	220,930
他会計等への建設費充当財源繰出支出	195,148
支出合計	7,813,545
国県補助金等	1,906,196
地方債発行額	2,648,000
基金取崩額	0
その他収入	6,602
収入合計	4,560,798
公共資産整備収支額	3,252,747

3 投資・財務的収支の部	
投資及び出資金	0
貸付金	2,410,547
基金積立額	669,789
定額運用基金への繰出支出	1,772
他会計等への公債費充当財源繰出支出	1,766,813
地方債償還額	4,396,939
長期未払金支払支出	0
支出合計	9,245,860
国県補助金等	11,702
貸付金回収額	2,405,835
基金取崩額	0
地方債発行額	0
公共資産等売却収入	15,183
その他収入	0
収入合計	2,432,720
投資・財務的収支額	6,813,140

翌年度繰上充入金増減額	0
当年度歳計現金増減額	279,424
期首歳計現金残高	853,191
期末歳計現金残高	573,767

1 一時借入金に関する情報

資金収支計算書には一時借入金の増減は含まれていません。
平成23年度における一時借入金の借入限度額は10,000,000千円です。
支払利息のうち、一時借入金利子は33,278千円です。







2 基礎的財政収支（プライマリーバランス）に関する情報

収入総額	60,003,805
地方債発行額	6,215,700
財政調整基金等取崩額	0
支出総額	60,283,229
地方債償還額	5,023,818
財政調整基金等積立額	567,036
基礎的財政収支	904,270

部門別決算成果概要

平成 2 3 年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	02 国際化の推進と平和への貢献	
小分類	01 国際化・広域交流活動の推進	


事務事業名	国際交流促進事業	所管課	秘書課																				
		決算額	5,000千円																				
事業内容	友好都市盟約の趣旨に則り、両市の友好交流を促進する。																						
成果・実績	<p>咸陽市への公式訪問団、カムループス市への中学生訪問団、トンプソン・リバーズ大学への市民留学生の派遣などにより、友好都市との交流を深めた。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">咸陽市交流促進費</td> <td style="text-align: right;">848千円</td> <td rowspan="3" style="width: 20%; text-align: center;"></td> </tr> <tr> <td>・宇治市公式訪問団の派遣</td> <td></td> </tr> <tr> <td>行政訪問団員4人</td> <td style="text-align: right;">11月14日～19日</td> </tr> <tr> <td>市民訪問団員9人及び行政訪問団員1人</td> <td style="text-align: right;">11月14日～21日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カムループス市交流促進費</td> <td style="text-align: right;">4,152千円</td> <td rowspan="3" style="width: 20%; text-align: center;"></td> </tr> <tr> <td>・中学生訪問団の派遣</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中学生10人及び引率者2人</td> <td style="text-align: right;">8月2日～9日</td> </tr> <tr> <td>・トンプソン・リバーズ大学市民留学生の派遣</td> <td style="text-align: right;">2人</td> <td></td> </tr> </table>			咸陽市交流促進費	848千円		・宇治市公式訪問団の派遣		行政訪問団員4人	11月14日～19日	市民訪問団員9人及び行政訪問団員1人	11月14日～21日		カムループス市交流促進費	4,152千円		・中学生訪問団の派遣		中学生10人及び引率者2人	8月2日～9日	・トンプソン・リバーズ大学市民留学生の派遣	2人	
咸陽市交流促進費	848千円																						
・宇治市公式訪問団の派遣																							
行政訪問団員4人	11月14日～19日																						
市民訪問団員9人及び行政訪問団員1人	11月14日～21日																						
カムループス市交流促進費	4,152千円																						
・中学生訪問団の派遣																							
中学生10人及び引率者2人	8月2日～9日																						
・トンプソン・リバーズ大学市民留学生の派遣	2人																						
事業評価	公式訪問団や中学生の派遣などによって、市民間の国際交流を促進し、友好を深めることができた。今後は、より多くの分野での市民間交流が発展していくよう、交流手法とその支援のあり方について検討する。																						

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
市長公室

事務事業名	市長を囲んで「宇治茶でミーティング」事業費	所管課	秘書課															
		決算額	65千円															
事業内容	<p>将来を担う20歳から30歳代の世代が政治への関心度が低いといわれる中、市政への関心や参加意識の向上を図るために、若い世代が積極的に市政に参加する風土を創造する。また、市長が直接若い世代の意見を聞き、それを市政に反映することが可能となる。</p>																	
成果・実績	<p>第14回から第16回までの3回を開催した。また、第16回は初めてミーティングを収録しFMうじで放送された。</p>																	
	 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第14回</td> <td>7月29日</td> <td>地産地消 ～宇治市産農産物で豊かな食生活を～</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>10月25日</td> <td>もりあげよう京都国文祭・ 広げよう文化の輪</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>第16回</td> <td>平成24年1月10日(収録) 平成24年1月17日(放送) 平成24年1月22日(放送)</td> <td>私たちにできる防災まちづくり宇治 ～東日本大震災を通じて、 今できることをできるうちに～</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>				開催日	テーマ	参加人数	第14回	7月29日	地産地消 ～宇治市産農産物で豊かな食生活を～	6	第15回	10月25日	もりあげよう京都国文祭・ 広げよう文化の輪	7	第16回	平成24年1月10日(収録) 平成24年1月17日(放送) 平成24年1月22日(放送)	私たちにできる防災まちづくり宇治 ～東日本大震災を通じて、 今できることをできるうちに～
	開催日	テーマ	参加人数															
第14回	7月29日	地産地消 ～宇治市産農産物で豊かな食生活を～	6															
第15回	10月25日	もりあげよう京都国文祭・ 広げよう文化の輪	7															
第16回	平成24年1月10日(収録) 平成24年1月17日(放送) 平成24年1月22日(放送)	私たちにできる防災まちづくり宇治 ～東日本大震災を通じて、 今できることをできるうちに～	7															
事業評価	<p>意見交換会の開催によって、若い世代の市政参加意識を高めることができた。今後も、参加者が市政への関心や参加意識を高め、行政が幅広い市民ニーズや市民意見を聴く機会となるよう、実施方法や効果を検証する。</p>																	

事務事業名	公用車購入費	所管課	秘書課											
		決算額	11,813千円											
事業内容	<p>安全で効率的な自動車運行の確保及び車両の適正配置を実施するため車両の更新等を行う。車両更新にあたっては、環境面への影響に配慮した車両の導入を行う。</p>													
成果・実績	<p>耐用年数の経過した車両を一定の低燃費かつ低排出ガスの車両に更新を行った。 また、1台を電気自動車に切換え、延べ5,068kmを走行し、環境保全・地球温暖化対策を図った。</p>													
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>公用車購入費</td> <td>11,813千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽自動車</td> <td>11台</td> <td>7,873千円</td> </tr> <tr> <td>電気自動車</td> <td>1台</td> <td>3,830千円</td> </tr> <tr> <td>原動機付自転車</td> <td>1台</td> <td>110千円</td> </tr> </tbody> </table>			公用車購入費	11,813千円		軽自動車	11台	7,873千円	電気自動車	1台	3,830千円	原動機付自転車	1台
公用車購入費	11,813千円													
軽自動車	11台	7,873千円												
電気自動車	1台	3,830千円												
原動機付自転車	1台	110千円												
事業評価	 <p>電気自動車</p>													
	<p>安全で効率的な車両運行を実施するための車両更新が行えた。また、更新にあたって環境面に最も配慮した電気自動車の導入が行えた。今後も、環境面に配慮した車両の更新に努める。</p>													

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	05 効果的な組織機構の確立と職員の人材育成

所管部局
市長公室

事務事業名	職員研修費	所管課	人事課
事業内容	宇治市職員の研修に関する規程に基づき、職務の遂行に必要な知識、技能の向上を図るとともに、職員としての資質と教養を高めるため、職員研修を実施する。		
成果・実績	<p>団塊の世代の大量退職の中で受け継いだノウハウを発展的に活用するため、第2次宇治市人材育成実施計画に基づく研修を実施し、職員の育成に努めた。</p> <p>主な研修</p> <p>監督者研修...係長級職員を対象に監督者に求められるマネジメント能力の向上を目指し、その役割を認識させるとともに意識改革を図った。</p> <p>新任監督者研修...部下・後輩の効果的な育成を目指し、信頼関係の構築ができるようコーチング研修を行い、監督者としての資質の向上を図った。</p> <p>新任管理職研修...職場の労務管理やサービス、また地方公務員に必要な労働基準法について研修を行い、管理職としての資質の向上を図った。</p> <p>宇治市の目指す職員像</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)市政の基本理念をよく理解し、市民の立場に立って考え、親切・公正かつ迅速に行動できる倫理観の強い職員 (2)高い見識と専門能力を持ち、総合的に考えることのできる職員 (3)常に問題意識を持って、創意工夫と改善に努める職員 (4)行政環境の変化に的確に対応し、時代を先取りできる創造力豊かな職員 (5)自分自身の成長目標を持ち、自己啓発に努める向上心の強い職員 <p>第2次宇治市人材育成実施計画</p> <p>人材育成の重点目標 ~ノウハウの継承・実践から、発展的活用に向けて~</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)ベテラン職員から引き継いでいる知恵や知識を、実践し、活用・発展させる (2)新規採用・初級・中級といった各階層職員の実務能力向上を図る (3)管理監督者の管理能力向上を速やかに図る <p>基本研修</p> <p>新規採用職員研修、初級職員研修、中級職員研修、監督者研修、管理職研修など</p> <p>特別研修</p> <p>人権研修、安全運転研修、普通救命講習会、OA研修、法務研修、選択研修など</p> <p>派遣研修</p> <p>京都市町村振興協会、市町村職員中央研修所、自治大学校など</p>		
	事業評価	<p>各種研修の実施によって、職務の遂行に必要な知識、技能の向上等を図った。今後も、階層別職員の実務能力の向上や管理監督者の管理能力の向上のための研修などにより計画的な人材育成に取り組むとともに、研修効果について検証していく。</p>	



監督者研修の様子
(平成24年2月2・3日)



新規採用職員第2次研修の様子
(9月27・28日)

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

事務事業名	職員健康管理費	所管課	職員厚生課
		決算額	19,961千円
事業内容	職員の健康管理、疾病予防のための各種健診業務及びメンタルヘルス対策を講じるための相談業務等を実施する。		
成果・実績	<p>定期健康診断等（文書報告含む）の受診率は99.6%であり、生活習慣改善教室や産業医による個別指導等の事業を実施し、職員の意識向上に努めた。</p> <p>メンタルヘルス対策については、平成18年に策定した「宇治市職員のメンタルヘルスケアプラン」に基づき予防から再発防止までのメンタルヘルス対策の推進を図った。</p> <p>安全衛生法の改正に伴い、月45時間以上の超過勤務者（延べ440人）に対し健康調査を実施し、健康状態の把握に努めるとともに、特に月80時間超（延べ26人）及び月100時間超（延べ17人）の超過勤務者を含む74人に対して産業医による面接指導を実施し、メンタルヘルス不調や疾病予防に努めた。</p> <p>職員健康管理医師報酬 1,440千円 安全衛生委員会の運営等（産業医・安全・衛生管理業務、安全衛生小委員会の開催）、長時間超過勤務者の面談</p> <p>心の相談等医師謝礼（メンタルヘルス対策） 769千円 相談事業の実施、メンタルヘルス研修会、メンタルヘルス対策の推進</p> <p>職員（嘱託含む）健診手数料 11,141千円 定期健康診断、B型肝炎血液検査・ワクチン接種、深夜業務健康診断等</p> <p>委託料 6,031千円 二次健診、生活習慣改善教室・個別指導、頸腕・腰痛健康診断、VDT作業従事者健康診断、各種健診の有所見者事業、卒煙セミナー等禁煙指導</p>		
事業評価	労働安全衛生法に基づき、事業者として本市職員の定期健康診断をはじめ、各種健診等を実施し、健康状態の把握と増進を図ることができた。今後も心身の両面にわたり、職員の健康保持増進に努める必要がある。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	02 情報公開の充実	

事務事業名	情報公開審査会委員報酬 5人分	所管課	広報課
		決算額	326千円
事業内容	情報公開制度の適正かつ公平な運用を図るため、市長の附属機関として宇治市情報公開審査会（知識経験者5名）を設置し、審査にあたる。		
成果・実績	公文書非公開決定等に係る不服申立はなかったが、平成22年度に提起された不服申立事案を審議するため、情報公開審査会を4回開催した。		
事業評価	審査会を開催し、情報公開制度の公正な運用を図るとともに、委員報酬の支払い等適正に実施した。今後も円滑な委員会運営に努める。		

事務事業名	情報公開事務費	所管課	広報課										
		決算額	67千円										
事業内容	市が保有する公文書の閲覧または写しの交付を請求することができる市民の知る権利を具体的に保障する宇治市情報公開条例に沿って、市政への積極的な参加と公正な市政を推進し、市民生活の向上を図る。												
成果・実績	<p>市が保有する情報を公開することにより、市政に対する市民の理解と信頼を深め、公正な市政を推進した。</p> <p>公文書公開請求 224件</p> <p style="text-align: center;">(件)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>全部公開</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>部分公開</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>非公開 (うち不存在)</td> <td>12 (11)</td> </tr> <tr> <td>取下</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不服申立</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>市出資法人（宇治市土地開発公社など8法人）に対する文書公開申出 0件</p>			全部公開	79	部分公開	132	非公開 (うち不存在)	12 (11)	取下	1	不服申立	0
全部公開	79												
部分公開	132												
非公開 (うち不存在)	12 (11)												
取下	1												
不服申立	0												
事業評価	情報公開請求に応じ公開等の決定を行い、公文書の閲覧、写しの交付等、適正な事務執行によって公正な市政を推進することができた。今後も制度の円滑な運用に努める。												

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	02 情報公開の充実

所管部局
市長公室

事務事業名	個人情報保護審議会委員報酬 8人分	所管課	広報課
		決算額	85千円
事業内容	個人情報を保護しその公正な運用を図るため、市長の附属機関として宇治市個人情報保護審議会（知識経験者5名、市民代表3名）を設置し、審議を行う。		
成果・実績	個人情報開示請求等に係る不服申立はなかった。平成22年度の運用状況報告等のために宇治市個人情報保護審議会を1回開催した。		
事業評価	審議会を開催し、個人情報保護の公正な運用を図るとともに、委員報酬の支払い等適正に実施した。今後も円滑な委員会運営に努める。		

事務事業名	個人情報事務費	所管課	広報課								
		決算額	53千円								
事業内容	宇治市個人情報保護条例は、行政の保有する個人情報に対するアクセス権及びコントロール権を具体的に保障し、個人の権利利益の保護を図るものである。情報公開制度とあわせ、制度の円滑な運用を行うことにより、より充実した豊かな市民生活を実現する。										
成果・実績	<p>個人情報の適正な取扱いを確保し、個人の権利・利益の保護を図った。</p> <p>これまでの個人情報流出事案については、人事異動や担当業務再編などに伴い、特に新年度当初の4月及び5月に発生する傾向がみられることから、年度当初に職員が個人情報保護についての正しい認識と、緊張感を持って個人情報の取扱いを行うよう徹底を図った。平成23年度においては、個人情報の厳正な取扱いについて、3回にわたり徹底を図った。</p> <p>自己情報の開示請求 20件</p> <p style="text-align: center;">(件)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">全部開示</td> <td style="padding: 2px; text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">部分開示</td> <td style="padding: 2px; text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">不開示 (うち不存在)</td> <td style="padding: 2px; text-align: center;">8 (8)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">不服申立</td> <td style="padding: 2px; text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table> <p>市が出資する法人（宇治市土地開発公社など8法人）に対しての 自己情報の開示申出等 0件</p> <p>口頭での簡易な手続きによる開示請求(職員採用試験の結果のみが対象) 103件</p>			全部開示	7	部分開示	5	不開示 (うち不存在)	8 (8)	不服申立	0
全部開示	7										
部分開示	5										
不開示 (うち不存在)	8 (8)										
不服申立	0										
事業評価	個人情報の取扱い事務登録簿の整備、個人情報開示請求の受付、開示の決定・通知など、適切に実施し、市が管理する個人情報の保護施策について、適正に運用することができた。今後も制度の円滑な運用に努める。										

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	03 広報・広聴活動の充実	

事務事業名	市政だより発行費	所管課	広報課										
		決算額	25,431千円										
事業内容	市の行政に関することを市民に知らせるため、広報紙「市政だより」を月2回（1日・15日）発行する。												
成果・実績	<p>写真やイラストを活かし、見やすくわかりやすい市政情報の提供に取り組んだ。また有料広告の掲載を実施した。さらに、新聞折込だった配布方法を、6月1日号よりポスティング配布へと変更したことにより、市政だよりの全戸配布体制が整った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">年間発行部数</td> <td style="text-align: right;">1,949,700部</td> </tr> <tr> <td>ポスティング配布部数</td> <td style="text-align: right;">1,686,561部</td> </tr> <tr> <td>新聞折込部数</td> <td style="text-align: right;">216,600部</td> </tr> <tr> <td>郵送部数</td> <td style="text-align: right;">13,170部</td> </tr> <tr> <td>その他の配布等</td> <td style="text-align: right;">33,369部</td> </tr> </table>			年間発行部数	1,949,700部	ポスティング配布部数	1,686,561部	新聞折込部数	216,600部	郵送部数	13,170部	その他の配布等	33,369部
年間発行部数	1,949,700部												
ポスティング配布部数	1,686,561部												
新聞折込部数	216,600部												
郵送部数	13,170部												
その他の配布等	33,369部												
事業評価	紙面の充実と配布体制の見直しにより、市民への市政情報の提供の充実を図ることができた。今後も見やすくわかりやすい市政情報の発信に努める。												

事務事業名	コミュニティ放送広報活動費	所管課	広報課
		決算額	23,530千円
事業内容	災害時において、有効な情報伝達媒体として活用することができるコミュニティ放送は市民に身近で手軽なメディアである。コミュニティ放送は常時の市政情報の発信と災害時に有効な情報伝達媒体であり、特質を十分活かして、地域の生活文化の発信基地として地域に密着した番組をきめ細かく提供する。		
成果・実績	FMうじに月曜日から金曜日まで毎日30分間、市政情報を伝える番組を提供したほか、環境問題や男女共同参画などの啓発スポットを流した。		
事業評価	市内唯一のコミュニティ放送であるエフエム宇治放送によって、市民に広く市政情報の発信ができた。今後も市民にとって有用な情報発信を行う。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	03 広報・広聴活動の充実	

事務事業名	映像広報活動費	所管課	広報課
		決算額	3,180千円
事業内容	15分テレビ番組を制作（委託）して、行政の施策をはじめ市民生活、イベント、文化、体育などの行政情報を、映像でわかりやすく放映する。また、手話通訳を画面に取り入れ、聴覚障害者にとってもわかりやすい番組づくりとしている。		
成果・実績	テレビによる広報活動として、15分番組「さわやか宇治」を年2回、新春特別番組を1回、京都テレビで放送して市の宣伝に努めた。第26回国民文化祭京都2011と地域防災力の向上について放映し、わかりやすく親しみやすい番組作りに努めた。		
事業評価	テレビを活用した広報活動により、市内外の多くの人に宣伝を図ることができた。今後も時宜に応じた番組づくりを行い、市の広報に努める。		

事務事業名	広報活動費	所管課	広報課
		決算額	2,513千円
事業内容	広報活動の充実のために、報道機関に対する報道連絡、記者発表の開催、市ホームページの運用などを行う。		
成果・実績	宇治日刊記者クラブ（8社）と宇治日刊地方記者クラブ（2社）に対し、報道資料の提供や記者発表を行った。 また過去に発行した市政だよりの全てをホームページに掲載するなど、ホームページの充実に努めた。		
事業評価	市ホームページ、報道機関への報道連絡などによる情報提供により市内外の多くの人に市政情報を発信し、市の宣伝を図ることができた。今後も広報活動の充実に努める。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	03 広報・広聴活動の充実

所管部局
市長公室

事務事業名	市民カレンダー等発行費	所管課	広報課
		決算額	4,752千円
事業内容	市民生活に関わりの深い情報や市政情報を提供するため、市民カレンダーを毎年発行する。		
成果・実績	市民カレンダーを83,500部発行し、市の行事予定のほか、災害時避難場所・給水場所マップ・福祉避難所、市内公共施設等マップ、資源ごみの分別収集方法、各種相談あんない、保健予防年間日程、主な市の施設・市内の官公署一覧を掲載した。 また自治会・町内会へ依頼していた配布を、ポスティング配布へと変更し、全戸配布体制が整った。		
事業評価	市民への市政情報を提供することができた。今後も創意工夫をし、より市民の利便性を向上させる。		

平成 2 3 年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	03 広報・広聴活動の充実	

事務事業名	広聴事務費	所管課	広報課
		決算額	478千円
事業内容	市民の行政に対する苦情や要望及び困り事などについての相談機関として、関係各課及び他の行政機関に事案の解決を図るべく依頼要請を行うなどして市民の生活環境の向上を図る。		
成果・実績	<p>市民相談</p> <p>行政に対する市民の理解と協力を求めるとともに、充実した市政を実現することを目指し、市民相談・行政懇談会等の内容を関係部課へ伝えて適切な措置を求め、市政に反映するよう努めた。あわせて、総務省主催の行政相談会への協力を行った。</p> <p>さらに、市役所、公民館、コミュニティセンターなどの公共施設29カ所に設置している「市民の声」投書箱により、より広い範囲から市政に対する意見、提言などを求めた。</p> <p>なお、市民相談では、近隣関係、相続、夫婦・親子、金銭貸借など市民の個々の悩みごと、心配ごとなど日常生活上での諸問題についても、専門的な相談機関を紹介する等の対応を行い、市政への親しみと信頼感の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民相談 1,210件 (市政相談923件、他の行政機関等38件、民事相談ほか249件) ・行政懇談会 13回 ・行政相談会 12回 (毎月第3木曜日) <p>市政モニター</p> <p>広く全市的視野に立った調査広聴として市政モニター制度を実施した。 市政モニター176人(平成24年3月31日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政モニターアンケート(2回5テーマ実施) <ul style="list-style-type: none"> 第1回アンケート(回収率79.1%) <ul style="list-style-type: none"> 住宅用火災警報器に関するアンケート 宇治市の広報に関するアンケート 宇治の歴史・文化に関するアンケート 第2回アンケート(回収率75.6%) <ul style="list-style-type: none"> 家庭系ごみの年末・年始収集日程に関するアンケート 生涯学習に関する意識・実態調査に関するアンケート ・市政モニター公共施設見学会(2回実施) <ul style="list-style-type: none"> 市政について理解を深め、市政モニター活動の参考となるよう実施した。 第1回 7月12日 エコ・ポート長谷山、クリーン21長谷山 第2回 12月10日 うじ安心館 ・市政モニター随時通信 15テーマ ・市政モニターのつどい(5月26日) <ul style="list-style-type: none"> 「市政モニター制度について」、「宇治市第5次総合計画について」 		
事業評価	市民相談や市政モニターへのアンケート調査などを行い、市民ニーズの把握をするとともに市民の要望を市政に反映できた。今後も幅広く市民ニーズを把握できるよう広聴手法を充実させる。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり

所管部局
市長公室

事務事業名	防災対策推進事業費	所管課	危機管理課																			
		決算額	4,632千円																			
事業内容	地域の防災力向上を図り、本市の防災対策を進めるため、市民参加の防災訓練を実施するとともに、町内会や自治会を中心とした自主防災組織の育成に向けて、自主防災組織が防災資機材を購入する場合の購入費を補助する。また、本市の備蓄品等の計画的な更新整備や医療品等の点検、交換を行う。																					
成果・実績	11月27日に、西小倉小学校において京都府南部地域を中心に都市直下型の大地震が発生したとの想定で、初めての試みとして自主防災組織による発災対応型訓練を行うとともに、市職員と自主防災組織並びに学校関係者による避難所開設訓練を実施した。関係機関との連携強化と市民の防災意識の高揚を図ることができた。（参加者約800人）																					
	<table border="0"> <tr> <td>防災訓練</td> <td>840千円</td> </tr> <tr> <td>備蓄用食糧更新費</td> <td>1,337千円</td> </tr> <tr> <td>市地域防災計画点検委託料</td> <td>468千円</td> </tr> <tr> <td>自主防災活動事業補助金</td> <td>1,645千円</td> </tr> </table> 活動補助金実績（過去3力年） <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>補助金交付額 （千円）</th> <th>交付団体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21</td> <td>1,312</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>581</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>1,645</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>	防災訓練	840千円	備蓄用食糧更新費	1,337千円	市地域防災計画点検委託料	468千円	自主防災活動事業補助金	1,645千円	年度	補助金交付額 （千円）	交付団体数	21	1,312	14	22	581	6	23	1,645	18	
防災訓練	840千円																					
備蓄用食糧更新費	1,337千円																					
市地域防災計画点検委託料	468千円																					
自主防災活動事業補助金	1,645千円																					
年度	補助金交付額 （千円）	交付団体数																				
21	1,312	14																				
22	581	6																				
23	1,645	18																				
事業評価	地域の防災力向上を図ることができた。今後も、災害が発生した時に重要となる関係機関との連携強化や地域の防災組織の育成を推進し、さらなる地域の防災力向上を目指す。また、東日本大震災を踏まえて、宇治市地域防災計画の見直しを検討するとともに、備蓄品等の計画的な更新整備を図る。																					

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	09 その他
中分類	09 その他
小分類	09 その他

所管部局
市長公室

事務事業名	震災支援対策費	所管課	危機管理課
		決算額	1,299千円
事業内容	平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、被害を受けた被災地や被災者への支援として、緊急消防援助隊の派遣や、受け入れた被災者に対して生活必需品の支給等を行った。		
成果・実績	消防総務課 778千円 緊急消防援助隊出動に伴い、隊員の食事、車両燃料補給、現地で使用する消耗品購入を行った。活動終了後には、現地で使用した救助用資機材及び出動車両についての修繕を行った。		
	地域福祉課 194千円 避難者生活用具支給費		
	保健推進課 279千円 下記の事業に係る費用を助成することで、被災者の支援を行った。 乳幼児健康診査事業 3件 定期予防接種事業 20件 ヒブワクチン等接種事業（任意予防接種） 14件		
	健康生きがい課 48千円 下記の事業に係る費用を助成することで、被災者の支援を行った。 子宮頸がん予防接種事業（任意予防接種） 3件		
事業評価	東日本大震災時に緊急消防援助隊として出動し、被災の救援に尽力した。また、災害救助法の適用を受けた自治体から本市に避難した被災者を対象に各種支援を行った。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	02 情報公開の充実

所管部局
政策経営部

事務事業名	各種統計調査費	所管課	政策推進課																			
		決算額	5,684千円																			
事業内容	統計法の規定に基づき、市が国・京都府等の法定受託事務を行い、人口・経済・社会情勢等について実態を把握する。																					
成果・実績	法定受託事務として下記の基幹統計を実施した。																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称 (所管)</th> <th>調査期日 (周期・方法)</th> <th>調査対象・目的等</th> <th>決算額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校基本調査 (文部科学省)</td> <td>5月1日 (毎年・ 全数調査)</td> <td>幼稚園、小・中学校、専修学校などの生徒、教員などの人数及び施設など、学校に関する基礎資料を得る。</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>経済センサス - 調査区管理 (総務省)</td> <td></td> <td>平成24年経済センサスの実施に先立ち、調査結果の正確さを期するために、調査する地区を設定する。</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>平成24年 経済センサス - 活動調査 (総務省・ 経済産業省)</td> <td>2月1日 (5年毎・ 全数調査)</td> <td>全産業分野における事業所及び企業を対象として、経済活動の実態を明らかにするとともに、各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得る。</td> <td>5,556</td> </tr> <tr> <td>工業統計調査 (経済産業省)</td> <td>12月31日 (本年度は 中止)</td> <td>製造業を営む事業所を対象として、生産活動の実態に関する基礎資料を得る。</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>			名称 (所管)	調査期日 (周期・方法)	調査対象・目的等	決算額 (千円)	学校基本調査 (文部科学省)	5月1日 (毎年・ 全数調査)	幼稚園、小・中学校、専修学校などの生徒、教員などの人数及び施設など、学校に関する基礎資料を得る。	56	経済センサス - 調査区管理 (総務省)		平成24年経済センサスの実施に先立ち、調査結果の正確さを期するために、調査する地区を設定する。	18	平成24年 経済センサス - 活動調査 (総務省・ 経済産業省)	2月1日 (5年毎・ 全数調査)	全産業分野における事業所及び企業を対象として、経済活動の実態を明らかにするとともに、各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得る。	5,556	工業統計調査 (経済産業省)	12月31日 (本年度は 中止)	製造業を営む事業所を対象として、生産活動の実態に関する基礎資料を得る。
名称 (所管)	調査期日 (周期・方法)	調査対象・目的等	決算額 (千円)																			
学校基本調査 (文部科学省)	5月1日 (毎年・ 全数調査)	幼稚園、小・中学校、専修学校などの生徒、教員などの人数及び施設など、学校に関する基礎資料を得る。	56																			
経済センサス - 調査区管理 (総務省)		平成24年経済センサスの実施に先立ち、調査結果の正確さを期するために、調査する地区を設定する。	18																			
平成24年 経済センサス - 活動調査 (総務省・ 経済産業省)	2月1日 (5年毎・ 全数調査)	全産業分野における事業所及び企業を対象として、経済活動の実態を明らかにするとともに、各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得る。	5,556																			
工業統計調査 (経済産業省)	12月31日 (本年度は 中止)	製造業を営む事業所を対象として、生産活動の実態に関する基礎資料を得る。	9																			
事業評価	<p>調査員確保対策事業(所管：総務省) 45千円 統計調査員の資質向上のため研修会を開催した。</p> <p>各種統計調査を法定受託事務として適正に実施し、本市の人口・経済・社会情勢等の実態把握を各施策に活用することができた。今後も引き続き円滑な業務に取り組む。</p>																					

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立

所管部局
政策経営部

事務事業名	政策研究費	所管課	政策推進課								
		決算額	663千円								
事業内容	先進他都市の優れた制度を取り入れるとともに、本市の組織レベルの課題解決能力及び立案能力を高めるため、政策推進課において一定の予算枠を持ち、調査・研究等を行う。										
成果・実績	庁内で研究課題を募集し、申請のあった中から採択し、担当課において研究を行った。 採択事業一覧 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">担当課</th> <th style="width: 80%;">研究テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域福祉課</td> <td>自殺対策ネットワーク体制及び地域を含めた取り組みの研究について</td> </tr> <tr> <td>管財課</td> <td>ガラスコーティングによる省エネ効果の検証</td> </tr> <tr> <td>総務課</td> <td>管理不十分な空き家・空き地対策について</td> </tr> </tbody> </table>			担当課	研究テーマ	地域福祉課	自殺対策ネットワーク体制及び地域を含めた取り組みの研究について	管財課	ガラスコーティングによる省エネ効果の検証	総務課	管理不十分な空き家・空き地対策について
担当課	研究テーマ										
地域福祉課	自殺対策ネットワーク体制及び地域を含めた取り組みの研究について										
管財課	ガラスコーティングによる省エネ効果の検証										
総務課	管理不十分な空き家・空き地対策について										
事業評価	行政課題の改善に取り組むとともに、職員の政策立案能力の向上に資することができた。今後は研究した政策が事業として実施できるよう進行管理に努める。										

事務事業名	宇治市将来戦略検討事業費	所管課	政策推進課
		決算額	133千円
事業内容	宇治市第5次総合計画に基づく施策を推し進めるとともに、社会経済状況に対応し本市の魅力高め、長期的に安定した市政運営を図るための戦略研究を行う。		
成果・実績	他自治体の調査や先進地での事例研究などを行うとともに、庁内横断的な取組となるよう宇治市将来戦略プラン策定にあたっての手法について検討を行った。		
事業評価	宇治市将来戦略プランの策定にあたっての基本的な考え方の整理等を行うことができた。引き続き、効果的なプランとなるよう関係課と連携して検討を行う。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立

所管部局
政策経営部

事務事業名	第5次総合計画及び中期計画事務費	所管課	政策推進課
		決算額	1,846千円
事業内容	計画行政の推進を図るため、平成23年度を始期とする宇治市第5次総合計画に基づき各種施策の展開を図る。基本構想の実現のため、具体的施策となる中期計画（3・4・4年間）の見直し、政策評価、各担当部署・部門別計画のフォローアップなどを行う。		
成果・実績	宇治市第5次総合計画冊子等印刷製本費 1,815千円		
事業評価	宇治市第5次総合計画の実現に向け、事業の進捗管理や各事業担当課との政策調整など、計画行政の推進を図ることができた。今後も円滑な施策実施を目指す。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	02 行政改革の推進	

事務事業名	行政改革進行管理委員会運営費	所管課	行政改革課
		決算額	252千円
事業内容	行政改革の適切な進行管理を図るため、委員会を設置し意見交換及び助言を行う。		
成果・実績	宇治市第5次行政改革実施計画(計画期間平成20～24年度)の進行管理を行うため、宇治市行政改革進行管理委員会を2回開催し、市民公募を含めた14名の委員から意見を聞き、実施計画の取組予定等に反映させた。		
事業評価	円滑な委員会の運営によって、委員からの様々な意見を本市の行政改革の取組に反映させることができた。今後も継続実施する。		

事務事業名	職員提案制度費	所管課	行政改革課
		決算額	10千円
事業内容	職員の研究意欲及び市政への参加意欲を高めるとともに、行政需要の多様化・高度化に対応した市政の推進と事務事業の効率化を図ることを目的に、政策立案や事務改善に関する職員提案を募り、特に効果が期待できるものは褒賞する。		
成果・実績	応募件数 21件 (うち政策提案15件、事務改善提案6件)		
事業評価	褒賞に該当する提案はなかったが、職員の積極的な政策立案と事務改善への姿勢を促進することができた。今後は、より施策反映や業務改善につながる提案となるよう、特に若い世代の職員へ提案内容への助言を行う必要がある。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	02 行政改革の推進

所管部局
政策経営部

事務事業名	ふるさと応援寄付金（歳入）	所管課	行政改革課																		
		決算額	1,387千円																		
事業内容	居住地以外の自治体に寄付をすると住民税控除となるふるさと納税制度について、本市では「ふるさと宇治のまちづくりの応援のお願い」の取組として、平成20年10月から実施している。																				
成果・実績	<p>寄付者 16人 PRパンフレット配布数 4,400部</p> <p>寄付件数・金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>29</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>金額（千円）</td> <td>2,575</td> <td>1,390</td> <td>920</td> <td>1,387</td> <td>6,272</td> </tr> </tbody> </table>			年度	20	21	22	23	合計	件数	29	18	17	16	80	金額（千円）	2,575	1,390	920	1,387	6,272
年度	20	21	22	23	合計																
件数	29	18	17	16	80																
金額（千円）	2,575	1,390	920	1,387	6,272																
事業評価	多くの方から寄付をいただき、市政運営に役立てることができた。件数は減少傾向にあるため、今後は制度のさらなる広報を行い、多くの方から寄付いただけるよう努める。																				

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	総務部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

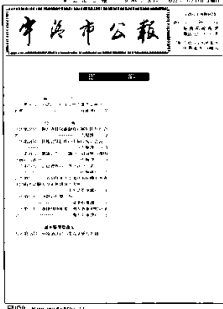
事務事業名	安全・安心まちづくり推進事業費	所管課	総務課
		決算額	1,355千円
事業内容	地域における犯罪の発生を未然に防止するため、宇治市安全・安心まちづくり条例に基づき、安全・安心なまちづくりの取組を展開する。		
成果・実績	<p>市民の防犯意識の啓発 309千円 年2回の「市民安全・安心推進旬間」では、7月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。</p> <p>安全・安心まちづくりへの助成 770千円 小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に助成金を交付した。</p> <p>宇治市第2次防犯推進計画の製本 276千円 平成23年3月に策定した宇治市第2次防犯推進計画を広く周知するため、製本して関係者へ配布した。</p>		
事業評価	各取組により安全・安心なまちづくりを促進できた。今後は、地域での自主的な安全・安心への取組について、防犯組織と行政の役割分担及び活動の内容について検討する必要がある。		

事務事業名	犯罪被害者等支援事業費	所管課	総務課
		決算額	100千円
事業内容	犯罪被害者等が再び平穏な生活を営むことができるよう、相談事業や他機関との連携など、被害者の状況に応じて適切な支援を行う。		
成果・実績	庁内連絡会議の開催や職員対象の研修を行い、適切な対応ができるような体制づくりを行った。また、傷害見舞金1件・100千円を支給した。		
事業評価	制度は一定定着してきており、支援体制を整えることができた。今後も適切な支援が行えるよう、職員研修や制度の研究を行うとともに、市民理解を深める広報・啓発活動や、教育活動を積極的に進める必要がある。		

平成23年度決算成果説明書


総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	02 情報公開の充実

所管部局
総務部

事務事業名	公報発行費	所管課	総務課
		決算額	1,081千円
事業内容	市民へ適切に行政情報を公開し、市行政を円滑に運営するため、条例・規則・告示その他の事項を登載する公報の編集・発行・配布を行う。		
成果・実績	市公報を毎週1回（定例号48回）発行し、条例・規則等の公布をはじめ、公示、公告等を行った。		
事業評価	適正に執行し、市民へ適切に行政情報を公開できた。今後も継続実施する。		

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	02 国際化の推進と平和への貢献
小分類	02 平和への貢献

所管部局
総務部

事務事業名	平和のつどい事業費	所管課	総務課
		決算額	4,067千円
事業内容	本市は核兵器廃絶平和都市宣言の自治体として、世界の恒久平和に向け、宇治市平和都市推進協議会を母体としながら啓発等の事業を行っており、毎年8月を中心に平和事業を実施する。		
成果・実績	平和都市推進協議会補助金 4,067千円		
事業評価	各取組によって平和への市民意識の醸成を図ることができた。今後も平和事業への参加者増加を図り、あらゆる機会を通して平和への啓発を行う。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
総務部

事務事業名	廃棄文書リサイクル事業費	所管課	総務課				
		決算額	251千円				
事業内容	個人情報保護及び資源の有効利用の観点から、庁内業務で使用した個人情報を含む廃棄文書をリサイクル施設で溶解し、紙への資源再生処理を行う。						
成果・実績	<p>機密文書をリサイクル施設で溶解し、文書の復元が不可能な状態にしてから、紙への再生処理を行った。</p> <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">廃棄文書リサイクル委託料</td> <td style="text-align: right;">251千円</td> </tr> <tr> <td>廃棄文書量</td> <td style="text-align: right;">43.7トン</td> </tr> </table>			廃棄文書リサイクル委託料	251千円	廃棄文書量	43.7トン
廃棄文書リサイクル委託料	251千円						
廃棄文書量	43.7トン						
事業評価	適正に実施し、個人情報保護とともに環境資源の有効活用を行うことができた。今後は、リサイクルだけでなく、紙の使用量を最小限にできるよう、庁内での意識啓発を図る。						

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	04 行政情報化の推進

所管部局
総務部

事務事業名	情報システム開発費	所管課	I T 推進課
		決算額	22,995千円
事業内容	多様化する市民ニーズへの対応や効率的な行政運営を推進するため、住民情報系システム、内部管理系システム、外部公開系システムなど、新規システムの開発や既存システムの再構築を行う。		
成果・実績	<p>65歳以上の高齢者の全数把握及び介護者(介護予定者)を把握し、健診や介護予防事業などの情報を分析することにより、効果的な施策の展開を図るため、地域支え合い体制システムの構築を行った。また、戸籍電算化を進めるため、戸籍情報システムの開発に着手した。</p> <p style="text-align: right;">地域支え合い体制システム構築 22,995千円</p>		
事業評価	地域支え合い体制システムは、事業担当課での効果的な運用につなげることができた。戸籍情報システムは、個人情報を厳格に管理しながら複数年をかけて構築する。今後も、システム化が必要な事務・事業についてはシステム開発を検討し、効率的、効果的な事業実施のため安定稼動に努める必要がある。		

事務事業名	情報システム運営費	所管課	I T 推進課
		決算額	260,096千円
事業内容	市民サービスの向上や迅速な事務処理、適切な情報管理のため、住民基本台帳システムや各種税システムをはじめとするサーバ機を利用した様々なシステムを稼働させ、幅広い情報処理を行っている。また、パソコンの利用促進により、システム化になじまない少量・多種・非定形の業務領域でのOA化を進め、より効率的な行政運用を図る。		
成果・実績	<p>稼働中の情報システムで使用する機器やソフトウェアなどの維持管理や、制度改正に伴う情報システムの変更作業を行った。情報システムの安定稼動を実現し、市民へのサービス提供を行った。</p> <p style="text-align: right;">住民基本台帳法等改正対応 46,197千円 制度改正に伴うシステム改修 21,493千円 介護保険システム機器更新 15,500千円</p>		
事業評価	法改正に対応したシステム改修等、各事業担当課の業務を円滑に進め、市民サービスを提供するための環境整備ができた。今後も様々な市民サービスを安定的に提供するため、適切に改修を進めるが、管理するシステム数が増加しており、管理手法について検討が必要である。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	04 行政情報化の推進

所管部局
総務部

事務事業名	京都府共同開発システム導入事業費	所管課	I T 推進課						
		決算額	67,503千円						
事業内容	各市町村の多くの業務に電算システムが導入されているが、同じ業務でも市町村ごとに別のシステムを運用しているため、システム開発・変更に多大な費用が必要となる。そのため京都府下市町村が共同利用できるシステムを開発・導入することにより経費を低減し、行財政の効率化と市民サービスの向上を図る。								
成果・実績	<p>京都府自治体情報化推進協議会が開発した共同開発・利用型システムの導入、保守及び運用を行った。基幹業務支援システム（福祉系）において、老人医療、母子医療、障害者医療及び乳幼児医療の各システムの導入を行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">基幹業務支援システム（福祉系）導入</td> <td style="text-align: right;">37,081千円</td> </tr> <tr> <td>基幹業務支援システム保守</td> <td style="text-align: right;">17,026千円</td> </tr> <tr> <td>共同開発事業負担金</td> <td style="text-align: right;">13,396千円</td> </tr> </table>			基幹業務支援システム（福祉系）導入	37,081千円	基幹業務支援システム保守	17,026千円	共同開発事業負担金	13,396千円
基幹業務支援システム（福祉系）導入	37,081千円								
基幹業務支援システム保守	17,026千円								
共同開発事業負担金	13,396千円								
事業評価	システム導入によって市民サービスの向上や各事業担当課業務の効率化を図ることができた。基幹業務支援システムの導入計画は完了し、今後は共同運用のメリットを活かし、システムの安定稼働に努める必要がある。								

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	01 地球環境対策の推進

所管部局
総務部

事務事業名	庁舎温室効果ガス削減対策事業費	所管課	管財課
		決算額	6,565千円
事業内容	宇治市地球温暖化対策実行計画に沿って10%の温室効果ガス削減を目指し、庁舎における排出量の削減を図るため、老朽化設備の改修等、省エネルギーの実現に向けた取組を行う。		
成果・実績	<p>温室効果ガスの削減のため、老朽化した庁舎設備の改修及び設計を実施した。</p> <p>議会棟及び西館照明設備交換業務 3,098千円 改修に伴うCO₂削減量 4.6t-CO₂ (理論値)</p> <p>本庁舎・議会棟空調熱源更新等設計業務 3,467千円</p>		
事業評価	これまで市庁舎の蛍光管の効率(Hf管)化や西館の給湯設備の改修等を実施し、庁舎からの温室効果ガス削減に取り組んでいる。宇治市地球温暖化対策実行計画の削減目標達成のため、引き続き有効な対策の検討が必要である。		

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
総務部

事務事業名	市有林造林事業費	所管課	管財課
		決算額	4,373千円
事業内容	国土保全とともに森林の多面的機能や植林の材質を高めるため、池尾仙郷山等の市有林において、森林施業計画に基づき保育施業（下刈り、枝打ち、間伐など）を行うとともに、集約化実施計画に基づき間伐材出材を実施する。		
成果・実績	<p>森林施業計画に基づく保育事業を重点的に施業することとし、宇治市森林組合に枝打ち1.30ha、間伐7.34ha、作業道作設100m、出材を委託し、実施した。</p> <p>市有林造林事業委託料（枝打ち・間伐・作業道作設・出材） 3,751千円</p>		
事業評価	事業実施によって市有林の保全及び林業育成を図ることができた。森林保全は、中断すると再開が困難となるため継続が必要であるが、宇治市森林組合の後継者育成が課題であるため、今後はボランティア活動や入山の環境整備などを検討する必要がある。また、森林資源の利用を促進するため、間伐材の搬出及び売却についても実施する。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立


所管部局
総務部

事務事業名	京都地方税機構負担金	所管課	納税課				
		決算額	129,210千円				
事業内容	徴収率の向上及び税負担の公平性確保のため、京都府と府内市町村（京都市を除く）で組織する広域連合の京都地方税機構において、移管された滞納案件の整理を行う。						
成果・実績	<p>徴収業務の効率化を図るとともに、公平公正な税業務の推進を図った。</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">京都地方税機構への移管額</td> <td style="text-align: right;">3,186,356千円</td> </tr> <tr> <td>移管額のうち収入額</td> <td style="text-align: right;">1,111,673千円</td> </tr> </table>			京都地方税機構への移管額	3,186,356千円	移管額のうち収入額	1,111,673千円
京都地方税機構への移管額	3,186,356千円						
移管額のうち収入額	1,111,673千円						
事業評価	負担金を適正に支出し、京都地方税機構と連携して滞納整理を行うことができた。京都地方税機構の効果として、とりわけ滞納繰越分の徴収率は顕著に向上しており、財政基盤を安定的に確保するため、今後も税機構と連携して効率的な徴収に努める。						

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	01 住民自治の推進
小分類	01 地域コミュニティの育成

所管部局
市民環境部


事務事業名	地域社会貢献者表彰費	所管課	文化自治振興課
		決算額	55千円
事業内容	市制施行50周年を記念に創設した制度で、市民の主体的な活動を奨励するとともに、住民自治の精神に基づき、明るく住みよい心豊かな地域社会づくりを推進するため、自発的な善行や優れた活動によって、地域社会に対し特に顕著な貢献を行った者を表彰する。		
成果・実績	<p>12回目の平成23年度は、1件表彰した。</p> <p>受賞者名：水井 良平</p>  <p>地域社会貢献者表彰式 (平成24年3月1日)</p>		
事業評価	自発的な善行及び優れた活動を表彰し、地域活動の活性化や市民の意欲向上を図ることができた。被表彰者の選定については、広く推薦を促せるよう広報手法を検討し、平成24年度も継続実施する。		

事務事業名	町内会・自治会等活動推進検討委員会運営費	所管課	文化自治振興課
		決算額	271千円
事業内容	良好な町内会・自治会の形成と運営の活性化を促進する方策を検討するため、町内会・自治会等活動推進検討委員会を設置する。		
成果・実績	<p>開催状況</p> <p>第1回開催日 平成24年2月3日</p> <p>第2回開催日 平成24年3月17日</p> <p>委員数 11人</p>		
事業評価	委員会を開催し、豊かで魅力ある地域社会の構築のために、町内会・自治会活動の活性化の方策を検討した。今後も、適正な委員会運営に努める。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	01 住民自治の推進
小分類	01 地域コミュニティの育成

所管部局
市民環境部

事務事業名	ふれあいセンター運営費	所管課	文化自治振興課
		決算額	21,633千円
事業内容	<p>菟道、伊勢田、平盛のふれあいセンターの管理、運営を行う。地域のコミュニティ形成の場として子どもから高齢者まで、地域住民の交流や、趣味、娯楽、各種会合、講習会、スポーツなど、個人やサークル等に利用されており、貸館業務を主とした運営を行う。</p>		
成果・実績	<p>市民が気軽に利用できる施設として、子どもから高齢者まで幅広い層に親しまれている。菟道・伊勢田・平盛の3館で、サークル活動や各種会合等に年間63,737人の利用があった。</p> <div style="text-align: center;">  </div>		
事業評価	<p>適切に管理運営を行い、地域住民のコミュニティ活動を促進することができた。施設の老朽化等の課題もあり、市民ニーズや利用状況を検証し、利用環境整備のあり方を検討する必要がある。</p>		

事務事業名	コミュニティセンター運営費	所管課	文化自治振興課								
		決算額	66,015千円								
事業内容	<p>平成18年度より地域住民で組織する地区コミュニティ推進協議会を指定管理者とし、住民自治の振興とコミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターの管理運営を行う。市民相互の交流と地域活動の振興、市民文化の向上、福祉の増進に寄与するとともに、住民自治意識の高揚と地域活性化に貢献する。</p>										
成果・実績	<p>西小倉・東宇治・南宇治・槇島の4つのコミュニティセンターで合わせて14,530件、166,553人の利用があった。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">西小倉コミュニティセンター運営費</td> <td style="text-align: right;">14,854千円</td> </tr> <tr> <td>東宇治コミュニティセンター運営費</td> <td style="text-align: right;">18,439千円</td> </tr> <tr> <td>南宇治コミュニティセンター運営費</td> <td style="text-align: right;">17,981千円</td> </tr> <tr> <td>槇島コミュニティセンター運営費</td> <td style="text-align: right;">14,741千円</td> </tr> </table>			西小倉コミュニティセンター運営費	14,854千円	東宇治コミュニティセンター運営費	18,439千円	南宇治コミュニティセンター運営費	17,981千円	槇島コミュニティセンター運営費	14,741千円
西小倉コミュニティセンター運営費	14,854千円										
東宇治コミュニティセンター運営費	18,439千円										
南宇治コミュニティセンター運営費	17,981千円										
槇島コミュニティセンター運営費	14,741千円										
事業評価	<p>指定管理者によって適切に管理運営を行い、市民の地域活動の活性化を図ることができた。今後も環境整備の検討を行いながら、市民ニーズや利用状況の的確な把握に努めていく。</p>										

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	01 住民自治の推進
小分類	01 地域コミュニティの育成

所管部局
市民環境部



事務事業名	集会所維持管理費	所管課	文化自治振興課
		決算額	39,788千円
事業内容	住民相互の連帯と福祉・文化の向上を図り、地域コミュニティづくりの活動拠点となる集会所の維持管理に必要な管理者報酬、光熱水費、修繕費などを計上し、地域コミュニティの推進を図る。		
成果・実績	本市が管理する集会所130カ所について、必要に応じて改修・修繕を実施し環境整備を行った。		
事業評価	地域住民の活動の場として有効に活用され、コミュニティの活性化を図ることができた。今後は、宇治市集会所再生プランに基づき地域による主体的な集会所運営が行われるよう、地域との調整を図る。		

事務事業名	民間集会所環境整備事業費補助金	所管課	文化自治振興課
		決算額	753千円
事業内容	町内会・自治会等が自主運営管理する民間のコミュニティ施設の新築や修繕について補助を行う。		
成果・実績	町内会・自治会等が所有している民間集会所の環境整備として、東半白集会所等3件に補助金を交付した。		
事業評価	地域住民の活動の場として有効に活用され、コミュニティの活性化を図ることができた。今後は、宇治市集会所再生プランに基づき、支援制度の拡充を図る。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	02 市民文化の創造
小分類	01 市民文化の創造・発展

所管部局
市民環境部

事務事業名	文化祭開催費	所管課	文化自治振興課
		決算額	1,574千円
事業内容	子ども手づくり文化祭は、児童・生徒の地域、学校を越えた交流、情操豊かな青少年の育成及び健全な児童文化活動を推進することを目的に行う。市民文化芸術祭は、市民が日頃の文化活動の成果を発表し、あわせて相互交流を行うことにより、文化意識の高揚と文化活動の推進を図る。		
成果・実績	子ども手づくり文化祭は、市立小中学校の協力のもと開催し、展示の部、クラフトの部、お茶席を行った。市民文化芸術祭は展示の部、舞台の部、お茶席、フリーマーケットを開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業（いけばな・音楽・写真・絵画）を開催した。		
	子ども手づくり文化祭	開催日 9月23日 来場者数 約1,800人	 子ども手づくり文化祭
	市民文化芸術祭	開催日 12月3・4日 参加者数 約1,600人 来場者数 約9,000人	 市民文化芸術祭
参加事業	参加者数 約1,000人 来場者数 約2,800人		
事業評価	文化祭の開催によって、地域や学校の枠を越え、市民相互の文化交流を促進し、文化活動の活性化を図ることができた。より文化意識を高めるため、効果的な実施手法を検討しながら平成24年度も継続実施する。		

事務事業名	合唱団活動費	所管課	文化自治振興課
		決算額	3,544千円
事業内容	合唱団活動を通して、自主的で情操豊かな児童・生徒を育成することを目的とし、昭和54年8月に、国際児童年を記念して結成した。学校教育に準じ運営・指導を行い、指導者による毎週土曜日の定期練習のほか、定期演奏会の開催・各種発表会・市の公式行事等に出演する。		
成果・実績	団員は市内在住の小学2年生から中学3年生までの約70人で、毎週土曜日午後の練習、夏季強化合宿、定期演奏会のほかに、市行事やコンサート出演など、年間10回を超える演奏を行った。また、11月6日に精華町で開催された「国民文化祭・京都2011少年少女合唱の祭典」に出演し、他の児童合唱関係者から高い評価を受けた。		
事業評価	合唱団活動を通して小・中学生の文化意識や協調性などを育てることができた。市内小・中学校の協力を得ながら団員確保に努め平成24年度も継続実施する。		

平成23年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	02 市民文化の創造	
小分類	01 市民文化の創造・発展	

事務事業名	源氏ろまん事業費	所管課	文化自治振興課
事業内容	ふるさと創生事業として創設した「紫式部文学賞」「紫式部市民文化賞」及び両賞の贈呈式を中心としたイベントである「源氏ろまん」事業を実施し、文化の振興とともに「源氏物語のまち宇治」としての本市のイメージアップを図る。		
成果・実績	第21回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞 11月13日に贈呈式と記念イベントを行い、書道家の武田双雲氏による書道・講演等が披露され、1,300人の観客を魅了した。		
	紫式部文学賞（全国から59作品の推薦） 多和田 葉子氏「尼僧とキューピッドの弓」 紫式部市民文化賞（58作品の応募・推薦） 福井 記久子氏「獺祭のごとく」 選考委員特別賞 新 割成氏「別涙」 古田 正樹氏「Flyer」		
	宇治十帖スタンプラリー 宇治十帖の古跡などをめぐるスタンプラリーを開催し、基本・健脚の2コースを設定した。		
	宇治田楽まつり 10月15日に文化センター大ホールで開催した。（当日は雨天のため、府立宇治公園中の島から会場変更）		
開催日数 5日(10月下旬～11月初旬) 踏破者数 18,236人			
出演者数 130人 観覧者数 約1,000人			
事業評価	各催しの開催によって、市民の文化活動の活性化や「源氏物語のまちづくり」を定着させることができた。平成24年度も継続実施し、幅広い分野において事業の効果が期待できるようなアプローチを検討していく。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	02 市民文化の創造
小分類	01 市民文化の創造・発展

所管部局
市民環境部

事務事業名	市民交流ロビーコンサート開催費	所管課	文化自治振興課
		決算額	536千円
事業内容	音楽文化の促進と市民相互の交流を図るとともに、市庁舎を市民の気軽な音楽活動の発表の場とすることにより、市民にとってより親しみやすい市役所とする。市民交流ロビーにグランドピアノを常設し、市民の音楽活動の発表の場の一つとして、昼休憩時間にミニコンサートを開催する。		
成果・実績	<p>昼休み中の午後0時15分～45分に市役所1階市民交流ロビーを会場として開催し、毎回200～500人の観客を迎えた。</p> <p>9月に200回目を迎え、全国で活躍中のピアニスト安達朋博氏が出演し、大勢の市民が鑑賞した。</p> <p style="text-align: center;">開催回数 18回</p> <div style="text-align: center;">  </div>		
事業評価	市庁舎を有効に活用し、市民の文化活動や相互交流を促進することができた。今後も、より多くの来場者が訪れるような手法を検討していく。		

事務事業名	文化センター管理運営費	所管課	文化自治振興課
		決算額	140,550千円
事業内容	(公財)宇治市文化センターに管理運営を委託し、自主文化事業の企画立案や、優れた文化、芸術公演を公開して、市民文化の振興を図るため、文化センターの健全な管理・運営を行う。また、市内団体やサークルなどが文化センターを使用する際の使用料の助成(補助)を行う。		
成果・実績	<p>自主事業として、桂米朝一門会、熊本マリピアノコンサート、高嶋ちさ子ヴァイオリンコンサート、宇治シネマ劇場など、幅広い分野の事業に取り組み、19,175人が鑑賞した。</p> <p>また、市民の文化芸術活動の普及や振興を図るため、文化事業基金による市内文化団体等に対する文化会館使用料の助成を18件行った。</p>		
事業評価	指定管理者によって適正に管理運営し、様々な催し物の開催や、市民団体等への活動補助によって、市民の文化芸術活動の普及・振興を図ることができた。今後も多くの市民利用を促進するため利用状況の的確な把握に努めていく。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	02 市民文化の創造	
小分類	01 市民文化の創造・発展	

事務事業名	文化センター再整備事業費	所管課	文化自治振興課
		決算額	1,805千円
事業内容	昭和59年に開館され施設全体の老朽化と技術革新が著しい中で設備そのものの型式が古く、利用者のニーズに十分対応できない状況が発生している。現在の施設の有効利用やリニューアルによって新しいニーズに対応する施設として再整備を行う。		
成果・実績	平成22年度からの繰越事業として、中央公民館の可動式間仕切り展示パネルの取り替えを行い、経年劣化対応と軽量化を図った。		
事業評価	適切に施設整備を行った。今後も利用者ニーズを把握しながら、施設の老朽化に対応する必要がある。		

事務事業名	国民文化祭開催費	所管課	文化自治振興課
		決算額	5,375千円
事業内容	第26回国民文化祭・京都2011の宇治市開催事業として、「マーチングフェスティバル」と「全国田楽祭」を開催する。		
成果・実績	<p>「マーチングフェスティバル」</p> <p>日 時 10月30日（日） 9時30分～17時30分</p> <p>ところ 京都府山城総合運動公園 体育館ほか</p> <p>出演者 37団体 2,511人 観覧者7,000人</p> <p>「全国田楽祭」</p> <p>日 時 11月3日（木・祝） 12時～18時30分</p> <p>ところ 宇治市文化センター 大ホール</p> <p>出演者 8団体 326人 観覧者1,000人</p>		
事業評価	京都府一円での国民文化祭を開催し、実行委員会を中心に市民の協力体制を構築した。「マーチングフェスティバル」や「全国田楽祭」の開催により、将来に引き継ぐ文化意識の醸成を図ることができた。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
市民環境部

事務事業名	行政サービスコーナー運営費	所管課	市民課														
		決算額	52,123千円														
事業内容	小倉・木幡など市内6カ所の行政サービスコーナーにおいて、住民票写し、戸籍謄抄本などの市民課の諸証明及び税関係の諸証明の発行業務等を行う。																
成果・実績	<p>諸証明及び税関係証明書の取扱い、他課業務の申請書等の受付を行った。</p> <p>市民課業務の年間取扱件数（公用請求を除く）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">名称</th> <th style="width: 30%;">件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小倉行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">13,102</td> </tr> <tr> <td>木幡行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">14,380</td> </tr> <tr> <td>南宇治行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">9,388</td> </tr> <tr> <td>槇島行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">6,761</td> </tr> <tr> <td>東宇治行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">6,880</td> </tr> <tr> <td>開行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">4,860</td> </tr> </tbody> </table>			名称	件数	小倉行政サービスコーナー	13,102	木幡行政サービスコーナー	14,380	南宇治行政サービスコーナー	9,388	槇島行政サービスコーナー	6,761	東宇治行政サービスコーナー	6,880	開行政サービスコーナー	4,860
名称	件数																
小倉行政サービスコーナー	13,102																
木幡行政サービスコーナー	14,380																
南宇治行政サービスコーナー	9,388																
槇島行政サービスコーナー	6,761																
東宇治行政サービスコーナー	6,880																
開行政サービスコーナー	4,860																
事業評価	市内6カ所に開設しており、地域住民の利便性向上を図ることができた。今後も市民ニーズを踏まえて、サービスの充実に努める。																

事務事業名	受付証明等事務費	所管課	市民課																								
		決算額	4,594千円																								
事業内容	住民票写し・印鑑証明・戸籍謄抄本等の諸証明発行業務を行う。																										
成果・実績	<p>住民票等諸証明発行数（行政サービスコーナー取扱分を含む）</p> <p style="text-align: center;">（通）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>印鑑登録証明書交付数</td> <td style="text-align: right;">66,769</td> </tr> <tr> <td>住民票写し交付数</td> <td style="text-align: right;">75,676</td> </tr> <tr> <td>戸籍謄本交付数</td> <td style="text-align: right;">16,948</td> </tr> <tr> <td>戸籍抄本交付数</td> <td style="text-align: right;">6,314</td> </tr> <tr> <td>除籍・原戸籍謄本交付数</td> <td style="text-align: right;">3,192</td> </tr> <tr> <td>除籍・原戸籍抄本交付数</td> <td style="text-align: right;">63</td> </tr> <tr> <td>戸籍附票交付数</td> <td style="text-align: right;">2,032</td> </tr> <tr> <td>閲覧件数</td> <td style="text-align: right;">23件</td> </tr> <tr> <td>諸証明交付数</td> <td style="text-align: right;">7,540</td> </tr> <tr> <td>外国人登録原票記載事項証明書交付数</td> <td style="text-align: right;">2,376</td> </tr> <tr> <td>印鑑登録証交付数</td> <td style="text-align: right;">6,162</td> </tr> <tr> <td>住民基本台帳カード交付数</td> <td style="text-align: right;">1,021</td> </tr> </tbody> </table> <p>公的個人認証サービスの申請は394件（うち1件無料）</p>			印鑑登録証明書交付数	66,769	住民票写し交付数	75,676	戸籍謄本交付数	16,948	戸籍抄本交付数	6,314	除籍・原戸籍謄本交付数	3,192	除籍・原戸籍抄本交付数	63	戸籍附票交付数	2,032	閲覧件数	23件	諸証明交付数	7,540	外国人登録原票記載事項証明書交付数	2,376	印鑑登録証交付数	6,162	住民基本台帳カード交付数	1,021
印鑑登録証明書交付数	66,769																										
住民票写し交付数	75,676																										
戸籍謄本交付数	16,948																										
戸籍抄本交付数	6,314																										
除籍・原戸籍謄本交付数	3,192																										
除籍・原戸籍抄本交付数	63																										
戸籍附票交付数	2,032																										
閲覧件数	23件																										
諸証明交付数	7,540																										
外国人登録原票記載事項証明書交付数	2,376																										
印鑑登録証交付数	6,162																										
住民基本台帳カード交付数	1,021																										
事業評価	各種証明書の発行等について適正に事務を執行した。今後は市民ニーズを踏まえて、さらなるサービスの充実に検討する必要がある。																										

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	01 農業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	農道・ため池・農業用施設維持管理費	所管課	農林茶業課
		決算額	8,978千円
事業内容	農業基盤の保全整備を図るため、本市が所有または管理する農道やため池、農業用水路の維持管理等を行う。		
成果・実績	農業用水路の草刈りや浚渫をはじめ、農業用施設の維持管理に努めた。		
事業評価	農業用施設について適切に維持管理を行い、農業生産に供することができた。平成24年度も継続して適切な管理に努める。		

事務事業名	巨椋池地域排水対策協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	7,522千円
事業内容	巨椋池土地改良区管理水路への都市排水流入による維持管理費用の負担について、本市、京都市、久御山町及び巨椋池土地改良区で平成3年6月に設立した巨椋池地域排水対策協議会において、負担割合を定め共同で管理を行う。		
成果・実績	巨椋池地域排水対策協議会への負担を通して、排水路の維持管理を行い、排水機能の保全を図った。 巨椋池地域排水対策協議会管理水路 排水幹線、承水溝3号、主排4号、主排5号、主排8号		
事業評価	巨椋池土地改良区の管理水路のうち、都市排水が多く流入している水路について、関係市町と巨椋池土地改良区で巨椋池地域排水対策協議会を組織し、共同で維持管理を適正に行った。将来的な維持管理のあり方については引き続き検討する必要がある。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	01 農業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	巨椋池国営附帯府営農地防災事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	36,229千円
事業内容	国営総合農地防災事業で整備された排水機場の機能を高めるための巨椋池農地基盤整備事業に要する負担金で、本市、京都市、久御山町、巨椋池土地改良区で推進協議会を組織し、事業の早期完成を目指す。		
成果・実績	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場に接続する排水関連施設の整備が、府営事業として実施され、防災機能の強化が進んだ。		
事業評価	国営で整備された排水機場の機能を高めるための府営事業に対する負担金であり、適正に執行できた。今後も京都府等と連携して、事業の推進に努める。		

事務事業名	巨椋池排水機場管理協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	25,685千円
事業内容	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場を管理するため、本市、京都市、久御山町で管理協議会を組織し、排水機場の管理を行う。		
成果・実績	巨椋池排水機場管理協議会への負担を通して、排水機場の適切な管理及び運転を行い、水害の防止に寄与した。		
事業評価	巨椋池の排水機場を管理するための法定協議会に対する負担金であり、適正に執行できた。災害防止のため、今後も関係者と連携し、排水機場の適切な管理に努める。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	02 茶業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	茶・茶園品評会出品奨励費	所管課	農林茶業課																																
		決算額	3,911千円																																
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、生産者の高い意欲と品評会での上位入賞、評価結果に基づく絶え間ない生産技術の改善と品質向上が不可欠であることから、品評会への出品を奨励するとともに、成績優秀者には報奨金等を交付する。																																		
成果・実績	<p>全国茶品評会、関西茶品評会など各種品評会への出品を奨励し、出品奨励金や入賞報奨金などを交付した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">第65回全国 茶品評会</th> <th style="text-align: center;">第64回関西 茶品評会</th> <th style="text-align: center;">第44回宇治市 茶品評会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">出品数</td> <td style="text-align: center;">27</td> <td style="text-align: center;">34</td> <td style="text-align: center;">39</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">優等数</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1等賞</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2等賞</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3等賞</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">農林水産大臣賞</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">産地賞</td> <td style="text-align: center;">受賞</td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>				第65回全国 茶品評会	第64回関西 茶品評会	第44回宇治市 茶品評会	出品数	27	34	39	優等数	/	/	2	1等賞	2	1	4	2等賞	5	9	5	3等賞	4	4	1	農林水産大臣賞			/	産地賞	受賞		/
	第65回全国 茶品評会	第64回関西 茶品評会	第44回宇治市 茶品評会																																
出品数	27	34	39																																
優等数	/	/	2																																
1等賞	2	1	4																																
2等賞	5	9	5																																
3等賞	4	4	1																																
農林水産大臣賞			/																																
産地賞	受賞		/																																
事業評価	品評会への出品を奨励することで、生産者の生産意欲を高めるとともにブランド力の向上につながった。今後も宇治茶、とりわけ市内産の名声を維持し、さらに高めるためには、質の高い宇治茶の生産に努める必要があり、平成24年度も引き続き支援を行う。																																		

事務事業名	優良茶園振興事業補助金	所管課	農林茶業課												
		決算額	970千円												
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、優良茶園の整備が不可欠であり、新植及び改植事業への支援を通じ、品質及び生産力の向上を図る。														
成果・実績	<p>改植事業60.3aに補助金を交付し、優良茶園の拡大を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">事業実施件数</th> <th style="text-align: center;">面積(a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">新植</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">改植</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">60.3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">60.3</td> </tr> </tbody> </table>				事業実施件数	面積(a)	新植	0	0	改植	9	60.3	合計	9	60.3
	事業実施件数	面積(a)													
新植	0	0													
改植	9	60.3													
合計	9	60.3													
事業評価	改植事業に助成を行い、宇治茶の生産振興を図ることができた。宇治茶、とりわけ市内産の名声を維持し、さらに高めるためには、質の高い宇治茶の生産に努める必要があり、平成24年度も引き続き支援を行う。														

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	02 茶業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	高品質茶推進事業補助金	所管課	農林茶業課																												
		決算額	3,240千円																												
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるために、品質の改善や生産性の向上に繋がる幅広い対策を支援する。																														
成果・実績	<p>昨年度と同様、手摘みによる高級茶の生産をはじめ、環境にやさしい茶づくりや寒冷紗等による茶園管理の省力化等を支援する。平成23年度から新たに伝統技術継承対策を設け、宇治茶の伝統の継承を図るとともに高品質茶づくりを推進した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">事業実施件数</th> <th style="text-align: center;">面積(a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境にやさしい茶生産対策</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">367.0</td> </tr> <tr> <td>手摘み茶推進対策</td> <td style="text-align: center;">39</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>凍霜害対策</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">23.0</td> </tr> <tr> <td>伝統技術継承対策</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">155.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">生産省力化対策</td> <td>寒冷紗二重式</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">32.0</td> </tr> <tr> <td>被覆張替え</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">21.2</td> </tr> <tr> <td>点滴灌水</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">18.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">61</td> <td style="text-align: center;">616.2</td> </tr> </tbody> </table>				事業実施件数	面積(a)	環境にやさしい茶生産対策	8	367.0	手摘み茶推進対策	39	—	凍霜害対策	2	23.0	伝統技術継承対策	5	155.0	生産省力化対策	寒冷紗二重式	2	32.0	被覆張替え	3	21.2	点滴灌水	2	18.0	合計	61	616.2
	事業実施件数	面積(a)																													
環境にやさしい茶生産対策	8	367.0																													
手摘み茶推進対策	39	—																													
凍霜害対策	2	23.0																													
伝統技術継承対策	5	155.0																													
生産省力化対策	寒冷紗二重式	2	32.0																												
	被覆張替え	3	21.2																												
	点滴灌水	2	18.0																												
合計	61	616.2																													
事業評価	平成23年度から「ほんず」を新たな補助対象とするなど、より高品質な宇治茶の生産を促進できた。宇治茶、とりわけ市内産の名声を維持し、さらに高めるためには、質の高い宇治茶の生産に努める必要があり、平成24年度も引き続き支援を行う。																														

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	03 林業・漁業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	天ヶ瀬森林公園整備費	所管課	農林茶業課
		決算額	2,646千円
事業内容	天ヶ瀬森林公園が、市民にとって安全で快適な施設となるよう、日常の維持管理や施設整備を行う。		
成果・実績	サクラの道の整備、倒木処理のほか、トイレや園内の清掃等を行い、市民の利用に供した。		
事業評価	豊かな自然と触れ合うことができる貴重な場所であり、多くの市民に親しまれている。今後も安全に利用できるよう、適切な維持管理に努める。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	03 林業・漁業の振興	

事務事業名	森林病虫害防除費	所管課	農林茶業課										
		決算額	2,704千円										
事業内容	従来の松くい虫対策に加え、平成22年度より実施している市有林を対象としたカシノナガキクイムシの対策で薬剤による予防・保護を行うとともに、被害木の伐倒処理を行い被害の蔓延を防止する。温室効果ガス吸収源対策森林整備事業交付金の交付を受けて実施している。												
成果・実績	森林組合に委託して事業を実施した。												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">工種</th> <th style="width: 40%;">事業量(m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松くい虫(樹幹注入)</td> <td style="text-align: center;">71.5</td> </tr> <tr> <td>松くい虫(伐倒駆除)</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td>カシノナガキクイムシ(伐倒駆除)</td> <td style="text-align: center;">27</td> </tr> <tr> <td>カシノナガキクイムシ(コーティング)</td> <td style="text-align: center;">25</td> </tr> </tbody> </table>			工種	事業量(m ³)	松くい虫(樹幹注入)	71.5	松くい虫(伐倒駆除)	10	カシノナガキクイムシ(伐倒駆除)	27	カシノナガキクイムシ(コーティング)	25
工種	事業量(m ³)												
松くい虫(樹幹注入)	71.5												
松くい虫(伐倒駆除)	10												
カシノナガキクイムシ(伐倒駆除)	27												
カシノナガキクイムシ(コーティング)	25												
事業評価	対策を拡大し、松枯れ・ナラ枯れ防止を図ったが、カシノナガキクイムシについては、被害の状況により迅速な対応が必要となるため、状況を注視しながら平成24年度も継続実施する。												

事務事業名	鳥獣捕獲飼養対策費	所管課	農林茶業課																																								
		決算額	27,869千円																																								
事業内容	農林業生産物に被害を与える鳥獣の駆除を宇治猟友会に委託するとともに、防護柵の設置を行い鳥獣の侵入を防止する。																																										
成果・実績	シカやイノシシなどによる農林業生産物への被害を防止するため、東部山間地を中心に、宇治猟友会に委託して有害鳥獣を捕獲した。また、地元山間集落の協力のもと集落周辺に防護柵を設置した。																																										
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 40px;"> <tr> <td style="width: 15%;">捕獲数</td> <td style="width: 15%;">オスジカ</td> <td style="width: 15%;">16頭</td> <td style="width: 15%;">メスジカ</td> <td style="width: 15%;">11頭</td> <td style="width: 15%;">イノシシ</td> <td style="width: 15%;">14頭</td> <td style="width: 15%;">メスザル</td> <td style="width: 15%;">1頭</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">防護柵(金網)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H=2.0m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>L=12,290m</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H=1.5m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>L=1,050m</td> </tr> </table>			捕獲数	オスジカ	16頭	メスジカ	11頭	イノシシ	14頭	メスザル	1頭					防護柵(金網)											H=2.0m					L=12,290m					H=1.5m					L=1,050m
捕獲数	オスジカ	16頭	メスジカ	11頭	イノシシ	14頭	メスザル	1頭																																			
			防護柵(金網)																																								
				H=2.0m					L=12,290m																																		
				H=1.5m					L=1,050m																																		
事業評価	有害鳥獣の駆除等により農作物への被害防止に努めているが、決定的な対策がないのが実情である。平成24年度も継続して取組を続けるとともに、地域と連携してより効果的な対策を検討する必要がある。																																										

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	03 林業・漁業の振興	

事務事業名	林道維持管理費	所管課	農林茶業課
		決算額	11,478千円
事業内容	林道における通行の安全を確保するため、日常の維持管理を行うとともに、災害等にも適切に対応する。		
成果・実績	<p>林道は、山間部における生活道路としての機能を有するため、不法投棄された廃棄物の撤去や路肩草刈り、側溝清掃、法面補修などの日常の維持管理に努めるとともに、落石防止柵設置など、安全対策を実施した。</p> <p>また、谷山林道における通行の安全を確保するため、未設置であった路肩部分のガードレール新設工事を実施し、安全対策を強化した。</p> <p style="margin-left: 20px;">工事延長 L=167.5m</p>		
事業評価	本市が所有または管理する林道については適切に維持管理を行い、通行の安全が確保できた。引き続き、市民の利用頻度や防災上の観点なども考慮しながら、適切な管理に努める。		

事務事業名	河川種苗放流事業補助金	所管課	農林茶業課
		決算額	1,206千円
事業内容	稚魚の放流による水産資源の増殖を通して、快適な水辺空間及び良好な漁場を地域住民や観光客に提供し、魚の棲めるきれいな川づくりへの気運を高める。		
成果・実績	<p>宇治川・志津川・笠取川等で行われた、あゆ（9万尾）、ふな（5千尾）、うなぎ（4千尾）、あまご（1千2百尾）、はえ（1万2千尾）の稚魚放流に対して助成を行い、水産資源の増殖に努めた。なお、コイヘルペスの蔓延防止のため、こいの放流は自粛となった。</p>		
事業評価	京都府の補助制度を活用し、種苗放流事業に助成を行うことにより、水産資源の増殖と河川の環境改善などに寄与しており、今後も継続して取組を進める。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	01 商業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	産業会館管理運営費	所管課	商工観光課																								
		決算額	12,330千円																								
事業内容	宇治市産業会館は、商工業の振興の中核施設として、各種情報交換の場、会議・研修の場、地場産品の展示・紹介の場など、幅広く利用されている。地域経済を担う商工業者等が有効に活用することにより、産業の振興と発展につながる。会館の管理運営については宇治商工会議所を指定管理者としている。																										
成果・実績	施設利用状況 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業情報コーナー</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">800</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td style="text-align: center;">269</td> <td style="text-align: center;">25,727</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">3,111</td> </tr> <tr> <td>第一研修室</td> <td style="text-align: center;">184</td> <td style="text-align: center;">5,952</td> </tr> <tr> <td>第二研修室</td> <td style="text-align: center;">300</td> <td style="text-align: center;">6,179</td> </tr> <tr> <td>茶室</td> <td style="text-align: center;">208</td> <td style="text-align: center;">3,170</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">1,065</td> <td style="text-align: center;">44,939</td> </tr> </tbody> </table>				件数	人数	産業情報コーナー	4	800	多目的ホール	269	25,727	会議室	100	3,111	第一研修室	184	5,952	第二研修室	300	6,179	茶室	208	3,170	合計	1,065	44,939
	件数	人数																									
産業情報コーナー	4	800																									
多目的ホール	269	25,727																									
会議室	100	3,111																									
第一研修室	184	5,952																									
第二研修室	300	6,179																									
茶室	208	3,170																									
合計	1,065	44,939																									
事業評価	指定管理者によって適正に管理運営した。民間企業の研修、商工会議所の活動などに幅広く利用されており、今後も継続して有効活用を図る。																										

事務事業名	宇治市中小企業低利融資事業費	所管課	商工観光課															
		決算額	1,505,052千円															
事業内容	市内の中小企業者に対して、事業資金を低利・無担保で融資し、その経営の安定を図る。市内に引き続き1年以上住所を有し、市税に滞納がなく京都信用保証協会の保証対象業種であること、法人は代表者の連帯保証人が必要であること（個人の場合不要）を条件として融資する。また、当該融資利用者に対し、支払った保証料及び利子の一部に相当する額を補給する。																	
成果・実績	宇治市中小企業低利融資 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保証料補給</td> <td style="text-align: center;">326</td> <td style="text-align: center;">32,156</td> </tr> <tr> <td>利子補給</td> <td style="text-align: center;">953</td> <td style="text-align: center;">103,952</td> </tr> <tr> <td>損失補償</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5,944</td> </tr> <tr> <td>預託金</td> <td style="text-align: center;">5金融機関</td> <td style="text-align: center;">1,363,000</td> </tr> </tbody> </table> 宇治市中小企業低利融資実行は338件、融資金額は3,584,780千円				件数	金額（千円）	保証料補給	326	32,156	利子補給	953	103,952	損失補償	5	5,944	預託金	5金融機関	1,363,000
	件数	金額（千円）																
保証料補給	326	32,156																
利子補給	953	103,952																
損失補償	5	5,944																
預託金	5金融機関	1,363,000																
事業評価	市内の中小企業者に対して、事業資金の低利融資保証料及び利子補給補助を行い、経営の安定化に寄与した。中小企業の経営の安定と健全な事業資金供給のため、平成24年度も継続実施する。																	

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	01 商業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	中小企業振興対策事業費	所管課	商工観光課												
		決算額	7,196千円												
事業内容	商店街・小売市場が行う商店街施設（街路灯・アーチ・統一看板等）を設置する事業並びに商工業団体の行う活性化対策事業、情報化対策事業に対して補助し、商店街等の振興を図る。														
成果・実績	商店街等が実施する活性化、情報化対策事業等に対して、19件13団体に対し補助を行い、中小企業の振興に努めた。														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活性化対策事業</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">3,841</td> </tr> <tr> <td>情報化対策事業</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">1,469</td> </tr> <tr> <td>商店街販売促進事業</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">1,886</td> </tr> </tbody> </table>				件数	金額（千円）	活性化対策事業	8	3,841	情報化対策事業	3	1,469	商店街販売促進事業	8	1,886
	件数	金額（千円）													
活性化対策事業	8	3,841													
情報化対策事業	3	1,469													
商店街販売促進事業	8	1,886													
事業評価	商店街等が行う活性化対策事業等に補助し、商店街等の振興発展を図ることができた。経済状況の厳しい中、商店街の振興発展に効果的な事業であるため、平成24年度も継続実施する。														

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	03 観光の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	観光センター管理運営費	所管課	商工観光課									
		決算額	25,791千円									
事業内容	観光情報サービスの拠点として、市内の観光案内のほか観光パンフレットの配布を行っている。センターの管理運営については（社）宇治市観光協会を指定管理者としている。											
成果・実績	<p>入館者数 260,500人 観光案内件数 44,707件</p> <p>貸館状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用件数</th> <th>施設使用料（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示会場</td> <td style="text-align: center;">96（うち有料件数5）</td> <td style="text-align: center;">25,000</td> </tr> <tr> <td>和室</td> <td style="text-align: center;">11（うち有料件数1）</td> <td style="text-align: center;">3,000</td> </tr> </tbody> </table>				利用件数	施設使用料（円）	展示会場	96（うち有料件数5）	25,000	和室	11（うち有料件数1）	3,000
	利用件数	施設使用料（円）										
展示会場	96（うち有料件数5）	25,000										
和室	11（うち有料件数1）	3,000										
事業評価	指定管理者によって適正に管理運営した。観光宇治の拠点施設として、観光振興の大きな役割を担っているが、施設が老朽化しており、計画的な維持管理を検討する必要がある。											

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	03 観光の振興	

事務事業名	市営茶室管理運営費	所管課	商工観光課												
		決算額	10,630千円												
事業内容	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっており、茶室の管理運営については（社）宇治市観光協会を指定管理者としている。														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">入席者数</td> <td style="text-align: right;">11,306人</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">うち有料券数</td> <td style="text-align: right;">10,515人</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">うち招待券数</td> <td style="text-align: right;">791人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding-top: 10px;">専用使用料利用状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">件数</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">専用使用料（円）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">3（うち有料件数1）</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">3,000</td> </tr> </table>			入席者数	11,306人	うち有料券数	10,515人	うち招待券数	791人	専用使用料利用状況		件数	専用使用料（円）	3（うち有料件数1）	3,000
入席者数	11,306人														
うち有料券数	10,515人														
うち招待券数	791人														
専用使用料利用状況															
件数	専用使用料（円）														
3（うち有料件数1）	3,000														
事業評価	指定管理者によって適正に管理運営した。「対鳳庵」で気軽に本場の宇治茶を提供することで宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図ることができた。今後も国内外に対して宇治茶の普及を目的に施設のPR及び管理運営を行う。														

事務事業名	観光協会補助金	所管課	商工観光課
		決算額	16,191千円
事業内容	四季を通じた観光イベントを企画・実施することで、市民や観光客に憩いの場を提供し、本市の観光振興に大きく貢献している（社）宇治市観光協会に対して助成を行う。		
成果・実績	宇治川花火大会、観光写真コンクール、宇治川の鶺鴒、京都宇治灯り絵巻など、（社）宇治市観光協会が実施する諸事業に対し助成を行い、観光振興を図った。		
事業評価	花火大会をはじめとする諸事業に補助し、観光宇治のイメージアップを図ることができた。今後も協働で事業の内容を充実し、さらなる観光振興に繋げるため平成24年度も継続して助成を行う。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上
小分類	01 勤労者福祉の向上

所管部局
市民環境部

事務事業名	城南地域職業訓練協会運営補助金	所管課	商工観光課
		決算額	2,460千円
事業内容	技能労働者の養成と在職労働者の職業能力の向上を図るため、職業訓練法人城南地域職業訓練協会が実施する職業訓練事業に対して補助する。		
成果・実績	求職者及び在職者に対し、パソコン・ビジネス英会話・医療事務・介護事務・調剤薬局講座等を開催した。25講座で209人が受講した。		
事業評価	求職者及び在職者の職業能力開発向上等を図ることができた。職業訓練が今後もより効果的に継続されるよう職業訓練事業の選定等、さらなる改善に向けた検討が必要である。		

事務事業名	技能功労者表彰費	所管課	商工観光課																												
		決算額	316千円																												
事業内容	永く同一の職業に従事している優れた技能者の功労を称えることによって、技能水準の一層の向上と技能尊重の気運を高めることを目的に実施する。																														
成果・実績	<p>技能功労者 12人 (内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>表彰人数</th> <th>職種</th> <th>表彰人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容</td> <td>1</td> <td>理容</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>自動車整備</td> <td>1</td> <td>陶磁器色絵付</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大工</td> <td>1</td> <td>左官</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>陶磁器製造</td> <td>1</td> <td>製茶職</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>電気工事</td> <td>2</td> <td>しょう油製造</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>機械器具修理</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			職種	表彰人数	職種	表彰人数	美容	1	理容	1	自動車整備	1	陶磁器色絵付	1	大工	1	左官	1	陶磁器製造	1	製茶職	1	電気工事	2	しょう油製造	1	機械器具修理	1		
職種	表彰人数	職種	表彰人数																												
美容	1	理容	1																												
自動車整備	1	陶磁器色絵付	1																												
大工	1	左官	1																												
陶磁器製造	1	製茶職	1																												
電気工事	2	しょう油製造	1																												
機械器具修理	1																														
事業評価	表彰により功労を称え、技能水準の一層の向上及び技能尊重の気運の高揚が図ることができた。今後も幅広い職業の技能者を称えるよう継続実施する。																														

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上	
小分類	01 勤労者福祉の向上	

事務事業名	緊急雇用対策事業費	所管課	商工観光課
		決算額	133,843千円
事業内容	経済情勢が急速に悪化している状況を踏まえ、国が創設したふるさと雇用再生特別給付金及び緊急雇用創出事業臨時特例交付金を基に、造成された京都府緊急雇用対策基金を活用し、雇用・就業機会の創出を図る。		
成果・実績	本市が緊急に実施する必要性の高い16事業を実施し、延べ171人の失業者を雇用し、就業機会の創出に努めた。		
	緊急雇用創出事業	108,145千円	
	緊急雇用事業	99,487千円	
	臨時職員費	19,891千円	
	住民票除票データ保存整理事業	4,719千円	
	高齢者雇用創出事業	2,538千円	
	都市公園美化事業	3,660千円	
	自転車放置防止啓発看板等整備事業	886千円	
	学校施設等樹木管理事業	11,445千円	
	生涯学習関連施設環境改善事業	849千円	
	行政資料デジタル化事業	46,179千円	
	青少年センター環境改善事業	2,930千円	
	公立保育所環境改善事業	5,010千円	
	コミュニティワーク環境整備業務	1,380千円	
	重点分野雇用創出事業	8,658千円	
	宇治市観光動向調査事業	5,553千円	
	地域包括支援センター業務補助事業	2,644千円	
	受診勧奨者啓発事業	461千円	
	ふるさと雇用再生特別基金事業	25,698千円	
	新生児家庭状況調査事業	7,599千円	
	障害者通所施設機能強化事業	18,099千円	
事業評価	経済状況が厳しい中、国制度に基づき基金を活用し、様々な事業を行うことで、雇用・就職機会の創出を図ることができた。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上
小分類	01 勤労者福祉の向上

所管部局
市民環境部

事務事業名	宇治市観光動向調査事業（緊急雇用分）	所管課	商工観光課
		決算額	5,552千円
事業内容	宇治市を訪問する観光客や外国人観光客、京都観光客などの状況を把握し、観光の振興を図るための基礎資料を作成する。		
成果・実績	「宇治市観光動向調査」、「外国人観光客の実態調査」、「京都観光における宇治のイメージ調査」、「地元商店調査」の4つの調査を実施し、調査結果報告書を作成した。		
事業評価	作成された調査結果報告書によって、宇治市の観光特性や課題を明らかにすることができた。調査結果を活用し、平成24年度に宇治市観光振興計画を策定する。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上	
小分類	02 消費生活の充実	

事務事業名	消費生活モニター活動費	所管課	商工観光課
		決算額	210千円
事業内容	消費生活におけるレベルの向上や地域での消費者リーダーを育成するとともに、消費生活に関する事柄についての意見、要望等を行政に反映させることなどを目的に、市民公募により委嘱した消費生活モニターに対し、各種研修等を行う。		
成果・実績	12人の消費生活モニターから消費生活に関する意見、要望、苦情等の情報提供を受けるとともに、地域の消費者リーダーとしての知識習得のため、研修会や調査活動を実施した。		
事業評価	市民の消費生活における現状や問題を把握するとともに、消費生活を向上させることができた。社会情勢等の変化により、消費生活モニター制度については平成23年度で廃止し、今後は消費生活講座の回数・内容を拡充することで対応する。		

事務事業名	消費者支援事業費	所管課	商工観光課
		決算額	1,766千円
事業内容	事業者と消費者との間の取り引きに関して生じた苦情を専門の消費生活相談員が助言、情報提供、あっせんなどを行うとともに、市民の消費生活の向上を図るための啓発を行う。		
成果・実績	消費生活センターに専門の消費生活相談員を3人配置し、1,009件の相談に応じた。また、複雑多岐にわたる案件に対処する必要から、消費生活相談員の一層のレベルアップを図るために、各種研修会等へ参加した。さらに、消費生活に関する市民啓発等を行った。		
事業評価	市民の消費生活に関する苦情や問い合わせに対し、専門の消費生活相談員が適切な助言、あっせんなどを行い、消費生活の改善、向上に寄与した。今後も広範な消費生活に関する苦情や相談が想定されることから、専門知識を有する相談員の配置が不可欠であり、そのためにも相談員の一層のレベルアップと市民啓発が必要である。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	02 工業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	企業立地促進助成事業費	所管課	産業推進課
		決算額	30,162千円
事業内容	宇治市企業立地促進条例に基づき、地域経済の活性化と産業振興の促進を図るため、市内に事業場等の設置、拡張を図る企業に助成金を交付する。		
成果・実績	市内に工場、事業所などを新設または増設した企業7社に対して操業支援助成金等を交付した。		
事業評価	条例に基づき適正に執行し、地域経済の活性化等を図ることができた。今後も企業誘致の刺激策や企業の市外移転防止策、ひいては雇用の創出策として、平成24年度も継続実施する。		

事務事業名	ベンチャー企業育成支援事業費	所管課	産業推進課
		決算額	14,191千円
事業内容	インキュベーションマネージャーを配置し、VIF(宇治ベンチャー企業育成工場)入居企業及び市内のベンチャー企業の育成支援のための諸施策を実施する。		
成果・実績	京都リサーチパーク(株)に業務委託してコーディネーターを配置し、ベンチャー企業育成工場の入居企業に対して経営・販路拡大等の伴走型支援を行うとともに、セミナー等を通じて市内既存企業にも支援を行った。		
事業評価	各種支援を行い、ベンチャー企業育成に努めた。販路拡大、技術開発、資金調達など、入居企業の自立と事業拡大につなげるための支援は必要であり、今後も新たな入居企業を確保し、新産業の創出による雇用の創出を目指して、継続実施する。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	02 工業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	展示会出展支援助成事業費	所管課	産業推進課
		決算額	1,115千円
事業内容	市内の中小企業者（製造業及び情報系産業等）が開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展することにより、当該製品に関心がある企業との会合を契機として、見積書の提出、新規取引へとマーケティング拡大に向けて取り組む。本市が出展経費の一部を助成することにより、産業振興を図る。		
成果・実績	企業の新規取引の促進を図るため、開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展した市内の中小企業7社に対し、その経費の一部を助成した。		
事業評価	市内中小企業の展示会出展費用の一部を助成し、産業振興を図ることができた。マーケティング拡大が企業経営の中心課題であり、展示会への出展は新規取引を開拓する上で有効な手法である。企業の積極的な事業展開に対する助成制度は必要であり、平成24年度も継続実施する。		

事務事業名	産業振興センター運営費	所管課	産業推進課
		決算額	7,115千円
事業内容	産業に関する情報の収集・提供及び企業の育成・支援を行うため設置された産業振興センターの管理・運営を行う。		
成果・実績	同一敷地内にあるベンチャー企業育成工場のサポートを行うとともに、産業振興を推進する中核施設として、産業振興センターの円滑な管理・運営に努めた。		
事業評価	毎年貸館収入は増加しており、地元企業の利用も定着してきている。今後は、地域住民等に貸館対象を拡大し、さらなるセンターの活用を図る。		


平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	06 人権尊重社会の実現
小分類	01 人権教育・啓発の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	人権啓発事業費	所管課	人権啓発課
		決算額	4,469千円

事業内容	人権尊重理念を普及し、様々な人権問題の解決に対する市民の理解を深めるため、宇治市人権教育・啓発推進計画に基づき、各種の広報・啓発事業を行う。(府補助額：2,696千円)
------	--

成果・実績	人権強調月間(8月)の取組	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひゅうまんシネマフェスタ</td> <td>文化センター</td> <td>1,100人参加</td> </tr> <tr> <td>人権啓発スポットCM放送</td> <td>エフエム宇治放送</td> <td>1日3回放送</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>市役所庁舎</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人権啓発パネル展示</td> <td>市役所市民ギャラリー</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>街頭啓発</td> <td>近鉄大久保駅</td> <td>啓発物品配布・コンサート</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	実施場所	成果等	ひゅうまんシネマフェスタ	文化センター	1,100人参加	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	-	街頭啓発	近鉄大久保駅	啓発物品配布・コンサート													
	事業名	実施場所	成果等																														
	ひゅうまんシネマフェスタ	文化センター	1,100人参加																														
	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送																														
	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-																														
	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	-																														
	街頭啓発	近鉄大久保駅	啓発物品配布・コンサート																														
	人権週間(12月4日～10日)の取組	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひゅうまんフェスタ</td> <td>生涯学習センター周辺一帯</td> <td>1,000人参加</td> </tr> <tr> <td>人権啓発スポットCM放送</td> <td>エフエム宇治放送</td> <td>1日3回放送</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>市役所庁舎</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人権啓発パネル展示</td> <td>市役所市民ギャラリー</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>街頭啓発</td> <td>コーナンJR宇治駅北店</td> <td>啓発物品配布</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	実施場所	成果等	ひゅうまんフェスタ	生涯学習センター周辺一帯	1,000人参加	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	-	街頭啓発	コーナンJR宇治駅北店	啓発物品配布													
	事業名	実施場所	成果等																														
	ひゅうまんフェスタ	生涯学習センター周辺一帯	1,000人参加																														
人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送																															
人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-																															
人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	-																															
街頭啓発	コーナンJR宇治駅北店	啓発物品配布																															
その他の取組	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報紙「jinken」配布</td> <td>8月、1月</td> <td>-</td> <td>各号8万部</td> </tr> <tr> <td>楽しく学ぶ人権講座</td> <td>2月～3月</td> <td>生涯学習センター他</td> <td>180人参加</td> </tr> <tr> <td>人権の花運動</td> <td>10月</td> <td>市内小学校4校</td> <td>球根530個配付</td> </tr> <tr> <td>人権啓発物品配布</td> <td>年間</td> <td>各種催し</td> <td>4,600個配布</td> </tr> <tr> <td>啓発教材(DVD等)貸出</td> <td>年間</td> <td>-</td> <td>年30本貸出</td> </tr> <tr> <td>市政だよりによる広報・啓発</td> <td>年間</td> <td>-</td> <td>年22回掲載</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>5月</td> <td>市役所庁舎</td> <td>憲法週間</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	実施時期	実施場所	成果等	情報紙「jinken」配布	8月、1月	-	各号8万部	楽しく学ぶ人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	180人参加	人権の花運動	10月	市内小学校4校	球根530個配付	人権啓発物品配布	年間	各種催し	4,600個配布	啓発教材(DVD等)貸出	年間	-	年30本貸出	市政だよりによる広報・啓発	年間	-	年22回掲載	人権啓発懸垂幕掲示	5月	市役所庁舎	憲法週間
事業名	実施時期	実施場所	成果等																														
情報紙「jinken」配布	8月、1月	-	各号8万部																														
楽しく学ぶ人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	180人参加																														
人権の花運動	10月	市内小学校4校	球根530個配付																														
人権啓発物品配布	年間	各種催し	4,600個配布																														
啓発教材(DVD等)貸出	年間	-	年30本貸出																														
市政だよりによる広報・啓発	年間	-	年22回掲載																														
人権啓発懸垂幕掲示	5月	市役所庁舎	憲法週間																														
山城地区広域連携事業	<p>山城人権ネットワーク推進協議会(ひゅうまんねっとやましろ)を通じて、広域連携・市民連携の啓発活動に取り組んだ。</p>																																
																																	
	人権の花運動																																

事業評価	参加者が年々増加しており、市民の人権に対する関心は着実に高まっているが、市民意識や行動にどのような影響を与えたかについては把握できておらず、今後もアンケート調査の分析等を通じて、市民意識の把握に努め、効果的な手法による取組を推進する必要がある。
------	--

平成 23 年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	06 人権尊重社会の実現	
小分類	01 人権教育・啓発の推進	

事務事業名	所管課	人権啓発課
コミュニティワークうじ館・こはた館運営事業	決算額	15,415千円
事業内容	福祉の向上と人権啓発のための市民活動・市民交流を促進するため、地域福祉の推進を図るための事業や各種人権啓発交流事業を行う。	
成果・実績	<p>コミュニティワークうじ館・こはた館地域福祉活動推進事業費 10,046千円（府補助額：3,030千円） 地域福祉の推進を図るため、相談事業や学習講座開催事業、隣保館デイサービス事業を実施した。</p> <p>コミュニティワークうじ館・こはた館啓発交流活動推進事業費 5,369千円（府補助額：2,831千円） 「人権尊重理念の普及」と「さまざまな人権問題の解決」に向け、交流講座の開催や人権啓発イベント開催事業を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>映画上映会（うじ館）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>健やかからだ講座（こはた館）</p> </div> </div>	
事業評価	館主催事業への市民参加は徐々に増加しているが、市民団体の自主活動による館利用は低調である。今後とも館の積極的な広報に努めるとともに、福祉の向上と人権啓発のための市民交流拠点として、気軽に利用できる工夫が必要である。	

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	07 男女共同参画社会の形成
小分類	01 男女共同参画の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	男女共同参画施策推進費	所管課	男女共同参画課																												
		決算額	2,917千円																												
事業内容	男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会を実現するため、宇治市男女生き生きまちづくり条例（平成16年10月制定）及び宇治市男女共同参画計画「UJIあさぎりプラン」に基づき、広報・啓発事業や学習機会の提供、市民活動支援を行う。																														
成果・実績	広報・啓発	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男女共同参画情報誌「リズム」発行</td> <td>3月</td> <td>-</td> <td>2,000部</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画支援センターニュース「情報てんこもり」発行</td> <td>6月・3月</td> <td>-</td> <td>1,500部/回</td> </tr> <tr> <td>市政だよりによる広報・啓発</td> <td>年間</td> <td>-</td> <td>年17回掲載</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画週間UJIのつどい</td> <td rowspan="3">6月26日</td> <td rowspan="3">生涯学習センター</td> <td>150人参加</td> </tr> <tr> <td>トークショーとパネルディスカッション</td> <td>(123人参加)</td> </tr> <tr> <td>パパとチャレンジクッキング</td> <td>(27人参加)</td> </tr> <tr> <td>UJIあさぎりフェスティバル</td> <td>12月3・4日</td> <td>男女共同参画支援センター</td> <td>延べ1,000人参加</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	実施時期	実施場所	成果	男女共同参画情報誌「リズム」発行	3月	-	2,000部	男女共同参画支援センターニュース「情報てんこもり」発行	6月・3月	-	1,500部/回	市政だよりによる広報・啓発	年間	-	年17回掲載	男女共同参画週間UJIのつどい	6月26日	生涯学習センター	150人参加	トークショーとパネルディスカッション	(123人参加)	パパとチャレンジクッキング	(27人参加)	UJIあさぎりフェスティバル	12月3・4日	男女共同参画支援センター	延べ1,000人参加
	事業名	実施時期	実施場所	成果																											
	男女共同参画情報誌「リズム」発行	3月	-	2,000部																											
	男女共同参画支援センターニュース「情報てんこもり」発行	6月・3月	-	1,500部/回																											
	市政だよりによる広報・啓発	年間	-	年17回掲載																											
	男女共同参画週間UJIのつどい	6月26日	生涯学習センター	150人参加																											
	トークショーとパネルディスカッション			(123人参加)																											
	パパとチャレンジクッキング			(27人参加)																											
	UJIあさぎりフェスティバル	12月3・4日	男女共同参画支援センター	延べ1,000人参加																											
	学習機会の提供・市民活動支援	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各種セミナー（全8セミナー）</td> <td>年間</td> <td rowspan="3">男女共同参画支援センター他</td> <td>延べ359人参加</td> </tr> <tr> <td>ここからチャレンジ相談（全24回うち4回出前相談）</td> <td>年間</td> <td>延べ84人参加</td> </tr> <tr> <td>市民企画事業奨励事業（2件）</td> <td rowspan="2">年間</td> <td rowspan="2">延べ746人参加</td> </tr> <tr> <td>市民企画サポート事業（14件）</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	実施時期	実施場所	成果	各種セミナー（全8セミナー）	年間	男女共同参画支援センター他	延べ359人参加	ここからチャレンジ相談（全24回うち4回出前相談）	年間	延べ84人参加	市民企画事業奨励事業（2件）	年間	延べ746人参加	市民企画サポート事業（14件）													
事業名	実施時期	実施場所	成果																												
各種セミナー（全8セミナー）	年間	男女共同参画支援センター他	延べ359人参加																												
ここからチャレンジ相談（全24回うち4回出前相談）	年間		延べ84人参加																												
市民企画事業奨励事業（2件）	年間		延べ746人参加																												
市民企画サポート事業（14件）																															
DV対策	宇治市DV対策ネットワーク会議を年3回開催し、DV被害に関する情報共有を図るとともに、事例の研究等を通じて、DV防止及び被害者の保護・支援に係る関係機関・団体の相互連携に努めた。																														
DV啓発	民間支援団体と共催で、市役所1階市民ギャラリーで「DVを知ろう 暴力に気づこう」を開催し、DVなど女性に対する暴力の防止に向けた広報・啓発を行った。																														
中学生用男女共同参画ハンドブック作成	平成12年度から全市立中学3年生に配付している中学生用男女共同参画ハンドブックを、中学校校長会と教育指導課の協力を得て内容を見直した。ワーク・ライフ・バランスやデートDVなど今日的な課題を加え、イラストを入れてわかりやすく解説した。（2,000部作成）																														
事業評価	市民が企画した事業（奨励事業・サポート事業）の実施数が増加し、中学生から高齢者まで幅広い年代の参加者を得ることができた。今後も、より多様な市民等と連携・協働することで、効果的な男女共同参画施策の推進に努める。																														

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	07 男女共同参画社会の形成
小分類	01 男女共同参画の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	男女共同参画支援センター運営費	所管課	男女共同参画課																			
		決算額	14,469千円																			
事業内容	男女共同参画のための市民活動・市民交流の拠点施設として、市民利用の促進に努めるとともに、女性のための相談事業や女性問題アドバイザー派遣事業を行う。																					
成果・実績	<p>年間利用者数 39,562人 女性問題アドバイザー派遣実績 11件</p> <p>女性のための相談事業実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">相談区分</th> <th>件数 (うちDVに関するもの)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">一般相談</td> <td style="text-align: center;">来館相談</td> <td style="text-align: center;">192 (48)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">電話相談</td> <td style="text-align: center;">22 (2)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">214 (50)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">専門相談</td> <td style="text-align: center;">フェミニスト・カウンセリング</td> <td style="text-align: center;">55</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">こころとからだの相談</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">法律相談</td> <td style="text-align: center;">38</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </tbody> </table>			相談区分		件数 (うちDVに関するもの)	一般相談	来館相談	192 (48)	電話相談	22 (2)	合計	214 (50)	専門相談	フェミニスト・カウンセリング	55	こころとからだの相談	7	法律相談	38	合計	100
相談区分		件数 (うちDVに関するもの)																				
一般相談	来館相談	192 (48)																				
	電話相談	22 (2)																				
	合計	214 (50)																				
専門相談	フェミニスト・カウンセリング	55																				
	こころとからだの相談	7																				
	法律相談	38																				
	合計	100																				
事業評価	一般相談のうち、相談者がDVであると認識して相談に来られる件数が増加している。DV啓発や学習機会の提供により、DVという言葉だけでなく、内容が浸透してきたと考えられる。今後もDVが発生する背景や被害を受けた場合の対応及び相談窓口などについて、さまざまな媒体や機会を通じて市民啓発の推進に努める。																					

事務事業名	JR宇治駅前市民交流プラザ運営費	所管課	男女共同参画課
		決算額	9,830千円
事業内容	男女共同参画支援センター、地域子育て支援基幹センター、ファミリー・サポート・センター、観光案内所、民間保育園及び宇治駅前交番の複合施設であるJR宇治駅前市民交流プラザ(ゆめりあ うじ)の施設管理を行う。		
成果・実績	男女共同参画、子育て支援、観光など市民交流のための複合施設として多くの利用を図るため、機械設備総合管理業務、清掃業務、駐車場料金精算システム保守業務を委託し施設の適正管理に努めた。		
事業評価	施設の修繕が増加傾向にあるが、計画的に修繕を実施した。今後も適正な運営管理に努める。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	01 地球環境対策の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	地球温暖化対策関連事業	所管課	環境企画課
		決算額	1,030千円
事業内容	本市域から発生する温室効果ガスを平成24年度までに平成2年度比で10%削減するため、宇治市地球温暖化対策地域推進計画等に基づいて、市民・事業者に対して効果的な取組の普及啓発、温室効果ガス削減運動の推進などを実施する。		
成果・実績	<p>エコファミリー推進事業費 304千円 エコファミリー夏版、冬版を実施した。参加者を対象に、夏版では京エコロジーセンターの見学会、冬版ではフードマイレージ研修会を実施した。参加者は165世帯、エコファミリー認定者は102世帯となった。 取組に参加した世帯のCO₂排出量は、京都府南部の平均世帯と比べ、夏版で21%減となっている。</p> <p>地球温暖化対策推進事業費 726千円 宇治環境フェスタを開催し、地球温暖化対策等の普及啓発を図った。来場者は約700人であった。また、事業所向けエコ研修として、エコドライブ研修を実施した。</p>		
事業評価	各種の事業を実施することによって、市民や事業者の地球温暖化に対する意識を高めることができた。今後は、温室効果ガス排出量の10%削減に向けて、既存施策の強化及び効果的な施策の導入が必要である。		

事務事業名	太陽光発電システム設置事業費補助金	所管課	環境企画課									
		決算額	20,298千円									
事業内容	自然エネルギーを導入して家庭部門から排出される温室効果ガスの削減を図るため、住宅用太陽光発電システムの設置費用の一部を補助する。											
成果・実績	<p>本市の制度は、国の補助制度を受けた人への上乗せ補助となっており、本市の補助単価は国の7分の3とし、平成23年度では、出力1kwあたり3万円から2万円の補助へ改正した。ただし、平成22年度までに国の補助を受けた人については、出力1kwあたり3万円を補助した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">補助件数</th> <th style="width: 20%;">補助単価 (千円/kw)</th> <th style="width: 15%;">交付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">104</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">9,538</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">138</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">10,760</td> </tr> </tbody> </table>			補助件数	補助単価 (千円/kw)	交付金額 (千円)	104	30	9,538	138	20	10,760
補助件数	補助単価 (千円/kw)	交付金額 (千円)										
104	30	9,538										
138	20	10,760										
事業評価	市域内における温室効果ガスの削減に寄与した。地球温暖化対策に直接的な効果が見られる事業であるため、平成24年度も継続実施する。											

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	01 地球環境対策の推進	

事務事業名	地球温暖化対策推進パートナーシップ会議運営費	所管課	環境企画課																								
		決算額	352千円																								
事業内容	宇治市地球温暖化対策地域推進計画を進めるため、市民・事業者・行政が協働して地球温暖化防止活動の全市的な普及・啓発を行う「宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議」を運営する。																										
成果・実績	<p>環境学習・教育推進グループ、エコライフ/3R推進グループ、みどりのまちづくり推進グループ、森林保全・里山復権推進グループ、広報推進グループの5グループで、市民に対し身近で楽しみながら実践できる地球温暖化防止活動の普及・啓発を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">エコクッキング教室</td> <td style="width: 16.5%;">3回開催</td> <td style="width: 33%;">エコドライブ講習会</td> <td style="width: 16.5%;">2回開催</td> </tr> <tr> <td>家庭の省エネ相談所</td> <td>16回開設</td> <td>省エネ学習会</td> <td>1回開催</td> </tr> <tr> <td>緑のカーテン講習会</td> <td>4回開催</td> <td>宇治環境フェスタ</td> <td>1回開催</td> </tr> <tr> <td>森林ボランティア体験</td> <td>1回開催</td> <td>子ども環境学習会</td> <td>2回講師派遣</td> </tr> <tr> <td>イベント参加者</td> <td>総計1,696人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>広報紙</td> <td>年4回発行</td> <td>総計2,000部</td> <td></td> </tr> </table>			エコクッキング教室	3回開催	エコドライブ講習会	2回開催	家庭の省エネ相談所	16回開設	省エネ学習会	1回開催	緑のカーテン講習会	4回開催	宇治環境フェスタ	1回開催	森林ボランティア体験	1回開催	子ども環境学習会	2回講師派遣	イベント参加者	総計1,696人			広報紙	年4回発行	総計2,000部	
エコクッキング教室	3回開催	エコドライブ講習会	2回開催																								
家庭の省エネ相談所	16回開設	省エネ学習会	1回開催																								
緑のカーテン講習会	4回開催	宇治環境フェスタ	1回開催																								
森林ボランティア体験	1回開催	子ども環境学習会	2回講師派遣																								
イベント参加者	総計1,696人																										
広報紙	年4回発行	総計2,000部																									
事業評価	設立後4年目となり、パートナーシップ会議の実施事業は一定確立をした。今後は実施事業の効果を検証し、会議設立目的である地球温暖化対策の市民への普及啓発を強化する必要がある。																										




事務事業名	緑のカーテン推進事業費	所管課	環境企画課
		決算額	2,458千円
事業内容	市民・事業者向けに、地球温暖化対策としての「緑のカーテン」等の普及を啓発・推進する。		
成果・実績	<p>市庁舎議会棟南側、小学校（12校）、幼稚園（4園）、保育所（7所）、その他公共施設（13施設）及び3商店街において、緑のカーテンの取組を実施した。</p> <p>また、緑のカーテン市民モニター制度では個人49人と5事業所がモニター活動を行い、緑のカーテンの生育状況や涼しさの効果について報告を求めた。報告内容はホームページで公開して市民への啓発を図った。</p> <p>緑のカーテンを設置した世帯においては、冷房の使用頻度が減ることで、市域内の温室効果ガスの排出、抑制に寄与した。</p>		
事業評価	緑のカーテン講習会や市民モニターへの応募も多く、市民への普及啓発を効果的に実施できた。温室効果ガスの削減効果を検証しつつ、平成24年度も継続実施する。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	02 環境保全対策の強化


所管部局
市民環境部




事務事業名	IS014001推進費	所管課	環境企画課
		決算額	591千円
事業内容	宇治市環境保全計画の望ましい環境像である歴史・文化と自然を大切に、生活者の視点で創る環境都市宇治の実現のため、IS014001環境マネジメントシステムを運用して環境改善を継続的に実施する。		
成果・実績	平成24年1月に定期審査を受け、本市の環境マネジメントシステムは適正に管理維持されていると判定された。 本市のIS014001の取組は10年目となり、各所属において、紙使用量やごみの削減などといった目的目標から、本来業務に即した環境目的目標を持つことに重点を置くようになってきた。		
事業評価	本市の環境マネジメントシステムは適正に運用されていると判定された。平成24年度においては更新を行うが、IS014001の認証以外の手法を検討する必要がある。これまで構築してきた環境マネジメントシステムを継続して運用し、省エネルギーに繋がるような事業展開を図る。		

事務事業名	環境保全関連事業	所管課	環境企画課							
		決算額	8,376千円							
事業内容	市内における生活環境の状況把握を行うため、大気、水質、騒音などの監視測定を実施する。また、京滋バイパスを走行する車両の排気ガスによる大気汚染の状況把握を行うため、自動車排出ガス測定局を設置するとともに大気汚染物質の常時監視を実施する。									
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">環境監視費</td> <td style="text-align: right;">2,110千円</td> <td rowspan="3" style="width: 40%; text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> </tr> <tr> <td>発生源監視費</td> <td style="text-align: right;">933千円</td> </tr> <tr> <td>自動車排出ガス監視測定局運営費</td> <td style="text-align: right;">5,333千円</td> </tr> </table> <p>市内において自動車排出ガス等の大気測定、市内河川・事業場の水質測定、道路・鉄道等の騒音測定を行い、監視結果はいずれも良好であった。</p>			環境監視費	2,110千円		発生源監視費	933千円	自動車排出ガス監視測定局運営費	5,333千円
環境監視費	2,110千円									
発生源監視費	933千円									
自動車排出ガス監視測定局運営費	5,333千円									
事業評価	市内における大気、水質、騒音などの監視測定を適正に実施し、生活環境保全に努めた。今後も継続した環境及び発生源監視測定が必要である。									

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	03 環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進	


事務事業名	狂犬病予防費	所管課	環境企画課
		決算額	2,026千円
事業内容	<p>狂犬病の発生予防、まん延防止及び撲滅のため、狂犬病予防注射接種を推進するとともに、犬の登録及び鑑札の交付、狂犬病事業の予防注射済票の交付等事務を行う。また、府保健所との連携のもと、犬・猫等動物の適正飼養についての啓発活動を実施する。</p>		
成果・実績	<p>市内公共施設を中心に計28カ所で集合注射接種会場を設け、978頭に対し狂犬病予防注射を実施した。また、犬の登録業務では、新たに657頭の登録を行い、総登録数は10,590頭となった。さらには、犬の鳴き声や糞尿などに対する苦情対応や適正な動物の飼養に関する啓発を実施した。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>		
事業評価	<p>狂犬病予防注射の集合注射及び犬の登録事務などを適正に実施することにより、狂犬病の発生予防に寄与した。また、適正な動物の飼養に関する意識向上を図ることができた。公衆衛生の更なる向上を図るため、平成24年度も継続実施する。</p>		

事務事業名	環境衛生対策関連事業	所管課	環境企画課																
		決算額	1,852千円																
事業内容	<p>良好な生活環境を保全するため、「宇治市環境保全基本条例」「宇治市あき地の雑草等の除去に関する条例」などに基づき、各種の環境衛生対策を行う。</p>																		
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">そ族及び衛生害虫対策費</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">1,605千円</td> <td rowspan="3" style="text-align: right; vertical-align: middle;">  </td> </tr> <tr> <td> 野蜂駆除</td> <td style="text-align: right;">411件</td> </tr> <tr> <td> トビケラ駆除薬剤散布</td> <td style="text-align: right;">年1回（宇治川兩岸）</td> </tr> <tr> <td>あき地雑草等除去費</td> <td style="text-align: right;">247千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 指導件数</td> <td style="text-align: right;">98件（25,573㎡）</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 処理件数</td> <td style="text-align: right;">89件（23,371㎡）</td> <td></td> </tr> </table>			そ族及び衛生害虫対策費	1,605千円		野蜂駆除	411件	トビケラ駆除薬剤散布	年1回（宇治川兩岸）	あき地雑草等除去費	247千円		指導件数	98件（25,573㎡）		処理件数	89件（23,371㎡）	
そ族及び衛生害虫対策費	1,605千円																		
野蜂駆除	411件																		
トビケラ駆除薬剤散布	年1回（宇治川兩岸）																		
あき地雑草等除去費	247千円																		
指導件数	98件（25,573㎡）																		
処理件数	89件（23,371㎡）																		
事業評価	<p>衛生害虫対策及びあき地の適正管理に関する指導等を実施することにより、生活環境の保全を図ることができた。今後は、あき地の適正管理についての指導に応じないケースへの対応強化が必要である。</p>																		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	03 環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	斎場施設運営費	所管課	環境企画課								
		決算額	69,886千円								
事業内容	市民に火葬や葬祭等の利便を供するため、故人の尊厳を損なうことのない機能を有し、効率的で安全性が高く衛生的な施設運営を図る。										
成果・実績	<p>(財)宇治市霊園公社を指定管理者として指定し、適切かつ円滑な斎場事業を実施した。</p> <p style="text-align: center;">斎場利用実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>火葬場</td><td style="text-align: right;">2,986 件</td></tr> <tr><td>待合室</td><td style="text-align: right;">685 件</td></tr> <tr><td>安置室</td><td style="text-align: right;">93 件</td></tr> <tr><td>葬祭場</td><td style="text-align: right;">120 件</td></tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			火葬場	2,986 件	待合室	685 件	安置室	93 件	葬祭場	120 件
火葬場	2,986 件										
待合室	685 件										
安置室	93 件										
葬祭場	120 件										
事業評価	京都府南部地域において火葬場を有する斎場として果たす役割は大きく、公共の福祉に調和した事業を厳粛に実施することができた。今後も市民の宗教的感情に沿った事業の実施に努める。										

事務事業名	墓地公園管理費	所管課	環境企画課								
		決算額	24,337千円								
事業内容	市民福祉の向上に寄与するため、公園と一体となった墓地として宇治市墓地公園を設置し、緑に包まれた憩いと安らぎの場を提供する。										
成果・実績	<p>(財)宇治市霊園公社を指定管理者として指定し、適切かつ円滑な墓地公園事業を実施した。また、墓所使用者を年2回募集し、新たに使用を許可した。これにより総使用許可数は、2,720区画となった。</p> <p style="text-align: center;">新規使用許可数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>2㎡</td><td style="text-align: right;">94 件</td></tr> <tr><td>3㎡</td><td style="text-align: right;">20 件</td></tr> <tr><td>4㎡</td><td style="text-align: right;">6 件</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">120 件</td></tr> </table>			2㎡	94 件	3㎡	20 件	4㎡	6 件	合計	120 件
2㎡	94 件										
3㎡	20 件										
4㎡	6 件										
合計	120 件										
事業評価	市営墓地として公平性、中立性、継続性が求められる中、公共の福祉に調和した事業を適切に実施することができた。今後も利用者ニーズに沿った事業を継続実施する。										

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	浄化槽設置整備事業費補助金	所管課	環境企画課												
		決算額	3,819千円												
事業内容	生活排水による河川の水質汚濁を防止するため、浄化槽設置費用の一部を助成することにより、浄化槽の設置を促進する。														
成果・実績	下水道事業認可区域外等の地域において補助対象の住宅に、浄化槽設置費用の一部を補助した。														
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">人槽</th> <th style="text-align: center;">設置数</th> <th style="text-align: center;">補助単価 (千円)</th> <th style="text-align: center;">交付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">332</td> <td style="text-align: center;">2,988</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">414</td> <td style="text-align: center;">828</td> </tr> </tbody> </table>			人槽	設置数	補助単価 (千円)	交付金額 (千円)	5	9	332	2,988	7	2	414	828
人槽	設置数	補助単価 (千円)	交付金額 (千円)												
5	9	332	2,988												
7	2	414	828												
事業評価	浄化槽設置費用の一部を補助することにより、浄化槽設置を促進し、河川・水路等の水質改善に寄与した。平成24年度も継続実施する。														

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	一般廃棄物収集運搬事業	所管課	ごみ減量推進課																																																											
		決算額	273,635千円																																																											
事業内容	一般家庭から排出される可燃性・不燃性一般廃棄物の収集運搬業務及び資源ごみの収集運搬業務、また町内会等が側溝を清掃する際に必要な容器の貸出、回収業務を委託により実施する。																																																													
成果・実績	不燃物収集運搬委託費	149,500千円																																																												
	溝土収集運搬委託費	5,700千円																																																												
	可燃物収集運搬委託費	49,060千円																																																												
	びん・ペットボトル・発泡トレイ類収集運搬委託費	69,375千円																																																												
	家庭系ごみ等収集実績																																																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">各年度の収集量 (t)</th> <th rowspan="2">収集方法等</th> </tr> <tr> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃ごみ</td> <td>27,734</td> <td>26,888</td> <td>26,865</td> <td>3台委託</td> </tr> <tr> <td>不燃ごみ</td> <td>9,322</td> <td>9,579</td> <td>9,736</td> <td>委託 (一部地域除く)</td> </tr> <tr> <td>缶</td> <td>330</td> <td>296</td> <td>334</td> <td>3台委託</td> </tr> <tr> <td>びん</td> <td>1,142</td> <td>1,149</td> <td>1,151</td> <td>委託 (一部地域除く)</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル</td> <td>420</td> <td>431</td> <td>392</td> <td>委託 (一部地域除く)</td> </tr> <tr> <td>発泡トレイ類</td> <td>89</td> <td>88</td> <td>86</td> <td>委託 (一部地域除く)</td> </tr> <tr> <td>紙パック</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>29</td> <td>直営</td> </tr> <tr> <td>溝土</td> <td>107</td> <td>77</td> <td>68</td> <td>委託</td> </tr> <tr> <td>家電リサイクル法 対象家電製品</td> <td>80台</td> <td>62台</td> <td>76台</td> <td>直営</td> </tr> <tr> <td>死獣</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>直営</td> </tr> </tbody> </table>				各年度の収集量 (t)			収集方法等	21	22	23	可燃ごみ	27,734	26,888	26,865	3台委託	不燃ごみ	9,322	9,579	9,736	委託 (一部地域除く)	缶	330	296	334	3台委託	びん	1,142	1,149	1,151	委託 (一部地域除く)	ペットボトル	420	431	392	委託 (一部地域除く)	発泡トレイ類	89	88	86	委託 (一部地域除く)	紙パック	27	27	29	直営	溝土	107	77	68	委託	家電リサイクル法 対象家電製品	80台	62台	76台	直営	死獣	7	6	7	直営
		各年度の収集量 (t)				収集方法等																																																								
		21	22	23																																																										
	可燃ごみ	27,734	26,888	26,865	3台委託																																																									
	不燃ごみ	9,322	9,579	9,736	委託 (一部地域除く)																																																									
缶	330	296	334	3台委託																																																										
びん	1,142	1,149	1,151	委託 (一部地域除く)																																																										
ペットボトル	420	431	392	委託 (一部地域除く)																																																										
発泡トレイ類	89	88	86	委託 (一部地域除く)																																																										
紙パック	27	27	29	直営																																																										
溝土	107	77	68	委託																																																										
家電リサイクル法 対象家電製品	80台	62台	76台	直営																																																										
死獣	7	6	7	直営																																																										
ごみ出しが困難な高齢者世帯などに対して、ふれあい収集(戸別収集)を実施した。 ふれあい収集 総世帯数261世帯(平成24年3月31日現在)																																																														
事業評価	直営及び委託により収集運搬業務を適正に実施した。平成24年度も継続実施する。																																																													

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	廃家電運搬委託費	所管課	ごみ減量推進課																												
		決算額	681千円																												
事業内容	不法投棄された廃家電及びパソコンを、「特定家庭用機器再商品化法施行令」及び「資源有効利用促進法」に定められた再資源化率が達成可能な再資源化施設に運搬し、同法に準じた適切な処理を図る。																														
成果・実績	<p style="text-align: center;">不法投棄分処理台数 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">年度</th> <th style="width: 10%;">21</th> <th style="width: 10%;">22</th> <th style="width: 10%;">23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テレビ</td> <td style="text-align: center;">144</td> <td style="text-align: center;">146</td> <td style="text-align: center;">227</td> </tr> <tr> <td>冷蔵庫(冷凍庫含む)</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> <tr> <td>洗濯機・衣類乾燥機</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td>エアコン</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>パソコン</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">12</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">206</td> <td style="text-align: center;">203</td> <td style="text-align: center;">281</td> </tr> </tbody> </table> <p>廃家電運搬処理委託費 675千円</p>			年度	21	22	23	テレビ	144	146	227	冷蔵庫(冷凍庫含む)	40	32	30	洗濯機・衣類乾燥機	17	20	8	エアコン	1	0	4	パソコン	4	5	12	合計	206	203	281
年度	21	22	23																												
テレビ	144	146	227																												
冷蔵庫(冷凍庫含む)	40	32	30																												
洗濯機・衣類乾燥機	17	20	8																												
エアコン	1	0	4																												
パソコン	4	5	12																												
合計	206	203	281																												
事業評価	委託により適正に事業実施した。今後は、不法投棄についての監視体制や啓発活動などのさらなる対策を講じる必要がある。																														

事務事業名	不法投棄防止対策事業	所管課	ごみ減量推進課
		決算額	1,943千円
事業内容	ごみ等の不法投棄を未然に防止するため、市内山間地において地元地域に委託し、不法投棄監視パトロールを実施する。		
成果・実績	不法投棄監視業務委託費 1,943千円 延べ555人、301日		
事業評価	不法投棄の未然防止に効果を上げている。平成24年度も継続実施する。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	05 ごみの減量化の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	古紙回収事業費	所管課	ごみ減量推進課																				
		決算額	48,654千円																				
事業内容	ごみの減量と資源の有効利用（再資源化）を図るため、古紙類（新聞・チラシ・雑誌等、段ボール、古布）の回収を、本市と協定締結した町内会・自治会等により実施する。																						
成果・実績	<p>古紙類（新聞・チラシ・雑誌等、段ボール、古布）の集団回収に取り組む町内会・自治会等510団体に対し、1kgあたり5円の報償金を交付し、ごみの減量化と古紙類の再利用を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">古紙類回収量 (t)</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">21</th> <th style="text-align: center;">22</th> <th style="text-align: center;">23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">集団回収</td> <td style="text-align: center;">9,902</td> <td style="text-align: center;">9,731</td> <td style="text-align: center;">9,662</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">直営回収</td> <td style="text-align: center;">263</td> <td style="text-align: center;">247</td> <td style="text-align: center;">261</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">10,165</td> <td style="text-align: center;">9,978</td> <td style="text-align: center;">9,923</td> </tr> </tbody> </table> <p>古紙回収報償金 48,309千円</p>			古紙類回収量 (t)				年度	21	22	23	集団回収	9,902	9,731	9,662	直営回収	263	247	261	合 計	10,165	9,978	9,923
古紙類回収量 (t)																							
年度	21	22	23																				
集団回収	9,902	9,731	9,662																				
直営回収	263	247	261																				
合 計	10,165	9,978	9,923																				
事業評価	町内会等と協定を締結し、古紙回収を行い、ごみの減量と資源の有効利用を図ることができた。可燃ごみの減量に大きく寄与しているため、平成24年度も継続実施する。																						

事務事業名	ごみ減量化促進対策費	所管課	ごみ減量推進課																				
		決算額	420千円																				
事業内容	市民のごみ再利用意識の高揚及びごみの減量を促進するために、一般家庭から排出される生ごみを堆肥化または減量化するための生ごみ堆肥化容器、機器を設置する者に対して、購入費補助金を交付する。																						
成果・実績	<p>生ごみ堆肥化容器等購入費補助実績 (台)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">21</th> <th style="text-align: center;">22</th> <th style="text-align: center;">23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">電気式機器補助基数</td> <td style="text-align: center;">46</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">コンポスト補助基数</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ぼかし容器補助基数</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">59</td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> </tbody> </table> <p>生ごみ堆肥化容器等購入費補助金 420千円</p>			年度	21	22	23	電気式機器補助基数	46	32	20	コンポスト補助基数	12	13	8	ぼかし容器補助基数	1	0	0	合 計	59	45	28
年度	21	22	23																				
電気式機器補助基数	46	32	20																				
コンポスト補助基数	12	13	8																				
ぼかし容器補助基数	1	0	0																				
合 計	59	45	28																				
事業評価	生ごみ堆肥化容器等購入費の補助金交付を行い、ごみの減量化を図ることができた。平成24年度も継続実施する。																						

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	01 地域福祉の推進
小分類	01 地域福祉活動の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	地域福祉推進事業費	所管課	地域福祉課						
		決算額	340千円						
事業内容	宇治市地域福祉計画に基づき、福祉のまちづくりを進めるため、実施する各事業の進行管理を行う。								
成果・実績	<p>平成22年度に策定した第2期宇治市地域福祉計画に掲げた事業の進行管理を行い、地域福祉の推進を図った。また、地域福祉の担い手である住民の参加・参画が得られる取組として、地域づくり事業「いきいき福祉ふれあいのつどい」（地域懇談会）を開催した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">いきいき福祉ふれあいのつどい</td> <td style="width: 40%;">2小学校区 4回</td> </tr> <tr> <td>地域福祉推進委員会開催数</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>出前講座開催数</td> <td>1回</td> </tr> </table>			いきいき福祉ふれあいのつどい	2小学校区 4回	地域福祉推進委員会開催数	2回	出前講座開催数	1回
いきいき福祉ふれあいのつどい	2小学校区 4回								
地域福祉推進委員会開催数	2回								
出前講座開催数	1回								
事業評価	平成22年度に策定した第2期宇治市地域福祉計画の目的達成に向け、各事業の進行管理の手法について、地域福祉推進委員会での議論を踏まえて検討を行い、地域福祉を推進することができた。今後も、計画に基づいて各事業の進行管理を行うとともに、社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画との連携を図り、住民が主体となる地域福祉を推進する必要がある。								

事務事業名	社会福祉協議会活動助成金	所管課	地域福祉課														
		決算額	59,478千円														
事業内容	地域福祉活動の中核的役割を担っている（福）宇治市社会福祉協議会の独自事業及び人件費に対して財政援助を行うことにより、地域福祉の充実強化を図る。																
成果・実績	<p>（福）宇治市社会福祉協議会に対し、次に掲げる補助を行い、財政的援助と事業の充実を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">宇治市社会福祉協議会事務所運営事業</td> <td style="width: 40%;">46,955千円</td> </tr> <tr> <td>福祉活動専門員設置事業補助金</td> <td>2,535千円</td> </tr> <tr> <td>福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金</td> <td>979千円</td> </tr> <tr> <td>ボランティアコーディネーター設置事業補助金</td> <td>1,959千円</td> </tr> <tr> <td>ふれあい福祉センター事業補助金</td> <td>3,600千円</td> </tr> <tr> <td>学区福祉委員会活動事業補助金</td> <td>3,300千円</td> </tr> <tr> <td>災害ボランティアセンター体制整備事業補助金</td> <td>150千円</td> </tr> </table>			宇治市社会福祉協議会事務所運営事業	46,955千円	福祉活動専門員設置事業補助金	2,535千円	福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金	979千円	ボランティアコーディネーター設置事業補助金	1,959千円	ふれあい福祉センター事業補助金	3,600千円	学区福祉委員会活動事業補助金	3,300千円	災害ボランティアセンター体制整備事業補助金	150千円
宇治市社会福祉協議会事務所運営事業	46,955千円																
福祉活動専門員設置事業補助金	2,535千円																
福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金	979千円																
ボランティアコーディネーター設置事業補助金	1,959千円																
ふれあい福祉センター事業補助金	3,600千円																
学区福祉委員会活動事業補助金	3,300千円																
災害ボランティアセンター体制整備事業補助金	150千円																
事業評価	社会福祉協議会の活動は民間組織の自主性と法に基づく公共性を併せ持ち、地域住民が主体となった地域福祉の推進に果たす役割は大きい。少子高齢化の進行に伴い福祉ニーズが複雑化・多様化する中、継続して助成する必要があると考える。一方で社会福祉の基盤強化のため、今後の福祉施策を実施する際の連携・協働を検討する必要がある。																

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	01 地域福祉の推進
小分類	01 地域福祉活動の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	民生児童委員活動助成費	所管課	地域福祉課						
		決算額	37,446千円						
事業内容	<p>民生委員法・児童福祉法に定められた民生児童委員の職務を遂行するために必要な活動費を助成し、地域における福祉活動を推進するとともにその向上を図る。民生児童委員は、高齢者等世帯、ひとり親世帯、児童・子育て支援世帯、障害児・者世帯、生活困難者世帯などの福祉向上及び公的社会福祉施策への協力など、地域福祉の担い手として広範な社会福祉活動を担っている。</p>								
成果・実績	<p>民生児童委員に対して次に掲げる補助を行い、委員活動の一層の充実を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">民生児童委員活動費補助金</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">35,402千円</td> </tr> <tr> <td>民生児童委員協議会会長活動費補助金</td> <td style="text-align: right;">360千円</td> </tr> <tr> <td>民生児童委員地域福祉活動費補助金</td> <td style="text-align: right;">1,684千円</td> </tr> </table>			民生児童委員活動費補助金	35,402千円	民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円	民生児童委員地域福祉活動費補助金	1,684千円
民生児童委員活動費補助金	35,402千円								
民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円								
民生児童委員地域福祉活動費補助金	1,684千円								
事業評価	<p>民生児童委員の活動は、地域福祉の推進を図る上で重要であり、少子高齢化の進行など社会状況の変化に伴い、その活動は多様化している。複雑化・多様化する住民からの相談等に対処するため研修活動や委員相互の連携強化が必要であり、京都府とあわせて助成の継続が必要である。</p>								

事務事業名	総合福祉会館管理運営費	所管課	地域福祉課						
		決算額	26,097千円						
事業内容	<p>(福) 宇治市社会福祉協議会を指定管理者(平成22年度から27年度)として、地域福祉推進の拠点施設である宇治市総合福祉会館(昭和58年1月開館)を管理・運営する。</p>								
成果・実績	<p>宇治市総合福祉会館を指定管理者によって管理・運営し、必要な修繕を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">総合福祉会館指定管理料</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">24,825千円</td> </tr> <tr> <td>総合福祉会館受水槽ポールタップ修繕</td> <td style="text-align: right;">63千円</td> </tr> <tr> <td>総合福祉会館非常放送設備更新</td> <td style="text-align: right;">1,197千円</td> </tr> </table>			総合福祉会館指定管理料	24,825千円	総合福祉会館受水槽ポールタップ修繕	63千円	総合福祉会館非常放送設備更新	1,197千円
総合福祉会館指定管理料	24,825千円								
総合福祉会館受水槽ポールタップ修繕	63千円								
総合福祉会館非常放送設備更新	1,197千円								
事業評価	<p>指定管理者により適正に管理運営した。本市の福祉事業推進の拠点施設として利用されているが、施設の老朽化や利用者ニーズの多様化による設備改修の要望もあり、引き続き指定管理者と連携し検討する必要がある。</p>								

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	01 地域福祉の推進	
小分類	01 地域福祉活動の推進	

事務事業名	総合福社会館整備事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	2,178千円
事業内容	地域福祉活動の拠点としての宇治市総合福社会館の再整備事業に係る経費。		
成果・実績	<p>総合福社会館整の維持・管理のため、必要な改修を行った。</p> <p>総合福社会館受電用機器取替工事 1,953千円</p>		
事業評価	館内放送設備等、必要な改修を実施し、利用者の利便の向上を図った。今後は、現在の施設利用状況を分析し、地域福祉活動の拠点として、利用者の利便の向上のために必要な設備改修を検討する必要がある。		

事務事業名	社会福祉施設等振興備品配付事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	10,953千円
事業内容	福祉基金を取り崩し、市内の社会福祉施設等に対して振興備品を贈呈する。		
成果・実績	<p>対象 42法人・団体 81施設</p> <p>振興備品購入費 10,953千円 （パソコン・テレビ等 86種142品目）</p>		
事業評価	住民からの寄付金で造成された福祉基金の有効な活用を図ることができた。従来に比べ福祉団体等のニーズも多様化しており、今後は、寄付金の動向を見ながら基金の活用方法を検討する必要がある。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	06 低所得者福祉の充実
小分類	01 低所得者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	住宅手当緊急特別措置事業費	所管課	地域福祉課								
		決算額	17,134千円								
事業内容	離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者または、喪失するおそれのある者に対して、住宅手当を支給することにより、これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けて支援する。（（福）宇治市社会福祉協議会へ一部事務委託）										
成果・実績	支給状況等（平成23年4月1日～平成24年3月31日） <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">支給対象者数</td> <td style="text-align: right;">74人</td> </tr> <tr> <td>支給額合計</td> <td style="text-align: right;">10,527千円</td> </tr> <tr> <td>支給決定者数</td> <td style="text-align: right;">41人</td> </tr> <tr> <td>不支給決定者数</td> <td style="text-align: right;">0人</td> </tr> </table> 就労状況（平成23年4月1日～平成24年3月31日） 平成23年度に支給した74人中38人（51.4%）が常用就職できた。			支給対象者数	74人	支給額合計	10,527千円	支給決定者数	41人	不支給決定者数	0人
支給対象者数	74人										
支給額合計	10,527千円										
支給決定者数	41人										
不支給決定者数	0人										
事業評価	現在の厳しい経済情勢のもと、失業者に対するセーフティーネットとして効果を上げている。雇用対策としての取組であり、今後もハローワークや京都府との連携が重要である。										

事務事業名	くらしの資金貸付事業費	所管課	地域福祉課															
		決算額	7,010千円															
事業内容	生活保護（生活扶助）基準の1.8倍以下の収入世帯に対し、その経済的安定と生活意欲の向上を図るため、生活維持に必要な資金を年2回（夏期、年末）、貸付限度額10万円（夏期・年末の合計）、償還期間最長20カ月返済で貸し付ける。（（福）宇治市社会福祉協議会へ事務委託）																	
成果・実績	平成23年度は件数、金額ともに平成22年度（貸付件数50件、貸付金額5,000,000円）、平成21年度（貸付件数57件、貸付金額5,700,000円）に比べ増加し、厳しい経済状況の中、本事業により生活安定を図った。 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">くらしの資金貸付実績</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">件数</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">貸付金額 (円)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">夏期</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">21</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: right;">2,100,000</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">年末</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">44</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: right;">4,360,000</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">合計</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">65</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: right;">6,460,000</td> </tr> </table>			くらしの資金貸付実績				件数	貸付金額 (円)	夏期	21	2,100,000	年末	44	4,360,000	合計	65	6,460,000
くらしの資金貸付実績																		
	件数	貸付金額 (円)																
夏期	21	2,100,000																
年末	44	4,360,000																
合計	65	6,460,000																
事業評価	低所得者等の生活意欲の向上と自立助成を図り、一定の効果は上がってきていると考えるが、経済状況の変化や他の福祉制度の変更を受け、対象者の要件など制度の見直しが必要であるとする。また、償還率向上のため業務を委託している（福）宇治市社会福祉協議会と連携した対応が必要である。																	

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	06 低所得者福祉の充実	
小分類	01 低所得者福祉の充実	

事務事業名	生活保護申請者つなぎ立替金貸付事業費	所管課	生活支援課				
		決算額	2,057千円				
事業内容	平成15年度に発足した制度であり、生活保護の申請から決定までの期間、生活困窮者のつなぎ資金として、3万円を限度として生活費の貸付を行う。						
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">貸付件数</td> <td style="text-align: right;">141件</td> </tr> <tr> <td>貸付額合計</td> <td style="text-align: right;">2,057千円</td> </tr> </table>			貸付件数	141件	貸付額合計	2,057千円
貸付件数	141件						
貸付額合計	2,057千円						
事業評価	適切に貸付を行い、対象者の生活安定を図ることができた。近年の厳しい経済状況の中で、今後も新規申請者は減少しないと考えられるため、的確な状況把握に努めながら平成24年度も継続実施する。						

事務事業名	中国残留邦人生活支援事業費	所管課	生活支援課																														
		決算額	71,301千円																														
事業内容	「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律」の一部が改正されたことにより平成20年4月1日より国からの法定受託事務として支援給付事業を行うこととされている。支援給付の内容は今までの生活保護費に代わるものである。																																
成果・実績	<p>中国残留邦人等帰国者に対し、支援給付費の支給や日本語教室の開催などの支援を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">中国残留邦人等支援給付費</td> <td style="text-align: right;">66,494千円</td> <td style="width: 40%;">（対象：21世帯、30人）</td> </tr> <tr> <td>中国残留邦人等支援事務費</td> <td style="text-align: right;">2,379千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中国残留邦人生活支援日本語教室委託料</td> <td style="text-align: right;">2,428千円</td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">支援給付費決算額</td> <td style="text-align: right;">（千円）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">支援の種類</td> <td style="text-align: center;">生活</td> <td style="text-align: center;">住宅</td> <td style="text-align: center;">介護</td> <td style="text-align: center;">医療</td> <td style="text-align: center;">合計</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">扶助費</td> <td style="text-align: right;">22,321</td> <td style="text-align: right;">4,751</td> <td style="text-align: right;">552</td> <td style="text-align: right;">38,870</td> <td style="text-align: right;">66,494</td> <td></td> </tr> </table>			中国残留邦人等支援給付費	66,494千円	（対象：21世帯、30人）	中国残留邦人等支援事務費	2,379千円		中国残留邦人生活支援日本語教室委託料	2,428千円		支援給付費決算額						（千円）	支援の種類	生活	住宅	介護	医療	合計		扶助費	22,321	4,751	552	38,870	66,494	
中国残留邦人等支援給付費	66,494千円	（対象：21世帯、30人）																															
中国残留邦人等支援事務費	2,379千円																																
中国残留邦人生活支援日本語教室委託料	2,428千円																																
支援給付費決算額						（千円）																											
支援の種類	生活	住宅	介護	医療	合計																												
扶助費	22,321	4,751	552	38,870	66,494																												
事業評価	国制度に基づき適正に執行し、対象者の経済的等の生活支援を図ることができた。今後の対象者数は減少が見込まれるが、安定した生活を支援するため平成24年度も継続実施する。																																

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	06 低所得者福祉の充実
小分類	01 低所得者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	生活保護	所管課	生活支援課																						
		決算額	4,152,987千円																						
事業内容	<p>日本国憲法第25条に規定する理念に基づき、生活困窮者に対し健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。国が示す生活保護基準により扶助費を支給する。</p>																								
成果・実績	<p>生活困窮者の困窮の程度に応じて必要な保護を行い、生活、住宅、教育、介護、医療、出産、生業及び葬祭扶助を実施した。被保護世帯は平成23年度中の月平均で1,826世帯、被保護人員は、2,869人であった。</p> <p style="text-align: center;">平成23年度生活保護扶助費決算額 (千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">扶助の種類</th> <th style="width: 70%;">扶助費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>生活</td><td style="text-align: right;">1,571,262</td></tr> <tr><td>住宅</td><td style="text-align: right;">677,856</td></tr> <tr><td>教育</td><td style="text-align: right;">41,175</td></tr> <tr><td>介護</td><td style="text-align: right;">75,727</td></tr> <tr><td>医療</td><td style="text-align: right;">1,730,415</td></tr> <tr><td>出産</td><td style="text-align: right;">428</td></tr> <tr><td>生業</td><td style="text-align: right;">27,670</td></tr> <tr><td>葬祭</td><td style="text-align: right;">7,068</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">21,386</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">4,152,987</td></tr> </tbody> </table>			扶助の種類	扶助費	生活	1,571,262	住宅	677,856	教育	41,175	介護	75,727	医療	1,730,415	出産	428	生業	27,670	葬祭	7,068	その他	21,386	合計	4,152,987
扶助の種類	扶助費																								
生活	1,571,262																								
住宅	677,856																								
教育	41,175																								
介護	75,727																								
医療	1,730,415																								
出産	428																								
生業	27,670																								
葬祭	7,068																								
その他	21,386																								
合計	4,152,987																								
事業評価	<p>国制度に基づき執行し、対象世帯の経済的な生活支援と自立助長を図ることができた。今後も市民の生活保障のため継続実施するが、近年の厳しい経済状況の中で、受給者数の増加は続くと見込まれており、より多くの経済的自立を目指すとともに的確に状況把握し、濫給防止、漏給防止に配慮しながら法令遵守を徹底し、生活保護運営に努める必要がある。</p>																								

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	障害者福祉基本計画施策推進協議会運営費	所管課	障害福祉課
		決算額	512千円
事業内容	宇治市障害者福祉基本計画施策推進協議会は、年2回程度開催し、障害者福祉基本計画に沿った障害者に関わる事業を報告しその意見を聞く。		
成果・実績	平成23年度については、「第2期宇治市障害者福祉基本計画」、「第3期宇治市障害福祉計画」策定のため、協議会の開催を増やし、障害者に関わる事業の報告とともに障害者福祉計画施策推進協議会の意見を聴いた。		
事業評価	各計画の内容や今後のサービス量について報告すると共に、委員の意見を聴き施策に反映することができた。平成25年度に制度改正が予定されているため、今後も国の動向を注視する必要がある。		

事務事業名	障害福祉計画策定費	所管課	障害福祉課
		決算額	218千円
事業内容	「宇治市障害者福祉基本計画」は「障害者基本法」第11条第3項に基づく「障害者計画」であり、「宇治市障害福祉計画」は障害者自立支援法第88条に基づく「市町村障害福祉計画」である。障害者のための施策に関する基本的な計画であり、障害者福祉施策の充実を図っている。		
成果・実績	「第2期宇治市障害者福祉基本計画」は平成35年度までの12年間、「第3期宇治市障害福祉計画」は、平成26年度までの3年間の計画として平成23年度に策定した。		
事業評価	国制度に基づき適正に策定できた。今後も策定した計画に基づき障害福祉施策の充実を図る。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者介護給付費等支給認定審査会運営費	所管課	障害福祉課
		決算額	2,826千円
事業内容	障害者の介護給付費等の支給申請に対し、障害者の障害程度区分に関する審査及び判定を行う。		
成果・実績	障害者自立支援法に基づき、障害者の障害程度区分を審査判定する審査会を開催し、審査判定を行った。 審査会開催数 21回 審査判定件数 295件（宇治田原町分14件を含む）		
事業評価	国制度に基づいて適切に運営できた。ただし、国の制度変更が予定されているため、今後も国の動向を注視する必要がある。		

事務事業名	特別障害者手当等給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	107,851千円
事業内容	在宅の重度障害児・者の福祉の向上を図るため、特別障害者手当、障害児福祉手当、経過的福祉手当を支給する。		
成果・実績	在宅の重度障害児・者に対して、その重度の障害によって生じる特別の負担の一助として各手当を支給した。 特別障害者手当延べ支給人数 3,035人 障害児福祉手当延べ支給人数 1,758人 経過的福祉手当延べ支給人数 173人		
事業評価	嘱託医の審査を取り入れ、適切に事務処理を行うことで、在宅の重度障害児・者の経済的負担の軽減を図ることができた。平成24年度も国の基準に基づき、継続して実施する。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者介護給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,480,288千円
事業内容	障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費等の給付を行う。自立支援給付申請により支給決定を受けた障害者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な居宅介護等の福祉サービスを利用することにより、障害者の自立と社会参加の実現を目的とする。		
成果・実績	障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費等の給付を行った。 居宅介護等給付利用延べ人数 13,163人		
事業評価	国、京都府制度と本市単独施策を併せて適正に給付を行い、障害者と障害児の福祉の推進を図ることができた。今後も国の制度変更に際し、新たな障害福祉サービスを円滑に利用できるような的確に対応するとともに、給付状況を分析し、動向を見極めていく必要がある。		

事務事業名	障害者訓練等給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	375,517千円
事業内容	障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費等の給付を行う。自立支援給付申請により支給決定を受けた障害者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な自立訓練等の福祉サービスを利用することにより、障害者の自立と社会参加の実現を目的とする。		
成果・実績	障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費等の給付を行った。 訓練等給付利用延べ人数 3,215人		
事業評価	国、京都府制度と本市単独施策を併せて適正に給付を行い、障害者と障害児の福祉の推進を図ることができた。今後も国の制度変更に際し、新たな障害福祉サービスを円滑に利用できるような的確に対応するとともに、給付状況を分析し、動向を見極めていく必要がある。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者自立支援医療費	所管課	障害福祉課
		決算額	259,345千円
事業内容	身体障害者手帳の交付を受けた18歳以上の人に対し、身体の機能障害を除去、または軽減する医療を指定の医療機関で受ける場合にその医療費の一部を支給する。		
成果・実績	自立支援医療費（更生医療）事業 身体の機能障害を除去、または軽減し日常生活や職業生活に適応するように改善するため、医療費の一部を727人に支給した。（入院・通院重複者は除く） 自立支援医療特別対策事業 自立支援医療費（更生医療）の対象にならない、在宅酸素療法やストマ周辺の感染防止等のための治療及びぼうこうまたは直腸の機能障害となった原因疾患の治療を行っている該当障害3級の手帳所持者47人に対し、医療費の一部を支給した。		
事業評価	国と京都府制度に基づいて適正に医療費を支給し、障害者の治療を促進することができたが、毎年、制度利用者が増大しており、今後も医療機関と連携しながら、的確な事務の遂行に努める。		

事務事業名	障害者補装具費	所管課	障害福祉課
		決算額	43,584千円
事業内容	障害児・者の失われた身体機能を補完・代替するために用いられる用具である補装具の購入または修理に要する費用の一部または全部を支給する。		
成果・実績	義肢・装具・車いす等の補装具の購入及び修理に要する費用を支給した。 延べ支給件数 587件		
事業評価	国制度に基づいて適正な事務執行に努め、障害者の身体機能の向上や自立を促進することができた。今後は国の動向、制度の変更を注視し、事業のあり方を検討する必要がある。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者コミュニケーション支援事業費	所管課	障害福祉課				
		決算額	4,435千円				
事業内容	聴覚、言語機能等の障害者に対し、障害者とその他の者の意思疎通の円滑化を図るため、手話通訳者、要約筆記奉仕員の派遣を行う。						
成果・実績	<p>聴覚障害者のコミュニケーションを支援するため、手話通訳者・要約筆記奉仕員を派遣した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">手話通訳者派遣延べ件数</td> <td style="text-align: right;">738件</td> </tr> <tr> <td>要約筆記奉仕員派遣延べ件数</td> <td style="text-align: right;">539件</td> </tr> </table>			手話通訳者派遣延べ件数	738件	要約筆記奉仕員派遣延べ件数	539件
手話通訳者派遣延べ件数	738件						
要約筆記奉仕員派遣延べ件数	539件						
事業評価	手話通訳者・要約筆記奉仕員を派遣することで、聴覚障害者のコミュニケーション支援を行い、意思疎通の円滑化や社会参加を促進することができた。今後も利用ニーズや利用状況を的確に把握し、効果を検証し実施する。						

事務事業名	障害者日常生活用具費	所管課	障害福祉課		
		決算額	54,185千円		
事業内容	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活の便宜を図るため、介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具などの日常生活用具を給付または貸与する。				
成果・実績	<p>日常生活用具を給付・貸与し、在宅の重度障害児・者の福祉を増進した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">給付件数</td> <td style="text-align: right;">4,438件</td> </tr> </table>			給付件数	4,438件
給付件数	4,438件				
事業評価	障害児・者の日常生活の便宜と生活の向上を図ることができた。今後も用具の単価等に注意を払いながら的確に事務を遂行する必要がある。				

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	障害者移動支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	102,845千円
事業内容	屋外での移動が困難な障害者等に対し、地域における自立生活及び社会参加を促すことを目的に外出のための支援を行う。		
成果・実績	屋外での移動が困難な障害者に対して、外出を支援した。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 利用時間 39,508.5時間 </div>		
事業評価	障害者の自立生活の向上や社会参加を促進することができた。今後は、対象拡大（精神障害者）について、本市でどのように対応するか検討が必要である。		

事務事業名	障害者日中一時支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	67,674千円
事業内容	障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的に、障害者等に活動の場を提供し、社会に適応するための日常的な訓練等の支援を行う。		
成果・実績	日中に障害者等の活動の場を提供し、障害者の家族の就労支援や一時的な休息を図った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 利用時間 62,773時間 </div>		
事業評価	障害者の活動の場を確保するとともに家族の就労支援や一時的な休息を促進できた。利用ニーズの高いサービスであり、今後も利用者・利用時間の増加が見込まれるため、状況を的確に把握するとともに、新たな登録事業所の発掘が必要である。今後は、対象拡大（精神障害者）について、本市でどのように対応するか検討が必要である。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	福祉タクシー扶助費	所管課	障害福祉課
		決算額	36,174千円
事業内容	外出困難な重度心身障害者の日常生活の利便を図り、生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図るため、タクシー料金の一部を助成する。		
成果・実績	1カ月あたり1,200円の利用券を交付した。タクシー料金の一部助成を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 交付件数 3,539件 </div>		
事業評価	対象者に対して適正に福祉タクシー券の交付を行った。今後も利用者の増加が見込まれることから、状況の的確な把握に努め、より効果的な交付方法について検討する。		

事務事業名	各種自己負担助成金	所管課	障害福祉課
		決算額	3,653千円
事業内容	身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳を交付（新規、再交付）申請する際に要する医師の診断書料や、特別障害者手当認定請求（新規）時に要する診断書料の全部または一部を助成することで、障害者の経済的負担を軽減する。		
成果・実績	手帳の交付申請等に要する診断書料の自己負担に対して助成を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 診断書料の自己負担に対する延べ助成件数 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付申請時 1,189件 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 特別障害者手当等の認定請求時 34件 </div>		
事業評価	各種制度の申請に要する診断書料の助成を行い、障害者の経済的負担の軽減を図ることができた。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	手話奉仕員養成講座開設事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	804千円
事業内容	聴覚障害者のコミュニケーション支援を行う手話奉仕員を養成する養成講座を開催する。		
成果・実績	市内在住・在勤・在学の方を対象に、手話奉仕員養成講座（基礎課程）を実施した。 受講者数 46人		
事業評価	2カ年単位で奉仕員を養成した。聴覚障害者のコミュニケーション支援につながるものであり、人材を育てるためには継続的な実施が必要と考える。しかし、本事業の修了者が京都府主催の手話通訳者養成講座に円滑に進めない実態があり、定員拡大等を要望し、解決を図る必要がある。		

事務事業名	障害者福祉施設整備事業費（臨時分）	所管課	障害福祉課
		決算額	105,707千円
事業内容	特別支援学校を卒業する生徒の進路先確保等のため、生活介護施設及び共同生活住居の整備のための用地を取得し整備を行った。また、事業実施者については、宇治市内で生活介護事業所を行う社会福祉法人を対象に募集した。		
成果・実績	特別支援学校を卒業する生徒の進路先確保等のための生活介護施設及び共同生活住居のため用地を取得し、施設整備のため土地整備を行った。また、事業実施者については、宇治市内で生活介護事業を行う社会福祉法人を対象に募集し選定した。		
事業評価	平成25年度の開所に向けて、適正に土地整備を行うとともに、事業実施法人を選定した。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	重度身体障害者訪問入浴サービス事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	5,200千円
事業内容	在宅において家族等の介助による入浴が困難な重度身体障害者に対し、移動入浴車により家庭に訪問し、入浴サービスを実施することによって、在宅における家族等の介護の軽減と重度身体障害者の福祉の向上を図る。		
成果・実績	<p>入浴が困難な重度身体障害者に対して、訪問入浴サービスを提供した。</p> <p style="text-align: center;">サービス利用者延べ人数 520人</p>		
事業評価	障害者の家族の介護負担を軽減し、在宅での福祉向上を図ることができた。平成24年度からは対象者を10歳以上へ拡大する。今後も状況を的確に把握する必要がある。		

事務事業名	障害者援護施設等通所交通費助成金	所管課	障害福祉課
		決算額	5,452千円
事業内容	公共交通機関を利用して障害者施設等に通所する障害者に対し、通所に要した交通費の一部を助成する。		
成果・実績	<p>公共交通機関を利用して障害者施設等に通所している障害者に対し、交通費の一部の助成を行った。</p> <p style="text-align: center;">延べ助成者数 315人</p>		
事業評価	施設に通所する障害者の経済的負担の軽減を図ることができた。今後も状況を的確に把握する必要がある。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	心身障害者介護支援（レスパイトサービス）事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	3,091千円
事業内容	心身障害者が日常生活を支障なく営むために必要な設備を有している宿泊ホームにおいて、心身障害者を一時的に介護することによって、在宅において心身障害者を介護している介護者の負担軽減を図る。		
成果・実績	介護者の負担軽減を図るため、心身障害者の一時的な介護を実施した。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> 利用回数 1,581回 </div>		
事業評価	在宅障害者の介護者の一時的休息を図ることによって福祉向上につながったと考える。介護者の休息のみを目的とした唯一のサービスであり、先駆的な事業である。介護者の負担軽減に効果的な事業であるため、平成24年度も継続実施する必要がある。		

事務事業名	障害者相談支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	16,687千円
事業内容	障害者が地域において自立した日常生活と社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等利用に関する相談や情報提供、その他社会資源を活用するための支援を行う障害者生活支援センターを運営するとともに、成年後見制度の利用支援等を行う。		
成果・実績	障害者やその家族等の各種の相談に応じて、地域における生活を支援し、福祉の向上を図った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> 相談件数 3,833件 </div> 成年後見制度の利用支援として、親族による審判の申立がないケースについて市長申立を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> 申立件数 2件 </div>		
事業評価	障害者生活支援センターにおいては順調に相談件数を伸ばしながら、障害福祉サービス及びその他社会資源の有効利用を促進できた。また成年後見制度の利用支援においては、判断能力が十分でなく身寄りがない人の生活支援を促進することで、地域における障害者の自立に資することができた。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者生活支援事業費	所管課	障害福祉課						
		決算額	2,934千円						
事業内容	障害者等に対し、日常生活上必要な訓練・指導等、本人活動支援等を行うことにより、生活の質的向上を図り、社会復帰を促進する。								
成果・実績	<p>宇治市視覚障害者協会に委託し、中途失明者を対象に点字講習会を行った。また、精神障害者を対象に、創作やゲーム等のプログラムを通して、作業能力や生活能力を高め、社会生活への適応が図れるよう、うじ安心館等において精神障害者社会復帰集団指導事業を開催した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">中途失明者点字講習会開催数</td> <td style="text-align: right;">96回</td> </tr> <tr> <td>精神障害者社会復帰集団指導事業開催数</td> <td style="text-align: right;">39回</td> </tr> <tr> <td>精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数</td> <td style="text-align: right;">393人</td> </tr> </table>			中途失明者点字講習会開催数	96回	精神障害者社会復帰集団指導事業開催数	39回	精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数	393人
中途失明者点字講習会開催数	96回								
精神障害者社会復帰集団指導事業開催数	39回								
精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数	393人								
事業評価	障害者の社会参加や社会復帰、生活能力の向上を図ることができた。本事業が唯一の社会参加の場、他者との交流の場となっている障害者もあり、今後も実施方法を検討しながら、平成24年度も継続実施する。								

事務事業名	地域活動支援センター等事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	14,372千円
事業内容	地域活動支援センターにおいて、創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進など、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を行う。		
成果・実績	6カ所の地域活動支援センターに通う延べ843人の障害者に対し支援を行った。		
事業評価	障害者の活発な活動や社会交流の機会を促進できた。平成24年度に共同作業所から2つの事業所が移行されるため、平成24年度以降利用者の増加が見込まれる。今後も状況を的確に把握する必要がある。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	障害者共同作業所訓練事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	32,349千円
事業内容	就業または一般企業に雇用されることが困難な在宅の障害者に対し、生活指導及び作業指導等必要な指導訓練を行う共同作業所に対し、事業費の助成を行う。		
成果・実績	<p>共同作業所に運営補助を行った。</p> <p style="text-align: center;">共同作業所数 4カ所 利用者延べ人数 420人</p>		
事業評価	京都府制度に基づいて適正に助成を行い、在宅障害者への生活指導等、福祉向上に寄与できた。共同作業所は障害者自立支援法に基づく施設へ移行したため、平成23年度で事業は終了する。		

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	ゆめこうば支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,208千円
事業内容	障害者の職業能力を開発し、福祉的就労から一般就労への移行を促すため、就労意欲がある障害者5人程度のグループを単位とし、新たに仕事を開拓することにより、障害者雇用の促進を図る。		
成果・実績	<p>障害者の職業能力を開発し、福祉的就労から一般就労へ移行を促すため、就労意欲のある障害者5人程度のグループを単位とする事業体（ゆめこうば）に対し補助を行った。</p> <p style="text-align: center;">ゆめこうば雇用者数 3人</p>		
事業評価	障害者雇用の促進に効果があった。京都府の事業終了に合わせて平成23年度に事業が終了した。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 子育て支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	民・学・官子育てコラボレーション事業費補助金	所管課	こども福祉課
		決算額	1,201千円
事業内容	京都文教短期大学内に新設された「子育て支援室」（ぶんきょうにこにこルーム）を活用して行われる地域と大学の子育て支援事業に対する補助を行う。		
成果・実績	<p>大学が施設を設置し、地域住民組織の「北槇島地域協議会」が運営を行い、行政が補助するという新しい形の子育てひろばを平成22年9月に開設、多くの市民に利用された。また、大学の教員・学生と地域が連携した取組も行い、研究活動の充実が図られた。</p> <p style="text-align: center;">利用者数 6,147人</p>		
事業評価	京都府基金事業を活用し、地域住民・大学・本市が連携する新しい形での子育て支援を実施し、地域のつながりや社会資源の活用・充実を図ることができた。今後は蓄積したノウハウを活かして、地域子育て支援拠点事業の充実を図る。		

事務事業名	母子家庭技能訓練等給付事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	34,905千円
事業内容	母子家庭の母は、十分な準備がないまま就業することにより、生計を支えるための収入を十分に得ることが困難な状況にあることが多い。母子家庭の生活の負担軽減と、自立の推進を図るため、養成機関等の受講経費の一部を給付し、就職に有利で生活の安定に資する資格の取得を促進する。		
成果・実績	<p>母子家庭の母が講座や養成機関において受講した場合に給付金を支給した。</p> <p style="text-align: center;">高等技能訓練促進給付金支給件数 30件</p>		
事業評価	高等技能訓練促進給付金等の支給による就業の促進を図り、母子家庭の母の自立を支援できた。ただし、個人給付的施策であり、国の予算枠拡大により緊急的に実施されたものであるため、市独自の実施には慎重な検討が必要であり、今後の国の動向を注視していく必要がある。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 子育て支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	子ども手当費	所管課	こども福祉課								
		決算額	3,822,765千円								
事業内容	平成22年度より、これまでの児童手当に代わり、子ども手当制度が創設された。平成23年4月分から9月分まではいわゆる「つなぎ法」として平成22年度の内容が継続され、平成23年10月分からは、「特別措置法」として支給額や支給要件に変更が加えられた。										
成果・実績	<p>中学校修了前の子どもを養育している人に所得制限なしで、平成23年9月分までは子ども1人につき月額13,000円、平成23年10月分以降は子ども1人につき月額10,000円もしくは15,000円（年齢・子どもの数によって異なる）を支給した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">支給世帯</td> <td style="text-align: right;">14,691世帯</td> </tr> <tr> <td>支給対象となる子どもの数</td> <td style="text-align: right;">24,423人</td> </tr> <tr> <td>子ども手当扶助費（つなぎ法分）</td> <td style="text-align: right;">2,665,910千円（平成23年9月分まで）</td> </tr> <tr> <td>子ども手当扶助費（特別措置法分）</td> <td style="text-align: right;">1,152,085千円（平成23年10月分以降）</td> </tr> </table>			支給世帯	14,691世帯	支給対象となる子どもの数	24,423人	子ども手当扶助費（つなぎ法分）	2,665,910千円（平成23年9月分まで）	子ども手当扶助費（特別措置法分）	1,152,085千円（平成23年10月分以降）
支給世帯	14,691世帯										
支給対象となる子どもの数	24,423人										
子ども手当扶助費（つなぎ法分）	2,665,910千円（平成23年9月分まで）										
子ども手当扶助費（特別措置法分）	1,152,085千円（平成23年10月分以降）										
事業評価	国の制度改正に対応しながら、適正に支給を行った。今後も市民への制度の周知に努め、的確な事務の遂行に努める。										

事務事業名	こどもショートステイ事業費	所管課	こども福祉課									
		決算額	464千円									
事業内容	保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上または環境上の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合や、経済的な理由により緊急一時的に母子を保護することが必要な場合などに、実施施設において、児童等の養育・保護を行う。											
成果・実績	<p>一時的に家庭で子育てが困難となった場合に、児童養護施設等で一定期間養育する事業を実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">実施施設</td> <td style="width: 30%;">桃山学園（京都市伏見区）</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>京都大和の家（精華町）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用日数</td> <td>75日</td> <td></td> </tr> </table>			実施施設	桃山学園（京都市伏見区）			京都大和の家（精華町）		利用日数	75日	
実施施設	桃山学園（京都市伏見区）											
	京都大和の家（精華町）											
利用日数	75日											
事業評価	臨時的に児童等の保護を行い、保護者・児童の支援を図ることができた。利用件数としては少ないが、セーフティーネットとしての要素があり、平成24年度も制度の周知に努め、利用しやすいよう改善を検討しながら、継続実施していく。											

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 子育て支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	新生児家庭状況調査事業費（ふるさと雇用分）	所管課	こども福祉課
		決算額	7,598千円
事業内容	生後4カ月までの第1子・第2子の児童を持つ家庭を訪問し、育児に関する相談や、家庭状況の把握を行う。また、その状況に応じた子育て支援施策の情報を提供し、育児ストレスや困難事由の軽減に努め、子育て支援施策の普及や要支援家庭の解消を図る。		
成果・実績	訪問家庭に対する育児相談や、子育て支援に関する情報提供によって、子育ての負担感の軽減や家庭状況の把握による児童虐待の未然防止・早期発見を図った。また、事業の委託により、新規の雇用が生まれた。 訪問世帯数 818世帯		
事業評価	国・京都府補助の緊急雇用対策事業を活用して、親の育児に対する負担感の軽減や、家庭状況の把握による児童虐待の予防・早期発見に取り組むことができた。今後も児童虐待予防に向けた効果的な取組を検討していく必要がある。		

事務事業名	ファミリー・サポート・センター運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	5,613千円
事業内容	児童の保護者の就労と育児の両立を支援し、安心して働くことのできる環境をつくるため、育児の援助を行いたい者と受けたい者からなる会員組織であるファミリー・サポート・センターにおいて、地域での会員相互間の活動を支援する。JR宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあうじ」に事務局を設置している。		
成果・実績	ファミリー・サポート・センターを運営し、地域における相互援助活動を実施した。 援助会員数 126人 依頼会員数 1,298人 両方会員数 46人 利用件数 2,047件		
事業評価	市民からなる会員組織を運営し、地域住民による子育ての相互援助を図ることができた。依頼会員数は増加しているものの利用件数は減少しており、待機児童対策による保育所定数の増加などの影響と考えられるが、今後も多様化する依頼ニーズにきめ細かく対応するとともに、援助会員数の増加に努め、利用促進を図る必要がある。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 子育て支援の充実	

事務事業名	児童虐待防止対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	712千円
事業内容	児童福祉法に基づき、児童虐待の早期発見及び予防のため、要保護児童対策地域協議会を設置している。 要保護児童対策地域協議会代表者会議（年2回）の開催 要保護児童対策地域協議会調整会議（年6回）の開催		
成果・実績	代表者会議（年2回）では、構成団体の代表者が出席し、児童虐待の現状とケースの報告を行い、連携を深めた。 調整会議（年6回）には、関係機関の実務担当者が出席し、市と児童相談所の児童虐待ケースの情報を共有し、援助方針を話し合い、連携を深めた。 代表者会議開催日 8月5日、平成24年2月15日 調整会議開催日 奇数月の第4金曜日 児童虐待ケースの延べ対応件数 108件 児童虐待防止パンフレット印刷 3,000部 208千円 児童虐待防止チラシ印刷 12,000部 210千円		
事業評価	児童虐待の未然防止と早期発見のため、様々な事案に対応するとともに、要保護児童対策地域協議会を開催し、関係者の連携と情報共有に努めた。平成24年度も児童虐待防止のため、引き続き取り組む必要がある。		

事務事業名	しあわせ子育て・子育て応援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	635千円
事業内容	現在の少子化の原因の一つに、子どもを生み育てる喜びの希薄化があるといわれている。そのため、子どもが生まれた家庭に対して、誕生した子どもの健やかな成長を支援し、親が安心して子育てできるよう、お祝いの記念品等を送るとともに、情報誌等で市の事業を広報する。		
成果・実績	お祝いのメッセージカード、子育て情報誌、アルバム式身長計、ファミリー・サポート・センターの無料券などを送付した。 送付件数 1,452世帯		
事業評価	本市の子育て支援の第一歩となる位置付けとしての取組であり、子どもの健やかな成長への支援と、親の子育てへの喜びの増進を図ることができた。今後は、子育て情報誌の市ホームページ（携帯版含む）での閲覧方法の改善や、ニーズに対応したお祝い品の選定などを検討する必要がある。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 子育て支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	児童扶養手当費	所管課	こども福祉課
		決算額	787,743千円
事業内容	離婚等の理由により父または母のいない（父または母が重度障害の状態である場合を含む）児童を養育する母または父等に対して手当を支給することにより、児童の福祉の増進を図る。平成14年8月より京都府から市に業務移管されている。		
成果・実績	児童等の健やかな成長に資するため、児童扶養手当を支給した。 受給資格世帯 1,807世帯 （うち 受給世帯 1,614世帯） 支給対象児童数 2,564人 児童扶養手当扶助費 787,190千円		
事業評価	手当受給申請に対して適正に審査、支給を行い、ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進し、児童の福祉の増進を図ることができた。ひとり親家庭は増加の傾向にあり、平成24年度も的確に継続実施する。		

事務事業名	地域子育てひろば支援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	322千円
事業内容	核家族化が進行し、地域コミュニティが希薄化する中で、孤立している子育て家庭を支援するため、地域住民による「ひろば」運営を促進し、地域による子育て支援を目指して子育て家庭と地域住民との関係を作り上げる。		
成果・実績	地域住民による「子育てひろば」の運営に係る補助金を交付した。 実施場所 木幡熊小路集会所 槇島下村集会所 開集会所		
事業評価	地域住民が開設するひろばに運営費等の補助を実施し、交流や情報交換などによって子育て家庭の支援が促進できた。利用者数、利用年齢、運営方法などで地域差があり、地域子育て支援拠点との関係を整理した上で、今後の施策展開を検討する必要がある。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 子育て支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	地域子育て支援拠点事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	33,560千円
事業内容	<p>地域における子育ての交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和することにより、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。</p> <p>「センター型」では、子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点として、地域の子育て支援情報の収集・提供に努め、既存のネットワークや子育て支援活動を行う団体等と連携しながら地域支援活動を展開する。</p> <p>「ひろば型」では、常設のひろばを開設し、子育て家庭の親とその子どもが気軽に集い、相互に交流を図る場を提供する。</p>		
成果・実績	センター型		
	名称	運営方法	ひろば延べ利用者(人)
	地域子育て支援基幹センター	直営	5,512
	西部地域子育て支援センター		5,374
	相談件数(件)		264
	425		
成果・実績	ひろば型		
	名称	運営方法	ひろば延べ利用者(人)
	南部地域子育て支援センター	委託	691
	東部地域子育て支援センター		6,522
	北部地域子育て支援センター		11,231
	まきしまMove		2,412
	りぼん		5,525
	相談件数(件)		46
	92		148
事業評価	<p>子育てに関する相談、交流、情報交換など総合的な子育て支援を進め、子どもの健やかな育ちを促進できた。平成24年度も継続実施するとともに、関連事業との整理を図りつつ、今後の拠点整備について検討する必要がある。</p>		

事務事業名	宇治市奨学資金貸与費	所管課	こども福祉課
		決算額	7,740千円
事業内容	<p>勉学意欲がありながら経済的理由により修学が困難な大学、高校及び高等専門学校の在学者に奨学資金を貸与する。</p>		
成果・実績	貸与人数	高校生	5人
		高等専門学校生	1人
		大学生	21人
	奨学資金貸与額	7,726千円	
事業評価	<p>勉学意欲があるが経済的理由により修学が困難な市民への支援を行うことができた。今後は、貸付対象者の選考方法について検討するとともに、的確な償還に向けた周知徹底なども引き続き行う必要がある。</p>		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 子育て支援の充実	

事務事業名	来庁者子ども一時預かりコーナー運営費	所管課	子ども福祉課
		決算額	3,825千円
事業内容	子ども連れの来庁者が行政手続き・行政相談等をしやすい環境を整えることを目的に、保育士による子ども一時預かりを実施する。行政サービスのさらなる向上を図るとともに、児童福祉の向上を図る。		
成果・実績	市役所庁舎内において、子ども連れの来庁者が落ち着いて、申請や申告、相談などを行えるように、子どもを一時的に預かるキッズコーナーを設置・運営した。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 利用人数 1,321人 </div>		
事業評価	子育て世代の来庁者への行政サービス向上を図ることができた。利用件数は減少傾向にあるが、市民の細かなニーズに対応しており、設置場所の検討や、さらに利用しやすい環境を整えるなど、利用促進に努めながら平成24年度も継続実施する。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 保育サービスの充実	

事務事業名	乳幼児健康支援一時預かり事業費	所管課	子ども福祉課
		決算額	32,716千円
事業内容	児童の保護者の子育てと就労の両立を支援し、児童の健全な育成や資質の向上に資する。病気の回復期で集団保育が困難であり、保護者の勤務の都合、傷病、事故、出産など社会的にやむを得ない理由により家庭での保育が困難な児童に対して保育、看護を行う。平成8年9月から社会福祉法人宇治病院、平成14年11月から医療法人浅妻医院の2カ所で実施している。		
成果・実績	児童の病気回復期等における保護者の就労を支援するため、市内の医療機関で病児保育を実施した。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 実施施設 宇治市乳幼児健康支援デイサービスセンター（宇治病院） 浅妻医院パピールーム（浅妻医院） </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 利用日数 2,644日 </div>		
事業評価	児童の病気回復期等における保護者の就労を支援することができた。年度により利用者の増減はあるものの、やむを得ない事由による緊急時に対応するものであり、利用者ニーズは高く、平成24年度も継続実施する。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	03 放課後児童育成の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	育成学級運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	264,786千円
事業内容	宇治市立小学校に就学する1年生から4年生の児童であって、下校しても保護者の就労や疾病等の理由により保護に欠ける児童を対象に放課後組織的に指導し、危険防止と心身の健全な育成を図る。		
成果・実績	放課後留守家庭児童の健全育成のため育成学級を運営した。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>開設学校数</div> <div>20校</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>学級数</div> <div>32学級</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>入級児童数</div> <div>1,484人（平成23年5月1日現在）</div> </div>		
事業評価	放課後に保護者が不在である児童について、組織的な指導により危険防止と心身の健全な育成を図ることができた。今後も継続して、指導員の資質向上や学級運営内容の更なる充実に努める。		

事務事業名	育成学級緊急安全対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	3,776千円
事業内容	安全・安心な学級運営の確立を図るため、三季休暇や土曜日において各学級に安全対策支援員等を配置し、児童の安全確保を図る。		
成果・実績	安全対策支援員等（1日4時間程度）を配置し、校内への不審者侵入を防ぐため、巡視や来校者の確認などを行った。		
事業評価	安全対策支援員等の配置により、三季休暇や土曜日における児童の安全確保を図り、事故なく学級運営を行うことができた。平成24年度も継続実施する。		

平成 2 3 年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 保育サービスの充実	

事務事業名	公立保育所運営事業	所管課	保育課																																								
		決算額	1,377,236千円																																								
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、公立保育所7園の健康で安全な環境確保と運営を行う。																																										
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">公立保育所数</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7園</td> <td style="width: 30%;">延べ入所数</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">11,596人</td> </tr> <tr> <td>定員</td> <td style="text-align: center;">940人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育所運営費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">43,723千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育所維持修繕費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">9,281千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常勤職員設置費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">160,820千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育所児童健康管理費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">6,395千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育所給食費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">73,507千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>パート保育士設置費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">112,002千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害児特別保育費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">53,977千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育士等職員給</td> <td></td> <td style="text-align: right;">917,531千円</td> <td></td> </tr> </table>			公立保育所数	7園	延べ入所数	11,596人	定員	940人			保育所運営費		43,723千円		保育所維持修繕費		9,281千円		非常勤職員設置費		160,820千円		保育所児童健康管理費		6,395千円		保育所給食費		73,507千円		パート保育士設置費		112,002千円		障害児特別保育費		53,977千円		保育士等職員給		917,531千円	
公立保育所数	7園	延べ入所数	11,596人																																								
定員	940人																																										
保育所運営費		43,723千円																																									
保育所維持修繕費		9,281千円																																									
非常勤職員設置費		160,820千円																																									
保育所児童健康管理費		6,395千円																																									
保育所給食費		73,507千円																																									
パート保育士設置費		112,002千円																																									
障害児特別保育費		53,977千円																																									
保育士等職員給		917,531千円																																									
事業評価	公立保育所7園の運営に関する経費や施設管理経費、給食や健康管理経費などについて適正に執行し、児童の安全と良好な保育環境が確保できた。今後も保育ニーズに対応しながら安定した運営を実施する。																																										

事務事業名	保育所緊急安全対策事業費	所管課	保育課												
		決算額	31,648千円												
事業内容	安全・安心な保育所運営のため、各公立保育所に保育所安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所での保育所安全運営支援員の配置に対し補助を行う。														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">公立保育所</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">8,700千円</td> <td style="width: 30%;">民間保育所</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">22,948千円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置に対する補助を行った。</td> </tr> </table>			公立保育所	8,700千円	民間保育所	22,948千円	保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。				保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置に対する補助を行った。			
公立保育所	8,700千円	民間保育所	22,948千円												
保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。															
保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置に対する補助を行った。															
事業評価	保育所安全運営支援員が、園内への不審者侵入を防ぐために、来訪者の確認や巡視を行うことにより、児童や保護者の安全確保を図ることができた。平成24年度も継続実施する。														

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 保育サービスの充実	

事務事業名	保育所施設整備費	所管課	保育課										
		決算額	49,029千円										
事業内容	公立保育所における児童の安全・安心及び良好な保育環境の確保と施設の維持を図るため、平成19年度に策定した宇治市公立保育所再整備計画に基づき、耐震補強工事や施設改修などを計画的に実施する。（事業実施期間 平成19年度～平成25年度） また民営化した槇島保育所の解体工事を行った。												
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">小倉双葉園保育所駐車場整備工事</td> <td style="text-align: right;">7,957千円</td> </tr> <tr> <td>善法保育所改修工事（外壁塗装・遊戯室内装改修・トイレ改修等）</td> <td style="text-align: right;">28,724千円</td> </tr> <tr> <td>槇島保育所解体工事</td> <td style="text-align: right;">12,348千円</td> </tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>< 小倉双葉園保育所（駐車場） ></p> <p>駐車可能台数</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>整備工事前</td> <td style="text-align: right;">9台</td> </tr> <tr> <td>整備工事後</td> <td style="text-align: right;">18台</td> </tr> </table> </div> </div>			小倉双葉園保育所駐車場整備工事	7,957千円	善法保育所改修工事（外壁塗装・遊戯室内装改修・トイレ改修等）	28,724千円	槇島保育所解体工事	12,348千円	整備工事前	9台	整備工事後	18台
小倉双葉園保育所駐車場整備工事	7,957千円												
善法保育所改修工事（外壁塗装・遊戯室内装改修・トイレ改修等）	28,724千円												
槇島保育所解体工事	12,348千円												
整備工事前	9台												
整備工事後	18台												
事業評価	計画に基づいて公立保育所の施設整備を行い、児童にとって安全・安心な保育環境の向上を図ることができた。今後も計画的な整備を継続実施する。												

事務事業名	民間保育所運営費	所管課	保育課																												
		決算額	2,937,618千円																												
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、民間保育所17園の健康で安全な環境確保と運営を行う。																														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">民間保育所（園）数</td> <td style="text-align: right;">17園</td> <td style="width: 30%;">延べ入所数</td> <td style="text-align: right;">33,117人</td> </tr> <tr> <td>定員</td> <td style="text-align: right;">2,665人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>民間保育所運営費</td> <td style="text-align: right;">2,338,484千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延長保育促進事業費補助金</td> <td style="text-align: right;">26,899千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害児特別保育事業費補助金</td> <td style="text-align: right;">52,631千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>民間保育所運営補助金</td> <td style="text-align: right;">511,269千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域活動事業費補助金</td> <td style="text-align: right;">8,335千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			民間保育所（園）数	17園	延べ入所数	33,117人	定員	2,665人			民間保育所運営費	2,338,484千円			延長保育促進事業費補助金	26,899千円			障害児特別保育事業費補助金	52,631千円			民間保育所運営補助金	511,269千円			地域活動事業費補助金	8,335千円		
民間保育所（園）数	17園	延べ入所数	33,117人																												
定員	2,665人																														
民間保育所運営費	2,338,484千円																														
延長保育促進事業費補助金	26,899千円																														
障害児特別保育事業費補助金	52,631千円																														
民間保育所運営補助金	511,269千円																														
地域活動事業費補助金	8,335千円																														
事業評価	民間保育所17園の運営や各種保育事業に対する補助を実施し、児童の安全と良好な保育環境の確保に努めた。今後も各種保育ニーズに対応しながら継続実施する。																														

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	02 保育サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	民間保育所施設整備費	所管課	保育課												
		決算額	165,703千円												
事業内容	社会福祉法人の運営する保育所が施設整備を行う場合に、民間保育所施設整備補助金を交付する。また、五ヶ庄梅林地内保育所整備にむけて用地を取得し、整備を行った。														
成果・実績	<p>待機児童対策と、民間保育所における児童の安全・安心を確保するため、民間保育所の施設改修等に対する補助等を実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">第2登り保育園建物賃借料補助金</td> <td style="text-align: right;">23,288千円</td> </tr> <tr> <td>南浦保育園分園増築工事補助金</td> <td style="text-align: right;">14,774千円</td> </tr> <tr> <td>五ヶ庄梅林地内保育所整備に要した経費</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 保育所用地購入</td> <td style="text-align: right;">121,210千円</td> </tr> <tr> <td> 保育所用地整備</td> <td style="text-align: right;">6,114千円</td> </tr> <tr> <td> 保育所事業実施法人選考委員会</td> <td style="text-align: right;">317千円</td> </tr> </table>			第2登り保育園建物賃借料補助金	23,288千円	南浦保育園分園増築工事補助金	14,774千円	五ヶ庄梅林地内保育所整備に要した経費		保育所用地購入	121,210千円	保育所用地整備	6,114千円	保育所事業実施法人選考委員会	317千円
第2登り保育園建物賃借料補助金	23,288千円														
南浦保育園分園増築工事補助金	14,774千円														
五ヶ庄梅林地内保育所整備に要した経費															
保育所用地購入	121,210千円														
保育所用地整備	6,114千円														
保育所事業実施法人選考委員会	317千円														
事業評価	民間保育所の新設、増改築など施設整備に係る補助金等について適正に執行し、待機児童対策として定数増を図ることができた。今後も保育所新設や耐震対策など計画的な整備を図る必要がある。														

事務事業名	病児・病後児保育費	所管課	保育課
		決算額	18,682千円
事業内容	保育中に微熱を出すなど体調不良となった児童に対し、保護者が迎えに来るまでの間、保育所の専用スペースにおいて看護師等が緊急的な対応を行う。		
成果・実績	実施施設（民間保育所5園） 登り保育園 北小倉こひつじ保育園 ひいらぎ保育園 第2登り保育園 榎島ひいらぎ保育園		
事業評価	国制度に沿って病児・病後児保育事業を実施する民間保育所に補助を実施し、子育て支援と保護者負担の軽減を図ることができた。平成23年度には実施施設が拡大しており、今後も利用状況を見ながら国制度を活用し事業を実施する。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 保育サービスの充実	

事務事業名	家庭的保育事業費	所管課	保育課															
		決算額	43,482千円															
事業内容	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、児童福祉法に位置付けられた家庭的保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。																	
成果・実績	<p>開設場所</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">木幡花揃</td> <td style="width: 30%;">(福) あげぼの会 (登り保育園)</td> <td style="width: 40%;">定員5人</td> </tr> <tr> <td>五ヶ庄福角</td> <td>(福) 宇治福祉園 (三室戸保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>神明石塚</td> <td>(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>五ヶ庄梅林官有地</td> <td>(福) 白菊福祉会 (いずみ保育園)</td> <td>定員10人</td> </tr> <tr> <td>伊勢田町若林</td> <td>(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> </table>			木幡花揃	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人	五ヶ庄福角	(福) 宇治福祉園 (三室戸保育園)	定員5人	神明石塚	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人	五ヶ庄梅林官有地	(福) 白菊福祉会 (いずみ保育園)	定員10人	伊勢田町若林	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人
木幡花揃	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人																
五ヶ庄福角	(福) 宇治福祉園 (三室戸保育園)	定員5人																
神明石塚	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人																
五ヶ庄梅林官有地	(福) 白菊福祉会 (いずみ保育園)	定員10人																
伊勢田町若林	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人																
事業評価	平成23年度にも新規開設したことによって待機児童対策を図ることができた。今後も待機児童の状況をみながら、平成24年度も継続実施する。																	

事務事業名	地域子育て創生事業費 (保育課分)	所管課	保育課
		決算額	1,816千円
事業内容	京都府子ども未来基金を活用し、民間保育所に対し、感染症予防対策や図書整備などに要する経費について補助を行う。		
成果・実績	<p>感染症対策緊急整備事業 実施園 第2登り保育園、榎島ひいらぎ保育園、のぞみ保育園</p> <p>読書環境充実事業 実施園 第2登り保育園、榎島ひいらぎ保育園、のぞみ保育園</p> <p>一時預かり整備事業 実施園 南浦保育園 (分園)</p>		
事業評価	京都府補助制度を活用し、民間保育所に対し補助を行うことで、感染症予防対策や読書環境の充実を図った。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	健康づくり推進プラン推進事業費	所管課	保健推進課
		決算額	650千円
事業内容	宇治市健康づくり推進プランの中間見直しの目標を達成するため、プランの推進母体である<うー茶ん>連絡会へ<うー茶ん>のつどい事業を委託し、実施する。		
成果・実績	<p>市民の主体的な健康づくりを進めるため、<うー茶ん>連絡会へ啓発事業を委託し、正しい健康情報の提供、健康づくりの知識・技術力を高める学習機会等の整備、あらゆる機会を通して健康づくりに視点を置いた施策の推進などを行った。</p> <p style="text-align: center;">健康づくり<うー茶ん>フェスタ参加者数 約500人</p>		
事業評価	<うー茶ん>連絡会への委託事業として実施し、プランの普及・啓発を行うことにより市民の健康保持・増進を図ることができた。今後も連絡会の自主的な活動と本市施策との連携を図り、健康づくりを推進する。		

事務事業名	健康づくり推進協議会運営費	所管課	保健推進課
		決算額	271千円
事業内容	平成14年度に策定した宇治市健康づくり推進プランの推進状況や方向性を協議・検討する。超高齢社会を迎え、健康に対する関心は強くなっており、自立した豊かな生活を送れるよう健康寿命の延伸と、QOL(生活の質)の向上等が求められている。		
成果・実績	<p>宇治市健康づくり推進協議会を開催し、健康づくり事業について協議・検討を行った。</p> <p style="text-align: center;">開催回数 2回</p>		
事業評価	宇治市健康づくり推進協議会を開催し、健康づくり事業について協議・検討を行い、市民の健康保持・増進に向けた施策に反映することができた。今後は、宇治市健康づくり推進プランに基づき実施している様々な取組の評価と新しい計画づくりに向け、検討を行う。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	食育推進計画推進事業費	所管課	保健推進課
		決算額	320千円
事業内容	宇治市食育推進計画に基づき、家庭や地域、学校、幼稚園、保育所、農林漁業関係者、ボランティアなどの様々な立場の関係者と連携、協力を図り、地域に根ざした取組を推進する。		
成果・実績	宇治市食育推進協議会開催回数 2回 宇治市食育推進計画に基づき、市民に対し、関係団体との連携を図りながら、食育についての啓発を行った。		
事業評価	宇治市食育推進協議会の開催や宇治市食育ネットワークの立ち上げによって、市民の食への意識を啓発し、健康保持・増進を促進することができた。今後も関係団体・機関、庁内や関連イベントなどとの連携を図り、より効果的な取組を検討する。		

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	病院群輪番制病院運営事業費補助金	所管課	保健推進課
		決算額	10,545千円
事業内容	山城北医療圏内において、第二次救急医療体制の整備に要する経費を補助し、休日（昼・夜）における初期医療を受けた救急患者（入院等を要する重傷患者）搬送の円滑化及び医療の確保を目的とする。		
成果・実績	4市3町で構成する山城北医療圏において専用病床を2床確保し、休日における二次救急医療体制を確立している。本市が事務局となり、11病院へ補助を行った。		
事業評価	他自治体とも広域的に連携し、二次救急医療体制の確保と救急患者の適切な治療を図ることができた。平成24年度も京都府や医療機関と協力・連携し、継続実施する。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	妊婦健康診査費	所管課	保健推進課
		決算額	128,999千円
事業内容	<p>健やかな母体と胎児の保健管理の向上を図るため、受診券を交付し、妊婦の経済的負担の軽減や、妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進する。</p>		
成果・実績	<p>妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進するため、健診費用の助成を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">母子手帳交付件数 1,653件</p> <p style="margin-left: 40px;">助成金額 127,862千円</p>		
事業評価	<p>健診費用の適正な助成を行うとともに、助成対象を拡充したことにより妊娠早期に母子健康手帳の発行が増加し、より適切な健康管理の促進と妊婦の経済的負担を軽減することができた。平成24年度も継続実施するが、国の動向を注視する必要がある。</p>		

事務事業名	不妊治療助成事業費	所管課	保健推進課
		決算額	6,835千円
事業内容	<p>不妊治療を受けている夫婦に対し、その治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。</p>		
成果・実績	<p>不妊治療の保険診療分及び人工授精について、年間6万円（人工授精の場合は10万円）を限度に、治療に要した医療費の自己負担の2分の1を助成した。平成23年度より人工授精が新たに助成対象となった。</p> <p style="margin-left: 40px;">助成件数 360件</p>		
事業評価	<p>不妊治療経費の一部負担を適正に執行し、対象者の経済的負担の軽減や、少子化対策を図ることができた。平成23年度より京都府制度に沿って補助内容を拡充して実施しており、平成24年度も継続実施する。</p>		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	3か月児健康診査費	所管課	保健推進課						
		決算額	5,199千円						
事業内容	<p>生後3～4カ月頃は、体重の増加や外界に対する器官の発達など心身の著しい発達が進む時期であり、健診により先天性疾患等の早期発見を可能とする。特に心疾患、股関節脱臼、中枢性協調障害の発見、心身発達の遅れの指導、離乳食の指導をポイントとしている。また、育児不安の強い親への基本的な育児指導など精神的支援も行う。</p>								
成果・実績	<p>乳児期の健全な成長発達を図った。健診は月4回、健やかセンターにて実施した。また、同時に結核（BCG）の予防接種を実施した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">受診者数</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">1,590人</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>受診率</td> <td style="text-align: right;">98.9%</td> <td></td> </tr> </table>			受診者数	1,590人		受診率	98.9%	
受診者数	1,590人								
受診率	98.9%								
事業評価	<p>子どもの発達段階に合わせて実施することによって、乳児の健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。近年、核家族化の進行や、発達支援が必要な子の増加などによって、育児不安となる親の相談件数が増えており、今後も総合的な子育て支援を推進する必要がある。</p>								

事務事業名	10か月児健康診査費	所管課	保健推進課									
		決算額	8,147千円									
事業内容	<p>乳児の疾病・異常の発見、運動・精神機能の発達状態を把握し、適切な指導を行う。3か月児健診で発見できなかった中枢性協調障害、痙性両麻痺、聴力障害等の異常の発見とともに、発達障害等の早期発見、早期対応に努める。</p>											
成果・実績	<p>乳児期の健全な成長発達を図った。健診は（社）宇治久世医師会に委託し実施した。また、必要に応じて健やかセンターで経過健診を月1回実施した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">10カ月児健診</td> <td style="width: 30%;">受診者数</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">1,495人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>受診率</td> <td style="text-align: right;">92.1%</td> </tr> <tr> <td>10カ月児経過健診</td> <td>受診者数</td> <td style="text-align: right;">151人</td> </tr> </table>			10カ月児健診	受診者数	1,495人		受診率	92.1%	10カ月児経過健診	受診者数	151人
10カ月児健診	受診者数	1,495人										
	受診率	92.1%										
10カ月児経過健診	受診者数	151人										
事業評価	<p>子どもの発達段階に合わせて実施することによって、乳児の健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。近年、核家族化の進行や、発達支援が必要な子の増加などによって、育児不安となる親の相談件数が増えており、今後も総合的な子育て支援を推進する必要がある。</p>											

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	1歳8か月児健康診査費	所管課	保健推進課
		決算額	7,197千円
事業内容	内科健診・歯科健診・身体計測・栄養指導・保健指導等を行い必要に応じて個別の発達相談や栄養相談を行う。幼児期前期に、運動機能、精神発達等の障害を持った子どもを発見し、障害の顕在化・固定化や二次的障害の発生を予防・軽減するとともに、育児に関する指導を行う。また、フォローアップ事業として地区担当保健師による訪問や発達相談、乳幼児相談で引き続き個別相談を行う。		
成果・実績	<p>幼児期前期の健康の保持・増進を図った。健診は月3～4回、健やかセンターにて実施した。</p> <p style="margin-left: 20px;">受診者数 1,582人 受診率 96.4%</p>		
事業評価	子どもの発達段階に合わせて実施することによって、幼児の健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。近年、核家族化の進行や、発達支援が必要な子の増加などによって、育児不安となる親の相談件数が増えており、今後も総合的な子育て支援を推進する必要がある。		

事務事業名	3歳児健康診査費	所管課	保健推進課
		決算額	7,375千円
事業内容	3歳5～6カ月児を対象として、身体発育、精神発達の問題、視聴覚障害の早期発見など、多面的に診査し、総合的な判断と指導によって、就学前幼児の健康の保持、増進を図る。また、育児不安の解消、子育て支援をする。内科（小児科）健診、歯科健診、身体計測、検尿、視力検査、発達検査、保健指導などを実施する。		
成果・実績	<p>幼児期の健康の保持・増進を図った。健診は月3～4回、健やかセンターにて実施した。</p> <p style="margin-left: 20px;">受診者数 1,672人 受診率 93.4%</p>		
事業評価	子どもの発達段階に合わせて実施することによって、幼児の健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。近年、核家族化の進行や、発達支援が必要な子の増加などによって、育児不安となる親の相談件数が増えており、今後も総合的な子育て支援を推進する必要がある。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	パパママスタート開催費	所管課	保健推進課																				
		決算額	2,607千円																				
事業内容	妊娠・出産・育児についての正しい知識を広め、妊産婦・乳児の健康の保持増進を図ることを目的として「母子健康手帳GET記念日」、「おいしい! たのしい! クッキング」、「パパ出番ですよ～沐浴にチャレンジ」、「ハイリスク妊婦訪問」を行っている。																						
成果・実績	妊婦やその夫を対象に、健やかな子どもの成長発達を促すことを目的とした講座・相談を実施した。																						
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">母子健康手帳GET記念日</td> <td style="width: 20%;">参加者数</td> <td style="width: 20%;">479人</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>パパ出番ですよ</td> <td>参加者数</td> <td>223人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クッキング</td> <td>参加者数</td> <td>157人</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">参加者数には、妊婦の配偶者・先輩ママ等も含む</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク妊婦訪問</td> <td>訪問件数</td> <td>42件</td> <td></td> </tr> </table>			母子健康手帳GET記念日	参加者数	479人		パパ出番ですよ	参加者数	223人		クッキング	参加者数	157人		参加者数には、妊婦の配偶者・先輩ママ等も含む				ハイリスク妊婦訪問	訪問件数	42件	
母子健康手帳GET記念日	参加者数	479人																					
パパ出番ですよ	参加者数	223人																					
クッキング	参加者数	157人																					
参加者数には、妊婦の配偶者・先輩ママ等も含む																							
ハイリスク妊婦訪問	訪問件数	42件																					
事業評価	教室の開催によって、妊娠期の仲間づくりや地域の育児力の強化につながるとともに、父母ともに子育てするという意識の醸成や、家庭での健康づくりを促進することができた。平成24年度も、より効果的な実施手法を検討しながら継続実施する。																						

事務事業名	離乳食教室開催費	所管課	保健推進課								
		決算額	448千円								
事業内容	親が初めての離乳食を調理体験することにより、安心して適切な離乳食作りを家庭で実践するとともに、母子・親子関係の形成を促し、育児不安を緩和する。また、子どもの健康を維持し、成長・発達を促すとともに、生活リズムを身につけ、食べる楽しさを体験させることで「食べる力」を育む。										
成果・実績	親が乳幼児の食生活についての知識を深め、自宅で安全に離乳食を実践できるよう促した。										
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">開催回数</td> <td style="width: 20%;">12回</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>245人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			開催回数	12回			参加者数	245人		
開催回数	12回										
参加者数	245人										
事業評価	教室の開催によって、家庭での適切な離乳食の実践や、子の健康づくりを促進することができた。平成24年度も継続実施するとともに、発達年齢に応じた支援の検討が必要である。										

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	乳幼児相談事務費	所管課	保健推進課
		決算額	1,206千円
事業内容	<p>生後2カ月から就学までの子どもと保護者を対象に、育児や発達上の相談に対応し、育児不安軽減等の育児支援及び、虐待予防、地域の育児力向上を図る。また、乳幼児健診後のフォローの場としても位置付け、計測、栄養指導、保健指導、発達についての相談などを開催する。</p>		
成果・実績	<p>専門職が適切に対応することにより、育児不安の軽減、虐待予防、地域の育児力向上を図った。また、地域子育て支援センター等関係機関と連携し、簡便な育児相談の場とした。</p> <p style="margin-left: 40px;">開催回数 66回 相談者数 2,148人</p>		
事業評価	<p>保健師や栄養士等の専門職が育児に不安のある親等からの相談を受け、育児負担の軽減や子育て支援を図ることができた。今後も地域子育て支援センターと連携し、市民が気軽に利用できるよう体制の充実に努める。</p>		

事務事業名	絵本ふれあい事業費	所管課	保健推進課
		決算額	3,743千円
事業内容	<p>3カ月児健康診査受診児と1歳8カ月児健康診査受診児保護者を対象に、親子がふれあうことで子育てが楽しくなるきっかけ作り、子育て支援を図る。絵本とのふれあい体験を行い、ブックスタートパックにメッセージを添えて渡す。</p>		
成果・実績	<p>3カ月児健診及び1歳8カ月児健診時に、1冊ずつ手渡しで配付した。3カ月児健診の会場では、中央図書館の絵本ボランティアの協力により絵本の読み聞かせを行い、各年齢に応じた絵本の紹介や、遊び方の指導を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">3カ月児健診配付数 1,590人 1歳8カ月児健診配付数 1,528人</p>		
事業評価	<p>絵本の配布によって、健やかな親子の関係づくりを促進し、子育て支援を行うことができた。健診未受診の親子への支援などを継続し、平成24年度も継続実施する。</p>		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	各種予防接種事業費	所管課	保健推進課																					
		決算額	208,830千円																					
事業内容	予防接種法に基づき、予防接種を実施することにより、発病及び感染を予防する。																							
成果・実績	<p>予防接種法に基づく予防接種は、健やかセンターと協力医療機関で実施し、法改正に対応して適切な疾病予防に努めた。また、各種乳幼児健診時、市民カレンダー、市政だより、ホームページなどで幅広く広報することにより、接種率の向上を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 20%;">接種者数</th> <th style="width: 50%;">実施場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポリオ</td> <td style="text-align: center;">2,855</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">健やかセンター (うじ安心館内)</td> </tr> <tr> <td>BCG</td> <td style="text-align: center;">1,582</td> </tr> <tr> <td>三種混合</td> <td style="text-align: center;">6,602</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">協力医療機関</td> </tr> <tr> <td>二種混合</td> <td style="text-align: center;">1,168</td> </tr> <tr> <td>麻しん風しん混合</td> <td style="text-align: center;">6,576</td> </tr> <tr> <td>麻しん</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>風しん</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎</td> <td style="text-align: center;">10,552</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">還付請求分を除く</p>				接種者数	実施場所	ポリオ	2,855	健やかセンター (うじ安心館内)	BCG	1,582	三種混合	6,602	協力医療機関	二種混合	1,168	麻しん風しん混合	6,576	麻しん	4	風しん	5	日本脳炎	10,552
	接種者数	実施場所																						
ポリオ	2,855	健やかセンター (うじ安心館内)																						
BCG	1,582																							
三種混合	6,602	協力医療機関																						
二種混合	1,168																							
麻しん風しん混合	6,576																							
麻しん	4																							
風しん	5																							
日本脳炎	10,552																							
事業評価	法改正に適切に対応し、感染症予防対策を行うことにより、市民の健康保持を図ることができた。平成24年度も国の措置に対応し、適切な疾病予防を継続実施する。																							

事務事業名	ヒブワクチン等接種事業費・子宮頸がん予防接種事業費	所管課	保健推進課・健康生きがい課																		
		決算額	256,039千円																		
事業内容	<p>国の子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金を活用し、3ワクチンの接種費用の一部助成を行う。</p> <p>ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌は、主に細菌性髄膜炎の予防のため、生後2カ月から5歳未満の乳幼児を対象に、京都府医師会及び宇治久世医師会協力医療機関に委託実施する。</p> <p>子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスの感染予防のため、未感染の年代の女性に予防ワクチンを任意接種で実施し、子宮頸がんの発症予防につなげる。(対象：平成23年度中学1年生から高校1年生の年齢に相当する女性)</p>																				
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 40%;">ヒブワクチン等接種事業費</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">125,624千円</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>ヒブワクチン延べ接種件数</td> <td style="text-align: right;">5,959件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小児用肺炎球菌ワクチン延べ接種件数</td> <td style="text-align: right;">7,081件</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"> </td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん予防接種事業費</td> <td style="text-align: right;">130,415千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ接種件数</td> <td style="text-align: right;">8,208件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			ヒブワクチン等接種事業費	125,624千円		ヒブワクチン延べ接種件数	5,959件		小児用肺炎球菌ワクチン延べ接種件数	7,081件					子宮頸がん予防接種事業費	130,415千円		延べ接種件数	8,208件	
ヒブワクチン等接種事業費	125,624千円																				
ヒブワクチン延べ接種件数	5,959件																				
小児用肺炎球菌ワクチン延べ接種件数	7,081件																				
子宮頸がん予防接種事業費	130,415千円																				
延べ接種件数	8,208件																				
事業評価	国の制度を利用して、感染症予防対策を行うことにより、市民の健康保持を図ることができた。平成24年度も国の措置に対応し、適切な疾病予防の実施を図る。																				

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	心身障害児通園事業費	所管課	保健推進課
		決算額	35,356千円
事業内容	市内に居住する心身障害児等の育成を助長するため、通園施設において児童及び保護者に対し、指導、訓練を行う。(福)宇治福祉園、(福)かおり福祉会及びNPOアジュール舎に、介護給付費のほかに市単費補助金を交付する。		
成果・実績	<p>障害児通園(児童デイサービス)事業について補助金を交付した。また、通園事業での療育を希望しながら待機となった児童に対し、待機児親子サポート事業を実施しているが、平成23年度は待機児童がなかった。</p> <p style="text-align: center;"> 児童デイサービス 児童デイころぼっくる(アジュール舎) 宇治福祉園 かおり之園(かおり福祉会) </p>		
事業評価	発達障害支援のため事業者が運営する通園施設への補助金交付について適切に執行した。利用ニーズが高く、平成24年度も継続実施するが、発達支援が必要な児童は増加傾向であり、的確な状況把握や今後の見通し、国・京都府との連携などの検討が必要である。		

事務事業名	発達相談事務費	所管課	保健推進課
		決算額	11,068千円
事業内容	健診、乳幼児相談及び家庭訪問等を通して、発育・発達上に問題がある子ども(疑いも含む)や子どもへの関わりや、不安や心配のある保護者に対し、発達相談(個別相談、診断)を実施し、今後の対応の方向性、家庭での具体的な関わりについての指導・援助を行う。		
成果・実績	<p>保護者が子どもの育ちに見通しを持ちやすくなり、適切な親子関係を築くとともに、子の健やかな成長を図った。</p> <p style="text-align: center;"> 開設数 785回 相談件数 935件 </p>		
事業評価	相談・指導により、親が子どもの育ちに見通しを持ちやすくなり、適切な親子関係を築き、子の健やかな成長を図ることができた。発達支援が必要な児童は増加傾向であり、的確な状況把握や今後の見通し、国・京都府との連携などの検討が必要である。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	新生児訪問指導事業費	所管課	保健推進課
		決算額	53千円
事業内容	<p>出産後間もない産婦と新生児を対象に希望者に対し、先天性異常の早期発見と育児不安の軽減を目的として、保健師が家庭に出向き、個々の状況に応じて、養育上必要な育児指導（栄養、清潔、保温、育児環境、疾病予防等）や相談を行う。また必要に応じて母子保健サービスや医療・福祉サービス等につなげ、児と保護者の健康の保持増進を図る。</p>		
成果・実績	<p>産婦及び新生児の妊娠中、出生時、現在の状況を把握し、それに対して保健指導を行った。また、今後の相談窓口として地区担当保健師を紹介するとともに、保健事業を普及・啓発し、安心して子育てができるよう援助した。</p> <p style="text-align: center;">訪問件数 594件</p>		
事業評価	<p>新生児期の養成上必要な育児指導、先天性異常の早期発見等、適切な保健指導を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図ることができた。</p>		

事務事業名	親子あそびの教室運営費	所管課	保健推進課
		決算額	1,168千円
事業内容	<p>1歳8カ月児健康診査の中で、発達面で経過をみていく必要があるとされた子どものフォローの場として、遊びの場を提供し、保護者への指導を行う。教室は、発達相談員、保健師、保育士が運営する。</p>		
成果・実績	<p>親子で具体的な遊びを体験することにより、子どもの発達を促した。また、子どもとの関わりに不安を持っている保護者に対し、自信を持って子どもと関われる親になってもらうきっかけづくりを行った。</p> <p style="text-align: center;">開催数 1クール10回を2クラス 1クール10回を4クラス</p> <p style="text-align: center;">処遇児数 110人</p>		
事業評価	<p>教室開催により、適切な親子関係を築き、子の健やかな成長を図ることができた。発達支援が必要な児童は増加傾向であり、的確な状況把握や今後の見通しを持って運営を検討していく必要がある。</p>		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	早期療育ネットワーク会議運営費	所管課	保健推進課
		決算額	141千円
事業内容	「宇治市早期療育ネットワーク会議」設置規程により、療育等の専門的な指導が必要な児童に対し、早期発見と早期に適切な指導が行われるよう、関係機関のネットワーク化、療育システムの確立を図るための検討と研究を行う。		
成果・実績	心身に障害のある子どもや発達上支援が必要と思われる子どもに対して、発達に応じた適正な療育指導を行うため、保健・福祉・教育・医療の関係者が集まって意見交換を行った。 開催回数 2回		
事業評価	療育に関わる関係機関とのネットワーク形成により、情報共有と業務連携を図ることができた。近年、発達支援が必要な児童は増加傾向であり、的確な状況把握や今後の見通し、国・京都府・関係機関との連携など支援体制の検討が必要である。		

事務事業名	幼児期後期フォロー教室開催費	所管課	保健推進課
		決算額	1,065千円
事業内容	LD、ADHD、広汎性発達障害などの発達障害、またはその疑いのある幼児に対する早期支援として、各幼児の課題に合わせた発達支援を行い、保護者や就園先の関係者と必要な関わりや手立てを相談する。対象幼児の発達を促進し、障害から生じる困難を予防する。少人数の教室を開催し、保護者懇談や園連携を行う。		
成果・実績	個別指導と集団指導を時間を分けて実施し、個々の課題解決に取り組んだ。指導は、発達相談員、保育士、作業療法士が行い、幼児の発達を促した。また、保護者や幼稚園・保育所（園）等の担当者に幼児の特性を理解してもらい、適切な関わりを促し二次障害を防いだ。 開催数 1クール目 全6回を2クラス 2クール目 全6回を1クラス 月1回 全10回を3クラス 平成22年度からの継続及び平成24年度への継続クラスは5/10回開催 処遇児数 35人		
事業評価	教室を開催し、子の発達段階に応じた関わりを持つことで、健やかな成長を図ることができた。平成24年度も継続実施するが、発達支援が必要な児童は増加傾向であり、的確な状況把握や今後の見通しを持って運営していく必要がある。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	感染症対策費	所管課	保健推進課
		決算額	170千円
事業内容	食中毒・各種感染症予防のための啓発活動に取り組むとともに、京都府と連携し、集団発生が危惧される新型インフルエンザに備えた体制整備を実施する。連絡会議の開催、広報や出張講演を行い、市民の正しい知識の習得による感染症予防や不安解消につなげる。		
成果・実績	市政だより、パンフレット配布などにより、食中毒や各種感染症予防の啓発活動を行った。また、食中毒(0-157)予防対策連絡会議を開催し、集団発生時に備えた体制を整えるとともに、食中毒注意報発令時には関係機関と連携を図り、食中毒に対する注意喚起を行った。		
事業評価	京都府と連携し、感染症の周知啓発を行うことによって、感染症まん延の防止や市民の不安解消を図ることができた。平成24年度も継続実施する。		

事務事業名	障害者歯科治療事業費	所管課	保健推進課
		決算額	7,455千円
事業内容	市内に居住する身体障害者手帳及び療育手帳の交付を受けた者に、週1回水曜日(年末年始除く)、宇治市歯科サービスセンター(うじ安心館内)で、口腔衛生指導、処置、歯科治療並びに歯科相談を行う。		
成果・実績	歯科サービスセンターにおいて、(社)宇治久世医師会及び(社)京都府歯科衛生士会の協力を得て、歯科治療等を行った。 診療日数 52日 受診者数 327人		
事業評価	適切に事業実施し、障害者の健康保持・増進を図ることができた。平成24年度も市民ニーズに対応して継続実施する。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	休日急病診療所運営費	所管課	保健推進課									
		決算額	29,983千円									
事業内容	日曜、祝日及び年末・年始において、急病で医療を望まれる市民に対し応急的な診療を、内科・小児科・歯科について行う。保健・消防センター（うじ安心館内）に開設している。											
成果・実績	<p>（社）宇治久世医師会・宇治久世歯科医師会・宇治久世薬剤師会並びに（社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、休日に内科・小児科・歯科の応急診療を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数(人)</th> <th>診療日数(日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科・小児科</td> <td style="text-align: center;">1,717</td> <td style="text-align: center;">69</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td style="text-align: center;">618</td> <td style="text-align: center;">71</td> </tr> </tbody> </table>				受診者数(人)	診療日数(日)	内科・小児科	1,717	69	歯科	618	71
	受診者数(人)	診療日数(日)										
内科・小児科	1,717	69										
歯科	618	71										
事業評価	休日、年末・年始における急病の診療に適切に対応し、市民の健康保持や適切な治療を図ることができた。感染症の流行等、緊急的な事態にも対応できるよう体制を維持し、平成24年度も継続実施する。											

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	健康教育費	所管課	健康生きがい課
		決算額	623千円
事業内容	生活習慣病の予防、健康増進等、健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、健康の保持増進を図る。市内各会場において、知識・経験を有する各職種スタッフを講師とし、広く市民に対し各種健康教室等を行う。（対象者：65歳未満）		
成果・実績	健康教室は、各教室の目的に応じて専門職が様々な内容で実施した。市民の健康意識を高め、日常生活において実行できる内容の普及に努めた。また、地域からの依頼やイベント等の機会を利用して広く市民へ普及することに努めた。 実施回数 65回 実施人数 2,033人		
事業評価	教室の開催等によって、市民の健康への意識向上を図ることができた。健康増進の効果を高めながら、若年層や新規参加者の参加促進のため開催日設定の工夫や、より多くの市民への広報などに努め、平成24年度も継続実施する。		

事務事業名	健康教育費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	575千円
事業内容	生活習慣病を中心に、介護予防に関する知識とその重要性についての認識を深め、高齢者自らの自主的な介護予防への取組を支援する。（対象者：65歳以上）		
成果・実績	健康教室は、各教室の目的に応じて専門職が様々な内容で実施した。市民の健康意識を高め、日常生活において実行できる内容の普及に努めた。また、地域からの依頼やイベント等の機会を利用して広く市民へ普及することに努めた。 実施回数 31回 実施人数 832人		
事業評価	教室の開催等によって、高齢者の健康への意識向上や介護予防を図ることができた。今後も高齢者人口は増加する見込みであり、介護予防は重要であるため、多くの市民が参加しやすい開催日程や広報の工夫をしながら、平成24年度も継続実施する。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	健康相談費	所管課	健康生きがい課
		決算額	363千円
事業内容	市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。うじ安心館を拠点に、気軽に幅広く相談できるよう実施する。（対象者：65歳未満）		
成果・実績	<p>市民に対し、個別に健康相談を実施した。</p> <p>実施回数 39回 実施人数 234人</p>		
事業評価	健康に関する市民の相談に個別に対応し、健康管理を促進することができたが、予約制相談の実施人数は開設回数に比べ少ない。今後はより多くの市民の健康増進を図るため、広報の見直しや実施手法の改善を図る必要がある。		

事務事業名	健康相談事業費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	521千円
事業内容	市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行う。（対象者：65歳以上）		
成果・実績	<p>市民に対し、個別に健康相談を実施した。</p> <p>実施回数 92回 実施人数 828人</p>		
事業評価	健康に関する市民の相談に個別に対応し、健康管理を促進することができたが、予約制相談の実施人数は開設回数に比べ少ない。今後はより多くの市民の健康増進を図るため、広報の見直しや実施手法の改善を図る必要がある。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	食生活改善推進員地区組織活動費	所管課	健康生きがい課
		決算額	241千円
事業内容	市民の健康づくりや生活習慣病予防の為に食生活改善を進める宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動を支援する。（対象者：65歳未満）		
成果・実績	<p>食生活改善推進員の地域での活動に対して支援を行い、行政研修会を実施した。</p> <p>「若葉の会」活動状況</p> <p>活動回数 29回</p> <p>参加者数 230人</p> <p>「若葉の会」に対する行政研修会の実施</p> <p>実施回数 2回</p> <p>参加会員数 51人</p>		
事業評価	ボランティアへの活動を支援し、地域での健康増進活動を活性化することができた。会員の高齢化、会員数の減少などの課題や、新会員の加入などを考慮し、支援内容については検討しながら平成24年度も継続実施する。		

事務事業名	食生活改善推進員地区組織活動費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	289千円
事業内容	在宅高齢者の健康づくりや生活習慣病予防の為に、食生活改善を進める宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動を支援する。（対象者：65歳以上）		
成果・実績	<p>食生活改善推進員の地域での活動に対して支援を行い、行政研修会を実施した。</p> <p>「若葉の会」活動状況</p> <p>活動回数 29回</p> <p>参加者数 213人</p> <p>「若葉の会」に対する行政研修会の実施</p> <p>実施回数 2回</p> <p>参加会員数 51人</p>		
事業評価	ボランティアへの活動を支援し、地域での健康増進活動を活性化することができた。会員の高齢化、会員数の減少などの課題や、新会員の加入などを考慮し、支援内容については検討しながら平成24年度も継続実施する。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	健康診査費	所管課	健康生きがい課												
		決算額	334千円												
事業内容	生活保護世帯等の40歳以上の者を対象に、生活習慣病を中心とした疾患及び予備群を早期発見することにより、健康的な生活を送ることができるよう支援し、予防することでその罹患者数を減少させる。検診協力医療機関にて個別健診を実施する。														
成果・実績	対象者に個別健診を実施した。 <div style="text-align: right;">(人)</div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>情報提供</th> <th>動機付け支援</th> <th>積極的支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1,793</td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">28</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> </tbody> </table>					対象者数	受診者数	情報提供	動機付け支援	積極的支援	1,793	45	28	1	6
対象者数	受診者数	情報提供	動機付け支援	積極的支援											
1,793	45	28	1	6											
事業評価	受診者の7割強が異状を指摘され、早期発見により市民の健康保持・増進を図ることができた。平成24年度も対象者の意識啓発に努めながら継続実施する。														

事務事業名	結核予防費	所管課	健康生きがい課		
		決算額	2,126千円		
事業内容	肺結核の早期発見・早期治療を目的として、65歳以上の市民を対象に集団検診を実施する。				
成果・実績	半日単位32回中、20回は胃がん検診と同日実施を設けた。 受診者数 1,892人 (うち要精密検査 0人)				
事業評価	検診の実施により市民の健康保持・増進を図ることができた。市民の利便性を考慮して胃がん検診との同日実施日を設けており、平成24年度も市民への受診啓発・促進に努めながら継続実施する。				

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	胃がん検診費	所管課	健康生きがい課																		
		決算額	7,046千円																		
事業内容	胃がんは早期発見・早期治療によって100%近い治癒が得られるとされている。受診率の向上、早期発見・早期治療を目指し、40歳以上の市民を対象に集団検診を実施する。																				
成果・実績	<p>半日単位39回中、20回は結核・肺がん検診と同日実施とした。</p> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>要精検者数</th> <th>がん(疑い)数</th> <th>その他疾病</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22</td> <td style="text-align: right;">47,852</td> <td style="text-align: right;">1,945</td> <td style="text-align: right;">119</td> <td style="text-align: right;">4</td> <td style="text-align: right;">95</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td style="text-align: right;">52,620</td> <td style="text-align: right;">1,867</td> <td style="text-align: right;">230</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>平成23年度のがん(疑い)数とその他疾病については、今後把握予定。</p>			年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病	22	47,852	1,945	119	4	95	23	52,620	1,867	230		
年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病																
22	47,852	1,945	119	4	95																
23	52,620	1,867	230																		
事業評価	検診の実施により市民の健康保持・増進を図ることができた。肺がん検診との同日実施については、平成24年度も市民の利便性を考慮し継続実施するが、今後は、市民ニーズへの対応や安全性も含め、実施方法について検討する必要がある。																				

事務事業名	子宮がん検診費	所管課	健康生きがい課																		
		決算額	26,913千円																		
事業内容	子宮頸部に発生するがんを早期に発見し早期治療につなげることを目的として、20歳以上の市民(女性のみ)を対象に、検診協力医療機関にて個別検診を実施する。																				
成果・実績	<p>平成23年度は、西暦偶数年生まれの女性を対象に実施した。</p> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>要精検者数</th> <th>がん(疑い)数</th> <th>その他疾病</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22</td> <td style="text-align: right;">58,416</td> <td style="text-align: right;">3,956</td> <td style="text-align: right;">47</td> <td style="text-align: right;">2</td> <td style="text-align: right;">23</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td style="text-align: right;">57,942</td> <td style="text-align: right;">3,674</td> <td style="text-align: right;">44</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>平成23年度のがん(疑い)数とその他疾病については、今後把握予定。</p>			年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病	22	58,416	3,956	47	2	23	23	57,942	3,674	44		
年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病																
22	58,416	3,956	47	2	23																
23	57,942	3,674	44																		
事業評価	市民の健康保持・増進とともに、国制度に基づいた無料クーポン券の配付により受診率の向上を図ることができた。平成24年度も市民の意識啓発に努め、継続実施する。																				

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	乳がん検診費	所管課	健康生きがい課																		
		決算額	17,050千円																		
事業内容	マンモグラフィー検査の併用実施により、がんを早期に発見し早期治療につなげ、乳がんの罹患率及び死亡率を減少させることを目的として、40歳以上の市民（女性のみ）を対象に、検診協力医療機関にて個別検診を実施する。早期発見し治療することでその予後は良好であり、乳房の温存による生活の質の維持・向上が期待される。																				
成果・実績	<p>平成23年度は、西暦偶数年生まれの女性を対象に実施した。</p> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>要精検者数</th> <th>がん（疑い）数</th> <th>その他疾病</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22</td> <td style="text-align: right;">31,944</td> <td style="text-align: right;">3,574</td> <td style="text-align: right;">146</td> <td style="text-align: right;">10</td> <td style="text-align: right;">75</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td style="text-align: right;">34,094</td> <td style="text-align: right;">3,462</td> <td style="text-align: right;">139</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>平成23年度のがん（疑い）数とその他疾病については、今後把握予定。</p>			年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん（疑い）数	その他疾病	22	31,944	3,574	146	10	75	23	34,094	3,462	139		
年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん（疑い）数	その他疾病																
22	31,944	3,574	146	10	75																
23	34,094	3,462	139																		
事業評価	国制度に基づいた無料クーポン券の配付を行い、市民の健康保持・増進を図ることができた。平成24年度は実施方法の検討を図りつつ、市民の意識啓発に努め、継続実施する。																				

事務事業名	肺がん検診費	所管課	健康生きがい課																		
		決算額	2,824千円																		
事業内容	過去10年、本市において肺がんは、がんによる死亡のうち部位別では第1位を占めており、早期発見・早期治療を目的として、40歳以上の市民を対象に集団検診を実施する。																				
成果・実績	<p>半日単位32回中、20回は胃がん検診と同日実施とした。</p> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>要精検者数</th> <th>がん（疑い）数</th> <th>その他疾病</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22</td> <td style="text-align: right;">47,852</td> <td style="text-align: right;">3,064</td> <td style="text-align: right;">71</td> <td style="text-align: right;">2</td> <td style="text-align: right;">35</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td style="text-align: right;">52,620</td> <td style="text-align: right;">2,937</td> <td style="text-align: right;">34</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>平成23年度のがん（疑い）数とその他疾病については、今後把握予定。</p>			年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん（疑い）数	その他疾病	22	47,852	3,064	71	2	35	23	52,620	2,937	34		
年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん（疑い）数	その他疾病																
22	47,852	3,064	71	2	35																
23	52,620	2,937	34																		
事業評価	検診の実施により市民の健康保持・増進を図ることができた。市民の利便性を考慮して胃がん検診との同日実施日を設けており、平成24年度も市民への受診啓発・促進に努めながら継続実施する。																				

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	成人歯科健診費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	243千円				
事業内容	歯周病を予防、早期発見し、生涯自分の歯で摂食行動できるようにするため、40歳、50歳、60歳、70歳の市民を対象に、検診協力医療機関にて個別健診を実施する。						
成果・実績	<p>節目年齢の市民を対象に個別健診を実施した。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>受診者数</td> <td style="text-align: right;">70人</td> </tr> <tr> <td>要精検者数</td> <td style="text-align: right;">63人</td> </tr> </table>			受診者数	70人	要精検者数	63人
受診者数	70人						
要精検者数	63人						
事業評価	受診者の9割に異状が早期発見され、市民の健康保持・増進を図ることができた。受診促進や市民の意識啓発に努めながら、平成24年度も継続実施する。						

事務事業名	大腸がん検診費	所管課	健康生きがい課																								
		決算額	23,998千円																								
事業内容	近年増加傾向にある大腸がんを早期に発見し早期治療につなげることにより、大腸がんによる死亡率を減少させることを目的として、40歳以上の市民を対象に個別検診を実施する。																										
成果・実績	<p>40歳以上の市民を対象に個別検診により実施した。</p> <table style="margin-left: 20px; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td colspan="5">(人)</td> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>要精検者数</th> <th>がん(疑い)数</th> <th>その他疾病</th> </tr> <tr> <td>22</td> <td>47,852</td> <td>6,635</td> <td>488</td> <td>11</td> <td>215</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>52,620</td> <td>9,367</td> <td>771</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>平成23年度のがん(疑い)数とその他疾病については、今後把握予定。</p>				(人)					年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病	22	47,852	6,635	488	11	215	23	52,620	9,367	771		
	(人)																										
年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病																						
22	47,852	6,635	488	11	215																						
23	52,620	9,367	771																								
事業評価	特定健診との同時受診の推奨や検診の広報、及び平成23年度より国制度に基づいた無料クーポン券の配布により、受診率は向上し、市民の健康保持・増進を図ることができた。早期発見・早期治療につなげるため、平成24年度も市民の意識啓発に努めながら継続実施する。																										

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	骨粗しょう症予防対策費	所管課	健康生きがい課
		決算額	665千円
事業内容	骨粗しょう症予防を目的に、骨密度測定を通して現在の骨や体の状態を把握するとともに、骨粗しょう症予防を目指し市民自ら健康づくりを実践する動機づけとなるよう教育を行う。（対象者：65歳未満）		
成果・実績	<p>骨密度の測定後、生活・栄養の話と運動実技の体験を行った。今年度より男性も対象とした。</p> <p style="text-align: center;">実施回数 5回 実施人数 197人</p>		
事業評価	教室を実施し、市民の運動・食・生活習慣の改善等を図るための動機づけを行うことができた。今年度から男性も対象に含めたため、新規参加者の参加促進に向けて、開催日程や広報の工夫に努め、平成24年度も継続実施する。		

事務事業名	骨粗しょう症予防教室事業費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	529千円
事業内容	骨粗しょう症予備群となる者に対し骨密度測定を通して現在の体の状態を把握し、介護予防を図る。（対象：65歳以上）		
成果・実績	<p>骨密度の測定後、生活・栄養の話と運動実技の体験を行った。今年度より男性も対象とした。</p> <p style="text-align: center;">実施回数 3回 実施人数 173人</p>		
事業評価	教室を実施し、市民の運動・食・生活習慣の改善等を図るための動機づけを行うことができた。今年度から男性も対象に含めたため、新規参加者の参加促進に向けて、開催日程や広報の工夫に努め、平成24年度も継続実施する。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	肝炎ウイルス検診費	所管課	健康生きがい課						
		決算額	5,398千円						
事業内容	肝炎の早期発見・早期対応のため、市において本検診の受診歴のない当該年度40歳以上の市民を対象に、検診協力医療機関にて個別検診を実施する。								
成果・実績	<p>対象者に個別検診を実施した。</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>受診者数</td> <td style="text-align: right;">1,647人</td> </tr> <tr> <td>B型肝炎ウイルス陽性</td> <td style="text-align: right;">13人</td> </tr> <tr> <td>C型肝炎ウイルス感染疑い</td> <td style="text-align: right;">1人</td> </tr> </table>			受診者数	1,647人	B型肝炎ウイルス陽性	13人	C型肝炎ウイルス感染疑い	1人
受診者数	1,647人								
B型肝炎ウイルス陽性	13人								
C型肝炎ウイルス感染疑い	1人								
事業評価	B型・C型肝炎ウイルスともに、異状が早期発見され、市民の健康保持・増進を図ることができた。また、平成23年度より開始した、国制度に基づく検診個別勧奨により、受診者増加につながった。平成24年度も市民の意識啓発に努めながら継続実施する。								

事務事業名	高齢者インフルエンザ予防接種費	所管課	健康生きがい課						
		決算額	67,908千円						
事業内容	65歳以上の高齢者及び60歳から65歳未満の厚生労働省令で定める機能障害を有する者に対し、インフルエンザワクチンの接種を協力医療機関にて実施する。平成22年度よりワクチンが3価となった。								
成果・実績	<table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>実施期間</td> <td>10月20日～12月28日</td> </tr> <tr> <td>接種医療機関</td> <td>(社)宇治久世医師会及び(社)伏見医師会の協力医療機関 (府外等の医療機関は還付で対応)</td> </tr> <tr> <td>接種者数</td> <td>20,121人</td> </tr> </table>			実施期間	10月20日～12月28日	接種医療機関	(社)宇治久世医師会及び(社)伏見医師会の協力医療機関 (府外等の医療機関は還付で対応)	接種者数	20,121人
実施期間	10月20日～12月28日								
接種医療機関	(社)宇治久世医師会及び(社)伏見医師会の協力医療機関 (府外等の医療機関は還付で対応)								
接種者数	20,121人								
事業評価	予防効果への期待は大きく、市民の健康保持を図ることができた。平成24年度も継続実施する。								

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	生活機能評価事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	45,810千円
事業内容	65歳以上の介護保険の第1号被保険者（要支援・要介護者を除く）に対して、二次予防事業対象者選定のために生活機能評価を行う。		
成果・実績	<p>65歳以上の高齢者のうち、要介護認定を受けていない者を対象に、基本チェックリスト、医師の理学的所見、その他必要な検査を実施し、二次予防事業対象者を選定した。</p> <p>受診者数 10,225人 受診率 27.4%</p>		
事業評価	特定健診等の健診時に実施し、二次予防事業対象者を把握し、各種介護予防事業の利用につなげることができた。平成23年度で事業は終了となり、今後は国の指針を踏まえたより効果的な実施手法に変更する。		

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	01 生きがいづくりの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	敬老会開催費	所管課	健康生きがい課
		決算額	10,433千円
事業内容	長年社会に貢献されてきた高齢者に敬愛の精神をもって接するよう広く市民の関心と理解を深め、高齢者自らの生活意欲を高めるため、当該年中に70歳以上になる高齢者を敬老の日に文化センターへ招待し式典を開催する。また、9月15日現在、数え年88歳の高齢者に対し、米寿を祝うための記念品を贈呈する。		
成果・実績	<p>敬老の日に宇治市文化センターで午前と午後の2回、市内在住の70歳以上の高齢者を招待して敬老会を開催した。</p> <p>参加者 2,364人 米寿記念品支給者数 529人</p>		
事業評価	敬老の日に式典を開催するとともに、米寿記念品を贈呈し、高齢者に敬愛の念を表し、高齢者福祉についての市民の関心と理解を深めることができた。高齢者の増加等に対応するため、今後開催場所の選定や実施方法などを検討する必要がある。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	01 生きがいづくりの充実	

事務事業名	老人園芸ひろば管理費	所管課	健康生きがい課																
		決算額	2,724千円																
事業内容	高齢者の生きがい対策と地域コミュニティ活動の一つとして、高齢者の社会交流、心身の健康保持のために、趣味を活かして園芸を楽しみ、自然の恵沢と長寿の喜びを味わってもらうことにより、高齢者福祉の増進を図る。																		
成果・実績	7カ所585区画を管理し、60歳以上の者に1人約10㎡を1区画として貸与した。																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">園芸ひろば名称</th> <th style="width: 60%;">利用者数（区画数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>芝ノ東</td><td style="text-align: center;">95</td></tr> <tr><td>大久保</td><td style="text-align: center;">129</td></tr> <tr><td>伊勢田第2</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td>羽戸山</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td>槇島</td><td style="text-align: center;">115</td></tr> <tr><td>伊勢田若林</td><td style="text-align: center;">49</td></tr> <tr><td>木幡</td><td style="text-align: center;">87</td></tr> </tbody> </table>			園芸ひろば名称	利用者数（区画数）	芝ノ東	95	大久保	129	伊勢田第2	55	羽戸山	55	槇島	115	伊勢田若林	49	木幡	87
園芸ひろば名称	利用者数（区画数）																		
芝ノ東	95																		
大久保	129																		
伊勢田第2	55																		
羽戸山	55																		
槇島	115																		
伊勢田若林	49																		
木幡	87																		
	小倉園芸ひろば撤去費 1,706千円																		
事業評価	市内7カ所の園芸ひろばを整備・運営し、高齢者の生きがい増進と地域コミュニティの活性化を図ることができた。今後も整備を図りつつ、公平性の観点から利用者の自己負担や利用者選定、整備に係る基準・方針について検討する必要がある。																		

事務事業名	輝き支援2015高齢期支援システム創造事業費	所管課	健康生きがい課																		
		決算額	7,200千円																		
事業内容	団塊の世代が高齢期を迎える平成27年を前に、健康づくり・生きがいづくり・地域参加の契機となる各種講座、講演会などの事業を（財）宇治市福祉サービス公社に委託し実施する。知識や経験を活用しながら、健康に関心を持ち、地域活動に参加できるよう、新しい高齢期支援システムの構築を目指す。																				
成果・実績	健康づくり・生きがいづくり・地域参加の契機となる各種講座・講演会等の事業を実施した。																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">講座名</th> <th style="width: 20%;">講座数</th> <th style="width: 50%;">参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>健やか生活塾</td><td style="text-align: center;">3</td><td style="text-align: center;">137</td></tr> <tr><td>人生設計塾</td><td style="text-align: center;">1</td><td style="text-align: center;">36</td></tr> <tr><td>愉快生活塾</td><td style="text-align: center;">3</td><td style="text-align: center;">215</td></tr> <tr><td>活動支援事業</td><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">430</td></tr> <tr><td>角淳一氏講演会</td><td style="text-align: center;">1</td><td style="text-align: center;">380</td></tr> </tbody> </table>			講座名	講座数	参加延べ人数	健やか生活塾	3	137	人生設計塾	1	36	愉快生活塾	3	215	活動支援事業	4	430	角淳一氏講演会	1	380
講座名	講座数	参加延べ人数																			
健やか生活塾	3	137																			
人生設計塾	1	36																			
愉快生活塾	3	215																			
活動支援事業	4	430																			
角淳一氏講演会	1	380																			
事業評価	（財）宇治市福祉サービス公社へ委託実施し、様々な講座等の開催により、高齢期を迎える世代の健康・生きがいづくりや地域活動への意識啓発につながった。市民ニーズを踏まえ、事業効果を検証しながら平成24年度も継続実施する。																				

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	01 生きがいづくりの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	敬老祝金等支給費	所管課	健康生きがい課																
		決算額	75,549千円																
事業内容	9月15日現在、満70歳、満77歳、満88歳、満100歳で、1月1日から8月末日まで引き続き居住する高齢者に長寿のお祝いをするために敬老祝金を支給する。また、95歳以上の高齢者に対して長寿を祝い記念品を贈る。																		
成果・実績	<p>敬老祝金 9月15日現在、対象年齢となる市民に、長寿をお祝いするために、敬老祝金を支給した。</p> <p>支給金額 (円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>70歳</th> <th>77歳</th> <th>88歳</th> <th>100歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">10,000</td> <td style="text-align: center;">20,000</td> <td style="text-align: center;">30,000</td> <td style="text-align: center;">50,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>支給者数 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>70歳</th> <th>77歳</th> <th>88歳</th> <th>100歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2,714</td> <td style="text-align: center;">1,627</td> <td style="text-align: center;">453</td> <td style="text-align: center;">23</td> </tr> </tbody> </table> <p>長寿記念品 支給者数 432人</p>			70歳	77歳	88歳	100歳	10,000	20,000	30,000	50,000	70歳	77歳	88歳	100歳	2,714	1,627	453	23
70歳	77歳	88歳	100歳																
10,000	20,000	30,000	50,000																
70歳	77歳	88歳	100歳																
2,714	1,627	453	23																
事業評価	対象年齢の高齢者へ長寿のお祝いを行ったが、高齢化の進展によって高齢者数は増加しており、今後は事業のあり方を見直して、高齢者の生活を総合的な制度で支える施策について検討する。																		

事務事業名	高齢者活動事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,521千円
事業内容	宗教法人平等院からの寄付金1億円を高齢者活動基金として積み立て、運用益を高齢者の生きがい対策のための各種サービスの充実を図る目的の事業のために使用し、寄付者の意思に報う。健康まつりの開催、喜老会への補助など。		
成果・実績	<p>高齢者の活動を促進するため、事業開催や事業費補助を行った。</p> <p>健康まつり 253千円 機器による各種測定、診断や、協力団体等によるストレッチ指導などを行い、楽しみながら市民の健康への意識を高めた。</p> <p>参加者 347人</p> <p>宇治市連合喜老会促進特別事業 850千円 宇治市老人福祉センターサークル協議会研修事業 118千円 宇治市老人福祉センターサークル活動発表大会事業 300千円</p>		
事業評価	健康まつりの開催や喜老会活動への助成などを行い、高齢者の生きがい活動を促進できた。平成24年度も継続実施するが、助成のあり方を含め、世代間交流の推進や関係課・団体との連携など、より多くの市民に効果的な実施手法の検討が必要である。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	01 生きがいづくりの充実	

事務事業名	宇治市シルバー人材センター運営助成費	所管課	健康生きがい課
		決算額	3,650千円
事業内容	定年退職後等において雇用関係のない就業を通じて労働能力を活用し、生きがいの充実等を希望する60歳以上の高齢者に、地域社会の日常生活に関連した補助的、短期的な仕事を提供するための高齢者の自主的な団体である、(公社)宇治市シルバー人材センターの運営に助成を行う。		
成果・実績	(公社)宇治市シルバー人材センターの運営事業に対し助成を行い、育成・指導に努めた。 <div style="margin-left: 20px;"> 会員数 673人 (男性 528人 女性 145人) </div>		
事業評価	シルバー人材センター運営補助金について適切に執行し、高齢者の生きがい増進や就労の促進を図ることができた。受注件数は増加の傾向にあり、平成24年度も継続実施し、活性化を図る。		

事務事業名	地域福祉センター管理運営費	所管課	健康生きがい課																								
		決算額	50,815千円																								
事業内容	地域住民の福祉ニーズに応じた事業を総合的に行うとともに、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図り、地域の実情に応じた各種事業を実施する。また、高齢者が健康づくりや生きがいづくりなど様々な活動に気軽に利用でき、集会所機能も持たせた多目的活用によって、世代間交流や地域交流を促進する複合施設である地域福祉センターの管理・運営を行う。																										
成果・実績	市内6カ所の地域福祉センターを管理・運営した。木幡・開については直営で管理し、その他4カ所は管理者を指定し、管理運営した。 <div style="margin-left: 20px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">榎島地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">6,156千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">指定管理者：(福)山城福祉会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>木幡地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">6,621千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">直営</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">6,035千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">直営</td> <td></td> </tr> <tr> <td>西小倉地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">18,195千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">指定管理者：(財)宇治市福祉サービス公社</td> <td></td> </tr> <tr> <td>東宇治地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">7,827千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">指定管理者：(財)宇治市福祉サービス公社</td> <td></td> </tr> <tr> <td>広野地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">5,981千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">指定管理者：(財)宇治市福祉サービス公社</td> <td></td> </tr> </table> </div>			榎島地域福祉センター管理運営費	6,156千円	指定管理者：(福)山城福祉会		木幡地域福祉センター管理運営費	6,621千円	直営		開地域福祉センター管理運営費	6,035千円	直営		西小倉地域福祉センター管理運営費	18,195千円	指定管理者：(財)宇治市福祉サービス公社		東宇治地域福祉センター管理運営費	7,827千円	指定管理者：(財)宇治市福祉サービス公社		広野地域福祉センター管理運営費	5,981千円	指定管理者：(財)宇治市福祉サービス公社	
榎島地域福祉センター管理運営費	6,156千円																										
指定管理者：(福)山城福祉会																											
木幡地域福祉センター管理運営費	6,621千円																										
直営																											
開地域福祉センター管理運営費	6,035千円																										
直営																											
西小倉地域福祉センター管理運営費	18,195千円																										
指定管理者：(財)宇治市福祉サービス公社																											
東宇治地域福祉センター管理運営費	7,827千円																										
指定管理者：(財)宇治市福祉サービス公社																											
広野地域福祉センター管理運営費	5,981千円																										
指定管理者：(財)宇治市福祉サービス公社																											
事業評価	適正な管理運営によって、高齢者の福祉向上を図ることができた。今後も利用者のニーズを踏まえて運営するとともに、利用効果に見合うよう計画的な修繕を検討する。																										

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	機能訓練事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	400千円
事業内容	40歳以上65歳未満で運動機能の低下を生じている者に対して、パワーリハビリ教室において、身体機能の向上、閉じこもりの予防を目的に行う。		
成果・実績	<p>パワーリハビリ教室を実施し、心身の機能の維持改善を図った。</p> <p style="text-align: center;">実人員 7人</p>		
事業評価	教室を開催し、市民の疾病予防や健康保持・増進を図ることができた。教室の効果を検証しながら平成24年度も継続実施する。		

事務事業名	機能訓練事業費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	30,798千円
事業内容	<p>パワーリハビリ事業：二次予防事業対象者に対し、マシンを利用した軽度な負荷での運動やストレッチ体操等を実施することにより、心身の機能の維持向上、筋力・バランス力・動作性等の向上を図る。</p> <p>足しっかり体操教室：自重運動や体操を中心としたトレーニングを行い、生活機能の維持・改善を図る。</p> <p>すこやか体操教室：筋力向上トレーニングや気功法等を行う、機能の向上を図る。</p>		
成果・実績	<p>二次予防事業対象者に、通所により介護予防を目的とした運動器の機能向上プログラムを実施した。</p> <p style="text-align: center;">実人員 373人</p>		
事業評価	教室を開催し、二次予防事業対象者の健康保持・増進や意識啓発、介護予防を図ることができた。参加者は増加傾向にあり、平成24年度も継続実施が必要だと考えるが、プログラム構成の改善や他事業との連携など、より効果的な事業実施を検討する必要がある。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	機能訓練事業費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	15,882千円
事業内容	<p>パワーリハビリ事業：医師から医療制限の指示を受けていない自力でトレーニング可能な65歳以上の者を対象に、マシンを利用した軽度な負荷での運動やストレッチ体操等を実施することにより、心身の機能の維持向上、筋力・バランス力・動作性等の向上を図る。</p> <p>B型リハビリ教室：疾病等の理由から閉じこもりがちな虚弱高齢者や障害のある方などを対象に、「閉じこもり症候群」を防止し、地域参加を促し、地域との交流を通じて生活機能の維持・改善を図る。</p>		
成果・実績	<p>介護予防の普及・啓発に資する機能訓練を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">パワーリハビリ事業参加者数（実人員） 308人</p> <p style="margin-left: 40px;">B型リハビリ教室参加者数（実人員） 216人</p>		
事業評価	<p>高齢者の健康保持・増進や意識啓発、介護予防を図ることができた。平成24年度も継続実施が必要だと考えるが、参加者の固定化、介護保険制度の利用への移行がスムーズにできないなどの課題もあり、今後の改善を検討する必要がある。</p>		

事務事業名	認知症地域支援事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	312千円
事業内容	<p>認知症になっても安全・安心に暮らせるまちづくりについて検討し、地域ネットワークを構築する。事例検討を通して相談窓口職員のスキルアップを図る。</p>		
成果・実績	<p>認知症総合対策についての協議を行うとともに、地域包括支援センター職員へ認知症支援の資質向上のための研修を実施した。</p> <p style="margin-left: 40px;">延べ人員数</p> <p style="margin-left: 80px;">認知症地域体制・医療体制検討会議 76人</p> <p style="margin-left: 80px;">認知症対応力支援事業 158人</p>		
事業評価	<p>認知症ケアネットワークの設置によって様々な立場から認知症を総合的に支援する基盤作りを進めることができた。今後も効果的な会議のあり方を検討し、福祉関係者の横断的な支援体制強化を図っていく。</p>		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	在宅寝たきり者等訪問指導事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	237千円
事業内容	40歳以上65歳未満の在宅寝たきり者や家族等、支援が必要な市民に対し、訪問による保健指導を行い、在宅療養条件の整備及びその健康の保持増進を図る。		
成果・実績	居宅を訪問し、必要な相談・指導等を行った。 実人員 16人		
事業評価	訪問での保健指導によって、在宅寝たきり者や家族の心身機能の維持改善や日常生活の向上を図ることができた。平成24年度も継続実施が必要だと考えるが、利用者は減少しており、市民ニーズや対象者の把握方法について検討する。		

事務事業名	訪問型介護予防事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	2,584千円
事業内容	二次予防事業対象者に対し、訪問による保健指導を行い、運動機能の向上、口腔機能の向上、栄養改善、閉じこもり予防、うつ予防、認知症予防を図る。		
成果・実績	居宅を訪問し、必要な相談・指導等を行った。 実人数 165人		
事業評価	二次予防事業対象者の生活機能に関する問題に対し、適切に相談・指導を行うことができた。平成24年度も継続実施が必要だと考えるが、指導内容の充実等より効果的な事業実施を検討する必要がある。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	介護予防教室開催費	所管課	健康生きがい課
		決算額	378千円
事業内容	介護予防事業の効果的な実施を行うため、65歳以上の高齢者を対象に、リスクの高い二次予防事業対象者を把握する。また、サービスにつながりにくい独居高齢者の生活実態把握を行い、適切な介護予防サービスにつなげることで、孤独死や介護の重症化を防止する。		
成果・実績	二次予防事業対象者の把握と認知症予防の啓発を実施した。 実人数 234人		
事業評価	教室の開催によって、二次予防事業対象者を把握し、認知症予防や健康への市民の意識啓発を図ることができた。今後も高齢者数は増加する見込みであり、介護予防が重要であるため、平成24年度からはより効果的な手法で把握していく。		

事務事業名	介護予防普及啓発事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	207千円
事業内容	介護予防の重点項目を中心に、高齢者の健康管理等を見直すきっかけづくりとして介護予防に資する基本的な知識を普及・啓発するとともに、一次予防事業を周知する。また、各種健診や生活機能評価事業等を周知し、リスクの高い二次予防事業対象者を把握し、適切な介護予防サービスにつなげる。		
成果・実績	65歳以上の高齢者に、介護予防の普及・啓発に資する介護予防教室を行った。 実人員 91人		
事業評価	市民への周知・啓発によって介護予防への意識向上を図ることができた。適切な介護予防サービスにつなげるため、参加者の増加や実施手法の改善に努め、平成24年度も継続実施する。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	栄養改善教室開催費	所管課	健康生きがい課
		決算額	875千円
事業内容	低栄養等の二次予防事業対象者に対し、虚弱状態に陥ることを予防するため、年齢に応じたバランスの良い食事について学んでもらい、栄養状態の改善を図り、生活機能の維持向上を図る。		
成果・実績	通所により介護予防を目的とする栄養改善プログラムを実施した。 実人員 60人		
事業評価	教室を開催し、二次予防事業対象者の栄養改善や日常の食事摂取への意識啓発を図ることができた。平成24年度以降は、全身に複合的に働き掛けるプログラムに組み替え、個別のニーズに沿った機能改善を図るなど効果的な事業を実施する。		

事務事業名	口腔衛生教室開催費	所管課	健康生きがい課
		決算額	916千円
事業内容	介護予防のため、口腔機能低下のある二次予防事業対象者の口腔機能の向上を図る。		
成果・実績	通所により介護予防を目的とする口腔機能向上プログラムを実施した。 実人員 85人		
事業評価	教室を開催し、二次予防事業対象者の口腔機能の改善や日常の口腔衛生への意識啓発を図ることができた。平成24年度以降は、全身に複合的に働き掛けるプログラムに組み替え、個別のニーズに沿った機能改善を図るなど効果的な事業を実施する。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	認知症地域支援事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	391千円
事業内容	認知症家族支援プログラムやOB会を通して認知症の人を介護する家族を支援する。		
成果・実績	<p>介護者家族に対し、認知症の理解を促進し、介護者同士の交流を図った。</p> <p>延べ人員数</p> <p>家族支援プログラム 76人</p> <p>OB会支援 112人</p>		
事業評価	認知症の知識の普及・啓発や介護家族への支援を図ることができた。平成24年度も他事業と連携し、市民ニーズを把握しながらより効果的な手法を検討し継続実施する。		

事務事業名	認知症地域支援事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	6,182千円
事業内容	高齢者が地域で心身ともにいきいきと暮らすことができるように、予防可能な段階である前期認知症高齢者を早期に発見し、認知症の改善と進行、悪化の防止のための教室を行う。		
成果・実績	<p>認知症予防を目的とした教室や認知症の正しい理解の普及・啓発（認知症あんしんサポーター養成講座）をした。</p> <p>認知症予防教室参加者数（実数） 123人</p> <p>認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数 1,178人</p> <p>キャラバン・メイト養成講座延べ参加者数 0人</p> <p>（2年に一度実施、平成23年度実施なし）</p>		
事業評価	教室の開催等によって認知症の知識の普及・啓発や介護家族への支援を図ることができた。平成24年度も継続実施する必要があると考えるが、参加方法の改善や会場の確保など、市民ニーズに対応した実施手法の検討が必要である。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	ボランティア研修会開催費	所管課	健康生きがい課
		決算額	300千円
事業内容	市民の積極的な社会参加を促進するとともに、介護予防事業への理解と普及・啓発を促進する。		
成果・実績	介護予防に関するボランティア等の人材育成や介護予防に資する地域活動組織の育成・支援のための事業を行った。 実人数 273人		
事業評価	研修の実施によって介護予防に関わる人材の育成を行い、将来的な地域福祉活動の活性化につながるものと考え。今後は育成した人材の有効活用や関係機関との連携を図るとともに、研修効果を検証しながら効果的な実施手法を検討する。		

事務事業名	老人保護措置費等	所管課	健康生きがい課
		決算額	116,807千円
事業内容	環境上及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難と認める65歳以上の高齢者について、養護老人ホームへの入所措置を行う。		
成果・実績	対象者について養護老人ホームに入所措置を行った。 措置延べ人数 718人		
事業評価	老人福祉法に基づいて養護老人ホームへの入所措置を適切に行った。高齢化が進展し、対象者は増加傾向にあるが、効果的なサービス利用など在宅生活の可能性を十分に検討した上で措置することを基本とし、平成24年度も継続実施する。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	在宅要援護老人対策費	所管課	健康生きがい課
		決算額	14,610千円
事業内容	高齢化の進行により、寝たきり・一人暮らし高齢者、高齢者世帯の要援護者が増加しており、日常生活で手助けが必要な部分について、類型に応じたサービスを提供し、地域社会での日常生活を送れるよう援助する。シルバーホン設置、訪問活動事業への助成などを行う。		
成果・実績	在宅で援護が必要である高齢者等に対して、各種事業を行った。 一人暮らし高齢者等訪問活動事業 1,977千円 おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に自宅への訪問等を月1回以上行い、一人暮らし高齢者の安否確認や不安解消を行った。 対象者数 1,977人 在宅ねたきり高齢者等慰問品支給事業 270千円 要介護認定3・4・5で在宅にて介護を受けている高齢者等に民生児童委員を通して見舞品を支給した。 支給者数 1,500人 シルバーホン（緊急発信設備付電話）設置事業 10,373千円 本市に在住するおおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に緊急時の連絡手段としてシルバーホンを設置した。 設置数 平成23年度新規124台、延べ882台 福祉電話の基本通話料の助成 1,741千円 所得税非課税の65歳以上の一人暮らしで電話のない高齢者に貸与、設置した福祉電話の基本通話料を助成した。 年度末助成対象者数 70人		
事業評価	（福）宇治市社会福祉協議会への適正な補助や、民生児童委員との連携などによって、社会的支援が必要な高齢者と関わりを持つことができた。シルバーホン設置の実施手法や、地域・他団体との連携のあり方を検討し、支援の改善を図りながら平成24年度も継続実施する。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	老人日常生活用具等給付費	所管課	健康生きがい課						
		決算額	418千円						
事業内容	在宅で生活をしている65歳以上の一人暮らし高齢者等（市民税非課税）で、心身機能の低下に伴い防火等の配慮が必要な者に電磁調理器・自動消火器を給付し、現に電話のない者に福祉用具を貸与・設置する。								
成果・実績	一人暮らし等高齢者日常生活用具給付等事業 在宅で65歳以上の一人暮らし高齢者等（市民税非課税）で防火等の配慮が必要な者に電磁調理器・自動消火器を給付した。 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">（台）</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">電磁調理器</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">13</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自動消火器</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">4</td> </tr> </table> <p>福祉電話の貸与事業 所得税非課税の65歳以上の一人暮らしで、電話のない高齢者に福祉電話を貸与、設置した。 設置件数 平成23年度新規8件</p>			（台）		電磁調理器	13	自動消火器	4
（台）									
電磁調理器	13								
自動消火器	4								
事業評価	高齢になっても、できるだけ在宅での生活を維持するための支援として役立っており、平成24年度も継続実施する。								

事務事業名	高齢者成年後見制度助成費	所管課	健康生きがい課
		決算額	2,255千円
事業内容	判断能力が不十分な認知症高齢者等のうち、身寄りがないなど当事者による成年後見人の申立が期待できない状況にあるものについて、成年後見制度の利用による本人の権利を擁護するため、審判の請求手続きの代行を行うとともに低所得者については後見人の報酬等を市が助成する。		
成果・実績	判断能力がないまたは乏しいことにより契約などの行為が行えない認知症高齢者等に対して、成年後見人などを選任するための申立の代行、費用の立替などを行った。 <p style="margin-left: 40px;">申立件数 9件</p>		
事業評価	認知症等により判断能力が十分でない高齢者の権利の保護を図ることができた。今後、制度利用の希望者が増加すると考えられ、より円滑な事務遂行が求められる。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	老人クラブ助成金	所管課	健康生きがい課
		決算額	6,492千円
事業内容	高齢者の心身の健康保持、社会参加を促進するため、老人クラブが自主的に行う教養講座、レクリエーション、社会奉仕、スポーツ等を年間を通じて恒常的かつ計画的に行えるため助成・育成を行い、老人クラブ活動の充実と発展を図り、老後の生きがいを高め、その生活を健康で豊かなものとする。		
成果・実績	老人クラブの活動に対して助成するとともに、老人大学開催事業を委託実施し、育成・指導に努めた。 会員数 3,676人 サークル数 64		
事業評価	宇治市連合喜老会への助成や事業の委託料などを適正に執行し、高齢者の生きがい活動を促進できた。平成24年度も継続実施するが、クラブ数、会員の減少や高齢化が進んでおり、助成のあり方等を含め今後の施策展開について検討する必要がある。		

事務事業名	一人暮らし高齢者給配食サービス補助金	所管課	健康生きがい課
		決算額	4,150千円
事業内容	一人暮らし高齢者の不安と孤独感の解消と社会参加のため、地区社会福祉協議会と学区福祉委員会が実施している一人暮らし高齢者給配食サービスに対し、補助することによって、在宅福祉の充実に向け、行政、地域住民等の連携や、ボランティアの育成、地区社会福祉協議会、学区福祉委員会の充実を図る。		
成果・実績	給配食サービスへの助成を行い、一人暮らし高齢者の福祉の向上を図った。 給配食数 11,858食		
事業評価	(福) 宇治市社会福祉協議会へ適正に補助金交付し、社会的支援が必要な高齢者と関わりを持ち、地域福祉の向上を図ることができた。平成24年度も地域・他団体との連携等を強化し、より効果的な手法を検討しながら継続実施する。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	在宅寝たきり高齢者等介護者激励金支給費	所管課	健康生きがい課
		決算額	21,259千円
事業内容	介護保険法における要介護3・4・5の認定を受けた65歳以上の高齢者を在宅で介護している者を対象に日常の介護を激励するため、在宅高齢者介護者激励金を支給し、高齢者福祉の増進を図る。平成18年度より基準日（10月1日）を年一回とし、支給要件の対象期間を基準日前一年間に見直した。		
成果・実績	<p>日常の介護を激励するため、要介護高齢者の介護者へ一人3万円の激励金を支給し、在宅高齢者福祉の増進を図った。</p> <p style="text-align: center;">支給者数 708人</p>		
事業評価	要件に該当する対象者に適切に激励金を支給し、在宅で介護する家族の精神的・経済的負担を軽減することができた。平成24年度以降は介護保険事業特別会計分に移行して実施する。今後も家族支援は必要と考えるが、高齢者の生活を支える地域と連携した総合的支援のあり方を検討する。		

事務事業名	介護用具リサイクル事業費	所管課	健康生きがい課								
		決算額	1,122千円								
事業内容	市民等からリサイクル用に寄付を受けた福祉用具を、必要とする在宅寝たきり者に貸与し、福祉用具を有効活用する。										
成果・実績	<p>不要となった福祉用具について、市民等から寄付を受け、修繕・貸与することで有効活用を図った。</p> <p style="text-align: center;">貸与数</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>特殊寝台</td> <td style="text-align: right;">15台</td> </tr> <tr> <td>車いす</td> <td style="text-align: right;">9台</td> </tr> <tr> <td>エアーマット</td> <td style="text-align: right;">1個</td> </tr> <tr> <td>入浴用車いす</td> <td style="text-align: right;">2台</td> </tr> </table>			特殊寝台	15台	車いす	9台	エアーマット	1個	入浴用車いす	2台
特殊寝台	15台										
車いす	9台										
エアーマット	1個										
入浴用車いす	2台										
事業評価	寄付を受けた福祉用具を有効活用し、在宅での介護を支援することができた。平成24年度も継続実施する。										

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	高齢者住宅改造助成費	所管課	健康生きがい課
		決算額	2,153千円
事業内容	介護保険法における要支援・要介護の認定を受けた者の日常生活を容易にし介護者の負担の軽減を図るためリフト、エレベーター設置工事に要した経費の一部を助成（認定工事の合計額2分の1（1住宅につき30万円限度））する。（介護保険給付対象工事は除く。）		
成果・実績	<p>介助を要する高齢者等の居住する住宅等を改造費を助成し、福祉の増進を図った。</p> <p style="text-align: center;">助成件数 8件</p>		
事業評価	介助を要する高齢者等の居住する住宅等を改造費を助成することで、福祉の増進を図り、高齢者の経済的負担を軽減することができた。在宅での日常生活向上のため、平成24年度も継続実施する。		

事務事業名	高齢者あん摩・マッサージ・指圧・はり・きゅう施術費助成事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	23,301千円
事業内容	高齢者の健康の保持及び福祉の増進を図るため、はり・きゅう・マッサージなどの施術費の一部を助成する。		
成果・実績	<p>施術費の一部を助成し、健康の保持及び増進を図った。</p> <p style="text-align: center;">助成券交付件数 4,594件</p>		
事業評価	対象者が受けた施術料について適正に助成し、経済的負担を軽減するとともに、健康保持・増進を図ることができた。高齢化の進展によって高齢者数は増加しており、今後は高齢者の生活を総合的な制度で支える施策について検討する中で、事業のあり方を見直す。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	介護基盤緊急整備特別対策事業費補助金	所管課	健康生きがい課																																			
		決算額	88,057千円																																			
事業内容	介護基盤の緊急整備及び円滑な開設など施設整備事業を支援するため、国補助金の対象となる施設整備について、事業者へ補助を行う。																																					
成果・実績	宇治市高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画に則した施設整備を計画的に進めるため、介護基盤緊急整備等特別対策補助金の対象となる施設整備に対して、事業者へ補助金を交付した。																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">(千円)</th> </tr> <tr> <th>施設種別</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設整備</td> <td>18,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">介護予防拠点</td> <td>5,448</td> </tr> <tr> <td>6,615</td> </tr> <tr> <td>6,437</td> </tr> <tr> <td>スプリングラー整備</td> <td>5,562</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">グループホーム</td> <td>2,367</td> </tr> <tr> <td>2,223</td> </tr> <tr> <td>972</td> </tr> <tr> <td>自動火災報知設備等整備</td> <td>3,600</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">グループホーム</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>定期借地権利用による整備促進特別対策事業</td> <td>40,395</td> </tr> <tr> <td>小規模特養</td> <td>40,395</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>68,057</td> </tr> </tbody> </table>	(千円)		施設種別	補助金額	施設整備	18,500	介護予防拠点	5,448	6,615	6,437	スプリングラー整備	5,562	グループホーム	2,367	2,223	972	自動火災報知設備等整備	3,600	グループホーム	1,300	1,000	1,300	定期借地権利用による整備促進特別対策事業	40,395	小規模特養	40,395	合計	68,057	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"><繰越分> (千円)</th> </tr> <tr> <th>施設種別</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">認知症デイ</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20,000</td> </tr> </tbody> </table>	<繰越分> (千円)		施設種別	補助金額	認知症デイ	10,000	10,000	合計
(千円)																																						
施設種別	補助金額																																					
施設整備	18,500																																					
介護予防拠点	5,448																																					
	6,615																																					
	6,437																																					
スプリングラー整備	5,562																																					
グループホーム	2,367																																					
	2,223																																					
	972																																					
自動火災報知設備等整備	3,600																																					
グループホーム	1,300																																					
	1,000																																					
	1,300																																					
定期借地権利用による整備促進特別対策事業	40,395																																					
小規模特養	40,395																																					
合計	68,057																																					
<繰越分> (千円)																																						
施設種別	補助金額																																					
認知症デイ	10,000																																					
	10,000																																					
合計	20,000																																					
事業評価	宇治市高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画に基づいた施設整備について、事業者へ適正に補助金を交付した。今後も国・京都府の動向を踏まえつつ、計画に即した整備を進めるために実施する。																																					

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	生活支援ホームヘルプサービス事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,070千円
事業内容	日常生活を営むのに支障のある65歳以上の一人暮らしまたは高齢者のみの世帯で、介護保険認定非該当の者にヘルパーを派遣しサービスを提供する。		
成果・実績	<p>体が弱いなどの理由により家事等の援助が必要となった高齢者の居宅をヘルパーが訪問し、掃除、買い物、洗濯、炊事などの支援を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">実利用者数 10人 延べ利用回数 382回</p>		
事業評価	介護保険認定非該当の高齢者の日常生活向上を図ることができた。利用について、必要性の判断が難しく、今後は対象者の客観的要件の整理が必要と考える。		

事務事業名	地域包括支援センター運営事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	75,145千円
事業内容	介護、福祉、医療、保健など様々なサービスを包括的・継続的に提供するために、平成18年度に地域包括支援センターを市内6カ所の日常生活圏域（東宇治南、北宇治圏域はランチも設置）に設置した。要支援者が可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるように指定介護予防支援を実施する。また、地域包括支援センター運営協議会を設置する。		
成果・実績	<p>3職種の専門職を配置し、圏域内の高齢者の心身の状況を通して介護予防ケアプランの作成、指定介護予防支援、高齢者やその家族に対する相談支援、高齢者の権利擁護、包括的・継続的なケア体制の構築などを行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">新規相談者数（実人数） 3,252人</p>		
事業評価	国の指針に基づいて、日常生活圏域ごとに専門職を配置し、地域の中で高齢者の生活を支援することができた。今後も継続実施が必要だが、高齢者数は増加する見込みであり、効率的な業務整理や適切な体制の整備など、包括的支援事業の充実に向けて運営の改善が必要である。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	家族介護者支援事業費	所管課	健康生きがい課																												
		決算額	5,802千円																												
事業内容	<p>要介護の高齢者等を介護する家族を支援するため、以下の事業を行う。</p> <p>紙おむつ等購入費助成：要介護4・5の在宅高齢者の紙おむつ等を給付する。（月額購入費の2分の1相当の額の紙おむつ等5千円上限、市民税非課税世帯）</p> <p>リフレッシュ事業：介護者の交流事業とともに、介護者の誕生日に花束を贈呈する。</p> <p>家族介護慰労事業：要介護4・5の市民税非課税世帯の高齢者で1年間介護サービスを受けずに介護した家族に慰労金を支給する。</p> <p>家族介護者教室：介護者自身の健康づくりを目指し、健康管理等の知識を指導する。</p>																														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">紙おむつ支給事業</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">2,492千円</td> </tr> <tr> <td>助成件数</td> <td style="text-align: right;">896件</td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>リフレッシュ事業</td> <td style="text-align: right;">2,710千円</td> </tr> <tr> <td>介護者家族の会の紹介や、介護者交流会を兼ねた昼食会を行った。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">106人</td> </tr> <tr> <td>介護者花束贈呈者数</td> <td style="text-align: right;">572人</td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>家族介護慰労事業</td> <td style="text-align: right;">300千円</td> </tr> <tr> <td>支給者数</td> <td style="text-align: right;">3人</td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>家族介護者教室</td> <td style="text-align: right;">300千円</td> </tr> <tr> <td>介護者の家族に教室を実施し、体操やクラフト・茶話会などで交流を行った。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加者実数</td> <td style="text-align: right;">44人</td> </tr> </table>			紙おむつ支給事業	2,492千円	助成件数	896件	 		リフレッシュ事業	2,710千円	介護者家族の会の紹介や、介護者交流会を兼ねた昼食会を行った。		参加人数	106人	介護者花束贈呈者数	572人	 		家族介護慰労事業	300千円	支給者数	3人	 		家族介護者教室	300千円	介護者の家族に教室を実施し、体操やクラフト・茶話会などで交流を行った。		参加者実数	44人
紙おむつ支給事業	2,492千円																														
助成件数	896件																														
リフレッシュ事業	2,710千円																														
介護者家族の会の紹介や、介護者交流会を兼ねた昼食会を行った。																															
参加人数	106人																														
介護者花束贈呈者数	572人																														
家族介護慰労事業	300千円																														
支給者数	3人																														
家族介護者教室	300千円																														
介護者の家族に教室を実施し、体操やクラフト・茶話会などで交流を行った。																															
参加者実数	44人																														
事業評価	<p>教室の実施やサービス提供などによって、高齢者の介護を行う家族の精神的・経済的負担の軽減や介護者同士の交流等を図ることができた。今後も在宅介護が必要な高齢者は増加すると考えられ、超高齢社会を支える家族支援は重要であり、ニーズに対応しながら平成24年度も継続実施する。また、高齢者の生活を総合的な制度で支える施策について検討する。</p>																														

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	二次予防事業対象者把握事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	741千円
事業内容	介護認定を持たない65歳以上の高齢者に対して生活機能について回答する「お元気チェックリスト」を配布・回収し、二次予防事業の対象者の把握及び決定を行う。平成24年度から実施する二次予防事業対象者把握事業で、平成24年度当初に発送する郵便物の準備をする。		
成果・実績	<p>基本チェックリスト等の郵便物の準備をした。</p> <p>発送日 平成24年4月16日</p> <p>印刷対象 13,502人</p>		
事業評価	二次予防事業対象者把握事業の実施に向けて、平成24年4月に配布・回収する基本チェックリストの準備ができた。平成24年度以降、本格実施していく。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	食生活改善推進員養成費	所管課	健康生きがい課
		決算額	351千円
事業内容	市民の健康づくりや生活習慣病予防の為に食生活改善を進める食生活改善推進員を養成する。		
成果・実績	<p>食生活改善推進員として活動するために必要な講義や実習をカリキュラムに沿って実施した。</p> <p>講座実施状況</p> <p>実施回数 29回</p> <p>参加者数 926人</p>		
事業評価	ボランティア活動を行う食生活改善推進員を養成し、地域に根ざした食育活動の推進を図ることができた。養成状況や効果を検証しつつ、平成24年度も継続実施する。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	介護保険利用者負担軽減助成費	所管課	介護保険課
		決算額	262千円
事業内容	介護保険の現物給付を受ける著しく生活が困難な低所得の者の介護保険利用者負担について、社会福祉法人等が減免した場合に法人負担の一部を助成する。		
成果・実績	社会福祉法人等が行った利用者負担減額分について、当該法人に対して助成金を交付した。		
	認定者数	76人	（平成24年3月末現在、認定証を持っている人数）
	対象経費	軽減額等	247,343円
		事務費等	14,784円
事業評価	低所得者の経済的負担の軽減を図ることができた。高齢者人口の増加や近年の厳しい経済状況の中で、今後も対象者が増加する見込みであり、国制度に沿って適切な助成が必要となる。		

事務事業名	介護認定審査会費	所管課	介護保険課
		決算額	94,070千円
事業内容	公平・公正に要支援・要介護認定申請者の認定を行うため、認定調査や、介護認定審査会の運営を行う。		
成果・実績	認定調査員や介護認定審査会委員への研修を行い、審査会運営の適正化を図った。		
	申請件数	7,486件	審査会開催回数 235回
	介護認定審査会委員報酬		16,385千円
	介護認定審査会運営費		5,177千円
	認定調査事務費		72,508千円
	認定者数（平成24年3月末現在）		（人）
	要支援1	要支援2	要介護1
	要介護2	要介護3	要介護4
	要介護5		
	972	929	1,425
	1,294	1,075	898
	808		
	合計	7,401人	
事業評価	国制度に基づき、適正に要支援・要介護認定を行った。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	保険給付費	所管課	介護保険課
		決算額	10,051,640千円
事業内容	要支援・要介護被保険者が介護予防サービス・介護サービス等を受けた時、その費用の一部を負担する。		
成果・実績	(千円)		
		平成23年度	平成22年度
	介護サービス等諸費	9,580,952	9,074,756
	居宅介護サービス	3,678,393	3,486,893
	地域密着型介護サービス	937,507	735,438
	施設介護サービス	3,848,873	3,780,620
	特定入所者介護サービス	336,698	327,607
	その他	779,481	744,198
	介護予防サービス等諸費	457,878	449,531
	介護予防サービス	367,033	359,967
	地域密着型介護予防サービス	0	0
	特定入所者介護予防サービス	450	423
	その他	90,395	89,141
	その他諸費	12,810	15,297
審査支払手数料	12,810	15,297	
事業評価	国制度に基づき、適正に給付を行った。今後も高齢者数の増加に比例して要介護認定者・サービス利用者が増加する見込みであり、安定した事業運営のため、的確に状況把握する必要がある。		

事務事業名	介護相談員派遣事業費	所管課	介護保険課
		決算額	1,458千円
事業内容	申し出のあったサービス事業者等に相談員の派遣を行うことにより、利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、相談等を通してサービスの現状を把握し、派遣先事業者の介護サービスの質的な向上を図る。また、苦情に至る事態を未然に防止することや、利用者や家族の日常的な不満・疑問に対応して改善を図る事後的な対応を行う。		
成果・実績	介護相談員を通して利用者の疑問や不安を事業者側へ伝え、解消・改善につなげた。また、事業所ごとのサービスの現状を把握した。		
	派遣事業所種別	派遣事業所数 (力所)	派遣人数 (人)
	特別養護老人ホーム	6	13
	介護老人保健施設	2	6
	グループホーム	9	14
事業評価	利用者の疑問や不安を解消し、サービスの質の向上を図ることができた。相談員は利用者と施設をつなぐ役割を担っており、相談員の資質の向上を図りながら平成24年度も継続実施する。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	輝き支援 2015 福祉人材研修事業費	所管課	介護保険課
		決算額	800千円
事業内容	介護保険制度創設後、要介護認定者やサービス利用者は年々増加しており、介護サービスの質の向上・確保が課題となっている。介護サービス事業者及び居宅介護支援事業者を対象にサービスの質の確保及び向上を目的とした研修を行い、利用者が適切なサービスを選択できる環境を整備する。		
成果・実績	（財）宇治市福祉サービス公社に委託し、介護サービス事業者・居宅介護支援事業者へ研修を行った。		
	研修名	参加者数(人)	対象者
	宇治市新任ケアマネジャー研修	28	新任ケアマネジャー
	ケアマネセミナー	21	現任ケアマネジャー
	ケアマネセミナー -1	24	
	ケアマネセミナー -2	24	
	介護サービス事業所向け研修	18	サービス事業者
	介護サービス事業所向け研修 -1	27	
	介護サービス事業所向け研修 -2	25	
	介護サービス事業所向け研修	30	
	介護サービス事業所向け研修	26	
	介護サービス事業所向け研修	39	
	介護サービス事業所向け研修	17	
事業評価	研修の実施によって、事業者の資質向上やサービスの質の確保を図ることができた。今後も、現状の検証や課題抽出を的確に行い、より効果的な研修となるよう改善に努めるとともに、関係団体や関係課と連携を図りながら平成24年度も継続実施する。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	介護保険料（歳入）	所管課	介護保険課																											
事業内容	平成21年度から平成23年度までの第1号被保険者の保険料は、第4期介護保険事業計画期間の介護保険サービス見込み量等を基に算出し、12の段階の設定としている。																													
成果・実績	第1号被保険者数	43,014人	（平成24年3月末現在）																											
	保険料収納率	現年度分	98.91%																											
		滞納繰越分	16.20%																											
		合計	96.95%																											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">保険料段階</th> <th style="width: 50%;">年間保険料額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>第1段階</td><td>24,600</td></tr> <tr><td>第2段階</td><td>24,600</td></tr> <tr><td>第3段階</td><td>36,900</td></tr> <tr><td>第4段階(特例措置)</td><td>41,820</td></tr> <tr><td>第4段階</td><td>49,190</td></tr> <tr><td>第5段階</td><td>54,110</td></tr> <tr><td>第6段階</td><td>61,490</td></tr> <tr><td>第7段階</td><td>73,790</td></tr> <tr><td>第8段階</td><td>88,550</td></tr> <tr><td>第9段階</td><td>103,300</td></tr> <tr><td>第10段階</td><td>118,060</td></tr> <tr><td>第11段階</td><td>137,740</td></tr> </tbody> </table>		保険料段階	年間保険料額(円)	第1段階	24,600	第2段階	24,600	第3段階	36,900	第4段階(特例措置)	41,820	第4段階	49,190	第5段階	54,110	第6段階	61,490	第7段階	73,790	第8段階	88,550	第9段階	103,300	第10段階	118,060	第11段階	137,740	（基準額）	
	保険料段階	年間保険料額(円)																												
	第1段階	24,600																												
	第2段階	24,600																												
	第3段階	36,900																												
	第4段階(特例措置)	41,820																												
	第4段階	49,190																												
	第5段階	54,110																												
	第6段階	61,490																												
	第7段階	73,790																												
	第8段階	88,550																												
第9段階	103,300																													
第10段階	118,060																													
第11段階	137,740																													
<p>保険料段階が第3段階の者のうち、特に低所得である者については申請により保険料の減額を行っている。</p>																														
事業評価	<p>現年度分の収納率については、第4期介護保険事業計画策定時において見込んだ収納率を上回ることができた。厳しい経済状況の中ではあるが、今後もケースごとに応じた納付指導等を行い、引き続き収納率の向上に努める必要がある。</p>																													

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 子育て支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	子育て支援医療費支給費	所管課	年金医療課																								
		決算額	231,447 千円																								
事業内容	乳幼児の健康保持増進と子育て支援を図ることを目的に、平成5年10月1日から乳幼児医療助成事業を実施している。生活の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分から一部負担金を控除した額を助成する。申請に基づいて乳幼児及び小学生の保護者に京都子育て支援医療費受給者証を交付し、現物給付方式か償還給付方式で助成を行う。																										
成果・実績	<p>子育て支援の観点から日常生活の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行った。</p> <p>受給者数 17,982人 扶助費 223,148千円</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>0歳</th> <th>1歳</th> <th>2歳</th> <th>3歳</th> <th>4歳</th> <th>5歳</th> <th>小学生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">現物給付（月200円負担）</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>市独自</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">償還 (3,000円超)</td> </tr> </tbody> </table>				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学生	入院	現物給付（月200円負担）							外来				市独自	償還 (3,000円超)		
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学生																				
入院	現物給付（月200円負担）																										
外来				市独自	償還 (3,000円超)																						
事業評価	制度に基づいて適正に執行し、乳幼児・児童の健康保持と、子育てに係る保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。平成24年度は現行制度を継続実施するとともに9月診療より市独自医療費無料制度の対象を3歳から就学前までと拡大する。また、少子化対策の一環として子育てに要する経済的負担の軽減は、本来国において対策すべきであり、引き続き国等へ要望を行う。																										

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	老人医療費支給費	所管課	年金医療課
		決算額	333,242 千円
事業内容	安心して医療を受けられるよう、65歳から70歳までの医療保険加入者で一定の条件に該当する者に対して、保険診療の自己負担分のうち、高齢者の医療の確保に関する法律に規定する一部負担金相当額を除いて助成する。		
成果・実績	<p>対象となる医療費について助成を行った。</p> <p>受給者数 4,494人 扶助費 323,782千円</p>		
事業評価	適切に事業実施し、対象となる高齢者の経済的負担の軽減を図ることができた。平成24年度も継続実施する。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	レセプト点検事務費	所管課	年金医療課・国民健康保険課
		決算額	19,190千円
事業内容	<p>国民健康保険及び生活保護の医療費の適正化に資することを目的とし、国保連合会で審査を終えたレセプトについて、さらに保険者が点検を行うことにより、保険者しか発見できない過誤を指摘し、審査支払機関の再審査（原課で実施の資格点検による過誤依頼も含む）の結果で減点が返戻をして過誤調整される。</p> <p>また、給付発生原因が第三者行為によるものについて、原因調査を行い返還を受ける。</p>		
成果・実績	<p>市民の健康を守り、必要適正な医療給付の確保を行うことを目的として、国民健康保険事業計画等の柱の一つとしてレセプト点検や第三者行為による求償を実施した。国保レセプトの資格・内容の過誤依頼を17,874件行い、その結果過誤調整されたのは11,482件で、調整額は79,352千円であった。</p> <p>また、生活保護のレセプト内容点検も実施し、その結果過誤調整されたのは531件で、調整額は1,772千円であった。</p> <p>なお、国民健康保険の第三者求償については、39件を求償し、20,740千円の収入を確保した。</p> <p style="text-align: right;">年金医療課分決算額 244千円 国民健康保険課分決算額 18,946千円</p>		
事業評価	<p>制度に基づいて適切に実施した。医療費の適正化や医療機関の過誤減少のため平成24年度も継続実施する。平成23年度よりレセプトが電子化されたため、効果を図りつつ、引き続き効率的な点検方法や工程などを検討した上で実施する必要がある。</p>		

事務事業名	健康診査費	所管課	年金医療課
		決算額	26,040 千円
事業内容	<p>後期高齢者医療制度において努力目標として明記されている健診事業を行うために実施する。健診は疾病の早期発見に役立ち医療費の抑制につながるものとする。保険者である京都府後期高齢者医療広域連合と連携して事業を行う。</p>		
成果・実績	<p>6月1日～10月31日に（社）宇治久世医師会に委託して実施した。</p> <p style="text-align: right;">受診者数 4,602人 健診委託料 25,782千円</p>		
事業評価	<p>制度に基づいて適正に執行し、被保険者の健康の保持促進を図れた。少子高齢化の進展に伴って、今後も高齢者人口の増加による医療費の増加が見込まれるため、的確な状況把握と、医療費を抑制する効果の検証が必要である。</p>		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	後期高齢者医療保険料（歳入）	所管課	年金医療課										
		決算額	1,550,084 千円										
事業内容	平成20年度から施行された後期高齢者医療制度の保険料を徴収する。2年ごとに保険料の見直しが行われ、平成22・23年度保険料については、均等割額が44,410円に、所得割率が8.68%に改定された。												
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">被保険者数</td> <td colspan="2">18,378人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">保険料収納率</td> <td>現年度分</td> <td style="text-align: right;">99.15%</td> </tr> <tr> <td>滞納繰越分</td> <td style="text-align: right;">29.99%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">97.99%</td> </tr> </table>			被保険者数	18,378人		保険料収納率	現年度分	99.15%	滞納繰越分	29.99%	合計	97.99%
	被保険者数	18,378人											
保険料収納率	現年度分	99.15%											
	滞納繰越分	29.99%											
	合計	97.99%											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;"> 保険料 (限度額50万円) </td> <td style="width: 10%; text-align: center;">=</td> <td style="width: 33%; text-align: center;"> 均等割額 (被保険者一人あたり) 44,410円 </td> <td style="width: 10%; text-align: center;">+</td> <td style="width: 14%; text-align: center;"> 所得割額 (総所得金額等 - 基礎控除額(33万円)) × 8.68% </td> </tr> </table>			保険料 (限度額50万円)	=	均等割額 (被保険者一人あたり) 44,410円	+	所得割額 (総所得金額等 - 基礎控除額(33万円)) × 8.68%						
保険料 (限度額50万円)	=	均等割額 (被保険者一人あたり) 44,410円	+	所得割額 (総所得金額等 - 基礎控除額(33万円)) × 8.68%									
保険料軽減 世帯（被保険者全員と世帯主）の所得に応じて、保険料の被保険者均等割額が軽減される。 所得割額の算定に係る基礎控除後の総所得金額等が58万円以下の場合には所得割額が5割軽減される。													
事業評価	徴収した保険料を、京都府後期高齢者医療広域連合に保険料負担金として納付することにより、京都府後期高齢者医療広域連合と協力して後期高齢者医療制度の適切な運営ができた。今後も安定した事業運営のため、継続して収納に努める。												

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	人間ドック受診補助金	所管課	年金医療課						
		決算額	5,219 千円						
事業内容	後期高齢者医療制度被保険者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図るために半日人間ドックに係る健診料の7割を後期高齢者医療事業特別会計から補助する。								
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">受診者数</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">181人</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>人間ドック受診補助金</td> <td style="text-align: right;">5,137千円</td> <td></td> </tr> </table>			受診者数	181人		人間ドック受診補助金	5,137千円	
受診者数	181人								
人間ドック受診補助金	5,137千円								
事業評価	健診料補助について適正に執行し、受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図ることができた。平成24年度も継続実施する。								

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	障害基礎年金裁定請求等診断書料助成金	所管課	年金医療課						
		決算額	184千円						
事業内容	国民年金法に規定する障害基礎年金（障害厚生年金・障害共済年金と併せて請求するものは除く）の裁定請求等の際に要する診断書料の全部または一部を助成することにより、障害者の経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。								
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">助成件数</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">64件</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>助成額</td> <td style="text-align: right;">184千円</td> <td></td> </tr> </table>			助成件数	64件		助成額	184千円	
助成件数	64件								
助成額	184千円								
事業評価	裁定請求等に要する診断書料の助成を行い、障害者の経済的負担の軽減を図ることができた。平成24年度も継続実施する。								

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	福祉医療費支給費	所管課	年金医療課								
		決算額	420,856 千円								
事業内容	一定の障害のある重度心身障害者及び母子家庭児並びにその母に対し、健康の保持と福祉の向上を図るため、疾病に係る医療保険各法による医療費のうち本人負担分を支給し、経済的負担の軽減を図る。										
成果・実績	<p>対象者へ助成を行い、経済的負担の軽減を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">重度障害者</td> <td style="text-align: right;">1,672人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">母子家庭児</td> <td style="text-align: right;">2,554人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">母親</td> <td style="text-align: right;">1,687人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">扶助費</td> <td style="text-align: right;">413,415千円</td> </tr> </table>			重度障害者	1,672人	母子家庭児	2,554人	母親	1,687人	扶助費	413,415千円
重度障害者	1,672人										
母子家庭児	2,554人										
母親	1,687人										
扶助費	413,415千円										
事業評価	制度に基づいて適正に執行し、対象者の経済的負担の軽減を図ることができた。平成24年度も継続実施するとともに、安心して医療を受けられるように制度運営について引き続き京都府へ要望を行う。										

事務事業名	重度心身障害老人健康管理費	所管課	年金医療課				
		決算額	163,888 千円				
事業内容	後期高齢者医療制度の被保険者である重度心身障害老人に対し、一部負担金に相当する額を健康管理費として給付する。						
成果・実績	<p>対象者に健康管理に要する費用を給付し、健康の保持と障害者福祉の向上を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">受給者数</td> <td style="text-align: right;">1,694人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">扶助費</td> <td style="text-align: right;">162,664千円</td> </tr> </table>			受給者数	1,694人	扶助費	162,664千円
受給者数	1,694人						
扶助費	162,664千円						
事業評価	適切に事業実施し、医療機関への受診の必要性が高い重度の障害のある高齢者の経済的負担を軽減することができた。高齢者人口の増加による医療費の増加が見込まれるため、平成24年度も継続実施するとともに、高齢者が安心して医療を受けられる制度運営について引き続き京都府へ要望を行う。						

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	在日外国人重度障害者特別給付金支給費	所管課	年金医療課
		決算額	1,944千円
事業内容	<p>昭和57年1月1日より、国民年金法の国籍要件が撤廃されたが、既に重度の障害者となっている在日外国人は、障害福祉年金（昭和61年改正により障害基礎年金に移行）の適用から除外され、無年金となっているため、国の救済措置がなされるまでの間、宇治市独自の暫定措置として給付金を支給することにより、福祉の増進を図る。</p>		
成果・実績	<p>昭和56年12月31日以前に既に重度の障害があり、障害福祉年金（昭和61年改正により障害基礎年金）の対象外とされた制度的無年金である在日外国人を対象に、月額36,000円の給付を行った。</p> <p style="text-align: right;"> 受給者総数 5人 支給額 1,944千円 </p>		
事業評価	<p>適正に事業実施し、対象となる無年金者の福祉の向上を図ることができたが、国制度の不備を補うものであり、国の救済措置がなされるまでの暫定福祉措置であるため、国の施策実施がなされるよう働きかける必要がある。</p>		

事務事業名	在日外国人高齢者特別給付金支給費	所管課	年金医療課
		決算額	1,440千円
事業内容	<p>昭和57年1月1日より、国民年金法の国籍要件が撤廃されたが、大正15年4月1日以前生まれの在日外国人は、老齢年金を受給できず無年金となっているため、国の救済措置がなされるまでの間、宇治市独自の暫定措置として給付金を支給することにより、福祉の増進を図る。</p>		
成果・実績	<p>大正15年4月1日以前生まれの制度的無年金者である在日外国人高齢者を対象に、月額10,000円の給付を行った。</p> <p style="text-align: right;"> 受給者総数 12人 支給額 1,440千円 </p>		
事業評価	<p>適正に事業実施し、対象となる無年金者の福祉の向上を図ることができたが、国制度の不備を補うものであり、国の救済措置がなされるまでの暫定福祉措置であるため、国の施策実施がなされるよう働きかける必要がある。</p>		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	02 国民健康保険の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	特定健康診査等事業費	所管課	国民健康保険課																	
		決算額	68,186千円																	
事業内容	生活習慣病の予防による医療費削減を目的とし、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施する。メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を図る。																			
成果・実績	<p>特定健康診査は、6月1日～10月31日に（社）宇治久世医師会に委託し、実施した。</p> <p style="text-align: center;">特定健康診査委託の支払件数と支払額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">20</th> <th style="width: 15%;">21</th> <th style="width: 15%;">22</th> <th style="width: 15%;">23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td style="text-align: center;">8,198</td> <td style="text-align: center;">7,857</td> <td style="text-align: center;">8,614</td> <td style="text-align: center;">9,373</td> </tr> <tr> <td>支払額(千円)</td> <td style="text-align: center;">57,735</td> <td style="text-align: center;">50,786</td> <td style="text-align: center;">55,159</td> <td style="text-align: center;">60,395</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">平成20年度は、（社）京都府医師会への事務手数料含む。</p>					年度	20	21	22	23	件数	8,198	7,857	8,614	9,373	支払額(千円)	57,735	50,786	55,159	60,395
年度	20	21	22	23																
件数	8,198	7,857	8,614	9,373																
支払額(千円)	57,735	50,786	55,159	60,395																
事業評価	国制度に基づいて適正に執行した。受診率については向上したが、計画目標値には達しておらず、全国的にも目標達成が困難な状況となっている。今後も健康増進による医療費の抑制のため、全国・京都府内の水準を維持向上できるよう、これまでの取組の成果を検証し、新たな方策の検討等、改善を図る必要がある。																			

事務事業名	人間ドック受診補助金	所管課	国民健康保険課																										
		決算額	44,073千円																										
事業内容	35歳以上の国民健康保険加入者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図り健康管理に対する自覚を深め、健全な保険給付を行うことを目的とし、半日人間ドック、脳ドックに係る健診料の7割を国民健康保険事業特別会計から補助する。																												
成果・実績	<p>半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助事業を行った。</p> <p style="text-align: center;">ドック受診者数と決算額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">19</th> <th style="width: 15%;">20</th> <th style="width: 15%;">21</th> <th style="width: 15%;">22</th> <th style="width: 15%;">23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック(人)</td> <td style="text-align: center;">868</td> <td style="text-align: center;">845</td> <td style="text-align: center;">1,145</td> <td style="text-align: center;">1,160</td> <td style="text-align: center;">1,134</td> </tr> <tr> <td>脳ドック(人)</td> <td style="text-align: center;">473</td> <td style="text-align: center;">474</td> <td style="text-align: center;">553</td> <td style="text-align: center;">580</td> <td style="text-align: center;">564</td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td style="text-align: center;">34,617</td> <td style="text-align: center;">34,085</td> <td style="text-align: center;">44,169</td> <td style="text-align: center;">45,152</td> <td style="text-align: center;">44,073</td> </tr> </tbody> </table>					年度	19	20	21	22	23	人間ドック(人)	868	845	1,145	1,160	1,134	脳ドック(人)	473	474	553	580	564	決算額(千円)	34,617	34,085	44,169	45,152	44,073
年度	19	20	21	22	23																								
人間ドック(人)	868	845	1,145	1,160	1,134																								
脳ドック(人)	473	474	553	580	564																								
決算額(千円)	34,617	34,085	44,169	45,152	44,073																								
事業評価	受診料補助について適正に執行し、受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図ることができた。平成24年度も継続実施する。																												

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	02 国民健康保険の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	国民健康保険料（歳入）	所管課	国民健康保険課																																												
		決算額	4,371,655千円																																												
事業内容	保険料の設定にあたっては、現行制度内での事業運営を慎重に見定め、適切かつ可能な財源対策や将来見通しも精査し、財政収支の均衡を図ることを前提として検討するとともに、宇治市国民健康保険運営協議会への諮問に対する答申を尊重している。																																														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">加入世帯数</td> <td style="width: 15%;">27,782世帯</td> <td style="width: 15%;">（一般26,120世帯、退職1,662世帯）</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> <tr> <td>被保険者数</td> <td>48,248人</td> <td>（一般44,822人、退職3,426人）</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">（平成24年3月31日現在）</td> </tr> <tr> <td>保険料収納率</td> <td>現年度分</td> <td>92.90%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>滞納繰越分</td> <td>7.57%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>81.44%</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>医療給付費分</th> <th>後期高齢者支援金分</th> <th>介護納付金分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所得割(%)</td> <td>8.37</td> <td>2.45</td> <td>3.84</td> </tr> <tr> <td>均等割(円)</td> <td>25,200</td> <td>7,300</td> <td>10,300</td> </tr> <tr> <td>平等割(円)</td> <td>27,400</td> <td>7,800</td> <td>6,600</td> </tr> <tr> <td>賦課限度額(円)</td> <td>510,000</td> <td>140,000</td> <td>120,000</td> </tr> </tbody> </table>			加入世帯数	27,782世帯	（一般26,120世帯、退職1,662世帯）		被保険者数	48,248人	（一般44,822人、退職3,426人）			（平成24年3月31日現在）			保険料収納率	現年度分	92.90%			滞納繰越分	7.57%			合計	81.44%			医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分	所得割(%)	8.37	2.45	3.84	均等割(円)	25,200	7,300	10,300	平等割(円)	27,400	7,800	6,600	賦課限度額(円)	510,000	140,000	120,000
加入世帯数	27,782世帯	（一般26,120世帯、退職1,662世帯）																																													
被保険者数	48,248人	（一般44,822人、退職3,426人）																																													
	（平成24年3月31日現在）																																														
保険料収納率	現年度分	92.90%																																													
	滞納繰越分	7.57%																																													
	合計	81.44%																																													
	医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分																																												
所得割(%)	8.37	2.45	3.84																																												
均等割(円)	25,200	7,300	10,300																																												
平等割(円)	27,400	7,800	6,600																																												
賦課限度額(円)	510,000	140,000	120,000																																												
事業評価	国民健康保険事業特別会計は、単年度において収支均衡を図るものであり、当該年度の保険給付費等を見通して保険料収入を確保すべきという原則に基づいて適切な事業運営を行うことができた。また、収納対策については、今後の安定した事業運営のため、これまでと異なる視点や手法を用いた新たな取組を検討し、積極的に実施する必要がある。																																														

平成23年度決算成果説明書



総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	道路台帳整備費	所管課	建設総務課
		決算額	17,964千円
事業内容	道路法第28条及び同法施行規則第4条の2に沿って、道路の変化した状況を図面と調書からなる道路台帳に的確に反映させ、効果的な道路行政を推進する。		
成果・実績	<p>道路台帳を調製・保管することにより、道路管理事務の円滑な遂行を図るとともに道路台帳を閲覧に供した。</p> <p>平成22年度中の道路改良工事や新規認定等によって変化した道路の状況及び占用物件の変更についての経年補正を行った。</p> <p>◎道路台帳経年変化補正事業委託料 17,850千円</p> <p>◎需用費ほか 114千円</p>		
事業評価	道路台帳を調製・保管することにより、道路管理事務の円滑な遂行を図るとともに道路台帳を閲覧に供し、市民の利便性の向上を図ることができた。今後は道路管理情報の拡充に向け課題の検討が必要である。		

平成23年度決算成果説明書



総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	宇治槇島線道路築造事業費	所管課	道路建設課
		決算額	103,892千円
事業内容	京滋バイパスが延伸し、第2京阪道路が供用される中、これらの広域幹線道路へのアクセス向上を図り、中宇治地区と槇島地区を結ぶ幹線道路として周辺道路の交通渋滞緩和を図る。平成23年度秋の完成を目指す。（都市計画決定：昭和58年10月11日、事業延長：L=855m、幅員W=16m）		
成果・実績	未整備区間の築造工事を実施し、平成23年秋に全線開通した。		
			
	着工前	完成後	
事業評価	広域幹線道路へのアクセス向上並びに、中宇治地区と槇島地区を結ぶ幹線道路として周辺道路の交通渋滞の緩和を図ることができた。		

事務事業名	近鉄大久保駅前交通広場整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	806,713千円
事業内容	駅前広場の整備を図ることにより交通結節機能の向上及び広域拠点に相応しい魅力あるまちづくりを進める。		
成果・実績	用地買収（1,259.43㎡）を実施したことにより、駅前広場の用地取得が完了した。併せて、駅前広場の整備を行った。		
			
	着工前	工事中	
事業評価	交通結節機能の向上及び宇治市の南の玄関口として商業・業務施設を中心とした広域拠点に相応しい魅力あるまちづくりに寄与している。今後も、早期完成に向け事業を継続する。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	一般道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	36,004千円
事業内容	市内生活道路等の整備を図り、安全で安心な道路網を確保する。		
成果・実績	<p>地元町内会等からの要望を受け、小規模な道路改良工事を実施した。平成23年度は、小倉111号線ほか13路線の道路拡幅等の整備を行った。</p> <p style="text-align: center;">小倉111号線</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	市民の要望等により小規模な道路改良工事を実施し、安全で安心な道路網が確保できた。今後も必要な箇所の道路改良について継続実施する。		

事務事業名	私道改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	18,621千円
事業内容	私道に係る舗装新設・補修工事、排水設備の改良補修工事を実施する自治会等に対して、その査定工事費の80%を補助する。（平成21年度より横断側溝は90%）		
成果・実績	<p>実施数 8件</p> <p>補助金額 18,621千円</p>		
事業評価	8自治会へ補助を実施し、私道の安全な通行確保を図ることができた。市民の身近な道路整備に対応している事業であり、地域要望も多く継続実施する。		

平成23年度決算成果説明書



総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	


事務事業名	交通安全施設整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	45,557千円
事業内容	歩行者等の交通安全対策として、ガードレール・カーブミラー・歩道の設置、段差切下などを実施する。		
成果・実績	<p>交通安全施設の設置を行い、歩行者等の安全を確保した。 2路線の安全対策事業と市内全域の安全施設設置を実施した。また、3路線の測量・調査・設計等の委託業務を発注した。</p> <p>◎安全施設設置 16,400千円 道路反射鏡設置 22基 防護柵設置 185.9m 警戒標識設置 22カ所 区画線設置 1402.6m</p> <p>◎安全対策事業 25,552千円 白川15号線ほか1路線</p> <p>◎測量・設計等 2,646千円 大久保町109号線ほか2路線</p>		
事業評価	道路の安全対策に多くの要望がある中、必要な箇所の事業を進め、歩行者等の安全を確保できた。また、高齢者、身体障害者への対応としてバリアフリー化の推進が強く求められており、歩道の段差解消等の整備等を継続実施する。		

事務事業名	宇治国道踏切改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	89,430千円
事業内容	当該踏切は、道路との交差角が19度と危険な踏切で、以前から自転車の転倒事故が発生しているため、踏切の交差角改良を行い、歩行者、自転車などの安全を図る。		
成果・実績	<p>踏切南側の用地買収及び物件補償を行った。</p> <p>取得面積 219.13㎡ 買収 33,021千円 補償 55,544千円</p>		
事業評価	踏切南側2件の用地買収及び物件補償について完了した。今後も、残りの土地所有者との調整、並びに鉄道事業者との協議を進め、歩行者の安全確保のため、早期完成を目指す。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	宇治五ヶ庄線道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	41,797千円
事業内容	東宇治地域の生活道路として多くの利用者がある宇治五ヶ庄線について、歩道の整備等を行う。京都大学前を第1工区として整備し、続いて本市学校施設や黄檗自衛隊前の整備を検討する。		
成果・実績	東宇治中学校前の設計委託を行うとともに、京都大学宇治キャンパスの整備事業との整合を図りながら、歩道拡幅工事を行った。		
			
	着工前	完成後	
事業評価	歩道の整備等を行い、歩行者等の安全確保を図ることができた。今後も沿道の関係機関と調整しながら継続実施する。		

事務事業名	西田熊小路線道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	32,725千円
事業内容	西田熊小路線の既存の道路幅員内において、歩道拡幅を行い歩行者の安全確保を図る。		
成果・実績	測量・詳細設計業務を実施するとともに、歩道拡幅改良工事を行った。		
			
	着工前	完成後	
事業評価	沿道の用地買収を行わず、歩道拡幅や段差解消を図り、歩行者等の通行の安全確保を図ることができた。通過交通量が多いため、工事の施工方法をより一層工夫し、今後も継続実施する。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	02 道路の整備



所管部局
建設部

事務事業名	橋梁長寿命化修繕計画策定費	所管課	道路建設課
		決算額	7,560千円
事業内容	本市管理の道路橋について、その健全度調査を行い、予防保全的な維持管理の視野に立った修繕計画（長寿命化修繕計画）を策定することで、計画的で効率的な道路維持管理への転換を図る。		
成果・実績	本市管理の道路橋(318橋)の健全度調査結果を基に、今後10年間の長寿命化修繕計画を策定した。		
事業評価	本市管理の道路橋について、安全で快適な通行を確保し、維持管理の省力化を見据えた道路管理を図るための、橋梁長寿命化修繕計画を策定することができた。今後、計画に基づき効率的な維持管理を行っていく。		

平成23年度決算成果説明書



総合計画の体系	
大分類	07 快適で便利な都市をめざして
中分類	02 山間地の振興
小分類	01 山間地の整備促進

所管部局
建設部

事務事業名	辺地整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	80,060千円
事業内容	<p>辺地に係る公共的施設の総合整備計画に基づき、東笠取地域・炭山地域における道路で、幅員狭隘で通行が危険な箇所の道路改良を実施し、市民の生活環境の改善を図る。</p>		
成果・実績	<p>梅谷大平線ほか1路線の用地買収及び道路拡幅等の整備を行った。</p> <p style="text-align: center;">梅谷大平線</p> <p>取得面積 51.75㎡</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 着工前 完成後 </p>		
事業評価	<p>道路改良工事によって、幅員狭隘で通行が危険な箇所の改善に効果をあげることができた。引き続き、辺地に係る公共施設の総合整備計画に基づき事業を進め、山間部の生活環境の改善を図る。</p>		

総合計画の体系	
大分類	07 快適で便利な都市をめざして
中分類	03 都市基盤・生活基盤施設の整備
小分類	02 道路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	遊田線道路整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	95,430千円
事業内容	<p>井川改修事業に伴う遊田橋架け替えにより治水対策及び道路拡幅を行う。</p>		
成果・実績	<p>遊田線の道路拡幅に必要な右岸下部工及び護岸工と越流堰の設置を行った。</p> <p>右岸下部工及び護岸工 1式 越流堰 1式</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 着工前 工事中 </p>		
事業評価	<p>遊田線の道路拡幅に向けて整備を進めることができた。今後も京都府と連携しながら継続実施する。</p>		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	道路等維持修繕関連事業費	所管課	維持課
		決算額	790,476千円
事業内容	道路を常時快適で安全な状態に維持するため、市民要望等に基づき道路の修繕及び清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを行い、安全安心なまちづくりを推進するほか、草刈り、街路樹の剪定・補植などを実施する。また、市民要望に即応するため、緊急を要する維持修繕については直営事業により機動修理班が対応する。		
成果・実績	<p>側溝改修（3,924.5m）や舗装補修（24,282.9㎡）工事を実施するとともに、道路区画線の敷設及び道路側溝等の清掃のほか、街灯の新設、街路樹の剪定・補植等の道路全般に係る維持管理を実施した。</p> <p>緊急を要する維持修繕については、2班体制の機動修理班によって対処した。</p> <p>本年度の機動修理班による対処件数は、道路側溝修繕342件、道路保全284件、交通安全施設の補修等218件、浚渫119件で、全体では1,759件であった。このうち特に緊急対応が必要な出動回数は86件であり、いずれも応急処置等を行い、事故・災害の未然防止を行った。</p> <p>◎道路維持修繕事業費 695,070千円 ◎街灯設置保全事業費 95,406千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>機動修理班による道路維持作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大久保町22号線（歩道改修工事）</p> </div> </div>		
事業評価	道路の修繕及び清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを実施し、着実に道路等の環境整備及び安全な通行の確保を図ることができた。道路整備に対しての市民要望が年々増加しているが、引き続き計画的に道路等の環境整備及び安全な通行の確保を推進する。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	03 河川・排水路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	大島・針ノ木排水機場管理費	所管課	雨水対策課
		決算額	9,165千円
事業内容	国及び京都府との受託協定に基づき、国土交通省所管の排水機場の運転管理を常駐体制（年間委託により管理人配置）により実施し、堂ノ川及び岡本川流域の内水排除と水害防除を図る。		
成果・実績	排水機場の操作管理を行った。 ◎大島排水機場操作管理 4,539千円 ◎針ノ木排水機場操作管理 4,624千円		
事業評価	流域における水害防除のため、出水期や台風等の荒天時に排水施設等の点検パトロールを強化し事故災害の未然防止に努めた。今後も引き続き、適切な操作・管理を実施する。		

事務事業名	井川・黄檗排水機場管理費	所管課	雨水対策課
		決算額	17,325千円
事業内容	流域における水害防除のため、井川・黄檗排水機場の適切な運転と施設管理を行った。		
成果・実績	排水機場の操作管理を行った。 ◎井川排水機場管理費 11,916千円 ◎黄檗排水機場管理費 5,409千円		
事業評価	年間を通じて、適正に排水機場の運転、操作管理を行い、流域の浸水防除に努めた。今後も引き続き適切な操作・管理を実施する。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	06 下水道（汚水・雨水）の整備	

事務事業名	井川排水機場整備事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	287,296千円
事業内容	日本下水道事業団に工事委託を行い、井川排水機場（昭和43年建設）の老朽化に伴う施設の改築と耐震化に向けた更新工事を行う。		
成果・実績	平成21年度から工事に着手し、管理棟、ポンプ棟などの改築、耐震化工事やポンプ（2機）の更新、また停電時対応の自家発電機の設置工事等が完了した。 ◎井川排水機場改築更新費 繰越分 143,600千円 現年分 143,696千円		
事業評価	平成21年度に日本下水道事業団と締結した井川排水機場建設工事の基本協定に基づき、適正で順調な排水機場改築工事の進捗が図れた。平成24年度末の事業の完成を目途に適切に実施する。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	07 快適で便利な都市をめざして	建設部
中分類	03 都市基盤・生活基盤施設の整備	
小分類	05 河川・下水道（雨水）の整備	

事務事業名	河川改修事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	5,900千円
事業内容	都市化の進行に伴う保水機能の低下、雨水流出量の増大等流域の変化と護岸等の老朽化に対応し、水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、市民の日常生活に関連した河川の機能増強等の改修整備を実施する。特に市街地において緊急な対策を要する河川については重点整備を行う。		
成果・実績	護岸がなく、増水時に土砂流出が懸念される、菟道大谷川上流部について、護岸築造の詳細設計を行った。 ◎大谷川護岸改修詳細設計業務委託 5,313千円 ◎その他委託 2件 587千円		
事業評価	菟道大谷川流域の水害防除に向けた護岸の機能強化の設計業務に努めた。近年のゲリラ豪雨の発生状況から、引き続き、流域の水害要因となる土砂流出防止が必要であり、合わせて環境対策にも配慮した整備に取り組む。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	07 快適で便利な都市をめざして
中分類	03 都市基盤・生活基盤施設の整備
小分類	05 河川・下水道（雨水）の整備

所管部局
建設部

事務事業名	排水路改理事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	115,255千円
事業内容	都市化の進行に伴う保水機能の低下や、近年多発している局地的豪雨（ゲリラ豪雨）による著しい雨水流出量の増加に対応し、水害防止と安全快適な都市基盤の整備を図るため、宇治市公共下水道（洛南処理区）雨水排除計画との整合を図りつつ排水路の改良工事を実施する。		
成果・実績	排水路の流下能力の向上を図るため、ボックスカルバートによるネック区間の解消や、老朽化施設（排水路）の改良工事を行った。		
	◎榎島町目川地区（その2）排水路改良工事 側溝工 500 L=32.0m 流下能力向上	5,422千円	
	◎広野町丸山（三軒谷川）排水路改良工事 ボックスカルバート工 1.6m×1.6m L=92.0m 流下能力向上	17,800千円	
	◎東裏2号緊急排水路改良工事 ボックスカルバート工 0.6m×0.6m L=28.2m	4,681千円	
	◎他工事 6件 老朽化水路の改良	33,363千円	
	◎設計業務等委託 9件	15,323千円	
	◎支障物件移設補償 11件	38,383千円	
事業評価	排水路の流下能力の向上と老朽箇所の補強改築工事を行うなど浸水防除に向け、安全快適な都市基盤の整備に努めた。引き続き小・中学校の雨水流出抑制対策事業や公共下水道（洛南処理区）雨水排除計画との整合を図りながら取り組む。		

事務事業名	河川維持管理費	所管課	雨水対策課
		決算額	19,692千円
事業内容	排水路施設等の機能の維持・向上に努め、流域の浸水防除と沿川の環境整備を図る。		
成果・実績	老朽化の進行により崩落した河川護岸等の緊急補修工事や、それに伴う調査、設計業務を行った。		
	◎宇治白川緊急護岸工事 老朽化護岸の補修	3,312千円	
	◎その他工事 6件	13,403千円	
	◎調査業務委託 4件	2,977千円	
事業評価	河川・排水路等の適正な維持管理を行い機能の向上に努めた。引き続き、排水路施設の機能の維持・向上に取り組む。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	07 快適で便利な都市をめざして
中分類	03 都市基盤・生活基盤施設の整備
小分類	05 河川・下水道（雨水）の整備

所管部局
建設部

事務事業名	名木川改修事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	47,156千円
事業内容	周辺地域の水害対策として流下能力不足区間の解消と、散策道の整備を行うなど快適な都市環境づくりを目指し、京都府が行う新宇治淀線整備事業と整合を図りながら、近鉄大久保駅周辺地区まちづくり整備事業の一環として名木川改修事業を実施する。		
成果・実績	京都府と連携を図り、名木川の道路横断ボックス工事に併せて下流の一部改修を行うとともに、事業用地を一部取得した。完成予定については、必要となる用地取得の難航等から、平成24年度以降に延期となった。		
	◎準用河川名木川改修工事（B-3）工区京都府委託 延長 L=15.0m		22,890千円
	◎用地取得 2件 取得面積 A=40.44㎡		4,648千円
	◎準用河川名木川改修工事耐震設計業務委託		473千円
	◎支障物件移設補償		15,016千円
	◎その他委託 5件		1,722千円
事業評価	流下能力が不足していた名木川支川の三軒谷川との合流部付近の改修が完了し、治水安全度が高まった。引き続き名木川改修事業の早期完成に向け、京都府が行う新宇治淀線整備事業との整合を図りながら、流域の水害防除と、快適な都市環境づくりに向け取り組む。		

事務事業名	小・中学校雨水流出抑制対策事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	35,092千円
事業内容	局地的豪雨（ゲリラ豪雨）の発生による浸水対策の1つとして、学校敷地から流れる雨水を一時的にグラウンドに貯留し、徐々に排出することで、学校周辺や下流域への浸水被害の軽減を図る。		
成果・実績	小倉小学校グラウンドにおいて雨水流出抑制施設の設置工事を、また南宇治中学校において雨水流出抑制施設設置に向けた詳細設計を行った。		
	◎小倉小学校 雨水流出抑制施設設置工事 貯留面積 7,878㎡ 最大貯流量 1,584㎡		31,352千円
	◎南宇治中学校 流域貯留浸透事業詳細設計業務委託		3,550千円
事業評価	学校周辺や下流地域の浸水の軽減に努めた。引き続き、流域貯留浸透施設設置計画に基づき、小・中学校における雨水流出抑制施設の設置拡大に向け整備に取り組む。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	04 住宅の整備

所管部局
建設部

事務事業名	高齢者優良賃貸住宅供給事業費補助金	所管課	住宅課
		決算額	10,064千円
事業内容	高齢者の居住の安定の確保を図るため、高齢者の身体機能に対応したバリアフリー化や、入居者の緊急時に対応するシステムを備えた高齢者向け優良賃貸住宅を民間事業者等が整備・運営するにあたり、建設費、家賃などの一部補助を行う。		
成果・実績	高齢者向け優良賃貸住宅を運営する事業者に対し、家賃減額補助金の交付を行った。		
	◎交付件数 (歳入) ◎京都府高齢者向け優良賃貸住宅家賃減額補助金	1件	2,508千円
事業評価	高齢者向け優良賃貸住宅の入居者の家賃補助について適正に執行した。今後も高齢者の居住の安定の確保に努める。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	01 みどりの保全・緑化の推進

所管部局
都市整備部

事務事業名	名木百選保全費	所管課	公園緑地課
		決算額	492千円
事業内容	<p>「宇治市名木百選」に指定されている樹木の管理・保全を行う。宇治市名木百選は昭和55年から57年度に一次分として102件を、平成9年度に二次分として26件を選定し、これまでに病気・気象災害等による枯死等で伐採を余儀なくされた28件を指定解除し、現在100本となっている。</p>		
成果・実績	<p>平成23年度は「宇治市名木百選保全要綱」に基づき調査・診断を実施するとともに、適切な保全策を講じるため2件409千円の補助金を交付し、貴重な名木の保全に努めた。</p>		
事業評価	<p>樹木の管理・保全を行い、緑化の啓発及び緑の保全を図ることができた。指定した名木は、本市の緑のシンボル、由緒ある木や文化的な価値のある木であるため、平成24年度も引き続き支援を行う。</p>		

事務事業名	まちかどふれあい花だん推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	3,710千円
事業内容	<p>市民が日常生活の関わりの中で、自らの意思と手法により身近な地域の環境美化に努め、ゆとりとうるおいのある生活空間を創造するため、道路敷等の空地及び公園の一部を個人や団体などに提供し、花や木を植えて花壇化する。</p>		
成果・実績	<p>ゆとりとうるおいのある花と緑のまちづくりを進めるため、町内会や喜老会及び街の美化・緑化活動をしているボランティア団体を対象に、市内60カ所を超えるまちかどふれあい花壇に対し花苗・肥料等の支給を行った。</p>		
事業評価	<p>ふれあい花壇を町内会や喜老会等のボランティア団体に維持管理してもらうことにより、地域活動の支援と地域緑化を図ることができた。平成24年度もゆとりとうるおいのある花と緑のまちづくりを実現するために、より多くの実施団体が参画できる環境を整える。</p>		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	01 みどりの保全・緑化の推進

所管部局
都市整備部

事務事業名	緑化啓発費	所管課	公園緑地課
		決算額	1,868千円
事業内容	市民の「みどり思想」の高揚を図るため、春の「みどりの月間」の「花と緑のキャンペーン」、秋の都市緑化月間の「緑化フェア」を中心に啓発事業を展開する。		
成果・実績	市民一人ひとりの緑化意識のより一層の高揚を図るため、「みどり豊かな住みたい、住んでよかった都市」の実現を目指し、春は4月15日から5月14日の「みどりの月間」に天ヶ瀬森林公園で「花と緑のキャンペーン」として「緑のウォークラリー」を実施し、約500名の参加があった。また秋は10月の都市緑化月間中の10月16日に「2011宇治市緑化フェア」を開催し、約5,400名の参加があった。いずれのイベントにおいても、多くの参加者に楽しみながら緑の大切さを伝えることができた。		
事業評価	緑化啓発の取組を通して、都市における緑化の必要性を市民に認識してもらうことができた。今後は、より市民の「みどり思想」の高揚を図るため、今まで以上の多くの市民に参加してもらえるイベント等の工夫をするとともに、事業効果の検証が必要である。		

事務事業名	みどりのボランティア推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	2,398千円
事業内容	本市の緑の拠点である植物公園で、市民が園芸の知識や技術などを学びながら、魅力あふれる植物公園づくりを協働で行うとともに、そこで得た知識・技術を活かして地域の公共施設・公共空地の緑化・美化を進め、みどりのボランティアリーダーの育成を図る。		
成果・実績	「緑のボランティア養成講座」修了生が学んだ知識や技術を生かして、植物公園をはじめ、西宇治公園、黄檗公園で花壇管理を行ったほか、植物公園で苗作り、花壇管理、バラ園管理、イベント協力などの活動を行った。また、新規ボランティアを募集し、市役所北玄関の花壇管理を開始した。平成24年3月31日時点で65名のボランティアが登録している。		
事業評価	都市の緑化及び美化を進めるための緑化リーダーとなるボランティアの養成や、その活動を支援することにより、緑化・美化の推進を図ることができた。今後もボランティア会員の増員と活動の幅を広げる必要がある。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	02 公園・緑地の有効活用

所管部局
都市整備部

事務事業名	公園バリアフリー整備事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	31,502千円
事業内容	平成18年12月に施行された「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」及び関係法令に基づき、都市公園におけるバリアフリー化の目標及び新設等に際してバリアフリー化を義務付ける公園施設のバリアフリー化基準等が定められた。国土交通省が実施する都市公園バリアフリー緊急支援事業を活用して複数箇所での公園施設のバリアフリー化等を実施する。		
成果・実績	<p>下記公園のバリアフリー化工事と遊具更新を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎城南荘児童公園 11,325千円 園路整備、傾斜路、車いす対応水飲み器設置 ◎折居台第1児童公園 9,581千円 車いす対応トイレ、車いす対応型車止 ◎名木第2児童公園ほか4公園遊具改築更新 8,768千円 遊具13基を改築更新 		
事業評価	法令に基づいた都市公園のバリアフリー化対策を実施し、利用者の利便性を向上させることができた。今後の公園のバリアフリー対策については、画一的な対策ではなく公園個別の利用実態に即した柔軟な対策をする必要がある。社会的にも公共施設のバリアフリー化は必須となってきており、平成24年度も引き続き計画的に整備を進めていく。		

事務事業名	公園管理費	所管課	公園緑地課
		決算額	40,942千円
事業内容	公園の運営管理等、公園としての機能を維持し、適正な利用を増進する。		
成果・実績	<p>市内にある495カ所の公園のうち、6カ所は公園公社が管理し、公園管理費の対象となる489カ所の公園のうち、400カ所あまりの公園については地元自治会や町内会に管理に対する報償費として5,480千円を支出した。</p> <p>その他、地元町内会等に管理をお願いできない公園の清掃・パトロールに3,090千円、除草業務委託に5,264千円、高木の剪定や薬剤散布に12,544千円、光熱水費に8,824千円を支出した。</p>		
事業評価	清掃や剪定などについては外部委託実施し、利用者の適正な利用を増進することができた。地元自治会による公園管理については、高齢化等の理由により辞退が増加しており、施設管理費、委託費は増額傾向にある。今後は、公園施設の状況把握に努め、計画的な修繕・更新を進めることにより、管理のコスト縮減を図る必要がある。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	02 公園・緑地の有効活用

所管部局
都市整備部

事務事業名	公園施設管理委託費	所管課	公園緑地課
		決算額	307,917千円
事業内容	都市公園施設の管理運営及び施設の小修繕等を（公財）宇治市公園公社を指定管理者として行い、利用者の利便性向上を図る。		
成果・実績	各施設の運営にあたっては、維持管理及び施設貸出業務を適切に行うとともに、利用者へのサービス向上と利用者の一層の拡大、増加、併せて業務の見直し、経費の削減に努めた。		
事業評価	黄檗公園、西宇治公園、植物公園などについて、指定管理者である（公財）宇治市公園公社により適正に管理運営した。今後も利用者の利便性向上のため、指定管理者に適正な管理・運営を指導していく。		

事務事業名	源氏ゆめほたる事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	4,650千円
事業内容	植物公園内において、蛍が永続的に棲息・繁殖可能な環境整備を行うことにより、毎年、植物公園入園者に蛍観賞の場を提供し、あわせて関連イベントを実施する。都市生活の中で身近に蛍に触れ合えることにより、市民生活に憩いと安らぎを与え、植物公園の集客力向上につなげる。		
成果・実績	平成18年度に蛍の棲息地として整備した植物公園の「秋のゾーン」を中心に5月28日から6月19日までの20日間、「蛍ナイター開園」を実施した。天候不良により蛍の発生が少なかったことや、期間中の荒天、日曜日が「県まつり」と重複したことなどにより期間中の夜間入園者数は15,192人であり、昨年度の入園者数と比較すると3,288人の減少となった。		
事業評価	市民等へ身近に蛍と触れ合う憩いの場を提供し、植物公園の集客力向上を図ることができた。蛍の発生数や天候等の自然状況に大きく左右されるなどの課題もあるが、植物公園の魅力をアピールできる絶好の機会である。平成24年度も蛍が増えるような環境を整え、蛍観賞だけでなく付加価値のある充実した事業内容を展開する。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	02 公園・緑地の有効活用

所管部局
都市整備部

事務事業名	黄檨公園再整備事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	19,065千円
事業内容	黄檨公園再整備実施にあたり、宇治市地域防災計画に位置付けられる当該都市公園に防災公園広域避難地及び救援拠点としての機能を付帯させる。災害発生時には宇治川により市域を分断される可能性があり、同計画には地理的条件を考慮して、黄檨公園に東宇治地域の防災拠点の施設としての機能の必要性が規定されている。防災拠点として、災害対策本部及び現地対策本部機能、広域避難地（避難所）としての機能、物資集積場、支援団体集結場としての機能が想定されている。		
成果・実績	（独法）都市再生機構に委託して、黄檨公園再整備に係る体育館耐震改修実施設計（構造体）を実施した。		
事業評価	黄檨公園における防災機能の強化や、施設課題の解消を図るため、計画に基づいて事業実施できた。今後も、再整備メニューを精査した上で、計画的に事業を進める。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	02 都市景観の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	違反広告物除却推進事業費	所管課	都市計画課
		決算額	78千円
事業内容	市民と協働して良好な景観を形成していくために、市民参加による違反広告物の除却を行う。		
成果・実績	<p>新たに6団体92人を登録した。市民自ら違反広告物を撤去することで、除却推進団体会員以外の市民にも違反広告物に対する意識向上を図る。</p> <p>◎違反広告物撤去枚数約700枚</p>		
事業評価	市民と協働して違反広告物を除去推進し、良好なまちなみ形成と景観への意識向上を図ることができた。今後も、登録団体と連携を行い、また団体数の増加を図りながら、地域の目による抑止力向上及び景観への意識向上に努める。		

事務事業名	都市景観形成対策費	所管課	都市計画課
		決算額	4,653千円
事業内容	良好な景観の形成に著しく寄与する行為や阻害要因の除去に対して景観形成助成を実施する。また、近隣市町村との意見交換や、景観アドバイザーの助言などを受け、景観計画重点区域の拡大を行うことで、良好な景観の形成を促進する。		
成果・実績	<p>景観形成助成事業として景観計画重点区域内において1件の建築物、2件の屋外広告物の設置に対して景観形成助成を行った。本市の景観に寄与するだけでなく、地域の住民の景観に対する意識も高まった。また、良好な景観の形成を促進すべく、景観形成助成制度の一部見直しに着手した。</p> <p>現在、新たに萬福寺を中心とした黄檗地区を景観計画重点区域に指定するため、地元住民とのタウンウォッチングや意見交換会、素案に対する意見募集を行い、まちづくり審議会での審議を踏まえて検討を進めた。</p> <p>近畿地方都市美協議会に参加し、近隣の市町村との意見交換等を行うことで本市の景観行政に役立てた。</p> <p>景観アドバイザー会議を開催し、専門家の助言を受け、業務を遂行した。</p>		
事業評価	重点区域における景観形成助成を行い、良好な景観の形成を図ることができた。平成24年度からは景観助成制度の対象エリアも拡大するため、地域の住民の景観に対する意識を高められよう努める。また、黄檗地区を景観計画重点区域への指定を目指し取組を進める。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	都市計画マスタープラン改定費	所管課	都市計画課										
		決算額	244千円										
事業内容	急速な少子高齢化の進展等の社会状況に対応するため、都市計画の基本方針である都市計画マスタープランについて点検・見直しを行う。												
成果・実績	<p>集中的に審議を重ねるため、都市計画審議会の中に7名の学識経験者からなる「都市計画マスタープラン検討部会」を設置し、4回の審議を重ね、検討部会案を作成した。</p> <p style="text-align: center;">検討部会開催内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 90%;">審議内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>マスタープラン策定後の取組状況と主な見直し項目の確認</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>全体構想の改訂案作成</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>地域別構想の改訂案作成</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>マスタープラン改訂の検討部会案策定</td> </tr> </tbody> </table>				審議内容	第1回	マスタープラン策定後の取組状況と主な見直し項目の確認	第2回	全体構想の改訂案作成	第3回	地域別構想の改訂案作成	第4回	マスタープラン改訂の検討部会案策定
	審議内容												
第1回	マスタープラン策定後の取組状況と主な見直し項目の確認												
第2回	全体構想の改訂案作成												
第3回	地域別構想の改訂案作成												
第4回	マスタープラン改訂の検討部会案策定												
事業評価	平成24年度を改定目標に向けた工程管理ができた。引き続き社会状況の変化に合わせて都市計画マスタープランの実効性を検証する必要がある。												

事務事業名	近鉄大久保駅周辺地区まちづくり事業調査費	所管課	都市計画課
		決算額	5,135千円
事業内容	広域拠点整備として、大久保駅周辺地区において平成19年度より5年の期間で社会資本整備総合交付金事業（旧まちづくり交付金事業）を実施し、補助金の手続きに基づいて、事後評価・フォローアップ等を行う。		
成果・実績	事後評価委員会を設置し、交付金事業として行った近鉄大久保駅周辺地区まちづくりの事業効果に対する事後評価を行った。		
事業評価	第1期事業の事後評価を行うことで、近鉄大久保駅周辺地区まちづくり事業が周辺に及ぼす影響を見極めることができた。ただし、事業の一部が未完成のため、完成後のフォローアップを行う必要がある。今後は、事後評価で明らかになった第1期事業から派生する周辺整備を効率的に行う。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	まちづくり活動支援事業費	所管課	都市計画課
		決算額	1,320千円
事業内容	宇治市まちづくり・景観条例に基づくまちづくりへの市民参加を推し進めるため、まちづくり活動への支援を行うとともに、条例の趣旨・制度の周知を目的とした「まちづくり地域セミナー」や地域のまちづくり活動のリーダー育成を目的とした「まちづくり塾」を開催し、地区まちづくり協議会の設立及び地区まちづくり計画の作成を促す。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ◎まちづくり地域セミナーを市内4カ所で開催、約100人の参加 ◎まちづくり塾を全5回開講、まちづくりマイスターとして修了生21人輩出 ◎宇治市まちづくり審議会を4回開催、南陵町地区まちづくり協議会作成の地区まちづくり計画を1件認定 ◎認定した協議会に対して行う支援「まちづくり専門家派遣」を2件、「活動費助成」を2件実施 ◎協議会設立に向け「出前講座」を1件実施 		
事業評価	セミナーやまちづくり塾を通じてまちづくりへの市民参加の担い手を増やすことができた。一方、地区まちづくり協議会の設立は増やせなかった。今後は本市からの働きかけのみならず、先行して活動している協議会やまちづくりマイスターなど市民相互間の協力等を活用し、協議会の設立や地区まちづくり計画の策定など、市民参加のまちづくりの活性化に努める。		

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	02 道路の整備

所管部局
都市整備部

事務事業名	都市計画道路網見直し事業費	所管課	都市計画課									
		決算額	124千円									
事業内容	昭和32年に初めての都市計画道路が決定されたが、その後少子高齢化の進展等社会状況が変化していることから、その必要性や実現性について検討を行い、将来のまちづくりと整合した都市計画道路網の見直しを行う。											
成果・実績	<p>平成22年度に聴取した市民意見を反映した変更案を策定し、京都府、本市それぞれの都市計画審議会へ諮問し、了承を得た。</p> <p>※平成24年4月27日付で都市計画変更決定を行い、告示を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>都市計画道路</th> <th>見直し前</th> <th>見直し後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線数</td> <td>39路線</td> <td>30路線</td> </tr> <tr> <td>延長</td> <td>約67km</td> <td>約48km</td> </tr> </tbody> </table>			都市計画道路	見直し前	見直し後	路線数	39路線	30路線	延長	約67km	約48km
都市計画道路	見直し前	見直し後										
路線数	39路線	30路線										
延長	約67km	約48km										
事業評価	変更案を策定し、将来のまちづくりと整合した都市計画道路網を構築できた。今後は、存続となった都市計画道路とその他道路事業も含め、事業の優先順位、整備手法など引き続き検討する。											

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	01 歴史と調和したまちづくり

所管部局
都市整備部

事務事業名	宇治川太閤堤跡保存活用事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	7,636千円
事業内容	平成21年7月に国史跡指定を受けた宇治川太閤堤跡の良好な保存、未来への継承を行うため、史跡公園の整備を行う。		
成果・実績	史跡の良好な保全・活用を図るため、史跡背面地や未調査部分の発掘調査を実施し、専門委員による検討委員会によって、史跡整備の詳細検討を行った。		
事業評価	史跡背面地や未調査部分の発掘調査を実施し、委員会にて史跡整備の検討を行うとともに、パンフレットを作成し、市民への周知を図ることができた。今後は、史跡整備の実施に伴い、設計及び整備条件に必要な調査等を行う。		

事務事業名	宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	934千円
事業内容	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の実現に向け、土地区画整理事業区域において新たな観光交流拠点を整備するとともに、周辺地域における観光振興、地域振興を図るため、まちづくり事業を実施する。		
成果・実績	史跡宇治川太閤堤跡を活用した公園整備に向け、史跡周辺（Aゾーン）の補助測量（現地・横断）を実施した。また、用地購入に必要な手続きを行った。		
事業評価	測量や用地購入に必要な手続きを行い、事業を進めることができた。今後も実現に向け、土地区画整理事業区域において新たな観光交流拠点を整備するとともに、周辺地域と一体となった観光振興、地域振興を図るためのまちづくり事業を実施する。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	01 歴史と調和したまちづくり

所管部局
都市整備部

事務事業名	文化的景観保護推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	7,273千円
事業内容	平成21年2月に「宇治の文化的景観」が都市部の景観としては全国初の重要文化的景観に選定されたことから、その活用を図るため、整備計画を策定するとともに重要文化的景観区域の拡大を目指す。		
成果・実績	中宇治地域の文化的景観の整備の方向性を検討するために、宇治橋通りにおいて建物空間の調査を実施した。また、全国文化的景観地区連絡会議を宇治で開催するとともに、市民の文化的景観への理解度を高めるため、平成24年3月10日に「太閤堤と茶どころ宇治」と題して文化的景観フォーラム2012を開催した。 フォーラム参加者数 203人		
事業評価	文化的景観整備の方向性の検討とともに、市民の文化的景観への理解度を高めることができた。今後は整備計画を策定し、個性豊かな景観を継承するとともに、市民への啓発を図りながら、白川地区・黄檗地区の追加選定による重要文化的景観区域の範囲拡大を目指す。		

事務事業名	歴史的風致維持向上計画策定費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	14,260千円
事業内容	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の事業化に向け、国庫補助の導入により史跡宇治川太閤堤跡の保存・整備及び宇治の文化的景観の保全・継承のまちづくりを行うために、歴史的風致維持向上計画を策定する。		
成果・実績	平成21年度より策定を進めていた歴史的風致維持向上計画について、国土交通大臣、文部科学大臣、農林水産大臣に対し認定申請を行い、平成24年3月5日に大臣認定を受けた。		
事業評価	歴史的風致維持向上計画の認定を受けることができた。計画は、平成33年までの事業期間を有しており、今後も法定協議会である歴史的風致維持向上協議会において事業の変更追加及び進捗管理を行いながら、円滑な事業実施に努める。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	03 文化財保護と伝統文化の継承

所管部局
都市整備部

事務事業名	文化財指定推進費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	1,948千円
事業内容	文化財の調査によって、重要かつ本市にとって歴史上、芸術上価値の高いものを市指定文化財に指定し、文化財保護の推進を図る。併せて国・京都府指定及び未指定文化財の修理等に補助を行い保存・活用を図る。		
成果・実績	重要文化財の萬福寺松隠堂庫裏や恵心院本堂などの建物等の保存修理や三室戸寺の防災施設や市指定文化財の大幣神事などに補助を行った。		
事業評価	文化財の修理等へ補助を実施し、保全に努めることができた。今後も文化財保護の推進を図るとともに、国・京都府及び未指定文化財の修理等に補助を行い保存・活用を図る。		

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査費（受託・国庫補助）	所管課	歴史まちづくり推進課								
		決算額	6,568千円								
事業内容	文化財保護法に基づいて、埋蔵文化財包蔵地内での開発事業と重要な遺跡保存の調和を図るため、発掘調査を実施する。また、発掘成果を基に史跡指定等の保存処置の検討を行うほか、市民へ成果を公開する。										
成果・実績	<p>重要な遺跡である浄妙寺跡（カルメル教会）や太閤堤跡の未調査部分、巨椋遺跡、史跡萬福寺境内について発掘調査を実施し、史跡指定等の保存処置に必要なデータを収集するとともに、発掘成果報告会を開催し市民への周知を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎受託発掘調査</td> <td style="width: 10%;">2件</td> <td style="width: 10%;">1,568千円</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>◎国庫補助調査</td> <td>2件</td> <td>5,000千円</td> <td></td> </tr> </table>			◎受託発掘調査	2件	1,568千円		◎国庫補助調査	2件	5,000千円	
◎受託発掘調査	2件	1,568千円									
◎国庫補助調査	2件	5,000千円									
事業評価	市内に存する重要な遺跡について発掘調査を行い調査記録の作成を行うとともに、広く発掘成果を公開し、文化財保護の啓発を図ることができた。今後も開発事業と重要な遺跡保存の調和を図っていく。										

平成23年度決算成果説明書


総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	開発指導事務費	所管課	開発指導課																			
		決算額	227千円																			
事業内容	無秩序な宅地開発を防止し、良好な都市環境の形成と円滑な都市機能の発現を図るため、宅地開発事業及び特定用途建築行為を行う事業者に対し、本市の行財政に重要な影響を及ぼす公共・公益施設等の整備について適正な指導を行う。																					
成果・実績	<p>本市における宅地開発等について、「宇治市良好な居住環境の整備及び景観の形成を図るためのまちづくりに関する条例」等関係諸法令に基づき指導した。</p> <p>◎開発指導事務費 227千円</p> <p>平成23年度における宅地開発等協力寄付金の納入については下表のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">宅地開発等協力寄付金 (歳入)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">宅地開発事業</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: right;">20,453</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">特定用途 建築行為</td> <td style="text-align: center;">集合住宅</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: right;">19,483</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">集合住宅以外</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: right;">241</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: right;">40,177</td> </tr> </tbody> </table>					件数	金額 (千円)	宅地開発事業		6	20,453	特定用途 建築行為	集合住宅	13	19,483	集合住宅以外	2	241	合計		21	40,177
		件数	金額 (千円)																			
宅地開発事業		6	20,453																			
特定用途 建築行為	集合住宅	13	19,483																			
	集合住宅以外	2	241																			
合計		21	40,177																			
事業評価	宅地開発等について条例に基づき指導を行い、良好な居住環境の保全を図ることができた。また、協力寄付金については、21件の事業者の協力を得ることができた。事業者には、引き続き指導を行うとともに、本市のまちづくりに対する理解と協力を求め、良好な居住環境の保全に努める。																					

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	都市整備部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	耐震診断・耐震改修推進事業費	所管課	建築指導課				
		決算額	22,745千円				
事業内容	建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条7項により、平成20年度に宇治市建築物耐震改修促進計画を策定し、市有建築物を含めた既設建築物の耐震化を促進する。民間の既設建築物（木造住宅・共同住宅）について、耐震化を図るため、耐震診断・耐震改修の助成制度を実施している。						
成果・実績	<p>11月27日に行われた宇治市防災訓練や、各地域の防災訓練に参加、「耐震診断相談コーナー」を設置し、啓発活動を行った。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>木造住宅耐震診断</td> <td style="text-align: right;">102棟</td> </tr> <tr> <td>木造住宅耐震改修</td> <td style="text-align: right;">20棟</td> </tr> </table> <div style="text-align: center;">  <p>耐震診断相談コーナー</p> </div>			木造住宅耐震診断	102棟	木造住宅耐震改修	20棟
木造住宅耐震診断	102棟						
木造住宅耐震改修	20棟						
事業評価	耐震診断・耐震改修の助成制度を実施し、既設建築物の耐震化の促進を図ることができた。平成24年度も目標数値達成に向け、効果的な啓発活動及び補助を実施し、耐震化を促進する。						

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	建築指導事務費	所管課	建築指導課																				
		決算額	1,350千円																				
事業内容	<p>建築主は、建築工事に着手する前に建築基準法による確認申請書を提出し、建築主事や民間指定確認検査機関にて確認を受けなければならない。本市は建築基準法を所管する特定行政庁として、安全・安心な建築物の供給、法的的確な履行に取り組んでいる。</p>																						
成果・実績	<p>平成23年度建築確認等申請件数（計画通知を含む/計画変更含まず）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>建築物</th> <th>昇降機等</th> <th>工作物</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本市</td> <td style="text-align: center;">48</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">54</td> </tr> <tr> <td>民間確認検査機関</td> <td style="text-align: center;">583</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">605</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">631</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">659</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、安全で安心な、環境にやさしい建築物が供給されるよう、以下の各事業に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎違反建築物対策（行政指導件数 32件） 違反建築物防止のため、建築関係者への啓発や現場パトロールなどを実施した。また、違反建築物に対する是正指導等を行った。 ◎長期優良住宅の認定（認定件数 120件） 長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づき認定を行った。 ◎建設リサイクル法に基づく業務（届出・通知件数 360件） 建築物の分別解体及び再資源化等の適正かつ円滑な実施を確保するため、届出の受理を行い、併せて制度定着のための広報や現場パトロールを実施した。 ◎省エネルギー法に基づく業務（届出件数 29件） 地球温暖化の防止及び省エネルギーの実効性を向上させるため、一定規模以上の建築物について省エネルギー措置の届出と定期報告が義務付けられている。 ◎京都府地球温暖化対策条例に基づく業務（届出件数 5件） 地球環境問題への関心が高まる中、建築分野においても地球温暖化防止等への配慮が求められているため、一定規模以上の建築物に対して計画書等の届出が義務付けられている。 				建築物	昇降機等	工作物	計	本市	48	3	3	54	民間確認検査機関	583	9	13	605	合計	631	12	16	659
	建築物	昇降機等	工作物	計																			
本市	48	3	3	54																			
民間確認検査機関	583	9	13	605																			
合計	631	12	16	659																			
事業評価	<p>建築基準法・各種関係法令に基づく届出・申請受理や、パトロール等の啓発活動により、建築確認・検査制度の的確な履行を図り、適正な建築物の供給を担保することができた。今後も引き続き、安全・安心な建築物の供給、法の適正な履行に取り組む。</p>																						

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進

所管部局
都市整備部

事務事業名	交通安全対策事務費	所管課	交通政策課
		決算額	620千円
事業内容	交通安全対策の推進と公共交通体系の確立を図り、市民生活の利便性、快適性の向上を図る。		
成果・実績	<p>実施希望のあった町内会等を対象に、警察の協力による参加体験型の交通安全研修会を実施した。また、幼児・児童に対して交通安全思想の普及を図るため、交通安全教室を春・秋に保育所、幼稚園、小・中学校で67回開催し、延べ約6,300人が受講して交通事故から自ら身を守る術を身に付けた。</p> <p>一方、市民の交通の円滑化と事故防止のため、地域からの要望を踏まえ、安全対策や交通規制の実施のために警察や関係機関との緊密な連携を図り、市民の交通安全の向上に努めた。</p>		
事業評価	市民へ交通安全思想を普及することができた。交通安全対策は、抜本的な解決策を見出すことが難しいが、ハード・ソフトで多方面の取組手法について今後も関係機関と連携し交通安全対策を行う。		

事務事業名	自転車等駐車場管理費	所管課	交通政策課																												
		決算額	149,724千円																												
事業内容	自転車等駐車場の適切な管理運営により、交通結節点における市民の利便性の向上や自転車等の放置防止、歩行者や通行車両等の安全確保を図るため、市内の14駅中11駅周辺に17の有料自転車等駐車場を設置し、通勤・通学や買い物などで利用される自転車等を収容する。																														
成果・実績	<p style="text-align: center;">年間自転車等駐車場利用台数表 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">自転車</td> <td>一時利用</td> <td>110,167</td> <td>102,457</td> <td>103,319</td> <td>99,855</td> </tr> <tr> <td>定期利用</td> <td>15,811</td> <td>14,907</td> <td>14,634</td> <td>14,274</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原動機付き自転車等</td> <td>一時利用</td> <td>45,430</td> <td>42,131</td> <td>41,872</td> <td>39,813</td> </tr> <tr> <td>定期利用</td> <td>4,256</td> <td>4,142</td> <td>4,141</td> <td>4,016</td> </tr> </tbody> </table>			年度		20	21	22	23	自転車	一時利用	110,167	102,457	103,319	99,855	定期利用	15,811	14,907	14,634	14,274	原動機付き自転車等	一時利用	45,430	42,131	41,872	39,813	定期利用	4,256	4,142	4,141	4,016
年度		20	21	22	23																										
自転車	一時利用	110,167	102,457	103,319	99,855																										
	定期利用	15,811	14,907	14,634	14,274																										
原動機付き自転車等	一時利用	45,430	42,131	41,872	39,813																										
	定期利用	4,256	4,142	4,141	4,016																										
事業評価	市民の利便性の向上や、景観の維持とともに、自転車の放置防止により歩行者や通行車両などの安全確保を図ることができた。指定管理者に委託し、適正に管理・運営しているが、今後も、市民の利便性の向上や安全確保を図りながら、より効率的な管理・運営を目指す。																														

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進

所管部局
都市整備部

事務事業名	自転車放置防止対策費	所管課	交通政策課																				
		決算額	10,543千円																				
事業内容	<p>駅周辺において良好な環境を保つため、駅周辺の自転車放置禁止区域内に放置されている自転車を定期的に撤去し、市民の利便性の向上や景観の維持を図るとともに、歩行者や通行車両などの安全確保を図る。</p>																						
成果・実績	<p>撤去自転車のうち480台は所有者に引き取られ、その他は福祉施設に無償譲渡及び、有価物として売却を行った。</p> <p style="text-align: right;">(台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">20</th> <th style="width: 15%;">21</th> <th style="width: 15%;">22</th> <th style="width: 15%;">23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>撤去台数</td> <td style="text-align: center;">2,310</td> <td style="text-align: center;">1,747</td> <td style="text-align: center;">1,437</td> <td style="text-align: center;">1,217</td> </tr> <tr> <td>売却処理台数</td> <td style="text-align: center;">886</td> <td style="text-align: center;">885</td> <td style="text-align: center;">540</td> <td style="text-align: center;">470</td> </tr> <tr> <td>返還台数</td> <td style="text-align: center;">1,143</td> <td style="text-align: center;">903</td> <td style="text-align: center;">532</td> <td style="text-align: center;">480</td> </tr> </tbody> </table>			年度	20	21	22	23	撤去台数	2,310	1,747	1,437	1,217	売却処理台数	886	885	540	470	返還台数	1,143	903	532	480
年度	20	21	22	23																			
撤去台数	2,310	1,747	1,437	1,217																			
売却処理台数	886	885	540	470																			
返還台数	1,143	903	532	480																			
事業評価	<p>自転車放置対策に係る啓発や、放置自転車の撤去などを行い、歩行者や通行車両などの安全確保を図ることができた。これまでの取組により、自転車放置禁止区域での放置自転車の数は確実に減少しており、平成24年度も引き続き放置防止対策を実施する。</p>																						

事務事業名	市営駐車場管理費	所管課	交通政策課															
		決算額	1,618千円															
事業内容	<p>JR宇治駅前及び近鉄大久保駅前における迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、自動車駐車場を設置し、管理・運営を行う。</p>																	
成果・実績	<p>駐車場は乗降客の多い駅前に立地し、終日営業するなど利便性が高いことから、多くの市民等が利用した。 近鉄大久保駅前は駅前広場の整備に伴い閉鎖していた。</p> <p style="text-align: right;">(台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">20</th> <th style="width: 15%;">21</th> <th style="width: 15%;">22</th> <th style="width: 15%;">23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JR宇治駅前</td> <td style="text-align: center;">24,651</td> <td style="text-align: center;">23,293</td> <td style="text-align: center;">23,615</td> <td style="text-align: center;">22,734</td> </tr> <tr> <td>近鉄大久保駅前</td> <td style="text-align: center;">52,052</td> <td style="text-align: center;">43,013</td> <td style="text-align: center;">42,276</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>			年度	20	21	22	23	JR宇治駅前	24,651	23,293	23,615	22,734	近鉄大久保駅前	52,052	43,013	42,276	-
年度	20	21	22	23														
JR宇治駅前	24,651	23,293	23,615	22,734														
近鉄大久保駅前	52,052	43,013	42,276	-														
事業評価	<p>JR宇治駅前自動車駐車場は、指定管理者に委託して適正に管理・運営し、安全で快適な駅前交通環境を維持することができた。今後も、迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持しながら、より効率的な管理・運営を実施する。</p>																	



平成23年度決算成果説明書



総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進	

事務事業名	交通バリアフリー推進事業費	所管課	交通政策課
		決算額	85千円
事業内容	平成17年度に策定した宇治市交通バリアフリー全体構想、平成18年度に策定した大久保駅周辺地区及び宇治駅周辺地区の重点整備地区基本構想に基づき、本市全体のバリアフリーを推進する。今後、バリアフリー新法の趣旨や新しい国の基本方針に沿い、市内のバリアフリーをさらに推進させる。		
成果・実績	バリアフリー推進連絡会を開催し、大久保駅周辺地区及び宇治駅周辺地区の重点整備地区基本構想に基づくバリアフリー化事業及びソフト施策の最終報告を行った。		
事業評価	重点整備地区に定めた2地区については、基本構想の目標を達成することができた。今後は、バリアフリー新法の趣旨や新しい国の基本方針に沿い新たな基本構想策定に向け事業者等と協議を行う。		

平成23年度決算成果説明書



総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	上下水道部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	06 下水道（汚水・雨水）の整備	

事務事業名	管渠建設事業費	所管課	下水道計画課
		決算額	1,700,009千円
事業内容	公衆衛生の向上、水質の保全のため、事業認可区域内において、管渠等の整備を行う。		
成果・実績	<p>汚水管渠は17件の工事に着手し、8件を完了した。また、9件については、一部を平成24年度に繰り越した。なお、平成22年度からの繰越分はすべて完了した。 国庫交付金は、現年・繰越あわせて、436,400千円となっている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">下水道工事(推進工法)</p>		
事業評価	管渠の整備を行い、公衆衛生の向上及び水質の保全を図ることができた。今後も、国庫補助の状況、市財政の見通し及び宇治市公共下水道整備計画と整合を図りながら、引き続き整備を進める。		

事務事業名	処理場建設事業費	所管課	下水道計画課
		決算額	1,056,010千円
事業内容	東宇治処理区の管渠整備の進展・接続率の向上に合わせた下水処理施設の増設を行うとともに、さらなる処理水質の向上のため、高度処理化を図る。		
成果・実績	<p>放流水の水質向上につなげるため、処理の高度処理化を順次進めた。また、増加する水量に対応するため、平成22年度より引き続き9・10池の増設工事、第2ポンプ棟の増設工事等を実施した。</p> <p style="text-align: center;">東宇治浄化センター</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 全景 工事中 </p>		
事業評価	流入下水量の増加及び京都府大阪湾・淀川流域別下水道整備総合計画に沿った放流水の水質向上への対応ができた。今後も、流入下水量の増加や高度処理化への対応のため、必要な施設整備を進める。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	上下水道部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	06 下水道（汚水・雨水）の整備	

事務事業名	管渠維持管理費	所管課	下水道計画課
		決算額	76,275千円
事業内容	管渠等の下水道施設の維持管理として、調査・清掃・補修工事等を行うとともに、下水道施設の正確な把握のため下水道台帳の調製を行う。		
成果・実績	下水道施設補修工事の実施、下水道台帳調製、管渠内清掃等を実施した。 <div style="text-align: center;">管渠内清掃</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>着工後</p> </div> </div>		
事業評価	下水道施設の維持管理を適正に実施し、水質の保全につなげることができた。今後も、将来を見通した維持管理のため、管渠の老朽化への対応及び長寿命化の取組を進める。		



事務事業名	処理場維持管理費	所管課	下水道計画課																					
		決算額	227,037千円																					
事業内容	公衆衛生の向上、水質の保全のため、単独公共下水道で実施している東宇治処理区内の汚水を、東宇治浄化センターにおいて処理し、良好な水質で河川に放流する。なお、平成22年度から一部（8池）において高度処理による浄化を行っている。																							
成果・実績	平成23年度の流入下水量は6,450千 ³ m、放流量は6,389千 ³ mであり、水質は以下の通りである。 <div style="text-align: right; margin-bottom: 5px;">(mg/l、大腸菌群数は個/ml)</div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>BOD</th> <th>SS</th> <th>大腸菌群数</th> <th>COD</th> <th>全窒素</th> <th>全りん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>流入下水</td> <td>159</td> <td>141</td> <td>1.5×10⁵</td> <td>86.6</td> <td>32.2</td> <td>2.15</td> </tr> <tr> <td>放流水</td> <td>6.5</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>10.7</td> <td>12.9</td> <td>1.98</td> </tr> </tbody> </table>				BOD	SS	大腸菌群数	COD	全窒素	全りん	流入下水	159	141	1.5×10 ⁵	86.6	32.2	2.15	放流水	6.5	5	0	10.7	12.9	1.98
	BOD	SS	大腸菌群数	COD	全窒素	全りん																		
流入下水	159	141	1.5×10 ⁵	86.6	32.2	2.15																		
放流水	6.5	5	0	10.7	12.9	1.98																		
事業評価	東宇治処理区内の汚水を適正に処理し、公衆衛生の向上、公共用水域の水質の保全を図ることができた。今後も、放流水質を維持するため適正な維持管理を行う。																							

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	06 下水道（汚水・雨水）の整備

所管部局
上下水道部

事務事業名	下水道普及費	所管課	下水道計画課	
		決算額	28,829千円	
事業内容	公共下水道の整備にあわせて各家庭、事業所などに、下水道に関する啓発活動、融資あっ旋制度の実施、未接続世帯の各戸訪問や文書送付を行う。特に、供用開始後3年を超える未接続世帯は水洗化普及促進員が訪問を行い、水洗化の普及促進を行う。			
成果・実績	下水道整備率 (各年度3月末の計画に対する下水道整備の進展度合) (%)			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	73.0	77.5	79.3	81.3
				前年比 2.0ポイント増加
	※処理区域内人口（下水道が使用可能な人口）÷下水道計画区域内人口			
成果・実績	戸数接続（水洗化）率 (各年度3月末の整備した下水道に対して接続した戸数の割合) (%)			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	83.1	84.0	84.8	84.7
				前年比 0.1ポイント減少
	※水洗化戸数（下水道に接続した戸数）÷処理区域内戸数			
水洗化普及促進員訪問戸数 延べ 722戸 （接続戸数 182戸）				
事業評価	水洗化率は維持しているが、供用区域の拡大に伴い未接続世帯が増加しており、下水道接続の勧奨を強化する必要がある。今後も接続率の向上に向け、戸別訪問等を積極的に行う。			

事務事業名	特定環境保全公共下水道維持管理費	所管課	下水道計画課
		決算額	8,047千円
事業内容	公衆衛生の向上、水質の保全のため、志津川地域内の汚水を志津川浄化センターで処理し、良好な水質にして河川に放流する。		
成果・実績	平成23年度の放流量は、26千m ³ である。 志津川地域下水道は、平成23年3月末で廃止し、4月から特定環境保全公共下水道志津川処理区として運営している。		
	志津川浄化センター		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
事業評価	志津川処理区の汚水を適正に処理し、公衆衛生の向上、公共用水域の水質の保全を図ることができた。今後も、放流水質を維持するため適正な維持管理を行う。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	05 上水道の整備

所管部局
上下水道部

事務事業名	簡易水道事業維持管理費	所管課	水道総務課・市民環境部環境企画課
		決算額	21,872千円
事業内容	昭和59年度より通水を開始した笠取地区簡易水道事業を運営する。		
成果・実績	笠取・二尾地域の生活用水の安定供給に努めた。 ◎給水戸数 114戸 ◎年間総配水量 47,794m ³		
事業評価	水道施設の運転管理業務、水質管理業務その他漏水等修繕業務などを適切に実施し、生活用水の安定供給を図ることができた。		

事務事業名	簡易水道事業施設再整備事業費	所管課	水道総務課・市民環境部環境企画課
		決算額	109,572千円
事業内容	施設の老朽化及び水源の硬度の上昇、水量不足の状況にある笠取簡易水道を上水道事業に統合し、安定的な給水の確保を図る。		
成果・実績	笠取簡易水道事業を上水道事業へ統合するための施設再整備に係る送配水施設の改良工事や送水管布設工事及び送水施設用地の買収等を実施した。 ◎送水管布設 862m ◎既設配水池改良工事 電気設備の改良及び場内配管 ◎送水施設用地取得 取得面積297.86m ²		
事業評価	笠取及び二尾地区は現在簡易水道事業にて給水しているが、施設の老朽化や水量不足、水質の問題があり、安定した給水確保のため上水道事業への統合が必要であり、引き続き事業を推進する。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	05 上水道の整備


所管部局
上下水道部

事務事業名	飲料水供給施設事業維持管理費	所管課	水道総務課・市民環境部環境企画課
		決算額	3,842千円
事業内容	飲料水供給施設整備事業に係る飲料水供給施設事業を運営する。		
成果・実績	池尾地域の生活用水の安定供給に努めた。 ◎給水戸数 16戸 ◎年間総配水量 1,513m ³		
事業評価	水道施設の運転管理業務、水質管理業務などを適切に実施し、生活用水の安定供給を図ることができた。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	02 消防・救急の充実

所管部局
消防本部

事務事業名	消防団活動費	所管課	消防総務課
		決算額	50,432千円
事業内容	消防団の任務は、火災等あらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守ることであり、消防精神を養うため日頃から教養訓練、研修等を逐次実施し、知識技能の向上を図って火災予防を推進し、災害のないまちづくりに努める。		
成果・実績	消防団員の報酬	378人	12,958千円
	消防団員退職報償金	20人	7,476千円
	出場費用弁償	延べ5,236人	8,478千円
	消防団資機材（消防団操法用ホース等）購入		195千円
	京都府消防協会宇城久支部負担金等		617千円
	 消防団操法用ホース		
事業評価	消防団による年末特別警戒や街頭での防火意識啓発など、きめ細やかな予防活動・啓発活動を実施し、地域一体での安全・安心なまちづくりの推進を図ることができた。広域災害時の消防団が果たす役割は大きいと、今後も消防団活動の活性化を図る。		

事務事業名	職員教養研修費	所管課	消防総務課	
		決算額	6,214千円	
事業内容	全国消防長会のほか、総務省消防大学校、京都府立消防学校が実施する各種の教養資格講習等を受講し、消防職員の知識、技能を向上させる。			
成果・実績	研修実績（主なもの）			
	研修名	場 所	延べ期間	人数
	消防大学校 総合教育幹部科	消防大学校	46日	1
	初任教育	京都府立消防学校	8カ月	8
	専科教育(危険物・救急科等)	京都府立消防学校	46日	10
	幹部教育 警防科	京都府立消防学校	10日	1
	幹部教育 中級幹部科	京都府立消防学校	7日	1
	専科教育(予防査察科)	京都府立消防学校	10日	1
近畿救急医学会	大阪府・兵庫県	4日	4	
事業評価	国・京都府等が実施する各種教育課程の受講や各種免許・資格習得により、職員の知識・技能の向上を図ることができた。今後も、複雑多様化、専門化している災害対応等について、さらに知識・技能の向上を図る必要がある。			

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	02 消防・救急の充実	

事務事業名	防火意識啓発費	所管課	予防課
		決算額	758千円
事業内容	<p>市内における火災の発生防止を図るとともに、市民に火災時に対応すべき知識等について啓発・指導を図り、防火等への関心を高めることによって、安全・安心で快適かつ住みよい、災害に強いまちづくりを推進する。また、刊行物を各世帯に配布することにより、市や消防を身近なものとし、より親しみやすく相談しやすいまちづくりを目指す。</p>		
成果・実績	<p>事業所への防火啓発ポスター、市民への防火啓発リーフレットの作成配布等により、火災予防意識の高揚を図り、火災の発生防止に努めた。</p> <p>また、消火薬剤の補填は、初期消火のために使用された消火器を再活用するため、原状回復として行う補填と、市民に訓練の重要性や、消火器の初期消火の有効性を認識してもらうために町内会等の消火訓練に使用した消火器に対して行う予防効果に重点を置いた補填の2面から実施し、災害対応の充実を図った。</p>		
事業評価	<p>防火啓発ポスターやリーフレットの作成配布等を行い、火災予防への意識高揚や、火災発生防止の効果が繋がった。また、消火薬剤の補填については、初期消火及び訓練の重要性を意識付けるために重要な方策の一つとなっており、火災予防を進める上で実施効果が高いため、今後も啓発活動に努める。</p>		


事務事業名	消防水利維持管理・拡充事業費	所管課	警防課
		決算額	8,998千円
事業内容	<p>消火活動において、消防水利が有効に活用できるよう維持管理するとともに必要に応じ修繕を行う。また、市街地における水利不便地に消防水利の基準（昭和39年消防庁告示7号）に沿って、消火栓等を新設し、基準の充足を図る。</p>		
成果・実績	<p>火災時に活用する消防水利の維持管理、新設を行った。</p> <p>消火栓維持管理 消火栓維持管理として、木幡・宇治・神明・大久保町の各地区において、消火栓13基の維持管理に係る工事を行った。</p> <p>消火栓新設 消火栓新設工事実施計画分として、神明宮東・宇治妙楽の各地区において2基設置した。</p> <p>また、実施計画以外の新設工事として、菟道荒槇・槇島町北内・槇島町一町田・槇島町五才田・小倉町老ノ木・広野町東裏の各地区において9基設置した。</p>		
事業評価	<p>消火栓の補修・改修や新設によって、消防水利の確保、整備等を行い、火災へ備えることができた。依然として、消防水利の空白地や、設置後に相当年数の経過した公設防火水槽などがあり、これらへの対応についても検討する。</p>		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	02 消防・救急の充実

所管部局
消防本部

事務事業名	消防機械器具整備費	所管課	警防課
		決算額	6,129千円
事業内容	老朽化している消防車両等を更新整備するとともに、災害活動時の安全管理対策につながる各種装備・機械器具について、軽量化・高機能化等を行う。		
成果・実績	<p>消防用ホース、消防水囊更新整備 消火活動に活用する消防用ホースを90本、また、林野火災等で活用する消防水囊10基を更新整備した。</p> <p>空気呼吸器本体、空気呼吸器用軽量ポンペ更新整備 消防活動において活用する空気呼吸器本体5基及び空気呼吸器用軽量ポンペ14本を更新整備した。</p>		
事業評価	災害活動時の安全管理対策のため空気呼吸器や消防ホースなどの更新を行った。今後も、各種装備の軽量化や高機能化などについてさらに研究を行う。		

事務事業名	消防通信指令システム再整備事業費	所管課	指揮指令課
		決算額	230,790千円
事業内容	消防通信施設の維持管理及び充実、整備を図ることにより、消防通信を迅速、的確に実施して消防活動の円滑な支援を行い、各種災害による被害を最小限にとどめる。		
成果・実績	<p>消防通信指令システムを再整備したことにより、位置情報システムによって災害発生場所を特定し、同時に自動出動指定装置や出動車両運用管理装置によって最適な出動隊の編成や出動指令を自動的に行えるようになった。</p> <p>また、通信回線を光回線化し、各署所間をネットワークで結ぶことにより、情報の共有化ができ、初動体制が迅速に行えるようになった。</p>		
			
事業評価	消防通信指令システムを一新させたことにより、初動体制の迅速性や確実性が強化され、災害による被害の軽減や救急救命効果を向上させることができ、大災害にも対応可能となった。また、消防事務の効率化についても飛躍的に向上させることができた。今後も消防通信指令システムを適切に運用し、消防活動の円滑な支援を行う。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	02 消防・救急の充実

所管部局
消防本部


事務事業名	専門職員養成費	所管課	救急課												
		決算額	3,378千円												
事業内容	救急救命士制度の創設及び救急隊員の行う応急処置範囲の拡大に伴い、専門教育を受講し、隊員の資質・技能を向上することで救命率の向上を図る。														
成果・実績	<p>救急救命士の新規養成1人と、処置拡大救急救命士として気管挿管認定者2人の養成を行い、救急高度化の充実・強化を図った。</p> <p>救急救命士新規養成及び処置拡大救急救命士研修実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>場 所</th> <th>期 間</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士養成教育</td> <td>京都市救急教育訓練センター</td> <td>7カ月</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>気管挿管病院実習</td> <td>市内医療機関</td> <td>30症例</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			研修名	場 所	期 間	人数	救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7カ月	1	気管挿管病院実習	市内医療機関	30症例	2
研修名	場 所	期 間	人数												
救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7カ月	1												
気管挿管病院実習	市内医療機関	30症例	2												
事業評価	より質の高い救急業務を目的に救急高度化に取り組み、救命率向上を図ることができた。今後も計画的に救急救命士を養成していく。														

事務事業名	AED整備費	所管課	救急課
		決算額	3,798千円
事業内容	市内各公共施設にAEDを設置し、心肺停止傷病者に対して即対応できる体制整備を行い、市民の救命率の向上を図る。平成20年度から市内公共施設76カ所にAEDを整備している。		
成果・実績	<p>現在設置中のAEDが非常時に適切に使用できるよう、保守管理を行った。5年間の賃貸借契約（長期継続契約）の4年目である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>AED(自動体外式除細動器)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>AEDマーク</p> </div> </div>		
事業評価	心肺停止傷病者に対し迅速に除細動が行える体制を整備したことにより、救命率の向上を図り、安全・安心のまちづくりに貢献できた。今後も、設置場所や台数など、効果的、効率的な維持管理の検討を行う。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	02 消防・救急の充実

所管部局
消防本部

事務事業名	高度救急設備整備費	所管課	救急課						
		決算額	27,613千円						
事業内容	プレホスピタルケア充実強化及び高度救急業務の推進を図るため、現在使用している救急車及び資機材の更新整備を行う。								
成果・実績	<p>高度な救急救命処置を行うために必要な高規格救急車及び資機材の更新整備を行い、西消防署へ配置した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">高規格救急車</td> <td style="width: 30%;">15,855千円</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>高規格救急車用資機材</td> <td>11,729千円</td> <td></td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>高規格救急車</p> </div>			高規格救急車	15,855千円		高規格救急車用資機材	11,729千円	
高規格救急車	15,855千円								
高規格救急車用資機材	11,729千円								
事業評価	救急需要が増加している中、市民生活の安全・安心の確保や救急高度化推進を図ることができた。今後も計画的に更新整備を行う。								

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	事務事業点検評価事業費	所管課	教育総務課
		決算額	120千円
事業内容	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は、その権限に関する事務・事業の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、結果を市民へ公表し議会に報告する。		
成果・実績	<p>教育委員会の基本方針に沿って効果的な教育行政が実施できたか、学識者とともに点検・評価し、市民への説明責任を果たした。</p> <p style="text-align: center;">学識経験者等謝礼 120千円</p>		
事業評価	点検・評価を行うことにより、効果的な教育行政を進めることができた。今後も、市民にとって、よりわかりやすい点検・評価となるよう、学識者の意見を踏まえて目標達成度や評価項目の設定など検討を行う必要がある。		

事務事業名	学校施設地域開放費	所管課	教育総務課										
		決算額	2,066千円										
事業内容	西宇治中学校の地域開放型教室の特質を活かし、特別教室の積極的な開放を行うことで、子どもが仲間と楽しく学び、様々な活動を行う場を提供する。また、各種教育情報の提供として開放講座を開催し、地域住民に学習機会の場を設け、地域の活性化を図る。												
成果・実績	<p>地域開放運営委員会委託料 1,966千円</p> <p>利用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>視聴覚室</th> <th>音楽室</th> <th>美術室</th> <th>調理室</th> <th>図書室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>127件</td> <td>184件</td> <td>82件</td> <td>4件</td> <td>925人</td> </tr> </tbody> </table> <p>西宇治オープンフェスタ 地域開放型教室の利用団体が、ダンス、コーラス、楽器演奏など、日頃の活動の成果を発表した。</p>			視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室	127件	184件	82件	4件	925人
視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室									
127件	184件	82件	4件	925人									
事業評価	地域住民のニーズに応じた特別教室の開放により、地域の活性化を図ることができた。近年、登録団体数や利用者数が減少傾向であり、地域の運営委員会の育成とともに事業のあり方について検討する必要がある。												

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	学校図書館費	所管課	学校教育課
		決算額	35,680千円
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上のため、小・中学校の学校図書館図書を充実させるとともに、学校図書館司書の配置と学校図書館ボランティアの活用により図書館教育の充実を図る。また、学校図書館ボランティアの養成のため、希望する保護者・市民が必要な知識・技術を修得する講座を開催する。		
成果・実績	図書館教育充実事業費 18,620千円 拠点校7校に学校図書館司書を配置し、各学校を巡回して児童・生徒の学習活動や読書活動の充実を図った。 図書館ボランティア養成事業費 60千円 ボランティア養成講座開催数 2回 ボランティア登録者数 455人 学校図書館図書充実費 小学校 9,600千円 中学校 7,400千円		
事業評価	図書の購入・配架、司書による支援や、ボランティアの活動により、児童・生徒の学習活動や読書活動の充実を図ることができた。今後も、特に中学校での読書活動を高めるため、事業成果を検証しながら継続実施する。		

事務事業名	幼稚園、小・中学校保健管理費	所管課	学校教育課
		決算額	130,016千円
事業内容	学校保健及び学校安全に関し、法令に定める健康診断の実施や環境衛生の確保に努め、学校管理下における事故災害に対する必要な給付を行い、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図る。		
成果・実績	園児、児童・生徒の健康診断や各種検診・検査を実施した。 小学校保健管理費 81,849千円 中学校保健管理費 34,445千円 幼稚園保健管理費 5,275千円 小学校心臓検診充実費 5,603千円 中学校心臓検診充実費 2,737千円 結核予防対策費 107千円		
事業評価	適切な健康管理と環境衛生の確保によって、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図ることができた。今後も継続実施する。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	へき地校通学対策費	所管課	学校教育課								
		決算額	19,284千円								
事業内容	へき地における特殊な教育条件を考慮し、教育水準の維持・向上を図り、児童・生徒の通学の疲労を軽減するために、笠取地区内及び笠取地区と市街地を結ぶ通学用輸送車を運行する。										
成果・実績	笠取地区スクールバス3台及び給食配送車の運行・維持管理を行った。 （笠取小学校特認校児童の送迎を含む） <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 70%;">特認入学パンフレット印刷費</td> <td style="text-align: right;">74千円</td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等維持管理費</td> <td style="text-align: right;">456千円</td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等運転委託料</td> <td style="text-align: right;">14,784千円</td> </tr> <tr> <td>スクールバス購入費</td> <td style="text-align: right;">3,970千円</td> </tr> </table>			特認入学パンフレット印刷費	74千円	笠取地区通学バス等維持管理費	456千円	笠取地区通学バス等運転委託料	14,784千円	スクールバス購入費	3,970千円
特認入学パンフレット印刷費	74千円										
笠取地区通学バス等維持管理費	456千円										
笠取地区通学バス等運転委託料	14,784千円										
スクールバス購入費	3,970千円										
事業評価	へき地における教育水準の維持・向上を図ることができた。山間部の通学と特認校制度維持に必要であり、継続実施する。										

事務事業名	小・中学校教材充実費	所管課	学校教育課				
		決算額	56,325千円				
事業内容	各教科の授業等で必要な教材について、教材備品の整備に関する規定を設けるなど学校間の格差が生じないように配慮しながら、教材の充実を図る。						
成果・実績	小・中学校の一般教材備品、理科教育振興備品などの充実を図り、教育環境の整備に努めた。 <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 70%;">小学校教材充実費</td> <td style="text-align: right;">37,577千円</td> </tr> <tr> <td>中学校教材充実費</td> <td style="text-align: right;">18,748千円</td> </tr> </table>			小学校教材充実費	37,577千円	中学校教材充実費	18,748千円
小学校教材充実費	37,577千円						
中学校教材充実費	18,748千円						
事業評価	教材等の購入費用について適正に執行し、児童・生徒の教育環境を整備できた。今後も継続して教材の充実に努める。						

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	小・中学校就学援助費	所管課	学校教育課						
		決算額	155,073千円						
事業内容	義務教育を受ける機会を均等に保障するため、経済的な理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学校で必要な学用品費、給食費、校外活動費、医療費などの援助を行う。								
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">小学校就学援助費</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">108,722千円</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>中学校就学援助費</td> <td style="text-align: right;">46,351千円</td> <td></td> </tr> </table>			小学校就学援助費	108,722千円		中学校就学援助費	46,351千円	
小学校就学援助費	108,722千円								
中学校就学援助費	46,351千円								
事業評価	就学援助費の支給を適正に執行し、児童・生徒の教育機会を確保することができた。様々な生活環境の子どもが均等に義務教育を受けられるよう、平成24年度も継続実施する。								

事務事業名	私立幼稚園就園助成費補助金	所管課	学校教育課												
		決算額	234,252千円												
事業内容	宇治市内に居住し、私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、国庫補助基準額による所得基準に応じて助成を行うことにより、保護者の経済的負担軽減と幼稚園教育の振興を図る。														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">助成者数 (人)</td> </tr> <tr> <td style="width: 30%;">満3歳児</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">75</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td style="text-align: right;">692</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td style="text-align: right;">950</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td style="text-align: right;">993</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">2,710</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">満3歳児は3歳の誕生日を迎えた園児</p>			助成者数 (人)		満3歳児	75	3歳児	692	4歳児	950	5歳児	993	合計	2,710
助成者数 (人)															
満3歳児	75														
3歳児	692														
4歳児	950														
5歳児	993														
合計	2,710														
事業評価	国庫補助基準に沿って適正に助成し、保護者の経済的負担を軽減することができた。平成24年度も継続実施する。														

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	緊急安全対策事業費	所管課	教育総務課・学校教育課
		決算額	38,304千円
事業内容	幼稚園、小・中学校に、地域・保護者の協力を得て学校運営支援員（スクールサポーター）を配置し、園児、児童・生徒の安全確保を図る。		
成果・実績	<p>地域緊急安全対策事業費（教育総務課） 37,801千円 35校・園のモニターカメラ監視、校内巡視、門扉状況監視</p> <p>幼稚園緊急安全対策事業費（学校教育課） 503千円 私立幼稚園における運営支援員の配置に対して補助を行った。</p>		
事業評価	私立幼稚園の安全対策補助金を適正に執行するとともに、幼稚園、小・中学校で各種安全対策を講じ、園児、児童・生徒の安全を確保することができた。今後はスクールサポーターの高齢化や人材確保への対応を検討しながら、引き続き安全の確保に努める。		

事務事業名	学校版環境ISO実施事業費	所管課	学校教育課
		決算額	887千円
事業内容	幼稚園、小・中学校が環境問題に目を向け、身近な学校生活の中で環境に配慮した生活態度を実践するため、園児、児童・生徒、教職員が環境活動について計画、行動、点検、見直しを行う。		
成果・実績	各幼稚園、小・中学校において、園・校内の緑化運動や、ごみの分別、ペットボトルのエコキャップ回収運動、節電・節水など、環境に配慮した学習や活動を実施した。		
事業評価	学校生活の中での環境活動を促し、環境教育を進めることができた。今後はより自主的な活動を促進し、環境意識を啓発できるよう事業の改善を検討する。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	小・中学校「総合的な学習の時間」推進費	所管課	学校教育課
		決算額	11,691千円
事業内容	画一的な授業ではなく、地域や子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開する。国際理解、環境、情報、福祉、健康など従来の教科等の枠を超えた横断的、総合的な学習をより円滑に実施する。		
成果・実績	小学校「総合的な学習の時間」推進費	6,403千円	
	主な学習内容 ・食に関する指導充実推進 ・環境保護活動		
成果・実績	中学校「総合的な学習の時間」推進費	5,288千円	
	主な学習内容 ・国際（異文化）理解学習 ・職場体験学習		
事業評価	社会人講師等によって従来の授業とは異なる学習を行うことにより、幅広い教育振興を図ることができた。今後も児童・生徒への様々な分野の学習機会の提供に努める。		

事務事業名	小・中学校特別支援教育費	所管課	学校教育課
		決算額	6,051千円
事業内容	特別な支援を必要とする児童・生徒の就学を保障するため、特別支援学級等の運営を行う。また、特別支援学級在級児童・生徒の保護者の経済的負担軽減を図り、義務教育を保障するため、就学奨励費の支給事業を行う。		
成果・実績	小学校特別支援教育費	1,865千円	
	中学校特別支援教育費	2,810千円	
成果・実績	小学校19校36学級、中学校9校15学級の特別支援学級を設置し、児童・生徒の発達促進と学力充実に努めるとともに、就学奨励費を支給した。		
	小学校特別支援学級開設費	498千円	
	中学校特別支援学級開設費	878千円	
事業評価	就学奨励費の支給や物品の購入などによって、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育機会を確保することができた。今後も継続実施する。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	小学校歯科治療助成事業費	所管課	学校教育課
		決算額	10,570千円
事業内容	<p>児童の健全な発育のために、乳歯から永久歯へ生え変わる時期に歯の治療を行い、口腔衛生を保つことは重要である。特に低学年で未処置歯のある者の割合が高いため、小学1年生を対象に治療費の助成を行い、児童の歯の治療を促進する。</p>		
成果・実績	<p>宇治市在住の小学校1年生を対象に歯科治療費保険診療分の自己負担金の一部助成を行った。</p>		
事業評価	<p>適切な治療費の助成によって、保護者の経済的負担を軽減するとともに、歯の治療を促進して児童の健全な発育を図ることができた。効果的に健全な発育を促すため平成24年度も継続実施する。</p>		

事務事業名	フッ化物洗口事業費	所管課	学校教育課						
		決算額	1,883千円						
事業内容	<p>児童の健全な発育のために、乳歯から永久歯へ生え変わる時期に小学校でフッ化物洗口を実施し、虫歯を予防する。</p>								
成果・実績	<p>児童の健全な発育のために、全校・全学年児童の希望者を対象に、平成23年度2学期から虫歯予防効果の高いフッ化物洗口を実施した。</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>事業実施児童数</td> <td style="text-align: right;">9,813人</td> </tr> <tr> <td>事業実施率</td> <td style="text-align: right;">約90%</td> </tr> <tr> <td>平均実施回数</td> <td style="text-align: right;">13回</td> </tr> </table>			事業実施児童数	9,813人	事業実施率	約90%	平均実施回数	13回
事業実施児童数	9,813人								
事業実施率	約90%								
平均実施回数	13回								
事業評価	<p>フッ化物洗口によって児童の健全な発育を促進することができた。今後も継続実施し、虫歯予防の効果を検証する必要がある。</p>								

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	給食・調理環境充実費（管理運営分）	所管課	学校教育課																
		決算額	187,381千円																
事業内容	小学校給食運営の中で、本市調理職員が行っていた調理業務のみを学校単位で段階的に民間の給食専門会社に委託し、これまでの給食内容を変えることなく、運営経費の効率化を図り、それによって確保された財源で多様な子どもたちのニーズを踏まえた学校給食等の条件整備を行う。																		
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">調理業務委託料</td> <td style="width: 20%;">13校委託</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">151,402千円</td> </tr> <tr> <td>嘱託栄養士配置</td> <td>10校</td> <td></td> <td style="text-align: right;">27,064千円</td> </tr> <tr> <td>磁器食器購入費</td> <td>委託校の食器の補充</td> <td></td> <td style="text-align: right;">6,232千円</td> </tr> <tr> <td>調理用備品購入費</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,683千円</td> </tr> </table>			調理業務委託料	13校委託		151,402千円	嘱託栄養士配置	10校		27,064千円	磁器食器購入費	委託校の食器の補充		6,232千円	調理用備品購入費			2,683千円
調理業務委託料	13校委託		151,402千円																
嘱託栄養士配置	10校		27,064千円																
磁器食器購入費	委託校の食器の補充		6,232千円																
調理用備品購入費			2,683千円																
事業評価	調理委託によって給食運営の効率化を図るとともに、確保した財源によって学校給食環境の整備を行い、成長期にある児童の健全な育成を推進することができた。今後も継続実施し、効率的な給食運営と給食環境の改善に努める。																		

事務事業名	中学校昼食提供事業費	所管課	学校教育課				
		決算額	3,735千円				
事業内容	中学校での昼食は生徒が弁当を持参することを原則としているが、家庭の事情等で持参できない場合に補完するため昼食の提供を行う。						
成果・実績	<p>南宇治中学校において昼食弁当提供の試行実施を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">昼食平均利用率</td> <td style="width: 20%;">10.1%</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> </table>			昼食平均利用率	10.1%		
昼食平均利用率	10.1%						
事業評価	弁当が持参できない生徒に栄養面を考慮した昼食を提供することにより、生徒の健全な発育を促進できた。今後も利用状況を確認しながら実施手法を検討する。						

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	02 学校教育環境の充実	

事務事業名	学校施設耐震改修事業費	所管課	学校教育課												
		決算額	753,228千円												
事業内容	平成18年度実施の第2次耐震診断の結果を踏まえ、補強が必要な建物について耐震性能を確保するため、耐震工事を実施する。														
成果・実績	<p>耐震診断によって、耐震力が不足すると判断された学校（園）施設のうち、6校の耐震工事を行った。 また、次年度以降の工事に向けて設計委託を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小学校耐震改修事業費</td> <td style="text-align: right;">633,923千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">菟道第二・神明・小倉・大開小学校耐震補強工事ほか</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中学校耐震改修事業費</td> <td style="text-align: right;">115,504千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">宇治・西宇治中学校耐震補強工事ほか</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">幼稚園耐震改修事業費</td> <td style="text-align: right;">3,801千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">神明幼稚園耐震補強実施設計他業務委託</td> <td></td> </tr> </table>			小学校耐震改修事業費	633,923千円	菟道第二・神明・小倉・大開小学校耐震補強工事ほか		中学校耐震改修事業費	115,504千円	宇治・西宇治中学校耐震補強工事ほか		幼稚園耐震改修事業費	3,801千円	神明幼稚園耐震補強実施設計他業務委託	
小学校耐震改修事業費	633,923千円														
菟道第二・神明・小倉・大開小学校耐震補強工事ほか															
中学校耐震改修事業費	115,504千円														
宇治・西宇治中学校耐震補強工事ほか															
幼稚園耐震改修事業費	3,801千円														
神明幼稚園耐震補強実施設計他業務委託															
事業評価	平成25年度までの耐震化完了に向け、計画に沿って耐震補強工事等を行った。今後も学校（園）運営上の影響を最小限に抑えるように努めながら、国の補助等を考慮し、早期完了を目標として耐震化に取り組む。														

事務事業名	幼稚園、小・中学校維持整備事業	所管課	学校教育課																								
		決算額	734,050千円																								
事業内容	学校教育環境の充実と安全性の確保のため、幼稚園、小・中学校の施設・設備について、老朽化対応修繕、緊急修繕、及び法令等に適合させる修繕を行う。また、老朽化と損耗が著しい施設・設備について、計画的に改修を実施する。さらに、第2次学校施設整備計画に基づいて、トイレ改修や空調機の設置など大規模改造事業を実施する。																										
成果・実績	<p>良好な教育環境の確保と施設の維持・保全を図るために対応を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">幼稚園維持修繕費</td> <td style="padding-left: 20px;">各幼稚園施設の小修理ほか</td> <td style="text-align: right;">1,013千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">幼稚園施設整備費</td> <td style="padding-left: 20px;">大久保幼稚園グラウンド改修ほか</td> <td style="text-align: right;">9,278千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小学校維持修繕費</td> <td style="padding-left: 20px;">各小学校施設の小修理ほか</td> <td style="text-align: right;">43,542千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小学校施設整備費</td> <td style="padding-left: 20px;">南部小学校プール改修ほか</td> <td style="text-align: right;">44,627千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小学校大規模改造事業費</td> <td style="padding-left: 20px;">空調機設置工事ほか</td> <td style="text-align: right;">312,611千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中学校維持修繕費</td> <td style="padding-left: 20px;">各中学校施設の小修理ほか</td> <td style="text-align: right;">22,921千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中学校施設整備費</td> <td style="padding-left: 20px;">南宇治中学校防球ネット改修ほか</td> <td style="text-align: right;">27,383千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中学校大規模改造事業費</td> <td style="padding-left: 20px;">空調機設置工事ほか</td> <td style="text-align: right;">272,675千円</td> </tr> </table>			幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理ほか	1,013千円	幼稚園施設整備費	大久保幼稚園グラウンド改修ほか	9,278千円	小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理ほか	43,542千円	小学校施設整備費	南部小学校プール改修ほか	44,627千円	小学校大規模改造事業費	空調機設置工事ほか	312,611千円	中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理ほか	22,921千円	中学校施設整備費	南宇治中学校防球ネット改修ほか	27,383千円	中学校大規模改造事業費	空調機設置工事ほか	272,675千円
幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理ほか	1,013千円																									
幼稚園施設整備費	大久保幼稚園グラウンド改修ほか	9,278千円																									
小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理ほか	43,542千円																									
小学校施設整備費	南部小学校プール改修ほか	44,627千円																									
小学校大規模改造事業費	空調機設置工事ほか	312,611千円																									
中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理ほか	22,921千円																									
中学校施設整備費	南宇治中学校防球ネット改修ほか	27,383千円																									
中学校大規模改造事業費	空調機設置工事ほか	272,675千円																									
事業評価	施設の維持・保全によって、園児、児童・生徒の安全確保と良好な教育環境整備を図ることができた。今後も計画的な施設の維持・整備とともに、各施設の状態に応じて適切な対応を行う。																										

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	02 学校教育環境の充実	

事務事業名	木幡小学校増改築事業費	所管課	学校教育課				
		決算額	388,634千円				
事業内容	「宇治市小中一貫教育と学校規模等適正化の方向～NEXUSプラン～」に基づいた校区再編に伴う木幡小学校北校舎の増改築・既存校舎の改修・周辺整備を実施する。						
成果・実績	<p>校区再編に伴って、北校舎の増改築等を実施した。</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>校舎増改築工事・仮設校舎解体工事</td> <td style="text-align: right;">361,471千円</td> </tr> <tr> <td>工事監理業務委託ほか</td> <td style="text-align: right;">27,163千円</td> </tr> </table>			校舎増改築工事・仮設校舎解体工事	361,471千円	工事監理業務委託ほか	27,163千円
校舎増改築工事・仮設校舎解体工事	361,471千円						
工事監理業務委託ほか	27,163千円						
事業評価	予定通りに工事を完了し、児童の教育環境を整えることができた。						

事務事業名	教育情報ネットワークシステム環境整備事業費	所管課	学校教育課				
		決算額	48,538千円				
事業内容	学校情報セキュリティ対策について、ネットワークの整備を行うとともに、教職員用校務支援パソコンの整備率を高め、学校の情報資源に対する安全管理対策を行う。						
成果・実績	<p>実践校2校で全教職員に端末整備を行った。</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>委託料等</td> <td style="text-align: right;">48,367千円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td style="text-align: right;">171千円</td> </tr> </table>			委託料等	48,367千円	使用料	171千円
委託料等	48,367千円						
使用料	171千円						
事業評価	実践校において配置した教育情報ネットワークの整備について検証を行った。今後も全校配置を目指して運用方法について検討を行う。						

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	02 学校教育環境の充実

所管部局
教育部

事務事業名	給食・調理環境充実費（施設整備分）	所管課	学校教育課				
		決算額	59,532千円				
事業内容	給食環境の条件整備を図り、教育の一環として給食を充実させるためランチルームを整備する。また、給食調理室の衛生管理と調理業務従事者の労働安全衛生を確保するために、調理室内の整備を行う。						
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">西小倉小学校ランチルーム整備</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">13,445千円</td> </tr> <tr> <td>岡屋小学校給食調理室改修</td> <td style="text-align: right;">46,087千円</td> </tr> </table>			西小倉小学校ランチルーム整備	13,445千円	岡屋小学校給食調理室改修	46,087千円
西小倉小学校ランチルーム整備	13,445千円						
岡屋小学校給食調理室改修	46,087千円						
事業評価	ランチルームの整備によって学校給食環境の充実を図ることができた。今後も計画的に整備を行う。						

事務事業名	神明小学校増築事業費	所管課	学校教育課								
		決算額	5,872千円								
事業内容	児童数推計において児童数が増加するため教室不足が見込まれる神明小学校の増築等を実施する。										
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4">教室不足が見込まれる神明小学校の環境整備を行った。</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">校舎増築工事他設計業務委託</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">3,570千円</td> </tr> <tr> <td>教室改修に係る修繕</td> <td style="text-align: right;">2,302千円</td> </tr> </table>			教室不足が見込まれる神明小学校の環境整備を行った。				校舎増築工事他設計業務委託	3,570千円	教室改修に係る修繕	2,302千円
教室不足が見込まれる神明小学校の環境整備を行った。											
校舎増築工事他設計業務委託	3,570千円										
教室改修に係る修繕	2,302千円										
事業評価	教室不足への対応を計画的に進めており、順調に事業実施できた。今後も平成25年度の完成を目指し整備を進める。										

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	02 学校教育環境の充実

所管部局
教育部

事務事業名	宇治中学校改築事業費	所管課	学校教育課
		決算額	23,452千円
事業内容	良好な教育環境の確保と施設の維持・保全を図るため、老朽化した宇治中学校の改築を実施する。		
成果・実績	<p>老朽化した宇治中学校の改築設計業務を行った。</p> <p style="text-align: center;">校舎・屋体改築設計業務委託 23,452千円</p>		
事業評価	老朽化に対応し、計画的に改修設計を行った。今後も生徒の学校教育環境を維持・向上するため整備を進める。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	障害者教室開催費	所管課	生涯学習課																													
		決算額	190千円																													
事業内容	「宇治市障害者福祉基本計画」の趣旨を踏まえ、障害者の自立と社会参加を促進するため、学習機会の提供と仲間づくりを目的として、障害者関係団体及びボランティアと連携しながら、障害の種別に応じた障害者教室を開催する。																															
成果・実績	障害の種別に合わせた講座（心身障害者教室13回、肢体障害者教室1回、視覚障害者教室1回、聴覚障害者教室3回）と、身体障害者向けの合同講座を1回開催し、延べ524人の参加があった。 各障害者教室開催状況																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>対象者</th> <th>人数</th> <th>内容</th> <th>対象者</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>やまぶき学級（2回）</td> <td>心身障害者</td> <td>107</td> <td>社会見学</td> <td>視覚障害者</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">やまぶきコーヒーハウス（11回）</td> <td rowspan="2">心身障害者</td> <td rowspan="2">239</td> <td>社会見学</td> <td>聴覚障害者</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>防災講座</td> <td>聴覚障害者</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>社会見学</td> <td>肢体障害者</td> <td>22</td> <td>健康講座</td> <td>身体障害者</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>						内容	対象者	人数	内容	対象者	人数	やまぶき学級（2回）	心身障害者	107	社会見学	視覚障害者	17	やまぶきコーヒーハウス（11回）	心身障害者	239	社会見学	聴覚障害者	54	防災講座	聴覚障害者	40	社会見学	肢体障害者	22	健康講座	身体障害者
内容	対象者	人数	内容	対象者	人数																											
やまぶき学級（2回）	心身障害者	107	社会見学	視覚障害者	17																											
やまぶきコーヒーハウス（11回）	心身障害者	239	社会見学	聴覚障害者	54																											
			防災講座	聴覚障害者	40																											
社会見学	肢体障害者	22	健康講座	身体障害者	45																											
事業評価	障害者団体やボランティアと連携した教室の開催により、障害者の学習機会の提供と仲間づくりを促進できた。しかし、参加人数が減少傾向にあることから、新たな参加者を増やすために、事業のあり方や運営方法を検討し、事業のさらなる充実に向け、改善を図る必要がある。																															

事務事業名	人材バンク事業費	所管課	生涯学習課																																					
		決算額	98千円																																					
事業内容	市内を中心に活動する個人講師やグループの人材情報等を集めた「宇治市生涯学習人材バンク」を構築し、市ホームページ上と冊子版（市内公共施設で配付）で情報を提供することにより、総合的な市民の学習活動を促進する。また、「市民講師学習講座」の開催等により登録講師の指導技術向上を図り、人材バンクの広報を行う。																																							
成果・実績	ホームページと冊子版による管理・運営のほか、登録講師からも企画を募集し、「市民講師学習講座」（4回・延べ92人参加）を開催して登録講師相互の技術向上を図った。前年度から登録者数・新規登録者数ともに増加した。 登録者数の推移（人）																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>18</th> <th>19</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数</td> <td>149</td> <td>172</td> <td>137</td> <td>127</td> <td>121</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>107</td> <td>127</td> <td>98</td> <td>95</td> <td>91</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>団体</td> <td>42</td> <td>45</td> <td>39</td> <td>32</td> <td>30</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>うち新規</td> <td>-</td> <td>23</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> 運用開始時（平成19年1月11日）の登録者数：125件						年度	18	19	20	21	22	23	登録者数	149	172	137	127	121	125	個人	107	127	98	95	91	94	団体	42	45	39	32	30	31	うち新規	-	23	16	10	9
年度	18	19	20	21	22	23																																		
登録者数	149	172	137	127	121	125																																		
個人	107	127	98	95	91	94																																		
団体	42	45	39	32	30	31																																		
うち新規	-	23	16	10	9	19																																		
事業評価	学びたい意欲を持つ人と自身の持つ力を発信したい人の双方のニーズに応えるシステムの運用によって市民の総合的な学習活動を促進することができた。今後は、より広報に努めるとともに、利用実態を把握し、事業のあり方を検討する必要がある。																																							

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	子どもの読書活動推進事業費	所管課	生涯学習課
		決算額	387千円
事業内容	子どもの感性を磨き、人間性を深めるため、自主的な読書習慣を身に付けられるよう、「宇治市子どもの読書活動推進計画」に基づき、家庭や学校、地域で子どもの読書活動の環境を整える。		
成果・実績	<p>「宇治市子どもの読書活動推進計画」（平成19年3月策定）での取組を踏まえ、「宇治市子どもの読書活動推進計画（第二次推進計画）」（計画期間平成24～33年度）を策定した。</p> <p>また、子どもの自主的な読書活動を推進するため、学校教育課、教育指導課、中央図書館、学校図書館司書と連携し、読み聞かせ会と本のリサイクル市を行った。</p> <p>読み聞かせ会と本のリサイクル市 開催日 平成24年3月23日 場所 宇治市生涯学習センター 対象 市内在住・在勤・在学者 参加者数 100人（保護者を含む）</p>		
事業評価	前計画を総括して新たな計画を策定するとともに、様々な取組によって子どもの読書活動を促進することができた。今後は第二次推進計画の理念に基づき、市民へ積極的に広報し、関係機関と連携を深めながらさらなる読書活動の推進に取り組む。		

事務事業名	放課後子ども教室支援事業費	所管課	生涯学習課															
		決算額	318千円															
事業内容	平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域の参画を得て、子どもに安全・安心な居場所を提供し、自主的な学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの支援を行う。また、地域の人材を活用することによって地域と学校との連携を図り、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進める。																	
成果・実績	<p>遊びや学びの場を提供する地域活動に対して、備品等の購入・貸出や、学習アドバイザー及び安全管理員の派遣を行い、子どもの放課後の居場所を確保した。</p> <p>新たに北槇島小学校で事業実施し、異年齢の交流や自主的な学習の支援によって子どもの健全育成を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>開催場所</th> <th>開催期間</th> <th>開催回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇治小子どもの居場所づくり</td> <td>宇治小学校</td> <td>5月14日～ 24年3月10日</td> <td style="text-align: center;">44</td> <td style="text-align: center;">延べ871人</td> </tr> <tr> <td>北槇つながりプロジェクト</td> <td>北槇島小学校</td> <td>7月2日～ 24年2月22日</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">延べ697人</td> </tr> </tbody> </table>			教室名	開催場所	開催期間	開催回数	参加人数	宇治小子どもの居場所づくり	宇治小学校	5月14日～ 24年3月10日	44	延べ871人	北槇つながりプロジェクト	北槇島小学校	7月2日～ 24年2月22日	12	延べ697人
教室名	開催場所	開催期間	開催回数	参加人数														
宇治小子どもの居場所づくり	宇治小学校	5月14日～ 24年3月10日	44	延べ871人														
北槇つながりプロジェクト	北槇島小学校	7月2日～ 24年2月22日	12	延べ697人														
事業評価	実施校が増え、子どもの居場所と学びの場づくりを推進することができた。今後も地域ボランティアが継続して活動できるような支援が必要である。																	

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	公民館活動費	所管課	生涯学習課																																									
		決算額	2,904千円																																									
事業内容	<p>公民館を拠点として活動する市民が、より住みよい地域づくりの担い手として活動するため、市民がいつでも気軽に利用できる公民館を目指し、地域住民の学習意欲や社会の変化に対応する各種講座や教室の開設、文化活動事業など、学習機会を提供する。</p>																																											
成果・実績	<p>成人を対象として女声コーラス入門講座、各種料理講習会等を実施した。子どもを対象として工作、理科、少年少女合唱クラブ、茶道クラブなどを、親子を対象として木工、料理などの各種講座を開設した。また展覧会や演奏発表会の開催など、各公民館で活動するサークルの育成、支援を行った。</p>																																											
	中央公民館活動費	1,280千円																																										
	木幡公民館活動費	337千円																																										
	宇治公民館活動費	358千円																																										
	小倉公民館活動費	566千円																																										
	広野公民館活動費	363千円																																										
	<p>高齢者を対象とした学級・講座等</p>																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>公民館名</th> <th>事業名</th> <th>講座数</th> <th>参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中央</td> <td>宇治鳳凰大学(4コース)</td> <td>各12</td> <td>3,859</td> </tr> <tr> <td>宇治鳳凰大学 大学祭</td> <td>1</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>宇治</td> <td>宇治鳳凰学級</td> <td>10</td> <td>1,632</td> </tr> <tr> <td>木幡</td> <td>許乃国教室</td> <td>10</td> <td>1,203</td> </tr> <tr> <td>小倉</td> <td>小倉高齢者教室</td> <td>10</td> <td>977</td> </tr> <tr> <td>広野</td> <td>広野高齢者教室</td> <td>10</td> <td>1,296</td> </tr> </tbody> </table>			公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数	中央	宇治鳳凰大学(4コース)	各12	3,859	宇治鳳凰大学 大学祭	1	400	宇治	宇治鳳凰学級	10	1,632	木幡	許乃国教室	10	1,203	小倉	小倉高齢者教室	10	977	広野	広野高齢者教室	10	1,296														
	公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数																																								
	中央	宇治鳳凰大学(4コース)	各12	3,859																																								
宇治鳳凰大学 大学祭		1	400																																									
宇治	宇治鳳凰学級	10	1,632																																									
木幡	許乃国教室	10	1,203																																									
小倉	小倉高齢者教室	10	977																																									
広野	広野高齢者教室	10	1,296																																									
<p>公民館まつり等</p>																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>公民館名</th> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">中央</td> <td>公民館まつり</td> <td>1</td> <td>1,900</td> </tr> <tr> <td>人形劇フェスティバル</td> <td>1</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>室内コンサート</td> <td>1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>宇治</td> <td>公民館まつり</td> <td>1</td> <td>4,950</td> </tr> <tr> <td>木幡</td> <td>公民館まつり</td> <td>1</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">小倉</td> <td>公民館まつり</td> <td>1</td> <td>1,075</td> </tr> <tr> <td>茶香服大会</td> <td>1</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>しめ縄づくり教室</td> <td>1</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>盆おどり大会・講習会</td> <td>3</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">広野</td> <td>ジャズコンサート</td> <td>1</td> <td>153</td> </tr> <tr> <td>水彩画展(共催)</td> <td>1</td> <td>412</td> </tr> </tbody> </table>			公民館名	事業名	回数	参加延べ人数	中央	公民館まつり	1	1,900	人形劇フェスティバル	1	350	室内コンサート	1	100	宇治	公民館まつり	1	4,950	木幡	公民館まつり	1	1,800	小倉	公民館まつり	1	1,075	茶香服大会	1	33	しめ縄づくり教室	1	33	盆おどり大会・講習会	3	290	広野	ジャズコンサート	1	153	水彩画展(共催)	1	412
公民館名	事業名	回数	参加延べ人数																																									
中央	公民館まつり	1	1,900																																									
	人形劇フェスティバル	1	350																																									
	室内コンサート	1	100																																									
宇治	公民館まつり	1	4,950																																									
木幡	公民館まつり	1	1,800																																									
小倉	公民館まつり	1	1,075																																									
	茶香服大会	1	33																																									
	しめ縄づくり教室	1	33																																									
	盆おどり大会・講習会	3	290																																									
広野	ジャズコンサート	1	153																																									
	水彩画展(共催)	1	412																																									
事業評価	<p>公民館を拠点とした多くの市民の事業への参加・活動により、生きがいつくりや地域づくりを進めることができた。今後も年齢を問わず様々な市民が活動できるよう支援するとともに、地域貢献に取り組む人材を育成できるよう事業内容を工夫する必要がある。</p>																																											

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	子どもの居場所づくり支援事業費	所管課	生涯学習課
		決算額	250千円
事業内容	土曜日午前公民館の一室を開放し、公民館サークルや地域ボランティアによる遊びや自然・文化体験またはスポーツなどの学習指導を行う。子どもに生活体験・社会体験・自然体験の機会を提供し、健やかな成長を促す。		
成果・実績	遊びや自然・文化体験またはスポーツなどの学習指導により、子どもたちが学校や家庭では経験できない種々の体験をし、優しさやたくましさを育む活動や場所を提供・支援した。5公民館で開催回数は81回、延べ1,856人が参加した。		
事業評価	公民館サークルや地域住民の協力による様々な体験活動により、地域の人との触れ合いを通して子どもの健やかな成長を促すことができた。今後も創意工夫して事業実施に努める。		

事務事業名	総合野外活動センター管理運営費	所管課	生涯学習課																														
		決算額	116,870千円																														
事業内容	「自然とふれあい、自然のなかでの交流」をテーマに、(公財)宇治市野外活動センターを指定管理者として、総合野外活動センター「アクトパル宇治」の施設管理・運営を行う。センターの各施設を活用した野外活動、宿泊研修、スポーツ活動などを行う。																																
成果・実績	<p>野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性を育むとともに、市民の触れ合いの場を提供するなど、生涯学習の推進を図った。毎年利用者数が増加しており、平成22年度に引き続き、単年度利用者が10万人を越えた。また、9月には開設以来の利用者数が100万人を達成した。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">利用者数</th> <th colspan="5" style="text-align: right;">(人)</th> </tr> <tr> <th style="text-align: left;">年度</th> <th>19</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿泊</td> <td style="text-align: center;">39,582</td> <td style="text-align: center;">41,368</td> <td style="text-align: center;">40,666</td> <td style="text-align: center;">41,417</td> <td style="text-align: center;">40,491</td> </tr> <tr> <td>日帰り</td> <td style="text-align: center;">49,640</td> <td style="text-align: center;">51,116</td> <td style="text-align: center;">57,191</td> <td style="text-align: center;">60,736</td> <td style="text-align: center;">65,131</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">89,222</td> <td style="text-align: center;">92,484</td> <td style="text-align: center;">97,857</td> <td style="text-align: center;">102,153</td> <td style="text-align: center;">105,622</td> </tr> </tbody> </table>			利用者数	(人)					年度	19	20	21	22	23	宿泊	39,582	41,368	40,666	41,417	40,491	日帰り	49,640	51,116	57,191	60,736	65,131	合計	89,222	92,484	97,857	102,153	105,622
利用者数	(人)																																
年度	19	20	21	22	23																												
宿泊	39,582	41,368	40,666	41,417	40,491																												
日帰り	49,640	51,116	57,191	60,736	65,131																												
合計	89,222	92,484	97,857	102,153	105,622																												
事業評価	指定管理者により適正に管理・運営を行い、経営努力により利用者数を増加させることができた。今後も様々な野外活動を通して、生涯学習の充実に努める。																																

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	公民館修繕事業費（臨時分）	所管課	生涯学習課																			
		決算額	19,610千円																			
事業内容	公民館において、利用者の安心・安全の確保や利便性を高めることを目的として、バリアフリー化等の改修工事を行う。																					
成果・実績	京都府介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金を活用し、各公民館において、トイレの一部洋式化等バリアフリー化工事などの施設整備を行った。 （千円） <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th colspan="3">決算額</th> </tr> <tr> <th>工事費</th> <th>設計委託料</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木幡公民館</td> <td style="text-align: right;">5,313</td> <td style="text-align: right;">525</td> <td style="text-align: right;">5,837</td> </tr> <tr> <td>宇治公民館</td> <td style="text-align: right;">6,448</td> <td style="text-align: right;">525</td> <td style="text-align: right;">6,973</td> </tr> <tr> <td>小倉公民館</td> <td style="text-align: right;">6,275</td> <td style="text-align: right;">525</td> <td style="text-align: right;">6,800</td> </tr> </tbody> </table>			施設名	決算額			工事費	設計委託料	計	木幡公民館	5,313	525	5,837	宇治公民館	6,448	525	6,973	小倉公民館	6,275	525	6,800
施設名	決算額																					
	工事費	設計委託料	計																			
木幡公民館	5,313	525	5,837																			
宇治公民館	6,448	525	6,973																			
小倉公民館	6,275	525	6,800																			
事業評価	適切な工事の実施により、利用者の安心・安全の確保や利便性を高めることができた。																					

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	02 スポーツ・レクリエーションの普及	

事務事業名	各種大会事業補助金	所管課	生涯学習課																				
		決算額	4,540千円																				
事業内容	地域に根ざした市民スポーツの推進と競技力の向上を目的に、各種大会等の体育団体の事業を助成し、自主活動の促進と団体育成を図る。																						
成果・実績	大会等に助成を行い、自主活動の促進や団体育成に努めた。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">市長杯等各種競技大会補助金</td> <td style="text-align: right;">1,000千円</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td style="text-align: right;">13,093人</td> </tr> <tr> <td>障害者スポーツ大会補助金</td> <td style="text-align: right;">340千円</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td style="text-align: right;">590人</td> </tr> <tr> <td>宇治川マラソン大会補助金</td> <td style="text-align: right;">600千円</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td style="text-align: right;">3,337人</td> </tr> <tr> <td>地域体育振興事業補助金</td> <td style="text-align: right;">1,500千円</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td style="text-align: right;">39,932世帯</td> </tr> <tr> <td>スポーツ少年団育成事業補助金</td> <td style="text-align: right;">1,100千円</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td style="text-align: right;">67団体</td> </tr> </table>			市長杯等各種競技大会補助金	1,000千円	参加者数	13,093人	障害者スポーツ大会補助金	340千円	参加者数	590人	宇治川マラソン大会補助金	600千円	参加者数	3,337人	地域体育振興事業補助金	1,500千円	参加者数	39,932世帯	スポーツ少年団育成事業補助金	1,100千円	参加者数	67団体
市長杯等各種競技大会補助金	1,000千円																						
参加者数	13,093人																						
障害者スポーツ大会補助金	340千円																						
参加者数	590人																						
宇治川マラソン大会補助金	600千円																						
参加者数	3,337人																						
地域体育振興事業補助金	1,500千円																						
参加者数	39,932世帯																						
スポーツ少年団育成事業補助金	1,100千円																						
参加者数	67団体																						
事業評価	体育協会加盟競技団体等が主催する各種大会を支援し、本市の競技レベルの向上や市民スポーツの推進を図ることができた。平成24年度も継続して支援を行う。																						

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	02 スポーツ・レクリエーションの普及	

事務事業名	全日本中学ボウリング選手権大会事業補助金	所管課	生涯学習課
		決算額	3,399千円
事業内容	<p>(財)地域活性化センターの「スポーツ拠点づくり推進事業」として、平成19年度から平成28年度までの10年間の予定で、本市、宇治市教育委員会、(財)宇治市体育協会、(公財)全日本ボウリング協会などの主催により中学生の全国ボウリング選手権大会を開催する。スポーツ推進とともに、多世代交流、地域交流などを図る。</p>		
成果・実績	<p>40の都道府県から選手187人の参加のもと、7月21日～23日の3日間で大会を実施した。さらに、大会参加者の宿泊所であるアクトパル宇治でお茶会・交流会を開催した。また、同大会の一環として、小学生を対象としたふれあいボウリング教室や、小学4年生～中学2年生を対象としたジュニアボウリングスクールを開催した。</p>		
事業評価	<p>大会の実施によって、スポーツ推進及び地域交流を図ることができた。平成24年度も、参加者の満足度を高めるとともに本市の知名度の向上やまちづくりの観点から、さらなる実施内容の充実を図る。</p>		

事務事業名	スポーツ振興基金活用事業費	所管課	生涯学習課																																
		決算額	3,822千円																																
事業内容	<p>市民の健康・体力の増進、競技力の向上、地域コミュニティの形成、競技人口の拡大を図るため、スポーツ振興基金を活用した諸事業を実施する。</p>																																		
成果・実績	<p>基金を活用し、市民レベルのスポーツ交流の促進、競技力の向上、競技人口の拡大を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">府民総体選手派遣費</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">958千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">22団体</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>世界大会等参加者激励金</td> <td style="text-align: right;">2,414千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">148件</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>生涯スポーツ育成事業</td> <td style="text-align: right;">300千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(財)宇治市体育協会に委託</td> <td style="text-align: right;">13団体</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ジュニア技術講習会</td> <td style="text-align: right;">150千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">宇治市中学校体育連盟に委託</td> <td style="text-align: right;">参加者数</td> <td style="text-align: right;">253人</td> <td></td> </tr> </table>			府民総体選手派遣費	958千円			22団体				世界大会等参加者激励金	2,414千円			148件				生涯スポーツ育成事業	300千円			(財)宇治市体育協会に委託	13団体			ジュニア技術講習会	150千円			宇治市中学校体育連盟に委託	参加者数	253人	
府民総体選手派遣費	958千円																																		
22団体																																			
世界大会等参加者激励金	2,414千円																																		
148件																																			
生涯スポーツ育成事業	300千円																																		
(財)宇治市体育協会に委託	13団体																																		
ジュニア技術講習会	150千円																																		
宇治市中学校体育連盟に委託	参加者数	253人																																	
事業評価	<p>各取組によって市民スポーツの水準向上と競技人口の拡大を図ることができた。激励金については適正な交付基準を検討した上で平成24年度も継続実施する。</p>																																		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	所管課	青少年課
中分類	01 学校教育の充実	決算額	5,752千円
小分類	03 青少年の健全育成		

事務事業名	少年補導活動費	所管課	青少年課
		決算額	5,752千円
事業内容	少年補導委員を中心に、街頭補導活動、社会環境浄化活動、市民啓発活動等を実施し、地域での青少年非行の未然防止に努め、青少年の健全育成を図る。		
成果・実績	<p>各小学校区ごとに補導委員として114人を委嘱し、毎月の校区補導、特別ブロック補導、県祭り、宇治川花火大会での全体補導、パネル展、街頭啓発活動、地域懇談会、社会環境調査、浄化活動などを実施した。</p> <p>啓発パネル展 2回開催 (7月4日～15日、10月31日～11月9日) 地域懇談会(校区の小・中学校及び育友会と共催) 9中学校区で開催</p>		
事業評価	地域住民による警察と連携した活動により、青少年の非行の未然防止を図ることができた。今後も市民啓発と委員研修の充実を行うとともに、委員の人材確保に努める必要がある。		






事務事業名	中学生の主張大会開催費	所管課	青少年課
		決算額	1,509千円
事業内容	中学生、保護者、市民などが参加し、各中学校の代表生徒が主張を発表して互いに考え学び合う機会とするとともに、市民全般に中学生への理解と認識を深め、青少年の健全育成を推進する。		
成果・実績	<p>中学生が考え、悩み、求めていることを発表し、市民の青少年に対する理解と認識を深めるため、第30回宇治市「中学生の主張」大会を開催した。</p> <p>開催日 10月29日 開催場所 宇治市文化センター 大ホール 発表者数 中学生10人 参加者 780人</p>		
事業評価	中学生が学校や家庭・地域での生活の中で、考え、悩み、求めていることを発表することにより、同世代の青少年が学び合うとともに、中学生への理解と認識を深めることができた。一般参加の増加を図るため広報の充実を図り、平成24年度も継続実施する。		



平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	03 青少年の健全育成	

事務事業名	青少年健全育成推進費	所管課	青少年課				
		決算額	2,467千円				
事業内容	青少年の健全育成及び社会環境づくりの推進を図るため、社会参加等の青少年育成事業を実施するとともに、青少年育成団体の活動を助成し、青少年育成に係る啓発活動を行う。						
成果・実績	市内団体で組織されている地区青少年健全育成協議会の活動に対し援助を行った。また、ジュニアリーダーの育成を目指す養成学習会をマリンピアで行った。						
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 40%;">青少年健全育成協議会補助金</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">1,500千円</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> </tr> <tr> <td>ジュニアリーダー養成学習会</td> <td style="text-align: right;">967千円</td> </tr> </table>	青少年健全育成協議会補助金	1,500千円		ジュニアリーダー養成学習会	967千円	
青少年健全育成協議会補助金	1,500千円						
ジュニアリーダー養成学習会	967千円						
事業評価	各種関係団体が連携しながら、青少年の自発的な社会参加を求め、青少年の健全育成を図ることができた。活動スタッフの確保や、中・高校生のジュニアリーダー人員の減少などの課題があり、広報に努めながら平成24年度も継続実施する。						

事務事業名	生徒指導研究推進費	所管課	青少年課															
		決算額	4,284千円															
事業内容	児童・生徒の問題行動は低年齢化等の課題があり、適切な指導体制、相談体制を確保するため、生徒指導の推進と研究、指導体制の整備、保護者に対する啓発などを行う。																	
成果・実績	生徒指導の研究や保護者への啓発を行うとともに、児童・生徒の問題行動に対し適切な指導を行うため、教職員に対して研修助成、事例研究セミナーなどを開催した。																	
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 20%;">問題行動</td> <td style="width: 10%;">延べ指導人数</td> <td style="width: 15%;">小学校</td> <td style="width: 15%;">540人（前年比 177人増）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中学校</td> <td>1,492人（前年比 416人減）</td> </tr> <tr> <td>不登校</td> <td>人数</td> <td>小学校</td> <td>43人（前年比 増減無）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中学校</td> <td>170人（前年比 4人減）</td> </tr> </table>	問題行動	延べ指導人数	小学校	540人（前年比 177人増）			中学校	1,492人（前年比 416人減）	不登校	人数	小学校	43人（前年比 増減無）			中学校	170人（前年比 4人減）	
問題行動	延べ指導人数	小学校	540人（前年比 177人増）															
		中学校	1,492人（前年比 416人減）															
不登校	人数	小学校	43人（前年比 増減無）															
		中学校	170人（前年比 4人減）															
事業評価	研修や啓発などにより、適切な生徒指導を行うことができた。今後は、新たなタイプの問題行動や不登校にも対応するために、専門家による相談体制の充実や学校・教員への支援などの検討を行いながら、さらなる指導力の向上を図る必要がある。																	

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	03 青少年の健全育成	

事務事業名	適応指導教室運営費	所管課	青少年課																	
		決算額	8,333千円																	
事業内容	不登校の児童・生徒が学校生活や社会生活に適応できるよう、教室を開設し、指導員とカウンセラーが個別及び集団による援助・指導を行う。																			
成果・実績	<p>小学校3年生から中学校3年生までの不登校児童・生徒に対して、個々の状態に応じて適応指導教室で受け入れ、学校、保護者、関係機関と連携を図り、学校復帰へ向けて支援を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">在籍児童生徒数</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">12人</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">改善状況</td> <td>学校復帰</td> <td>0人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>部分登校</td> <td>4人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>好転</td> <td>6人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>変化なし</td> <td>2人</td> <td></td> </tr> </table>			在籍児童生徒数		12人		改善状況	学校復帰	0人		部分登校	4人		好転	6人		変化なし	2人	
在籍児童生徒数		12人																		
改善状況	学校復帰	0人																		
	部分登校	4人																		
	好転	6人																		
	変化なし	2人																		
事業評価	教室を通して支援・指導を行うことで、児童・生徒の学校・社会生活への適応を促進することができた。複合した要因を持つ不登校児童・生徒が増加傾向にあり、多様な対応が求められるため、今後も学校や関係機関との連携を強化し、学校復帰できるよう効果的な教室運営に努める。																			

事務事業名	心と学びのパートナー派遣事業費	所管課	青少年課								
		決算額	2,527千円								
事業内容	問題行動や不登校の未然防止を図るため、生徒がいつでも気軽に相談できるよう、身近に感じられる兄弟的な若い世代の相談員を配置し、別室登校や不登校傾向生徒の援助を行う。										
成果・実績	<p>別室登校や不登校傾向の生徒の悩みに気軽に応じる相談員として、臨床心理を専攻する大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」を市内9中学校に派遣した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">相談件数</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">316件</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>対応延べ人数</td> <td></td> <td>1,716人</td> <td></td> </tr> </table>			相談件数		316件		対応延べ人数		1,716人	
相談件数		316件									
対応延べ人数		1,716人									
事業評価	相談員の配置によって気軽に相談できる環境を整備し、家庭・学校・関係機関等と連携しながら問題行動や不登校の未然防止を図ることができた。今後も相談員となる人材の確保に努める必要がある。										

平成 23 年度決算成果説明書


総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	03 青少年の健全育成


所管部局
教育部

事務事業名	メンタルフレンド推進事業費	所管課	青少年課												
		決算額	1,053千円												
事業内容	家庭に閉じこもった状態の不登校児童・生徒宅へ学生ボランティアを派遣し、心の触れ合いを通して学校復帰へのきっかけをつくる。														
成果・実績	<p>学生ボランティアが家庭訪問を行い、不登校、引きこもり状態の児童・生徒（小学校3年生～中学校3年生）に寄り添いながら相談活動を通して学校生活への復帰を支援した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">派遣家庭児童・生徒数</td> <td style="padding-left: 20px;">6人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">改善状況</td> <td> <table style="border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">学校復帰</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">部分登校</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">好転</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">変化なし</td> <td>0人</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>			派遣家庭児童・生徒数	6人	改善状況	<table style="border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">学校復帰</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">部分登校</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">好転</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">変化なし</td> <td>0人</td> </tr> </table>	学校復帰	0人	部分登校	3人	好転	3人	変化なし	0人
派遣家庭児童・生徒数	6人														
改善状況	<table style="border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">学校復帰</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">部分登校</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">好転</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">変化なし</td> <td>0人</td> </tr> </table>	学校復帰	0人	部分登校	3人	好転	3人	変化なし	0人						
学校復帰	0人														
部分登校	3人														
好転	3人														
変化なし	0人														
事業評価	児童・生徒の生活に寄り添った相談を実施し、学校復帰へのきっかけを提供できた。今後も学校と連携し、訪問対象家庭への働きかけを強化するとともに、メンタルフレンドの研修の充実を図り、学校復帰できるよう効果的な支援を行う。														

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	教育だより発行費	所管課	教育指導課
		決算額	488千円
事業内容	市内幼稚園、小・中学校、高等学校、保育所の保護者及び市民に対して、本市の教育施策や特色ある教育活動等時宜を得た教育行政情報の提供を行うため、「宇治市の教育だより」を発行する。(平成4年度から)		
成果・実績	第58・59・60号を発行し、本市小中一貫教育全面試行の取組を中心に、幼稚園児や小・中学生の活躍の様子、各幼稚園、小・中学校の特色ある取組、子育て応援コラムなど、本市の教育行政及び幼稚園・学校教育等に係る情報を記載した。		
	<p>教育だより発行回数 3回</p> <p>教育だより発行部数 19,500部 (1回につき)</p>		
事業評価	教育だよりの発行によって、保護者・市民へ本市教育行政の周知と理解を図ることができた。今後も内容の充実を図り積極的に教育情報の発信を行う。		

事務事業名	英語指導助手設置費	所管課	教育指導課
		決算額	38,607千円
事業内容	児童・生徒の国際的な理解教育とコミュニケーション能力の向上を図るため、英語指導助手(AET)を、幼稚園、小・中学校に派遣する。 また、教職員研修の実施を行うとともに、生涯学習の一環として市民への学習機会の提供を図る。		
成果・実績	本市の友好都市であるカナダのカムループス市から招致した3人と、JETプログラムで招致した7人を、英語指導助手として市立小・中学校へ派遣した。また、市立幼稚園にも定期的に派遣した。		
	<p>英語指導助手 10人 (4月～7月は6人)</p> <p>派遣回数 1,444回</p>		
事業評価	英語指導助手の活用によって、園児、児童・生徒の国際理解を深め、英語能力の向上を図ることができた。今後の継続実施にあたって、英語指導助手の増員効果を検証し、効果的な活用や手法の検討を進める必要がある。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	


事務事業名	いきいき学級支援員設置費	所管課	教育指導課
		決算額	20,864千円
事業内容	特別支援教育体制を推進し、発達障害者へ支援を行うため、各小・中学校に支援員を配置して支援体制を整備し、通常学級での発達障害を含む障害のある児童・生徒の学習面や生活面での課題の改善を図る。		
成果・実績	<p>児童・生徒の個別の指導計画に基づいて、支援員が授業の指導補助や個別指導などを行った。</p> <p style="text-align: right;">通常学級における特別支援が必要な児童・生徒の割合 6.5%</p> <p style="text-align: right;">個別指導計画の作成数 664人（63%）</p>		
事業評価	各学校での支援員の活用によって、特別支援教育体制を推進し、発達障害者の学習・生活の向上を図ることができた。発達障害への対応について学校の役割は大きく、平成24年度も継続実施する。		

事務事業名	基礎学力課題支援費	所管課	教育指導課
		決算額	10,243千円
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上に課題のある小・中学校へ講師を配置し、基礎学力の向上及び希望進路の実現を図る。		
成果・実績	<p>小学校では、全校児童を対象に少人数指導や個別指導、補習授業等を実施した。 中学校では、全校生徒を対象にした授業支援とともに、希望者を対象とした補習授業やテスト前の学習相談会などを実施した。 指導方法や指導機会の方策について各小・中学校へ啓発するとともに、児童・生徒の学力の充実、希望進路実現に向けて、教材・参考図書の配付等を行った。</p> <p style="text-align: right;">指導員賃金 7,324千円</p> <p style="text-align: right;">教材・参考図書等 1,617千円</p> <p style="text-align: right;">全国・京都府人権教育研究大会負担金 452千円</p>		
事業評価	講師の派遣によって、児童・生徒の学習への意欲向上を図ることができた。今後は対象となる児童・生徒の参加率を上げるため、学校・家庭と連携しながら指導方法を工夫し、平成24年度も継続実施する。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	講座等開催費	所管課	教育指導課
		決算額	330千円
事業内容	学校教育に係る体系的な教職員研修と校内研修への助成を行い、教職員の資質向上と学校教育の充実・発展を図る。		
成果・実績	<p>一般研修 開催数 22回 受講者数 995人 道徳教育研修講座、国語力育成講座、人権教育研修講座など</p> <p>専門研修 開催数 2回 受講者数 60人 小学校外国語活動研修講座、小学校外国語活動公開授業</p> <p>情報教育研修 開催数 14回 受講者数 163人 ICT活用講座、情報モラル教育研修講座など</p>		
事業評価	多くの教職員が参加し、指導力の向上を図ることができた。近年は退職者・新規採用者が多く、多様な教育課題に対応できる学校全体の教育力の維持・向上と人材育成を進めるため、平成24年度も継続実施する。		

事務事業名	青少年電話相談活動費	所管課	教育指導課																				
		決算額	1,309千円																				
事業内容	青少年の人的成長を育むため、市民ボランティア相談員が電話で青少年問題に係る相談を受ける。																						
成果・実績	<p>午前9時～午後5時まで3交替制で244日、相談を実施した。相談内容は「家族」、「性」、「教育」、「健康」に関わる相談が全体の6割を占めており、さらに青少年に関わる相談は全体の4割程度となっている。</p> <p style="text-align: center;">相談件数推移 (件)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>15</th> <th>16</th> <th>17</th> <th>18</th> <th>19</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>1,072</td> <td>1,087</td> <td>1,181</td> <td>1,116</td> <td>1,261</td> <td>955</td> <td>886</td> <td>630</td> <td>697</td> </tr> </tbody> </table>			年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	件数	1,072	1,087	1,181	1,116	1,261	955	886	630	697
年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23														
件数	1,072	1,087	1,181	1,116	1,261	955	886	630	697														
事業評価	相談体制の整備によって相談者にとっての心の支えとなることができた。相談件数は減少傾向であり、京都府等ほかの様々な相談窓口との役割分担等、運営手法を検討する必要がある。																						

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	教育研究費	所管課	教育指導課																		
		決算額	541千円																		
事業内容	様々な教育課題を解決するため、指導主事と教育研究員が協働して学校教育に係る指導・助言や教育相談を行う。また、教育研究員が日常の教育実践に基づいた教育研究を行い、学校教育の充実を図る。																				
成果・実績	<p>5部会で教育研究を行い、その成果を公開授業や本市教育委員会ホームページ、本市教職員研修講座などにより報告した。</p> <p style="text-align: center;">教育研究員部会と研究内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">設置部会</th> <th style="width: 15%;">部員数</th> <th style="width: 60%;">主な研究内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇治学研究部</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>小中一貫教育に資する総合的な学習の在り方</td> </tr> <tr> <td>学力充実研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>小・中学校の学力充実・向上に関する研究</td> </tr> <tr> <td>外国語活動研究部</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>小中一貫教育に資する外国語活動の在り方</td> </tr> <tr> <td>道徳教育研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>道徳的価値の内面的自覚を促す指導方法研究</td> </tr> <tr> <td>情報教育研究部</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>教科指導における効果的ICT活用に係る研究</td> </tr> </tbody> </table>			設置部会	部員数	主な研究内容	宇治学研究部	5	小中一貫教育に資する総合的な学習の在り方	学力充実研究部	6	小・中学校の学力充実・向上に関する研究	外国語活動研究部	5	小中一貫教育に資する外国語活動の在り方	道徳教育研究部	6	道徳的価値の内面的自覚を促す指導方法研究	情報教育研究部	5	教科指導における効果的ICT活用に係る研究
設置部会	部員数	主な研究内容																			
宇治学研究部	5	小中一貫教育に資する総合的な学習の在り方																			
学力充実研究部	6	小・中学校の学力充実・向上に関する研究																			
外国語活動研究部	5	小中一貫教育に資する外国語活動の在り方																			
道徳教育研究部	6	道徳的価値の内面的自覚を促す指導方法研究																			
情報教育研究部	5	教科指導における効果的ICT活用に係る研究																			
事業評価	教育研究員の日常の教育実践に基づいた研究によって、本市学校教育の課題解決を図ることができた。時宜に応じて教育課題に適切に対応する教育力向上の一助とするため、平成24年度も継続実施する。																				

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	小中一貫教育推進費	所管課	小中一貫教育課
		決算額	47,048千円
事業内容	<p>義務教育9年間の学びの連続性を意識した系統的、継続的な指導を行い、子どもたちの学習意欲を高め、確かな学力を身につけさせることをねらいとした小中一貫教育を推進する。すべての中学校ブロックにチーフコーディネーターと教科連携教員を配置し、きめ細かな指導を進め、平成24年度から小中一貫教育を全面实施する。</p>		
成果・実績	<p>平成24年度の小中一貫教育全面实施に向けて、全ての中学校ブロックにチーフコーディネーターと教科連携教員を配置し、きめ細かな指導を進めた。</p> <p>また、本市ならではの小中一貫教育を推進するため、宇治市小中一貫教育推進協議会での取組状況の進行管理や、小中一貫教育フォーラムの開催・リーフレットの発行による、広報や啓発を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">宇治市小中一貫教育推進協議会 183千円 学識経験者、保護者、地域団体、教職員により構成し、小中一貫教育の進行管理を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">小中一貫教育取組推進教員の配置 45,519千円 全中学校ブロックへ小中一貫教育非常勤講師（チーフコーディネーターの後補充教員及び教科連携教員）を配置した。</p> <p style="margin-left: 20px;">広報及び啓発 1,346千円 小中一貫教育の推進及び周知のため、市民へ向けて小中一貫教育フォーラムを開催（11月5日）するとともに、リーフレットを作成し、市内幼稚園、保育所及び小・中学校の各家庭、公民館等の市関係機関に配付した。 また、各中学校ブロックにおいても小中一貫教育の取組を紹介するリーフレット等を作成し、周知・啓発を行った。</p>		
事業評価	<p>平成24年4月の小中一貫教育全面实施に向けて、全ての中学校ブロックにおいて全面試行を行い、運用にあたっての成果・課題等を把握することができた。今後も、本市の小中一貫教育の取組について市民や保護者へ周知し、円滑な実施につなげる。</p>		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部	
中分類	01 学校教育の充実		
小分類	02 学校教育環境の充実		

事務事業名	(仮) 第一小中一貫校整備事業費	所管課	小中一貫教育課
		決算額	2,446,048千円
事業内容	小中一貫教育を推進するため、パイロット校として宇治小学校敷地に施設一体型小中一貫校(宇治黄檗学園)を整備する。		
成果・実績	平成24年度4月に開校した宇治黄檗学園の整備のため、第一体育館・メイングラウンド整備を除く、下記の業務を行った。		
	建築工事 1,376,175千円 機械工事 431,156千円 電機工事 245,772千円 工事監理委託 31,950千円 備品購入 123,593千円 図書購入 9,726千円	(以下平成22年度からの繰越)	給食室整備 建築工事 54,432千円 機械工事 69,826千円 電機工事 7,295千円 備品購入 53,538千円
事業評価	校舎と第2体育館の竣工、教職員体制や学校運営の整備などを進め、平成24年4月の開校を迎えることができた。残る第1体育館とグラウンド整備については平成24年度の完成を目指して順次進める。		

平成23年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実・普及	

事務事業名	企画展示費	所管課	源氏物語ミュージアム
事業内容	<p>企画展を目的とした来館者・リピーターを誘致するとともに、ミュージアムの広報・宣伝のため、美術工芸品等の館蔵品だけではなく、他館や関係者から作品・資料を借用し、毎回テーマを決めて魅力ある展示を行う。</p>		
成果・実績	<p>源氏物語と平安時代の文化を中心に、様々な趣向をこらした展示を行った。</p> <p>源氏物語染色の美 後期 3月16日～4月24日 染色作家・東矢千嘉子が手がけた宇治十帖をテーマにした当館所蔵の訪問着・帯を展示した。</p> <p>国民文化祭・京都2011 都名所図会の世界 - 源氏物語ゆかりの地をたずねて - 前期 4月27日～5月29日 後期 5月31日～7月10日 江戸時代のベストセラー「都名所図会」（歴史資料館所蔵）などに描かれた「源氏物語」ゆかりの地を紹介した。</p> <p>国民文化祭・京都2011 可憐なる源氏物語の世界 前期 7月13日～8月21日 後期 8月23日～10月2日 人形作家・東矢千嘉子作の「源氏物語」をテーマとした桐塑人形（当館所蔵）を展示した。</p> <p>国民文化祭・京都2011 宇治田楽今むかし 前期 10月5日～10月24日 後期 10月26日～11月27日 田楽を描いた「年中行事絵巻」をはじめ、宇治白川ゆかりの歴史資料・考古資料を展示した。</p> <p>国民文化祭・京都2011 銅版画に見る京名所 11月30日～平成24年2月19日 銅版画に描かれた「源氏物語」ゆかりの地や京都の名所を紹介した。</p> <p>宇治川歴史散歩 前期 平成24年2月22日～3月18日 後期 平成24年3月20日～4月15日 宇治十帖の舞台・宇治川周辺の歴史や文化について、絵図や屏風などを展示した。</p>		
事業評価	<p>毎回テーマを工夫し魅力ある企画展を開催することにより、多くの入館者の誘致を図ることができた。今後も、時宜に応じたテーマ設定や展示に工夫しながら積極的に広報を行い、新たな入館者の増加を目指す。</p>		



平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実・普及	

事務事業名	源氏物語ミュージアム広報活動費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	1,334千円
事業内容	源氏物語をテーマとしたまちづくりの中核的役割を担う施設として、新規来館者の獲得をはじめ、リピーター等の来館者の増加を目指して広報宣伝活動を行う。		
成果・実績	旅事情報誌等、計7誌に当館の広告を掲載した。広告には観覧料の割引を付け、来館者増加に向けて積極的に周知・PRを行った。		
事業評価	雑誌広告を中心とした広報活動により、当館の認知度を高め、入館者の誘致を図ることができた。今後も、入館者の増加のために、効果的な広報手法を検討・試行する必要がある。		

事務事業名	講座等開催費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	617千円
事業内容	源氏物語や平安時代の文化について、来館者の理解をより深めるために、講演会、講座などを実施する。ミュージアムの展示を観覧することによって興味、関心を抱いた利用者のニーズに応え、さらに学ぶ機会を提供するとともに、より多くの人にミュージアムそのものの存在を知ってもらうきっかけをつくる。		
成果・実績	連続講座、源氏物語セミナーは、平安時代の文学・歴史を専門とする研究者を講師に迎え、最新の研究を織り交ぜつつ講義をしていただき、より深く学べる場を提供した。かるた教室は、子どもたちが積極的に参加し、恒例の行事として定着してきた。		
	連続講座「源氏物語ゆかりの地をたずねて - 都人の空間意識 - 」(全10回) 5月～平成24年2月 参加者数 延べ1,029人 入門講座「歴史のなかの源氏物語 - みんな大好き源氏物語 - 」(全10回) 8月～平成24年3月 参加者数 延べ1,073人 源氏物語セミナー「当世、田楽がおもしろい」(1回) 10月26日 参加者数 70人 かるた教室(1回) 平成24年2月25日 参加者数 62人 ひとりものがたり 「源氏物語 蜻蛉」(1回) 平成24年3月7日 参加者数 100人		
事業評価	講座や講演会の開催によって、参加者の源氏物語や平安時代の文化への理解を深めることができた。今後も、魅力ある講師選定やテーマ設定、ニーズ把握に努め、より多くの参加を目指す。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	2,590千円

事業内容 宇治市生涯学習推進プランに基づき、生涯学習センターや公民館などで、市民のライフステージに対応した講座や事業を実施し、学習の機会を提供する。

各種講座を実施し、学習機会の確保と学習情報提供の充実など生涯学習を推進した。

社会・時代の変化に対応する講座

事業名	回数	参加人数
人権講座「インターネットが変える、私たちの人間関係」	2	60
環境講座「私たちの水環境と大気」	4	92
eラーニング講座「eラーニングで学ぶ 宇治の隠れたみどころウォーク～桜でつなぐ道～」	1	67
暮らしに役立つ金融経済講座	4	207

青少年を対象とする講座・事業

事業名	回数	参加人数
スポーツチャンバラひろば	7	244
夏休み子どもフェア(2日間)	2	3,000
青少年施策・支援団体への聞き取り調査(5件)	-	-

成果・実績



夏休み子どもフェア



初めての朗読講座

教養講座

事業名	回数	参加人数
初心者向け英会話	5	126
舞台芸術体験事業「落語の魅力 ～時代を超えて生き続ける『笑い』の秘密～」	1	68
太平記の世界	3	145
初めての朗読講座	5	229

映画鑑賞事業

事業名	回数	参加人数
文化庁優秀映画鑑賞推進事業(2日間)	1	803
第14回バリアフリー映画上映会	1	300

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	2,590千円

成果・実績	生涯学習団体等の育成・人材養成と活用		
	事業名	回数	参加人数
	センター協力者・グループ交流会	1	10
	ロビー展 ミニ講習会	9	88
	うじ市民活動サポート事業(12事業)	42	1,686
	情報誌編集講座「子連れで歩く宇治のまちBOOKを作ろう」 「子どもと出かけよう宇治のまち」1,000冊発行	10	87
	地域で過ごすセカンドライフ	3	87
	家庭の教育力向上のための講座		
	事業名	回数	参加人数
	おやこっくらんど	10	986
中学生の福祉体験事業	1	16	
小学生の親のための講座(前期)(後期)	4	98	
思春期講座(前期)(後期)	4	72	
子育て講座「学ぼう!子どもの食と栄養」	5	132	
親子で楽しくクッキング	2	60	
その他の事業	事業名	回数	参加人数
	小倉公民館地域学習講座「小倉の地域を知ろう」	3	95
子育て広場@宇治公民館	3	122	
NHK公開セミナー「特別展覧会 王朝文化の華 ～陽明文庫名宝展～」	1	90	
NHK公開セミナー「特別展覧会 細川家の至宝 ～珠玉の永青文庫コレクション～」	1	135	
夏休み親子クッキング	1	26	



情報誌編集講座



親子で楽しくクッキング

事業評価

講座等の開催により、市民の生涯学習の充実と、成果を活かして地域で活動する人材の育成を図ることができた。今後も市民が主体的に生涯学習に取り組む機会を提供する。

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)	所管課	生涯学習センター
		決算額	337千円
事業内容	市民への幅広い学習機会の提供と、学習の場の充実を図る。そのため、生涯学習のきっかけづくりと学習成果の発表の場である「市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)」を開催する。		
成果・実績	<p>「つながれ ひろがれ まなびのわ」をテーマに、市民公募による実行委員会形式によって、「宇治まなびんぐ2012」を平成24年3月10日・11日に開催した。生涯学習活動に取り組む人の成果発表及び市民間の交流、また、これから何かを始めたい人のきっかけづくりの場として、45団体・個人が出展等を行い、延べ約1,500人が参加した。今回は3月11日が実施日だったため、実行委員会企画として東日本大震災関連の展示等を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>手づくり体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>科学の実験</p> </div> </div>		
事業評価	市民主体で生涯学習の発表の場を設け、学習意欲の向上と市民相互の交流を進めることができた。今後もさらに出展者同士、また来場者との交流を進め、生涯学習の発展を目指す。		

事務事業名	生涯学習推進費(学習情報の収集と提供)	所管課	生涯学習センター
		決算額	83千円
事業内容	市民へ適切かつ迅速に情報提供できるよう、学習情報を収集・整理し、生涯学習センター内に情報コ-ナ-を設置する。また、視聴覚ビデオライブラリーの活用を図る。		
成果・実績	<p>視聴覚ライブラリーで、多様なジャンルの視聴覚教材を1,500本以上所蔵し、市民の生涯学習や小中学校での学習に活用されるよう広報に取り組むとともに、映像ソフト(DVD)6組を購入し教材を充実した。</p> <p style="text-align: center;">視聴覚ライブラリー教材購入費 83千円</p>		
事業評価	学習情報の提供により、市民の生涯学習や地域活動を促進することができた。今後も周知方法の工夫等により、多くの市民が幅広く活用できるよう継続実施する。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	高齢者活動事業費	所管課	生涯学習センター
		決算額	549千円
事業内容	宇治市高齢者活動基金を活用し、高齢者（おおむね65才以上）を対象に、「シルバーコーラスの集い」を実施する。		
成果・実績	「第13回シルバーコーラスの集い」を実行委員会形式によって、10月に文化センター大ホールで開催した。京都府南部地域からの参加も含め、14団体、出演者・来場者合わせて約1,300人が集い、日頃の活動成果の発表と参加者同士の交流を行った。		
事業評価	高齢者の生きがいつくりと参加者同士の交流を図ることができた。今後は事業のあり方や運営方法についても検討を行う。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	所管課																									
	各図書館	決算額																								
図書館資料提供事業		19,935千円																								
事業内容	市民の生涯学習推進のため、教養書、参考書、実用書、児童書などの資料を幅広く収集し、知識・情報を豊富に提供する。また、インターネットでの図書検索・予約や、図書館以外の施設での予約本の受け取り、土日・祝日の開館などのサービスを実施するとともに、イベント、図書館見学や職場体験学習など、市民が読書や図書館に親しむ機会をつくる。																									
成果・実績	中央図書館資料提供費 11,351千円 東宇治図書館資料提供費 4,294千円 西宇治図書館資料提供費 4,290千円																									
	資料数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>購入冊数</th> <th>年度末蔵書数 (冊)</th> <th>購入雑誌 (誌)</th> <th>購入新聞 (紙)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>4,464</td> <td>177,289</td> <td>81</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td>2,505</td> <td>59,872</td> <td>48</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td>2,601</td> <td>68,632</td> <td>47</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9,570</td> <td>305,793</td> <td>176</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table>		館名	購入冊数	年度末蔵書数 (冊)	購入雑誌 (誌)	購入新聞 (紙)	中央図書館	4,464	177,289	81	11	東宇治図書館	2,505	59,872	48	9	西宇治図書館	2,601	68,632	47	9	合計	9,570	305,793	176
館名	購入冊数	年度末蔵書数 (冊)	購入雑誌 (誌)	購入新聞 (紙)																						
中央図書館	4,464	177,289	81	11																						
東宇治図書館	2,505	59,872	48	9																						
西宇治図書館	2,601	68,632	47	9																						
合計	9,570	305,793	176	29																						
成果・実績	資料の利用 <table border="1"> <thead> <tr> <th>館名等</th> <th>貸出冊数</th> <th>延べ貸出者数</th> <th>登録者数</th> <th>市民登録率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>426,774</td> <td>99,198</td> <td rowspan="4">86,698</td> <td rowspan="4">44.3</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td>205,532</td> <td>49,376</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td>248,483</td> <td>59,285</td> </tr> <tr> <td>団体貸出</td> <td>6,940</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>887,729</td> <td>207,859</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		館名等	貸出冊数	延べ貸出者数	登録者数	市民登録率(%)	中央図書館	426,774	99,198	86,698	44.3	東宇治図書館	205,532	49,376	西宇治図書館	248,483	59,285	団体貸出	6,940	-	合計	887,729	207,859		
	館名等	貸出冊数	延べ貸出者数	登録者数	市民登録率(%)																					
中央図書館	426,774	99,198	86,698	44.3																						
東宇治図書館	205,532	49,376																								
西宇治図書館	248,483	59,285																								
団体貸出	6,940	-																								
合計	887,729	207,859																								
成果・実績	団体貸出 11団体（地域文庫・家庭文庫）に、5,253冊の貸出を行った。 21団体（幼稚園・小・中学校）に、1,687冊の貸出を行った。																									
成果・実績	予約配本サービス 図書館から遠い地域の利用者へのサービス向上のため、予約図書を週1回指定された4カ所の公共施設に搬送し、11,903冊の貸出を行った。																									
成果・実績	資料の活用（リサイクル事業） 平成11年度から「青空リサイクル市」を年1回開催して、除籍した図書や保存期限の過ぎた雑誌などを市民に還元した。 また、児童書を中心に、市内の保育所、幼稚園、小・中学校に提供した。 リサイクルした冊数 9,156冊（学校等 1,780冊、市民 7,376冊）																									

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供事業	所管課	各図書館
		決算額	19,935千円


成果・実績	読書の普及に向けて下記の活動を行った。																							
	図書展示 一般書 中央図書館：「森へ行こう！」ほか12回 東宇治図書館：「はるの訪れ 四季折々を感じましょう」ほか11回 西宇治図書館：「お江とその周辺」ほか4回 児童書 中央図書館：「冒険の旅へ！」ほか10回 東宇治図書館：「1ねん1くみ どんなんかなあー」ほか10回 西宇治図書館：「えがおがいっぱい」ほか11回																							
																								
	図書展示「本棚の中の宇治・京都 ～古典文学から現代小説まで～」 読書推進事業	読書推進事業 「夏やすみリサイクル工作教室」																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>6</td> <td>284</td> <td rowspan="3">季節、読書週間に合わせた事業 (夏休み行事、クリスマス会、 工作教室、講演など)</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td>6</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td>8</td> <td>191</td> </tr> </tbody> </table>	館名	回数	参加者数	内容	中央図書館	6	284	季節、読書週間に合わせた事業 (夏休み行事、クリスマス会、 工作教室、講演など)	東宇治図書館	6	113	西宇治図書館	8	191									
	館名	回数	参加者数	内容																				
	中央図書館	6	284	季節、読書週間に合わせた事業 (夏休み行事、クリスマス会、 工作教室、講演など)																				
	東宇治図書館	6	113																					
	西宇治図書館	8	191																					
	おはなしかい																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>13</td> <td>179</td> <td rowspan="3">絵本の読み聞かせ、紙芝居、 ペープサートなど</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td>11</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td>10</td> <td>87</td> </tr> </tbody> </table>	館名	回数	参加者数	内容	中央図書館	13	179	絵本の読み聞かせ、紙芝居、 ペープサートなど	東宇治図書館	11	56	西宇治図書館	10	87										
館名	回数	参加者数	内容																					
中央図書館	13	179	絵本の読み聞かせ、紙芝居、 ペープサートなど																					
東宇治図書館	11	56																						
西宇治図書館	10	87																						
学校等連携																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">館名</th> <th colspan="2">図書館見学会 (小学校・幼稚園等)</th> <th colspan="2">中学生の 職場体験学習</th> </tr> <tr> <th>学校数 (校・園)</th> <th>参加者数</th> <th>学校数 (校)</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>12</td> <td>929</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td>4</td> <td>520</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td>4</td> <td>320</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	館名	図書館見学会 (小学校・幼稚園等)		中学生の 職場体験学習		学校数 (校・園)	参加者数	学校数 (校)	人数	中央図書館	12	929	4	8	東宇治図書館	4	520	1	2	西宇治図書館	4	320	2	4
館名		図書館見学会 (小学校・幼稚園等)		中学生の 職場体験学習																				
	学校数 (校・園)	参加者数	学校数 (校)	人数																				
中央図書館	12	929	4	8																				
東宇治図書館	4	520	1	2																				
西宇治図書館	4	320	2	4																				


事業評価	幅広い資料の収集やインターネットでの予約サービスなどの取組により、豊富な知識・情報の提供を行い、市民の生涯学習を促進することができた。今後も、運営・整備手法を検討しながら、市民の利便性の向上と多様なニーズへの対応に努める。
------	---

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	03 歴史資料の充実・普及

所管部局
教育部


事務事業名	資料調査整理費	所管課	歴史資料館
		決算額	347千円
事業内容	歴史資料を調査・収集し、研究成果を展覧会、講演会、図書の刊行などにより公開するとともに、保存して後世に伝えていく。宇治関係資料について調査を行い、データの充実を図る。また、収集資料調査報告書で成果を広く公開する。		
成果・実績	<p>旧家や社寺等が所蔵している古文書や民具等の資料を調査し、必要な資料の写真撮影を行った。また、当館所蔵の資料の調査成果をまとめた「収集資料調査報告書」を刊行し、成果を広く公開した。</p> <p>収集資料調査報告書発行数 400部</p>	 <p>収集品の絵八ガキの一部をまとめた「収集資料調査報告書」14</p>	
事業評価	歴史資料の調査や適切な保存などにより、本市の歴史・文化を市民に後世に伝え、市民の生涯学習を促進することができた。今後も継続的な調査によって資料の充実に努めるとともに、収集した資料を広く市民に公開する。		

事務事業名	資料収集保存費	所管課	歴史資料館
		決算額	458千円
事業内容	資料を購入して充実を図り、より良い状態で後世に伝えるため、資料の燻蒸・修繕を行う。		
成果・実績	<p>市民から古文書・古絵図・民具等の寄贈・寄託を受けたほか、宇治関係資料として地形図や観光案内パンフレット等を購入した。</p> <p>主な購入資料 宇治川水力電気事業案内 久世郡郷土教育資料 宇治菊人形絵はがき 御茶名表</p>	 <p>購入資料の中から「大日本名物名産大寄」(部分)</p>	
事業評価	資料の購入及び保存を適切に行い、市民に広く公開できるよう管理した。今後も必要資料に関する情報収集に努め、適切な保存に努める。		

平成23年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	03 歴史資料の充実・普及

所管部局
教育部

事務事業名	特別展示費	所管課	歴史資料館
		決算額	2,010千円
事業内容	本市の歴史に関する多様なテーマについて、調査成果を市民に還元し、後世に伝えるため、展示、図録刊行、講演会開催を実施する。テーマは、その年に相応しい時宜を得たものを心がけ、原物資料や、写真パネル・映像資料を組み合わせ、市民が親しみやすい展示に努めている。		
成果・実績	<p>巨椋池干拓完成70周年を記念し、「巨椋池 - そして干拓は行われた - 」を開催した。国、京都府、耕地整理組合の三者によって行われた干拓事業について、当時の機運や工事の様子を同時代の資料や写真を用いて紹介した。また、それにあわせて図録を刊行し、講演会を開催した。</p> <p>会期：10月1日～11月22日 入場者数：2,720人</p> <p>講演会 10月19日 参加人数 160人 「考古資料からみた巨椋池周辺の遺跡」 山本雅和（京都市考古資料館 副館長）</p> <p>歴史講座 11月9日 参加人数 120人 歴史資料館館員「小倉村機関紙『郷土』にみる干拓決定まで」</p>		
			
事業評価	趣向をこらした展示や講演会などにより、市民が文化資料に親しむ機会を提供できた。より多くの市民が観覧に訪れるよう、今後も展示の工夫に努める。		

事務事業名	企画展示費	所管課	歴史資料館														
		決算額	172千円														
事業内容	開館以来収集してきた資料を活用した企画展を開催する。多種多様な収蔵資料をテーマごとに精選して、市民が宇治の歴史や文化を身近に感じられる内容とし、何度も来館する機会となるよう定期的に展示内容を変える。また、写真展等市民参加型の展覧会も開催する。																
成果・実績	宇治の歴史や文化財に関する様々な視点からテーマを設定し、わかりやすく展示した。入場者推計：11,000人																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>展覧会名</th> <th>会期</th> <th>目録配布枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100年前の宇治・京都・日本</td> <td>5月14日～6月26日</td> <td>545</td> </tr> <tr> <td>80年前の宇治・京都・日本</td> <td>7月16日～9月11日</td> <td>430</td> </tr> <tr> <td>60年前の宇治・京都・日本</td> <td>12月3日～24年2月5日</td> <td>420</td> </tr> <tr> <td>発掘ものがたり宇治2012</td> <td>2月25日～6月10日</td> <td>583</td> </tr> </tbody> </table>			展覧会名	会期	目録配布枚数	100年前の宇治・京都・日本	5月14日～6月26日	545	80年前の宇治・京都・日本	7月16日～9月11日	430	60年前の宇治・京都・日本	12月3日～24年2月5日	420	発掘ものがたり宇治2012	2月25日～6月10日
展覧会名	会期	目録配布枚数															
100年前の宇治・京都・日本	5月14日～6月26日	545															
80年前の宇治・京都・日本	7月16日～9月11日	430															
60年前の宇治・京都・日本	12月3日～24年2月5日	420															
発掘ものがたり宇治2012	2月25日～6月10日	583															
事業評価	常設展とは異なるテーマで展示を行うことにより、市民にわかりやすく歴史や文化の魅力を伝えられた。内容の充実に努めながら平成24年度も継続実施する。																

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	03 歴史資料の充実・普及

所管部局
教育部

事務事業名	教育普及活動費	所管課	歴史資料館																												
		決算額	114千円																												
事業内容	歴史講座、歴史散策、古文書講習会の開催により、調査・研究成果を広く公開するとともに、他の研究機関から講師を迎え、市民の歴史研究や博物館活動への理解を深める。																														
成果・実績	歴史講座・歴史散策を各2回開催した。古文書講習会と合わせて延べ279人の参加があった。																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">種別</th> <th style="width: 10%;">開催日</th> <th style="width: 30%;">テーマ</th> <th style="width: 15%;">講師</th> <th style="width: 10%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">歴史講座</td> <td>11月9日</td> <td>「郷土」にみる干拓決定まで</td> <td>館員</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>24年 3月23日</td> <td>中世宇治茶のブランド化 産地 間競争を生き残るために</td> <td>橋本素子 (大学非常勤)</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>古文書 講習会</td> <td>12月13日 ～16日</td> <td>巨椋漁師仲間文書</td> <td>館員</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">歴史散策</td> <td>10月12日</td> <td>桃山御陵前から三栖閘門まで</td> <td rowspan="2">館員</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>24年 3月15日</td> <td>京阪宇治から橋寺まで</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>				種別	開催日	テーマ	講師	参加者数	歴史講座	11月9日	「郷土」にみる干拓決定まで	館員	120	24年 3月23日	中世宇治茶のブランド化 産地 間競争を生き残るために	橋本素子 (大学非常勤)	50	古文書 講習会	12月13日 ～16日	巨椋漁師仲間文書	館員	64	歴史散策	10月12日	桃山御陵前から三栖閘門まで	館員	20	24年 3月15日	京阪宇治から橋寺まで	25
種別	開催日	テーマ	講師	参加者数																											
歴史講座	11月9日	「郷土」にみる干拓決定まで	館員	120																											
	24年 3月23日	中世宇治茶のブランド化 産地 間競争を生き残るために	橋本素子 (大学非常勤)	50																											
古文書 講習会	12月13日 ～16日	巨椋漁師仲間文書	館員	64																											
歴史散策	10月12日	桃山御陵前から三栖閘門まで	館員	20																											
	24年 3月15日	京阪宇治から橋寺まで		25																											
事業評価	各講座の開催により、多くの市民に宇治の歴史と文化を知ってもらうことができた。講師の選定を工夫するなど魅力的な講座の開催に努めながら平成24年度も継続実施する。																														

平成 23 年度決算成果説明書




総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	善法青少年センター活動費	所管課	善法青少年センター
		決算額	2,384千円
事業内容	<p>人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動等のセンター事業を行う。</p>		
成果・実績	<p>学習・文化活動 書道教室・えいごくらぶ・手作り教室・料理教室・体験合宿・学習会等を実施した。</p> <p style="text-align: center;">実施回数 256回 参加者数 2,346人</p> <p>体育・スポーツ・レクリエーション活動 春、秋のレクリエーション・スポーツクラブ・お楽しみ会・体験シリーズ・おもしろパーティー等を実施した。</p> <p style="text-align: center;">実施回数 18回 参加者数 340人</p>		
事業評価	<p>各活動によって青少年の学習を促進し、健全育成を図ることができた。今後も参加者の増加を目指し、事業内容を工夫しながら継続実施する。</p>		

事務事業名	河原青少年センター活動費	所管課	河原青少年センター
		決算額	1,554千円
事業内容	<p>人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動等のセンター事業を行う。</p>		
成果・実績	<p>活動を通して、グループ活動において高学年の子どもたちがリーダーシップを発揮するなど、自主的に活動に取り組む姿が見られるようになった。</p> <p>学習・文化活動 英語教室や創作教室、読み聞かせスタンブラリー等を実施した。</p> <p style="text-align: center;">実施回数 65回 参加者数 577人</p> <p>体育・スポーツ・レクリエーション活動 河原青少年センターまつり（カメレオン・パニック）やアウトドア教室、体験学習、スポーツ教室等を実施した。</p> <p style="text-align: center;">実施回数 19回 参加者数 704人</p>		
事業評価	<p>各活動によって青少年の学習を促進し、健全育成を図ることができた。今後も参加者の増加を目指し、事業内容を工夫しながら継続実施する。</p>		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	大久保青少年センター運営費	所管課	大久保青少年センター																			
		決算額	2,051千円																			
事業内容	青少年の生きる力を育むことで豊かな人間性や協調性を養い、健全育成を図るため、文化・芸術・スポーツ等の活動事業を実施する。 また、各種教室・催し物の開催や、こどもクラブでの活動の育成指導を行う。																					
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">教室</td> <td style="width: 15%;">実施回数</td> <td style="width: 15%;">28回</td> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者数</td> <td>628人</td> </tr> <tr> <td>催し物</td> <td>実施回数</td> <td>18回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者数</td> <td>2,418人</td> </tr> <tr> <td>こどもクラブ</td> <td>実施回数</td> <td>199回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者数</td> <td>4,354人</td> </tr> </table>			教室	実施回数	28回			参加者数	628人	催し物	実施回数	18回		参加者数	2,418人	こどもクラブ	実施回数	199回		参加者数	4,354人
教室	実施回数	28回																				
	参加者数	628人																				
催し物	実施回数	18回																				
	参加者数	2,418人																				
こどもクラブ	実施回数	199回																				
	参加者数	4,354人																				
事業評価	各活動によって、青少年の「生きる力」を育み、健全育成と地域文化活動の促進を図ることができた。市内全域から参加希望があり、事業内容を工夫しながら継続実施する。																					

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参画システムの確立	

事務事業名	議会改革推進事業費	所管課	議会事務局
		決算額	862千円
事業内容	議会を円滑に運営するための改革を行う事業として、各委員会活動充実のための研修会及び、市民に開かれた議会を目指し、インターネット上で議会本会議（一般質問）の録画配信を行う。		
成果・実績	委員会研修経費		140千円
	常任委員会、議会運営委員会、広報委員会の委員会活動充実のため研修会を行った。		
	委員会	研修内容	参加人数
	総務	阪神淡路大震災の復旧・復興について	30
	市民環境	びわ湖環境ビジネスメッセ2011	22
	文教福祉	児童虐待について	22
	建設水道	治水について	48
	議会運営	議会運営について	34
	広報	議会広報誌の編集総論及びクリニック・講評	11
	議会録画映像インターネット配信経費		720千円
	平成23年度	アクセス数	7,628件
事業評価	本市議会録画配信について、議会だよりでの周知等、市民への積極的な広報を行い、議会を傍聴できない市民への利便性の向上を図ることができた。また、各種研修を行い、委員会活動の充実を図った。今後は、市民の議会への関心と理解を深めるため、配信内容等の充実を図る。		

事務事業名	議会広報活動費	所管課	議会事務局
		決算額	4,184千円
事業内容	議会活動を市民に周知し、議会への関心と理解を深め、住民自治の高揚を図るため、「議会だより」を発行している。また、「市政概要」を発行し、市政全般にわたる制度、市政執行の状況等を掲載して、市政の手引きとして活用している。		
成果・実績	議会だより発行経費		3,888千円
	発行回数		4回
	発行部数		81,500～84,000部/回
	市政概要発行経費		284千円
	発行回数		1回
	発行部数		250部
事業評価	議会だよりを発行し、市民へ議会情報を発信することができた。今後も紙面の充実を図るとともに、より多くの市民に読んでもらえる手法について検討する必要がある。		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	01 市民参画システムの確立

所管部局
その他

事務事業名	選挙啓発推進費	所管課	選挙管理委員会事務局
		決算額	87千円
事業内容	選挙が公明かつ適正に行われるように、様々な機会を通じて選挙人の政治意識の向上に努める。		
成果・実績	明るい選挙の推進のため、「府政を見る会」の開催をはじめ、啓発ポスター・標語の募集・展示会、成人式における啓発資料の配布、新有権者へのバースデーカードの送付などの各種啓発事業を行った。		
事業評価	店頭啓発活動等を行い、投票率の向上を図っているが、投票率の向上に向けて、特に若年層の投票を促進できるように啓発手法を検討する必要がある。		

事務事業名	農業委員会委員選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局										
		決算額	108千円										
事業内容	任期満了に伴う農業委員会委員選挙を執行する。												
成果・実績	7月10日に宇治市農業委員会委員選挙を執行した。(無投票) <div style="margin-left: 20px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">執行状況</th> </tr> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">当日の有権者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">男</td> <td style="text-align: center;">681</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">女</td> <td style="text-align: center;">513</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">1,194</td> </tr> </tbody> </table> </div>			執行状況			当日の有権者数	男	681	女	513	合計	1,194
執行状況													
	当日の有権者数												
男	681												
女	513												
合計	1,194												
事業評価	適正に選挙事務を執行した。												

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	01 市民参画システムの確立

所管部局
その他

事務事業名	京都府議会議員選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																
		決算額	29,360千円																
事業内容	任期満了に伴う京都府議会議員一般選挙を執行する。																		
成果・実績	4月10日に京都府議会議員一般選挙を執行した。 執行状況 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>当日の有権者数</th> <th>投票者数</th> <th>投票率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td style="text-align: center;">72,830</td> <td style="text-align: center;">29,796</td> <td style="text-align: center;">40.91</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td style="text-align: center;">78,821</td> <td style="text-align: center;">31,273</td> <td style="text-align: center;">39.68</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">151,651</td> <td style="text-align: center;">61,069</td> <td style="text-align: center;">40.27</td> </tr> </tbody> </table>				当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)	男	72,830	29,796	40.91	女	78,821	31,273	39.68	合計	151,651	61,069	40.27
	当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)																
男	72,830	29,796	40.91																
女	78,821	31,273	39.68																
合計	151,651	61,069	40.27																
事業評価	執行経費の削減に努め、適正に選挙事務を執行した。今後も引き続き迅速・正確な執行に努める。																		

事務事業名	市議会議員選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																
		決算額	62,387千円																
事業内容	任期満了に伴う市議会議員一般選挙を執行する。																		
成果・実績	4月24日に宇治市議会議員一般選挙を執行した。 執行状況 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>当日の有権者数</th> <th>投票者数</th> <th>投票率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td style="text-align: center;">72,733</td> <td style="text-align: center;">30,524</td> <td style="text-align: center;">41.97</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td style="text-align: center;">78,774</td> <td style="text-align: center;">33,297</td> <td style="text-align: center;">42.27</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">151,507</td> <td style="text-align: center;">63,821</td> <td style="text-align: center;">42.12</td> </tr> </tbody> </table>				当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)	男	72,733	30,524	41.97	女	78,774	33,297	42.27	合計	151,507	63,821	42.12
	当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)																
男	72,733	30,524	41.97																
女	78,774	33,297	42.27																
合計	151,507	63,821	42.12																
事業評価	執行経費の削減に努め、適正に選挙事務を執行した。今後も引き続き迅速・正確な執行に努める。																		

平成 2 3 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
その他

事務事業名	監査委員活動費	所管課	監査委員事務局
		決算額	495千円
事業内容	本市の行政及び財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が地方自治法の主旨に沿ってなされているかを主眼に厳正、公平の態度保持と指導監査を第一義として、違法、不当行為の防止と事務事業の改善に資す。例月出納検査、定期監査、随時監査、決算審査を行う。		
成果・実績	<p>定期監査は、24課2事務局3センター5館3校1園を抽出し実施した。</p> <p>随時監査は、小倉小学校雨水流出抑制施設設置工事を、財政援助団体等の監査として2団体を実施した。</p> <p>出納検査は、一般会計、特別会計、公営企業会計について毎月実施した。</p> <p>決算審査は、一般会計・8特別会計・公営企業会計及び基金運用状況について実施した。</p> <p>健全化判断比率等審査は、健全化判断比率・資金不足比率について実施した。</p> <p>このほか、先進地である富山市、高岡市への行政視察を実施した。また、関係団体が実施した監査研修に参加し、監査等の手法、内容の改善を図り、監査機能の充実、強化に努めた。</p>		
事業評価	全国都市監査委員会総会や研修会への参加などによって監査機能の向上を図り、事務事業の指導監査を適切に行うことができた。今後も適正に実施する。		

事務事業名	公平委員会運営費	所管課	公平委員会事務局
		決算額	266千円
事業内容	地方公務員法の規定に基づき、職員の不利益処分の不服申立や勤務条件に関する措置の要求に対して審査、判定等を行う。		
成果・実績	<p>宇治市公平委員会議事規則により定例会を4回、臨時会を4回開催し、職員の不利益処分についての不服申立に対する審査及び職員団体登録事項変更に伴う審査等を行った。</p> <p>このほか、各種事務研究会に参加し、公平委員会業務の円滑な推進に努めた。</p>		
事業評価	全国公平委員会連合会総会や研修会への参加などによって審査機能の向上を図り、適切に審査を行うことができた。今後も適正に実施する。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
その他

事務事業名	固定資産評価審査委員会運営費	所管課	固定資産評価審査委員会事務局
		決算額	30千円
事業内容	地方税法の規定に基づき、固定資産税、都市計画税の課税の基礎となる固定資産課税台帳に登録された事項に関する納税義務者からの審査申出について審査、決定する。		
成果・実績	委員会を7回開催した。審査申出はなかった。 このほか、審査委員会業務の円滑な推進のため、(財)資産評価システム研究センターが主催する研修会に参加した。		
事業評価	研修会への参加等によって固定資産税制度の現状と課題や審査委員会の運営について見識が深められた。今後も適正に実施する。		

平成 23 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	01 農業の振興

所管部局
その他

事務事業名	農業委員会運営費	所管課	農業委員会事務局
		決算額	1,601千円
事業内容	農業委員会等に関する法律第6条に規定する所掌事務、農業者年金業務、農業経営基盤強化措置特別会計事務及び農業委員会の運営を行う。		
成果・実績	<p>「農業委員会等に関する法律」に基づき、農業委員会総会を13回開催し、「農地法」に基づく農地の権利移動及び転用などについて審議を行うとともに、「租税特別措置法」に基づく相続税納税猶予特例適用に係る証明願の承認及び農地の利用状況確認などについて審議を行った。</p> <p>また、各部会等の活動や研修会を開催し、農地行政の適正な執行に努めた。</p> <p>一方、農政活動においては、関係機関と連携しながら、農地の適正管理を呼びかけるとともに、「農業経営基盤強化促進法」に基づく農地の利用権設定の推進、農業者年金の各種届出等への対応や、加入促進事業に取り組んだ。</p> <p>さらに、農家への啓発活動として「農委だより・うじ」の発行等を行った。</p>		
事業評価	法に基づき、適切に農地行政経費の執行を行い、農地利用の審議や農家への啓発などを図ることができた。今後も円滑な委員会運営に努める。		

用品調達基金運用状況表

(単位：円)

借 方		科 目	貸 方	
残 高	累 計		累 計	残 高
1,061,744	2,691,641	在 庫 用 品	1,629,897	
4,938,256	7,098,140	預 金	2,159,884	
	2,195,077	未 収 金	2,195,077	
	1,593,670	未 払 金	1,593,670	
		基 金	6,000,000	6,000,000
6,000,000	13,578,528	小 計	13,578,528	6,000,000
		払 出 差 益	565,180	565,180
		受 取 利 息	1,034	1,034
		雑 利 益		
0	0	雑 損 失		
566,214	566,214	一般会計繰出金		
566,214	566,214	小 計	566,214	566,214
6,566,214	14,144,742	合 計	14,144,742	6,566,214